令和4年度　工事仕様書・設計内訳書

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事
工事場所	兵庫県明石市魚住町清水地先
工期	契約の翌日から、令和5年2月10日まで
技術者等	現場代理人：他工事との兼務不可 主任又は監理技術者：専任

課長	担当課長	担当課長	係長	係長	精算者	担当（建築）	担当（電気）	担当（機械）

1. 設計コード　03DA0440
2. 工事内容（◎新築　・増築　・改築　・改修）
   ・管理棟建築工事　軽量鉄骨造平屋建て（延べ面積121.02㎡）
   ・更衣室棟建築工事　軽量鉄骨造平屋建て（延べ面積27.32㎡）
   ・トイレ棟建築工事　軽量鉄骨造平屋建て（延べ面積26.08㎡）
   ・上記に伴う、屋外付帯工事、電気設備工事、機械設備工事
3. 支払条件
   ①前　金　払　当該会計年度の出来高予定額の40%以内
   ②中間前金払　当該会計年度の出来高予定額の20%以内
   ③部　分　払　令和4年度内2回以内
   ④完　成　払　完成後、残額一括支払い
4. 特記事項
   ①関係法令等を遵守し、必要な手続きを遅滞なく行うこと。また、これらに要する費用は、受注者負担とする。
   ②省ｴﾈ、省資源、廃棄物の減量、ﾘｻｲｸﾙの推進等により、環境負荷の低減を図ること。
   ③「産業廃棄物の不適正な処理の防止に関する条例」の対象となる建設廃棄物の産業廃棄物処理業者への引渡しが完了したときは、同条例第16条の3に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督職員に提出すること。
   ④引渡しまでに要する試験運転及び各試験等の費用は、受注者負担とする。
   ⑤原則、日曜日、祝日及び夜間は、作業を行わないこと。
   ⑥万一、事故や苦情が発生した場合には、速やかに対応するとともに、対応内容を記録し、監督職員に報告すること。
   ⑦営繕課発行の「契約書・仕様書に基づく提出書類（工事編）」に基づき、必要書類を提出すること。
   ⑧敷地内及び敷地周辺は、全面禁煙とする。
   ⑨工事着工前に敷地内外（敷地内の既存建物、近接建物、道路等の構造物など）の撮影を行い、工事完成時に原状復旧が行われているか確認すること。
   ⑩工程、仮設計画等の作成及び工事施工に当たっては、関係部局と十分に事前打合せを行い、施設の運営に支障が生じないように配慮すること。
   ⑪本設計書は公共建築工事積算基準等（2022年1月1日時点の最新版）に基づき積算している。
   ⑫公共建築（改修）工事標準仕様書（各工事編）に基づく「書面」は、署名又は押印されたもののほか、印字による記名も含むものとする。
   ⑬(仮称)17号池公園においては、別発注の公園整備工事が並行して施工中であり、別途後続工事の発注も予定されている状況であるため、工事及び仮設計画等については、調整会議を設置するなど、関係者と十分な協議を行い、円滑な施工に努めること。
   なお、調整等の結果により変更等が生じた場合は監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
   ⑭予想される地下埋設物件については、当該物件の位置・深さを確認し、保安対策について十分打合せを行ない、事故の発生を防止すること。
   ⑮受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担により補修すること。
   ⑯各プレファブの配置及び仕様の変更に伴う計画変更通知等の申請業務は受注者が代行し、これらに要する費用は全て受注者の負担とする。また、これらを理由とした工期の延長は認めない。

名　　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
管理棟	1	式		
更衣室棟	1	式		
トイレ棟	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
Ⅰ.管理棟	1	式		
Ⅱ.更衣室棟	1	式		
Ⅲ.便所棟	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
Ⅰ.管理棟	1	式		
Ⅱ.更衣室棟	1	式		
Ⅲ.便所棟	1	式		
計				

管理棟

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
土工事	1	式		
地業工事	1	式		
鉄筋工事	1	式		
コンクリート工事	1	式		
型枠工事	1	式		
防水工事	1	式		
タイル工事	1	式		
木工事	1	式		
金属工事	1	式		
左官工事	1	式		
建具工事	1	式		
ガラス工事	1	式		
塗装工事	1	式		
内装工事	1	式		
ユニット及びその他工事	1	式		
プレファブ工事	1	式		
屋外工事	1	式		
計				

更衣室棟

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
土工事	1	式		
地業工事	1	式		
鉄筋工事	1	式		
コンクリート工事	1	式		
型枠工事	1	式		
防水工事	1	式		
金属工事	1	式		
左官工事	1	式		
内装工事	1	式		
ユニット及びその他工事	1	式		
プレファブ工事	1	式		
屋外工事	1	式		
計				

トイレ棟

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設	1	式		
土工事	1	式		
地業工事	1	式		
鉄筋工事	1	式		
コンクリート工事	1	式		
型枠工事	1	式		
タイル工事	1	式		
左官工事	1	式		
プレファブ工事	1	式		
屋外工事	1	式		
計				

Ⅰ.管理棟

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
電灯設備	1	式		
弱電用空配管設備	1	式		
誘導支援設備	1	式		
構内配電線路	1	式		
計				

Ⅱ. 更衣室棟

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
電灯設備	1	式		
構内配電線路	1	式		
移設工	1	式		
計				

Ⅲ. 便所棟

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
構内配電線路	1	式		
計				

Ⅰ.管理棟

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
空気調和設備	1	式		
換気設備	1	式		
衛生器具設備/消火設備	1	式		
給水設備	1	式		
排水設備	1	式		
給湯設備	1	式		
ガス設備	1	式		
移設工	1	式		
計				

Ⅱ.更衣室棟

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
空気調和設備	1	式		
換気設備	1	式		
移設工	1	式		
計				

Ⅲ. 便所棟

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
給水設備	1	式		
排水設備	1	式		
移設工	1	式		
計				

管理棟		直接仮設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方	一 般	121	㎡			
墨出し	一 般　S造 地上階	121	㎡			
養生	一 般　S造 地上階	121	㎡			
整理清掃 後片付け	一 般　S造 地上階	121	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900　12m未満 1ヶ月 最上部安全手すり 掛払手間 基本料 修理費 運搬費共	250	㎡			
脚立足場	H=1800　1ヶ月 掛払手間 基本料 修理費 運搬費共	121	㎡			
養生シート	防炎Ⅰ類 1ヶ月 掛払手間 基本料 修理費 運搬費共	250	㎡			
計						

管理棟		土工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り	つぼ,布掘り 深さ2.5m程度	58.5	m3			
すきとり	積み込み共 H300程度	13.2	m3			
埋戻し(B種)	-　発生土	37.5	m3			
積み込み		34.2	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 土砂 DID区間有り 9.0km以下	34.2	m3			
建設発生土残土処分	残土(粘性土)　(株)明神ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ	34.2	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
床付け	つぼ,布掘り	66.7	㎡			
計						

管理棟		地業工事				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 基礎下	2.7	m3			
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 土間下	12.2	m3			
土間下断熱材	ﾌｫｰﾑﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ3種B　t＝30	91.1	㎡			
床下防湿層敷き	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚0.15	91.1	㎡			
計						

管理棟		鉄筋工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295A D10	0.4	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295A D13	0.3	t			
鉄筋加工組立	S造 床版　　-	0.6	t			
梁貫通孔補強 鉄筋加工組立	細物	0.04	t			
鉄筋運搬費	4ｔ車　30km程度	0.7	t			
溶接金網敷き	径 6 150×150 材工共	123	㎡			
計						

管理棟	コンクリート工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=21+3　S15 粗骨材20 基礎部	10	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18　S15 粗骨材20 捨コン	1.1	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18+3　S15 粗骨材20 土間	12.4	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	基礎部　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回未満　S15～S18 -　圧送費､基本料別途	10	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　人力打設 -　S15～S18 -　-	1.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	土間　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回程度　S15～S18 -　圧送費､基本料別途	12.4	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	22.4	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送基本料金	30m3以上 50m3/回未満	2	回			
計						

管理棟		型枠工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
型枠	普通合板型枠 －　基礎部 －	89.5	㎡			
型枠	普通合板型枠 －　土間部 －	3.6	㎡			
型枠	打放合板型枠B種 ﾗｰﾒﾝ構造　基礎部 －	15.8	㎡			
型枠運搬費 計	4ｔ車　30km程度 往復	109	㎡			

管理棟		防水工事				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
撥水材	RC面　外部 ﾗﾝﾃﾞｯｸｽｺｰﾄ同等品	15.7	㎡			
シーリング	MS-2　5x5	10.4	m			
計						

管理棟	タイル工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（外部）						
床タイル張	100角　ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様　磁器　無釉	2.5	㎡			
床ﾀｲﾙ （端部）	垂れ付き段鼻　Ⅰ類　　無ゆう 100㎜角 下地ﾓﾙﾀﾙ別途	5.5	m			
喚起誘導ﾌﾞﾛｯｸ （内部）	300㎜角タイル 磁器質相当　無釉	8	枚			
床ﾀｲﾙ張り	一般床ﾀｲﾙ張　Ⅰ類　　無ゆう 100㎜角 下地ﾓﾙﾀﾙ別途	22.9	㎡			
床ﾀｲﾙ （出入口部分）	垂れ付き段鼻　Ⅰ類　　無ゆう 100㎜角 下地ﾓﾙﾀﾙ別途	2.5	m			
内装壁ﾀｲﾙ張り	ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ 有機系接着張り（ﾀｲﾌﾟⅠ） 施工手間 －　　100㎜角 ﾎﾞｰﾄﾞ面	93.1	㎡			
計						

管理棟		木工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
木製建具枠	110 x 20	14.5	m			
木製額縁	110 x 20	58	m			
木製額縁	20 x 20	7.9	m			
計						

管理棟		金属工事				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
【外部】						
排水溝ｽﾘｯﾄ蓋	VSMQ-1015　P=13 枠：BKIT-ME-1515　S=100 歩行用　ｽﾘｯﾄ9ｍｍ　L=1.6m	1	か所			
【内部】						
＜壁＞						
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	122	㎡			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300 外壁廻(軽鉄軸組沿)	157	㎡			
（補強：扉部分）						
軽鉄開口補強枠 3方	W=65　3330 x 2600 3方長さ＝3.33+2.6 x 2＝8.5m	1	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 1800×2000mm程度	1	か所			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	12	か所			
（補強：窓部分）						
軽鉄開口補強枠 4方	W=65　1650 x 2200 4方長さ＝（1.65+2.20）＝7.70m	1	か所			
軽鉄開口補強枠 4方	W=65　740 x 2200 4方長さ＝（0.74+2.20)x2＝5.88m	1	か所			
軽鉄開口補強枠 4方	W=65　1650 x 1300 4方長さ＝（1.65+1.30)x2＝5.9m	3	か所			
軽鉄開口補強枠 4方	W=65　1650 x 500 4方長さ＝（1.65+0.50)x2＝4.3m	2	か所			
軽鉄開口補強枠 4方	W=65　740 x 500 4方長さ＝（0.74+0.50)x2＝2.48m	2	か所			
軽鉄開口補強枠 4方	W=65　1730 x 1100 4方長さ＝（1.78+1.10)x2＝5.76m	1	か所			
＜天井＞						
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 ｲﾝｻｰﾄ含む	104	㎡			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　650×　1000mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	3	か所			

管理棟	金属工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　900×　900mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	1	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　610ｘ　610mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	3	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　540ｘ　540mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	2	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　300×　300mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	2	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　250ｘ　250mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	3	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　500×　100mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	1	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　450×　450mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共　天井点検口用	9	か所			
天井点検口	一般ﾀｲﾌﾟ　ｱﾙﾐ製 内外枠共目地 450角	9	か所			
＜その他＞						
軽鉄ﾗｲﾆﾝｸﾞ下地	W100～150ｘH820～1000 65形 下地張りあり @450 補強共	7.6	m			
軽鉄ﾗｲﾆﾝｸﾞ下地	W150ｘH1200 65形 下地張りあり @450 補強共	1.6	m			
ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ受け金物	C-60x30x2.3 4m程度	1	式			
ｶｳﾝﾀｰﾌﾞﾗｹｯﾄ受	C-65x55x15x2.3 縦0.7m程度3か所 横1.8m程度2か所	1	式			
計						

管理棟		左官工事				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
(外部)						
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ XO通　ﾎﾟｰﾁ	1	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	木ごて 一般ﾀｲﾙ下地　　厚37	3.2	㎡			
排水溝底 ﾓﾙﾀﾙ金鏝 (内部)	W＝110	1.6	m			
床 セルフﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ t ＝10		80.2	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	木ごて 一般ﾀｲﾙ下地　　厚37	22.9	㎡			
壁ﾗｽｶｯﾄﾎﾞｰﾄﾞ	t=9.5　不燃	93.1	㎡			
壁ﾓﾙﾀﾙ塗り	木ごて 内壁ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ下地　　厚15	93.1	㎡			
打放し面補修	B 種 ｺｰﾝ処理　部分目違いばらい	15.8	㎡			
計						

管理棟		建具工事				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
(軽量鋼製建具)						
LSD-1 軽量スチール製片引戸	枠見込180　戸見込40 W800×H2000　ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ 半自動・自閉式　付属金物一式 ｷｯｸﾌﾟﾚｰﾄ (SUS HL)	2	か所			
(木製建具)						
WD-1	片開き扉 840 x 2000	1	か所			
WD-2	片開き扉 840 x 2000	2	か所			
(トイレﾌﾞｰｽ)						
TB-1	H2000 SUS T型ﾀｲﾌﾟ ﾒﾗﾐﾝ化粧板t=1.0(両面) ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ芯 ﾗﾜﾝ合板1類t5.5(両面)見込40	1	か所			
TB-2	H2000 SUS T型ﾀｲﾌﾟ ﾒﾗﾐﾝ化粧板t=1.0(両面) ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ芯 ﾗﾜﾝ合板1類t5.5(両面)見込40	1	か所			
S-1	H2000 SUS T型ﾀｲﾌﾟ ﾒﾗﾐﾝ化粧板t=1.0(両面) ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ芯 ﾗﾜﾝ合板1類t5.5(両面)見込40	1	か所			
計						

管理棟	ガラス工事					
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
型板ｶﾞﾗｽ	厚さ4　特寸 2.18㎡以下 ｶﾞﾗｽとめ材別途 清掃共	0.3	㎡			
ｶﾞﾗｽとめ(ｼｰﾘﾝｸﾞ) (両面)	ｼﾘｺﾝ　1成分形 SR-1 ｶﾞﾗｽ規格2.18㎡以下	0.3	㎡			
計						

管理棟	塗装工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ＥＰ塗り	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板面　工程B種(一般)					
	素地B種	23.8	㎡			
SOP塗装	建具枠　糸＝170					
		14.5	m			
SOP塗装	鋼製建具面					
	素地B種、錆止めA種	9.2	㎡			
SOP塗装	ﾌﾟﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ　糸＝330					
	素地A種　工程B種	6.1	m			
UC塗装	木部					
	素地B種	3.5	㎡			
UC塗装	窓額縁　糸＝170					
		58	m			
UC塗装	窓額縁　糸＝50					
		7.9	m			
計						

管理棟	内装工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	無 地 厚さ2.0 繊布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 一般床 熱溶接工法	56.2	㎡			
防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	t=2.0	22.6	㎡			
喚起誘導ｼｰﾄ	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｴﾗｽﾄﾏｰ 単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ 300角 t=7.0	15	枚			
ﾋﾞﾆﾙ幅木	高さ60	73.7	m			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 鋼製、木、ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 －　－	130	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製、木、ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 －　－	60.8	㎡			
壁 化粧ｹｲｶﾙ板	t＝6	2	㎡			
壁　耐水合板張	t＝12	2	㎡			
壁　普通合板張	t＝12	1.2	㎡			
壁　補強	構造用ラワン合板t=12	0.5	㎡			
壁ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	間仕切内　t＝50	204	㎡			
壁　ｸﾛｽ張り	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ 材工共 －	188	㎡			
天井　けい酸 ｶﾙｼｳﾑ板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK 厚 6 突付け	23.8	㎡			
天井　化粧 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-D)	厚 9.5　準不燃 ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ 突付け	80.5	㎡			
天井 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	t＝50	80.5	㎡			
廻縁	塩ビ製 コ型	126	m			
計						

管理棟	ユニット及びその他工事					
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
【外部】						
室外機基礎	3500ｘ650ｘ200　天端ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ製　側面打放し 鉄筋 D10 @200C	1	か所			
給湯機基礎	1600ｘ900ｘ200　天端ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ製　側面打放し 鉄筋 D10 @200C	1	か所			
ガスボンベ基礎	1800ｘ500ｘ200　天端ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ製　側面打放し 鉄筋 D10 @200C	1	か所			
目隠し壁A	W1820xH1+650 鉄筋ｺﾝｸﾘﾄｰﾄ製 タイル仕上げ共 ﾀｲﾙ仕上げ	1	か所			
目隠し壁B	W2720xH1+650 鉄筋ｺﾝｸﾘﾄｰﾄ製 タイル仕上げ共 ﾀｲﾙ仕上げ	1	か所			
【内部】						
＜サイン＞						
施設銘板	ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 900x300 ｽﾃﾝﾚｽ箱文字 合成樹脂焼付塗装	2	か所			
外部ﾋﾟｸﾄｻｲﾝa 多目的便所	W450xH1600 ｱﾙﾐ複合板t2.0 ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ印刷(UVﾏｯﾄ ﾌｨﾙﾑ貼)	1	か所			
外部ﾋﾟｸﾄｻｲﾝb 男子・女子便所	W450xH1600 ｱﾙﾐ複合板t2.0 ｲﾝｸｼﾞｪｯﾄ印刷(UVﾏｯﾄ ﾌｨﾙﾑ貼)	2	か所			
内部室名札	平付け　150x150 ｱｸﾘﾙ板t3.0 ｼﾙｸｽｸﾘｰﾝ印刷	6	か所			
ブースサイン	100x100 ｱｸﾘﾙ板t2.0 耐候性ｼｰﾄ貼	4	か所			
多目的・男子・女子表示プレート	100x20 ｱｸﾘﾙ板t2.0 耐候性ｼｰﾄ貼 「ながす」	5	か所			
多目的・男子・女子表示プレート	145x50 ｱｸﾘﾙ板t2.0 耐候性ｼｰﾄ貼 「非常用押ﾎﾞﾀﾝ･･･」	5	か所			
＜ユニット＞						
受付カウンター	タモ集成材　ｔ30 1730x740 ｽﾃﾝﾚｽ製棚受け3ヶ所共	1	か所			
男子・女子更衣室・便所ライニング面台	W150 メラミンポストフォームt21	7.1	m			
多目的便所ライニング面台	W100 メラミンポストフォームt21	2.1	m			
補助手摺 L型	L700+700 φ34 SUSﾊﾟｲﾌﾟ(樹脂被覆付)	5	か所			

管理棟	ユニット及びその他工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
補助手摺 小便器用	L600+550 φ34 SUSﾊﾟｲﾌﾟ(樹脂被覆付)	1	か所			
補助手摺 洗面器用	L700 φ34 SUSﾊﾟｲﾌﾟ(樹脂被覆付)	5	か所			
補助手摺 可動式	W800 φ34 SUSﾊﾟｲﾌﾟ(樹脂被覆付)	1	か所			
男子･女子便所 ベビーチェア 多目的便所 ベビーチェア	コーナー設置タイプ 平面設置タイプ	2 1	か所 か所			
荷物置き棚	男子便所 木製 200 x 20 x 1150	1	か所			
荷物置き棚	女子便所 木製　200 x 20 x 970	3	か所			
ｽﾃﾝﾚｽﾌｯｸ	TOTO:YKH20R同等品	5	か所			
姿見鏡	W400×1500 耐食仕様	1	か所			
化粧鏡	W450×H1000 耐食仕様	6	か所			
更衣室 ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ	0812タイプ ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ仕様 開口枠含む 付属物一式共	2	か所			
更衣室 ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ	0808タイプ ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ仕様 開口枠含む 付属物一式共	2	か所			
受付 ﾐﾆｷｯﾁﾝ	W1200×H1900×D500 ﾒｰｶｰ仕様 付属物一式共	1	か所			
＜その他＞						
天井吊ｶｰﾃﾝ	W2060×H2400　抗菌・防汚仕様 1.5倍ヒダ 防炎・ラベル(イ)型 ﾀｯｾﾙ,ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ,天井下地補強共	2	か所			
ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ	150 x 150 木製 吊り@900　固定金物共	6.3	m			
ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	ｽﾗｯﾄ25mm　ｷﾞｱ式	13.6	㎡			
避難口誘導標識 200 x 200×0.6 計	高輝度蓄光型 天井設置	1	か所			

管理棟　プレファブ工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
管理棟ﾌﾟﾚﾌｧﾌﾞ	鉄骨造平屋建　121.02㎡ 屋根・水切り・笠木・軒樋・庇・外壁ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ・ｼｰﾘﾝｸﾞ・防水処理含む	1	か所			
	建方重機16ｔﾗﾌｸﾛｰｸﾚｰﾝ(3日程度) 外部鉄骨塗装(軒天･庇鉄部現し部分)2液型ｳﾚﾀﾝ塗装 (DP3級相当) 外内部建具(AD1～3･AW1～6･SSF-1) 引戸用電気錠鍵(表示装置 内部大型ｻﾑﾀｰﾝ),電気錠操作盤(2線式 ﾀｲﾏｰ式　繋ぎ込みは電気工事),転倒防止ﾁｪｰﾝ設置用金物，その他付属金物一式共					
ｱﾝｶｰﾎﾞｰﾙﾄ	M16　L=320	54	本			
計						

管理棟	屋外工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾌﾞﾛｯｸ舗装A	透水性ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾞ t＝80					
	敷砂・砕石・透水ｼｰﾄ共　3色	745				
	不陸整正共		㎡			
屋外誘導ﾌﾞﾛｯｸ	300ｘ300ｘ60					
	路床整正、不陸整正共	266				
	砂・砕石共		枚			
ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石	縁石A 地先境界ﾌﾞﾛｯｸ					
	120×120×600	9.8				
	捨ｺﾝ・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共		m			
縁石D	地先境界ﾌﾞﾛｯｸ					
	200ｘ (80+130)	3				
	ｺﾝｸﾘｰﾄ・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共		m			
縁石C	駒止ﾌﾞﾛｯｸ					
	(150+165)x200	18				
	ｺﾝｸﾘｰﾄ・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共		m			
雨水桝(会議室外)	既製品　呼び名：360					
	ｸﾞﾚｰｼﾞﾝｸﾞ蓋(細目)熔融亜鉛ﾒｯｷ	1				
	調整ｺﾝｸﾘｰﾄ・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共		か所			
雨水桝 a	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ製					
	350ｘ350ｘ450 化粧用鉄蓋	1				
	MRHP-6-3545(ﾊﾝﾄﾞﾙ付)同等品		か所			
雨水桝 b	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ製					
	350ｘ350ｘ500　化粧用鉄蓋	1				
	MRHP-6-3545(ﾊﾝﾄﾞﾙ付)同等品		か所			
雨水桝 c	現場打ちｺﾝｸﾘｰﾄ製					
	400ｘ400ｘ590	1				
	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ		か所			
地中排水	VP管					
	100φ5.1m程度　200φ8.2m程度	1				
	洗い砂共		式			
ｻｲﾝE	ｱﾙﾐ複合版　支柱ｱﾙﾐ押出型材					
	W610 H1500 土工・基礎共	1				
			か所			
計						

更衣室棟		直接仮設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方	一 般	27.3	㎡			
墨出し	一 般　S造 地上階	27.3	㎡			
養生	一 般　S造 地上階	27.3	㎡			
整理清掃 後片付け	一 般　S造 地上階	27.3	㎡			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠900　12m未満 1ヶ月 最上部安全手すり 掛払手間 基本料 修理費 運搬費共	122	㎡			
養生シート	防炎Ⅰ類 1ヶ月 掛払手間 基本料 修理費 運搬費共	122	㎡			
脚立足場	H=1800　1ヶ月 掛払手間 基本料 修理費 運搬費共	27.3	㎡			
計						

更衣室棟	土工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り	つぼ,布掘り 深さ2.5m程度	13.2	m3			
すきとり	積み込み共 H300程度	1.9	m3			
埋戻し(B種)	-　発生土	7.9	m3			
積み込み		7.2	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 土砂 DID区間有り 9.0km以下	7.2	m3			
建設発生土残土処分	残土(粘性土)　(株)明神ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ	7.2	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
床付け	つぼ,布掘り	29.5	㎡			
計						

更衣室棟		地業工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 基礎下	1.1	m3			
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 土間下	2.7	m3			
土間下断熱材	ﾌｫｰﾑﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝ3種B　t＝30	25.4	㎡			
床下防湿層敷き 計	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚0.15	25.4	㎡			

更衣室棟		鉄筋工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295A D10	0.14	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295A D13	0.06	t			
鉄筋加工組立	S造 床版　　-	0.2	t			
鉄筋運搬費	4ｔ車　30km程度	0.2	t			
溶接金網敷き	径 6 150×150 材工共	25.4	㎡			
計						

更衣室棟	コンクリート工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=21+3　S15					
	粗骨材20	3				
	基礎部		m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18　S15					
	粗骨材20	0.4				
	捨コン		m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18+3　S15					
	粗骨材20	2.8				
	土間		m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	基礎部　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設					
	50m3/回未満　S15～S18	3				
	-　圧送費､基本料別途		m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　人力打設					
	-　S15～S18	0.4				
	-　-		m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	土間　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設					
	50m3/回程度　S15～S18	2.8				
	-　圧送費､基本料別途		m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ	30m3以上 50m3/回未満					
圧送	基本料金別途加算	5.8				
			m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送	30m3以上 50m3/回未満					
基本料金		2				
			回			
計						

更衣室棟		型枠工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
型枠	普通合板型枠 －　基礎部 －	20.8	㎡			
型枠	普通合板型枠 －　土間部 －	0.8	㎡			
型枠	打放合板型枠B種 ﾗｰﾒﾝ構造　基礎部 －	7.7	㎡			
型枠運搬費 計	4ｔ車　30km程度 往復	29.3	㎡			

更衣室棟		防水工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
撥水材	RC面　外部 ﾗﾝﾃﾞｯｸｽｺｰﾄ同等品	7.7	㎡			
計						

更衣室棟		金属工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	61.7	㎡			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300 外壁廻(軽鉄軸組沿)	16.2	㎡			
軽量鉄骨壁 開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000㎜程度	2	か所			
軽鉄開口補強枠 4方	W=65　1650ｘ500 4方長さ＝（1.65+0.5)x2＝4.3m	4	か所			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 ｲﾝｻｰﾄ含む	23.7	㎡			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　600ｘ1100㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	2	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　500ｘ 500㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	2	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　450× 450㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共 天井点検口用	2	か所			
天井点検口	一般ﾀｲﾌﾟ ｱﾙﾐ製 内外枠共目地 450角	2	か所			
計						

更衣室棟		左官工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床 セルフレベリング	t＝10	23.7	㎡			
打放し面補修	B 種 コーン処理　部分目違いばらい	7.7	㎡			
計						

更衣室棟	内装工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	無 地 厚さ2.0 繊布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 一般床 突付け	23.7	㎡			
ﾋﾞﾆﾙ幅木	高さ60	33.6	m			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け －　　－	78	㎡			
壁ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	間仕切内　t＝50	72.3	㎡			
壁　ｸﾛｽ張り	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ 材工共 －	76	㎡			
壁　補強	構造用ラワン合板t=12	0.3	㎡			
天井　化粧 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-D)	厚 9.5　準不燃 ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ 突付け	23.7	㎡			
天井 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ	t＝50	23.7	㎡			
廻縁	塩ビ製 コ型	35.1	m			
計						

更衣室棟	ユニット及びその他工事					
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
室外機基礎	2000 x 500 x 150　天端ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ製　側面打放し 鉄筋 D10 @200C	1	か所			
施設銘板	ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 900x300 ｽﾃﾝﾚｽ箱文字 合成樹脂焼付塗装	2	か所			
計						

更衣室棟	プレファブ工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾌﾟﾚﾊﾌﾞ建物	鉄骨造平屋建　27.32㎡ 屋根･水切･笠木･軒樋･庇･外壁ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ･ｼｰﾘﾝｸﾞ防水処理含む	1	か所			
	建方重機16ｔﾗﾌｸﾚｰﾝ(2日程度) 外内部建具(AD-1､AW-1) 外部鉄骨塗装（軒天･庇鉄部現し部分)2液型ウレタン塗装（DP3級相当） 付属金物一式共					
ｱﾝｶｰﾎﾞｰﾙﾄ	M16　L=320	34	本			
計						

更衣室棟		屋外工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	50+150+50					
	ﾌｨﾙﾀｰ層(砂)	36.1				
	不陸整正共		㎡			
ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石	縁石A 地先境界ﾌﾞﾛｯｸ					
	120×120×600	4.9				
	捨ｺﾝ・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共		m			
U型側溝	300A　L=900					
	SUS細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ	1				
	捨ｺﾝ・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共		ヵ所			
計						

トイレ棟		直接仮設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方	一 般	26.1	㎡			
墨出し	一 般　S造 地上階	26.1	㎡			
養生	一 般　S造 地上階	26.1	㎡			
整理清掃 後片付け 計	一 般　S造 地上階	26.1	㎡			

トイレ棟	土工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り	つぼ,布掘り 深さ2.5m程度	63	m3			
埋戻し(B種)	-　発生土	26.7	m3			
積み込み		36.3	m3			
建設発生土運搬 建設発生土残土処分	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 土砂 DID区間有り 9.0km以下 残土(粘性土)　㈱明神ﾘｻｲｸﾙｾﾝﾀｰ	36.3 36.3	m3 m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
計						

トイレ棟		地業工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 基礎下	4.3	m3			
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	0.2	m3			
計						

トイレ棟		鉄筋工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295A D10	0.7	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295A D13	0.2	t			
鉄筋加工組立	S造 床版　　-	0.9	t			
鉄筋運搬費 計	4ｔ車　30km程度	0.9	t			

トイレ棟	コンクリート工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=21+3　S15					
	粗骨材20	9				
	基礎部		m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18　S15					
	粗骨材20	1.6				
	捨コン		m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=21+3　S18					
	粗骨材20　根巻ｺﾝｸﾘｰﾄ	2.2				
			m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	JIS A5308　FC=18+3　S15					
	粗骨材20	0.5				
	土間		m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	基礎部　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設					
	50m3/回未満　S15～S18	9				
	-　圧送費､基本料別途		m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　人力打設					
	-　S15～S18	1.6				
	-　-		m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	根巻ｺﾝｸﾘｰﾄ　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設					
	50m3/回程度　S15～S18	2.2				
	-　圧送費､基本料別途		m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	土間　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設					
	50m3/回程度　S15～S18	0.5				
	-　圧送費､基本料別途		m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ	30m3以上 50m3/回未満					
圧送	基本料金別途加算	11.7				
			m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送	30m3以上 50m3/回未満					
基本料金		3				
			回			
計						

トイレ棟	型枠工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
型枠	普通合板型枠 －　基礎部 －	16.4	㎡			
型枠	普通合板型枠 －　根巻部 －	12.7	㎡			
型枠	普通合板型枠 －　土間部 －	0.3	㎡			
埋殺し型枠		12	㎡			
型枠	打放合板型枠B種 ﾗｰﾒﾝ構造　基礎部 －	12.2	㎡			
型枠運搬費	4ｔ車　30km程度 往復	53.7	㎡			
止水板	ｸﾆｼｰﾙ　12×28　同等	51.1	m			
ﾀﾗｯﾌﾟ（足掛）	ｽﾃﾝﾚｽ製 W400　φ22　ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ	3	ヵ所			
計						

トイレ棟	タイル工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床ﾀｲﾙ張り	一般床ﾀｲﾙ張　Ⅰ類　　無ゆう 100㎜角　下地ﾓﾙﾀﾙ別途	2.3	㎡			
喚起誘導ﾌﾞﾛｯｸ	300㎜角タイル 磁器質相当　無釉	17	枚			
計						

トイレ棟		左官工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(外部)						
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	木ごて 一般ﾀｲﾙ下地　厚37	3.8	㎡			
壁天端ｺﾝｸﾘｰﾄ金鏝	W＝180 根巻き天端部分	25.8	m			
(内部)						
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	18.4	㎡			
打放し面補修	B 種 ｺｰﾝ処理　部分目違いばらい ﾋﾟｯﾄ内	12.2	㎡			
計						

トイレ棟		プレファブ工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾕﾆｯﾄﾄｲﾚ	鉄骨造平屋建　26.08㎡ 躯体･内外装仕上･建具･給排水衛生 設備･電気設備一式（工場制作） 建方重機25ｔﾗﾌﾃｰｸﾚｰﾝ(1日程度) 据付・運搬含む	1	式			
ｱﾝｶｰﾎﾞｰﾙﾄ	M16　L=320	24	本			
計						

トイレ棟	屋外工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	50+150+50					
	ﾌｨﾙﾀｰ層(砂)	42.7				
	不陸整正共		㎡			
屋外誘導ﾌﾞﾛｯｸ	300ｘ300ｘ60					
	路床整正、不陸整正共	44				
	砂・砕石共		枚			
ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石	縁石A　地先境界ﾌﾞﾛｯｸ					
	120×120×600	5.1				
	捨ｺﾝ・ｸﾗｯｼｬﾗﾝ共		m			
水飲み	回転自閉式					
	集水桝・ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ・排水管共	1				
	踏み台：擬石､ﾋﾞｼｬﾝ仕上　土工共		か所			
雨水浸透桝	450角程度					
	SUS細目ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋共	2				
	土工共		か所			
計						

Ⅰ.管理棟		電灯設備				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(電灯幹線)						
厚鋼電線管 (G)	露出配管　54mm	6	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管　70mm	2	m			
波付硬質合成 樹脂管(FEP)	(50)	4	m			
波付硬質合成 樹脂管(FEP)	(65)	8	m			
耐衝撃性 硬質ﾋﾞﾆﾙ管(HIVE)	(16) 地中	14	m			
EM-CETｹｰﾌﾞﾙ	38mm2 管内	6	m			
EM-CETｹｰﾌﾞﾙ	38mm2 FEP内(PF･CD)	4	m			
EM-CETｹｰﾌﾞﾙ	60mm2 管内	2	m			
EM-CETｹｰﾌﾞﾙ	60mm2 FEP内(PF･CD)	8	m			
600V耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁電線(EM-IE)	5.5mm2	35	m			
土工費	管理棟幹線	1	式			
埋設標識ｼｰﾄ	2倍長(W)150	9	m			
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽSS形 防水(SUS)	300×　300×　300	1	個			
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	10φ×1.0m	2	か所			
(電灯分岐)						
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm	58	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 2C ﾋﾟｯﾄ・天井	13	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 2C FEP内(PF･CD)	5	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 3C ﾋﾟｯﾄ・天井	142	m			

Ⅰ.管理棟		電灯設備				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 3C FEP内(PF･CD)	45	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ﾋﾟｯﾄ・天井	19	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 3C FEP内(PF･CD)	9	m			
電灯分電盤 電灯分電盤	L-1 L-2	1 1	面 面			
照明器具　C10		4	台			
照明器具　D40		5	台			
照明器具　E43		5	台			
照明器具　T21		11	台			
照明器具　W10		8	台			
照明器具　W20		2	台			
照明制御器 (ｾﾝｻ)	親機	3	個			
照明制御器 (ｾﾝｻ)	子機	3	個			
ﾀﾝﾌﾞﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A ×1　ﾈｰﾑ無 -　-　-	4	個			
ﾀﾝﾌﾞﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A ×1　ﾈｰﾑ無 PL ×1　-	4	個			
ﾀﾝﾌﾞﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	3W 15A ×1　ﾈｰﾑ無 -　-　-	2	個			
自動点滅器	100V 3A	1	個			
ボックス類 （コンセント分岐 ）	管理棟 電灯設備/電灯幹線	1	式			
合成樹脂製可とう 電線管（PF単層）	隠ぺい・埋込配管 22mm	268	m			

Ⅰ.管理棟　電灯設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
厚鋼電線管 (G)	露出配管　22mm	37	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 3C ﾋﾟｯﾄ・天井	51	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 3C FEP内(PF･CD)	5	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ﾋﾟｯﾄ・天井	240	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 3C FEP内(PF･CD)	256	m			
EM-CEｹｰﾌﾞﾙ	3.5mm2- 3C 管内	37	m			
導入線(PF管内)		26	m			
ｺﾝｾﾝﾄ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	連用形2P15A×1 - 125V	1	個			
ｺﾝｾﾝﾄ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	連用形2P15A×2 - 125V	16	個			
ｺﾝｾﾝﾄ (金属製ｶﾊﾞｰ付)	K	1	個			
ｺﾝｾﾝﾄ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	連用形2P15A×1 (接地極 接地端子付 一体形) 125V	13	個			
ｺﾝｾﾝﾄ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	連用形2P15A×2 (接地極×2 接地端子×1付 一体形) 125V	1	個			
ｺﾝｾﾝﾄ(防雨形)	2P15A×2 (抜止め 接地極×2 接地端子付) 125V	1	個			
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽSS形 防水(SUS)	200×　200×　100	1	個			
ボックス類	管理棟 電灯設備/コンセント分岐	1	式			
金属製 可とう電線管(F) (ﾋﾞﾆﾙ被覆有)	(24) ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝ用等	4	m			
計						

Ⅰ.管理棟		弱電用空配管設備				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
合成樹脂製可とう電線管（PF単層）	隠ぺい・埋込配管 22mm	122	m			
波付硬質合成樹脂管(FEP)	(30)	17	m			
導入線(PF管内)		134	m			
端子盤		1	面			
複合ｱｳﾄﾚｯﾄ(金属製ｶﾊﾞｰ付)	TV+TEL+LAN	3	個			
合成樹脂製ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ(ｶﾊﾞｰ付)	埋込 3個用	3	個			
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽSS形防水(SUS)	200×　200×　200	1	個			
土工費	管理棟弱電	1	式			
埋設標識ｼｰﾄ	2倍長(W)150	16	m			
計						

Ⅰ.管理棟　誘導支援設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
合成樹脂製可とう電線管（PF単層）	隠ぺい・埋込配管 22mm	49	m			
EM-FCPEEｹｰﾌﾞﾙ	0.9 mm-　1P ﾋﾟｯﾄ・天井	17	m			
EM-FCPEEｹｰﾌﾞﾙ	0.9 mm-　1P FEP内(PF･CD)	7	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 2C ﾋﾟｯﾄ・天井	15	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 2C FEP内(PF･CD)	31	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 3C ﾋﾟｯﾄ・天井	5	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	1.6mm- 3C FEP内(PF･CD)	7	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ﾋﾟｯﾄ・天井	21	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 3C FEP内(PF･CD)	4	m			
警報ﾗﾝﾌﾟ付ﾌﾞｻﾞｰ	屋外用	3	個			
引きひも非常用押釦		6	個			
音声誘導機		1	個			
ボックス類	管理棟 誘導支援設備	1	式			
計						

Ⅰ.管理棟		構内配電線路				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
(電力引込み)						
EM-CETｹｰﾌﾞﾙ	60mm2 FEP内(PF･CD)	114	m			
(ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ天端調整)						
既設ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ 天端調整 計	管理棟	3	か所			

Ⅱ.更衣室棟	電灯設備					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(電灯幹線)						
厚鋼電線管 (G)	露出配管　42mm	6	m			
波付硬質合成 樹脂管(FEP)	(50)	3	m			
耐衝撃性 硬質ﾋﾞﾆﾙ管(HIVE) 耐衝撃性 硬質ﾋﾞﾆﾙ管(HIVE)	(16) 地中 隠ぺい・埋込配管 16mm	7 11	m m			
EM-CETｹｰﾌﾞﾙ	22mm2 管内	6	m			
EM-CETｹｰﾌﾞﾙ	22mm2 ﾋﾟｯﾄ・天井	4	m			
EM-CETｹｰﾌﾞﾙ	22mm2 FEP内(PF･CD)	3	m			
600V耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁電線(EM-IE)	5.5mm2	18	m			
600V耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁電線(EM-IE) (PF管内)	5.5mm2	8	m			
土工費	更衣室幹線	1	式			
埋設標識ｼｰﾄ	2倍長(W)150	4	m			
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	14φ×1.5m～2連	2	か所			
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽSS形 防水(SUS)	300×　300×　300	1	個			
(電灯分岐)						
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 22mm	24	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 2C ﾋﾟｯﾄ・天井	4	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF 600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 2C FEP内(PF･CD) 2.0mm- 3C ﾋﾟｯﾄ・天井	4 30	m m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 3C FEP内(PF･CD)	19	m			

Ⅱ.更衣室棟	電灯設備					
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
電灯分電盤	L-K	1	面			
照明器具　T21		4	台			
照明器具　W10		2	台			
誘導灯	SH1-FBF 20 -　-C　-	2	個			
ﾀﾝﾌﾞﾗｽｲｯﾁ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	1P 15A ×1　ﾈｰﾑ無 PL ×1　-	2	個			
自動点滅器	100V 3A	1	個			
ボックス類	更衣室棟 電灯設備/電灯分岐	1	式			
（コンセント分岐）						
合成樹脂製可とう電線管（PF単層）	隠ぺい・埋込配管 22mm	21	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管　22mm	12	m			
EM-CEｹｰﾌﾞﾙ	3.5mm2- 3C 管内	12	m			
EM-CEｹｰﾌﾞﾙ	3.5mm2- 3C ﾋﾟｯﾄ・天井	7	m			
EM-CEｹｰﾌﾞﾙ	3.5mm2- 3C FEP内(PF･CD)	4	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ﾋﾟｯﾄ・天井	12	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 3C FEP内(PF･CD)	17	m			
ｺﾝｾﾝﾄ (金属ﾌﾟﾚｰﾄ付)	連用形2P15A×1 - 125V	2	個			
ｺﾝｾﾝﾄ (金属製ｶﾊﾞｰ付)	K	1	個			
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽSS形 防水(SUS)	200× 200× 200	1	個			
ボックス類	更衣室棟 電灯設備/コンセント分岐	1	式			
金属製 可とう電線管(F) (ﾋﾞﾆﾙ被覆有)	(21) ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝ用等	2	m			

Ⅱ.更衣室棟		電灯設備				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
計						

Ⅱ.更衣室棟		構内配電線路				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
(電力引込み)						
EM-CETｹｰﾌﾞﾙ	22mm2 FEP内(PF･CD)	271	m			
(ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ天端調整)						
既設ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ 天端調整 計	更衣室棟	2	か所			

Ⅱ.更衣室棟		移設工				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ (H15) 移設	据付・撤去工事	1	基			
波付硬質ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 (FEP管)撤去	50 再使用しない	3	m			
計						

Ⅲ.便所棟	構内配電線路					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(電力引込み)						
EM-CETｹｰﾌﾞﾙ	14mm2 FEP内(PF･CD)	252	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管　42mm	2	m			
(接地工事) 600V耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁電線(EM-IE)	3.5mm2	7	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管　16mm	2	m			
耐衝撃性 硬質ﾋﾞﾆﾙ管(HIVE)	(16) 地中	2	m			
接地極 (銅覆鋼棒打込式)	10φ×1.0m	1	か所			
(ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ天端調整)						
既設ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ 天端調整	便所棟	1	か所			
計						

Ⅰ.管理棟	空気調和設備					
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
(機器設備)						
ACP-01 空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	天井ｶｾｯﾄ型 (2方向) 冷房能力　4.5kW 暖房能力　5.0kW　2段積架台共	1	台			
ACP-02 空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	天井ｶｾｯﾄ型 (2方向) 冷房能力　4.0kW 暖房能力　4.5kW	1	台			
ACP-02 空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ ACP-03 空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	天井ｶｾｯﾄ型 (2方向) 冷房能力　4.0kW 暖房能力　4.5kW　2段積架台共 天井ｶｾｯﾄ型 (4方向) 冷房能力　4.5kW 暖房能力　5.0kW	1 1	台 台			
ACP-04 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ	壁掛露出型 冷房能力　2.2kW 暖房能力　2.8kW　2段積架台共	1	台			
ACP-05 ﾙｰﾑｴｱｺﾝ	壁掛露出型 冷房能力　2.2kW 暖房能力　2.8kW	1	台			
(配管設備)						
冷媒用 断熱材被覆銅管	6.35外径(　1/4B) 液管 厚8mm	80	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管	9.52外径(　3/8B) ｶﾞｽ管 厚20mm以上	33	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管	12.7 外径(　1/2B) ｶﾞｽ管 厚20mm以上	47	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	屋内一般　　25A	7	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	屋内一般　　40A	14	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (ｶﾗｰVP)	屋外架空・暗渠　40A	6	m			
冷媒管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 80A	1	m			
冷媒管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 80A	30	m			
排水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋内露出 合成樹脂製ｶﾊﾞｰ1 25A	1	m			
排水管 保温 排水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 25A ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 40A	6 14	m m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 3C 冷媒共巻き	47	m			

Ⅰ.管理棟	空気調和設備					
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	1.25mm2-　2C ﾋﾟｯﾄ・天井	11	m			
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	1.25mm2-　2C FEP内(PF･CD)	4	m			
合成樹脂製可とう電線管（PF単層）	隠ぺい・埋込配管 16mm	4	m			
ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ 計	管理棟 空調設備	1	式			

Ⅰ.管理棟	換気設備					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(機器設備)						
HEU-01 全熱交換ﾕﾆｯﾄ	天井ｶｾｯﾄ型 100m3/h*50Pa	1	台			
HEU-02 全熱交換ﾕﾆｯﾄ	天井ｶｾｯﾄ型 230m3/h*50Pa	1	台			
HEU-03 全熱交換ﾕﾆｯﾄ	天井ｶｾｯﾄ型 330m3/h*50Pa	1	台			
HEU-04 全熱交換ﾕﾆｯﾄ	天井ｶｾｯﾄ型 100m3/h*50Pa	1	台			
HEU-05 全熱交換ﾕﾆｯﾄ	天井ｶｾｯﾄ型 100m3/h*50Pa	1	台			
VF-01 換気扇	天井埋込型換気扇 270m3/h*50Pa	1	台			
VF-02 換気扇	天井埋込型換気扇 330m3/h*50Pa	1	台			
VF-03 換気扇	天井埋込型換気扇 170m3/h*50Pa	1	台			
(ダクト設備)						
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ (低圧ﾀﾞｸﾄ)	ｲﾝｻｰﾄ有 100mm	44	m			
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ (低圧ﾀﾞｸﾄ)	ｲﾝｻｰﾄ有 150mm	49	m			
ﾋﾞﾆﾙ製円形ﾀﾞｸﾄ (VP)	100mm	17	m			
亜鉛鉄板性ﾁｬﾝﾊﾞｰ (低圧用)	600×200×300H	1	個			
吹出口 VHS	ｱﾙﾐ製ﾌｨﾙﾀｰ付 500*100	1	個			
ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ製　100φ	12	個			
ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ製　150φ	7	個			
長方形ﾀﾞｸﾄ保温 ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ保温 (32K)	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　屋内隠ぺい,ﾀﾞｸﾄｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 保温厚25 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　屋内隠ぺい,ﾀﾞｸﾄｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　100mm 保温厚25	0.8 27	㎡ m			
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ保温 (32K)	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ　屋内隠ぺい,ﾀﾞｸﾄｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ　150mm 保温厚25	23	m			

Ⅰ.管理棟	換気設備					
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	1.25mm2-　2C ﾋﾟｯﾄ・天井	6	m			
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	1.25mm2-　2C FEP内(PF･CD)	3	m			
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	1.25mm2-　3C ﾋﾟｯﾄ・天井	22	m			
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	1.25mm2-　3C FEP内(PF･CD)	4	m			
合成樹脂製可とう電線管（PF単層）	隠ぺい・埋込配管 16mm	3	m			
合成樹脂製可とう電線管（PF単層）	隠ぺい・埋込配管 22mm	4	m			
ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ	管理棟 換気設備	1	式			
計						

Ⅰ.管理棟	衛生器具設備/消火設備					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
(衛生器具設備)						
洋風便器 高座面対応床置床 排水大便器	参考型番：CS20AB 洗浄便座(TCF5524A)	4	組			
洋風便器 掃除口付床置床排 水大便器	参考型番：CFS498BC 洗浄便座(TCF5524AUP) しびん洗浄水栓ｵｽﾄﾒｲﾄ(EWCS802AR)	1	組			
小便器 床置床排水ﾌﾗｯｼｭﾊﾞﾙﾌﾞ 二連紙巻器 棚付	参考型番：UFH508CR 参考型番：YH702	2 5	組 組			
洗面器 壁掛手洗器	参考型番：L250CM 台付自動水栓(電気温水器付)	2	組			
洗面器 壁掛手洗器	参考型番：L250CM 台付自動水栓	4	組			
(消火設備)						
消火器　ABC10	保管箱共	1	個			
計						

Ⅰ.管理棟		給水設備				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VA)	ねじ接合　屋内一般 20A	1	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VA)	ねじ接合　機械室・便所 20A	4	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VD)	ねじ接合　地中配管 20A	4	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VD) 給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VD)	ねじ接合　地中配管 25A ねじ接合　地中配管 32A	2 2	m m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VD)	ねじ接合　地中配管 20A	11	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VD)	ねじ接合　地中配管 25A	5	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VD)	ねじ接合　地中配管 32A	1	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VD)	ねじ接合　地中配管 40A	5	m			
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)	地中配管　20A	14	m			
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)	地中配管　25A	2	m			
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)	地中配管　30A	21	m			
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)	地中配管　40A	8	m			
青銅仕切弁	10K(ねじ)　20A	1	個			
青銅仕切弁	10K(ねじ)　25A	1	個			
青銅仕切弁	10K(ねじ)　32A	2	個			
青銅仕切弁	10K(ねじ)　40A	1	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ 弁桝	ﾍﾞﾛｰｽﾞ形　32A 機 械 VC-P(550H)	1 2	個 組			
弁桝	機 械 VC-1(550H)	2	組			

Ⅰ.管理棟		給水設備				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 20A	5	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 32A	1	m			
地中埋設標	鉄 製	9	個			
埋設標識ﾃｰﾌﾟ	150幅	45	m			
土工事	管理棟給水設備	1	式			
計						

Ⅰ.管理棟	排水設備					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	屋内一般　40A	3	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	屋内一般　50A	5	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	屋内一般　75A	11	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP) 排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	機械室・便所　40A 機械室・便所　50A	3 4	m m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	機械室・便所　75A	17	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	機械室・便所　100A	9	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	地中配管　100A	39	m			
通気・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	屋内一般　50A	3	m			
通気・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	機械室・便所　50A	14	m			
床上掃除口 (防水形)	COB　80A	4	個			
床上掃除口 (防水形)	COB　100A	1	個			
床排水ﾄﾗｯﾌﾟ (防水形)	T 5B　50A	3	個			
間接排水口	80A	1	個			
通気金具(ｶﾞﾗﾘ)	50VA2	1	個			
①ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝 (鋳鉄製防護ふた) (管理棟)	桝径200φ 最大排水管径100φ UTK､UT､UTL　400H　T- 8 蝶番ﾛｯｸ式	1	組			
②ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝 (鋳鉄製防護ふた) (管理棟)	桝径200φ 最大排水管径100φ 90L､45L　442H　T- 8 蝶番ﾛｯｸ式	1	組			
③ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝 (鋳鉄製防護ふた) (管理棟) ④ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝 (鋳鉄製防護ふた) (管理棟)	桝径200φ 最大排水管径100φ 90L､45L　716H　T- 8 蝶番ﾛｯｸ式 桝径200φ 最大排水管径100φ 90Y､45Y､45YS 741H　T- 8 蝶番ﾛｯｸ式	1 1	組 組			
⑤ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝 (鋳鉄製防護ふた) (管理棟)	桝径200φ 最大排水管径100φ 90Y､45Y､45YS 779H　T- 8 蝶番ﾛｯｸ式	1	組			

Ⅰ.管理棟	排水設備					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
⑥ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝 (鋳鉄製防護ふた) (管理棟)	桝径200φ 最大排水管径100φ 90Y、45Y、45YS 755H T-8 蝶番ﾛｯｸ式	1	組			
⑦ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝 (鋳鉄製防護ふた) (管理棟)	桝径200φ 最大排水管径100φ 90Y、45Y、45YS 709H T-8 蝶番ﾛｯｸ式	1	組			
⑧ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝 (鋳鉄製防護ふた) (管理棟)	桝径200φ 最大排水管径100φ 90L、45L 495H T-8 蝶番ﾛｯｸ式	1	組			
⑨ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝 (鋳鉄製防護ふた) (管理棟) 土工事	桝径200φ 最大排水管径100φ 90L、45L 400H T-8 蝶番ﾛｯｸ式 管理棟排水設備	1 1	組 式			
既設桝ｲﾝﾊﾞｰﾄ改修 S-6 ｺﾝｸﾘｰﾄ桝 (管理棟)	750φ	1	ヵ所			
計						

Ⅰ.管理棟	給湯設備					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
GWH-01 湯沸器	連立式ｶﾞｽ瞬間湯沸器 屋外設置型 32号相当*3台(1φ-100V)	1	台			
給湯・銅管	屋内一般　20A(　3/4B)	2	m			
給湯・銅管	屋内一般　25A(1　B)	1	m			
給湯・銅管	屋内一般　32A(1 1/4B)	3	m			
給湯・銅管	屋外架空・暗渠　20A(　3/4B)	12	m			
給湯・銅管	屋外架空・暗渠　32A(1 1/4B)	2	m			
青銅仕切弁	10K(ねじ)　32A	1	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	ﾍﾞﾛｰｽﾞ形　32A	1	個			
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 20A	2	m			
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 25A	1	m			
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 32A	3	m			
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 20A	12	m			
給湯管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 32A	2	m			
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	1.25mm2-　2C ﾋﾟｯﾄ・天井	13	m			
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	1.25mm2-　2C 管内	3	m			
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	1.25mm2-　2C FEP内(PF･CD)	1	m			
厚鋼電線管 (G)	露出配管　16mm	3	m			
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層) ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽSS形 防水(SUS)	隠ぺい・埋込配管 16mm 150×　150×　100	1 1	m 個			
ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ	管理棟 給湯設備	1	式			

Ⅰ.管理棟		給湯設備				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
計						

Ⅰ.管理棟	ガス設備					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ・配管用 炭素鋼鋼管(白)	ねじ接合　屋外架空・暗渠 32A	9	m			
ｶﾞｽ集合装置	(2+2)木立 転倒防止ﾁｪｰﾝ他	1	個			
ｶﾞｽﾒｰﾀｰ	貸与品取付	1	個			
ｶﾞｽ栓	32A	2	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	ﾍﾞﾛｰｽﾞ形　32A	1	個			
計						

Ⅰ.管理棟		移設工				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（給水設備）						
仕切弁 （取外し再取付）	10K(ねじ)　40A	1	個			
弁桝 （取外し再取付）	VC-P	1	組			
給水・耐衝撃性 ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP) （撤去） 土工事	地中配管　40A 管理棟給水配管移設	3 1	m 式			
（排水設備）						
既設桝天端調整 S-5　300φ （管理棟）		1	か所			
既設桝天端調整 S-12　300φ （管理棟）		1	か所			
既設桝天端調整 S-6　ｺﾝｸﾘｰﾄ桝 （管理棟）		1	か所			
計						

Ⅱ.更衣室棟	空気調和設備					
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
(機器設備)						
ACP-11 空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	天井ｶｾｯﾄ型 (1方向) 冷房能力　3.6kW 暖房能力　4.0kW	1	台			
ACP-12 空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝ	天井ｶｾｯﾄ型 (1方向) 冷房能力　3.6kW 暖房能力　4.0kW	1	台			
(配管設備) 冷媒用 断熱材被覆銅管	6.35外径(　1/4B) 液管 厚8mm	13	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管	12.7 外径(　1/2B) ｶﾞｽ管 厚20mm以上	13	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	屋内一般　　25A	1	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	屋内一般　　40A	5	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (ｶﾗｰVP)	屋外架空・暗渠　40A	3	m			
冷媒管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 80A	7	m			
排水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 25A	1	m			
排水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 天井内,ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ内 ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ 40A	5	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 3C 管内	13	m			
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	1.25mm2-　2C ﾋﾟｯﾄ・天井	6	m			
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	1.25mm2-　2C FEP内(PF･CD)	3	m			
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	3	m			
ｽｲｯﾁﾎﾞｯｸｽ	更衣室棟 空調設備	1	式			
計						

Ⅱ.更衣室棟		換気設備				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
(機器設備)						
VF-11 換気扇	天井埋込型換気扇 170m3/h*50Pa	1	台			
VF-12 換気扇	天井埋込型換気扇 180m3/h*50Pa	1	台			
(ダクト設備)						
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ (低圧ﾀﾞｸﾄ)	ｲﾝｻｰﾄ有 150mm	0.6	m			
ﾍﾞﾝﾄｷｬｯﾌﾟ	ｽﾃﾝﾚｽ製　150φ	2	個			
計						

Ⅱ.更衣室棟		移設工				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
（排水設備）						
既設桝天端調整 S-2　300φ （更衣室棟）		1	か所			
計						

Ⅲ. 便所棟　給水設備

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)	地中配管　20A	6	m			
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)	地中配管　30A	1	m			
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)	地中配管　40A	11	m			
青銅仕切弁	10K(ねじ)　20A	1	個			
弁桝	機 械 VC-P(550H)	1	組			
地中埋設標	鉄 製	9	個			
埋設標識ﾃｰﾌﾟ	150幅	19	m			
土工事	ﾄｲﾚ棟給水設備	1	式			
計						

Ⅲ. 便所棟		排水設備				
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	地中配管　　100A	9	m			
①ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝 (ﾄｲﾚ棟)	桝径200φ 最大排水管径100φ 90Y、45Y、45YS 塩ﾋﾞふた付 420H	1	組			
②ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝 (ﾄｲﾚ棟)	桝径200φ 最大排水管径100φ 90L、45L　　塩ﾋﾞふた付 350H	1	組			
土工事 計	ﾄｲﾚ棟排水設備	1	式			

Ⅲ.便所棟		移設工				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（給水設備）						
仕切弁 （取外し再取付）	10K(ねじ)　40A	1	個			
弁桝 （取外し再取付）	VC-P	1	組			
給水・耐衝撃性 ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP) （撤去） 土工事	地中配管　40A ﾄｲﾚ棟給水配管撤去	3 1	m 式			
（排水設備）						
既設桝天端調整 S-10　300φ （ﾄｲﾚ棟）		1	か所			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
仮囲い ﾌｪﾝｽﾊﾞﾘｹｰﾄﾞ	H1800×W1800 運搬費共　4ヶ月	190	m			
仮囲い 成型鋼板	H=2000　4ヶ月 基本料・設置・撤去・修理費共 運搬費共	130	m			
ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ	H1800×W3600 運搬費共 4ヶ月	4	か所			
仮設鉄板敷	t＝22　4ヶ月 設置・撤去・賃料共 運搬費共	314	㎡			
舗装済部養生	鉄板+砂+防災ｼｰﾄ　4ヶ月 基本料・設置・撤去・修理費共 運搬費共	643	㎡			
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転 (油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)	25t吊り　　ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き 賃料 標準	1	日			
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転 (油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)	16t吊り　　ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き 賃料 標準	4	日			
交通誘導警備員B		100	人			
平板載荷試験	50KN以内	3	か所			
VOC検査料	5物質測定 報告書共	7	か所			
計						

(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事

A － 建築意匠		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺(A1)
A-00	図面リスト	NONE
A-01	特記仕様書 (1)	NONE
A-02	特記仕様書 (2)	NONE
A-03	特記仕様書 (3)	NONE
A-04	特記仕様書 (4)	NONE
A-05	特記仕様書 (5)	NONE
A-06	特記仕様書 (6)	NONE
A-07	特記仕様書 (7)	NONE
A-08	メーカーリスト	NONE
A-09	工事区分表	NONE
A-10	付近見取図	1/1000
A-11	敷地求積図	1/600
A-12	全体配置図	1/600
A-13	管理棟 設計概要・仕上表・求積図・平均地盤面算定・室別求積図	1/100
A-14	管理棟 平面図・雑詳細図・屋根伏図	1/5,20,50,100
A-15	管理棟 立面図・断面図	1/50
A-16	管理棟 矩計図・雑詳細図	1/20
A-17	部分詳細図 (1)	1/5,20
A-18	部分詳細図 (2)	1/15,30
A-19	トイレブース参考図	1/2
A-20	管理棟 展開図 (1)	1/50
A-21	管理棟 展開図 (2)	1/50
A-22	管理棟 天井伏図・軽量鉄骨天井下地開口補強	1/10,20,50
A-23	管理棟 建具配置図・建具リスト・LVS算定表・無窓階算定・詳細図	1/5,50
A-24	更衣室棟 平面図・断面図・設計概要・仕上表・求積図・平均地盤面算定・室別求積図	1/50,100
A-25	更衣室棟 立面図・建具リスト・建具配置図・矩計図・屋根伏図・詳細図	1/20,50
A-26	更衣室棟 展開図・天井伏図	1/50
A-27	トイレ棟 平面図・立面図・屋根伏図・仕様書・求積図・平均地盤面算定	1/30,50,100
A-28	トイレ棟 断面詳細図	1/20
A-29	トイレ棟 サイン詳細図・建具表・雑詳細図	1/5,10,30,40
A-30	トイレ棟 展開詳細図	1/20
A-31	(既設)構内雨水排水全体配置図 (建物～放流先)	1/600
A-32	管理棟 現況平面図・外構舗装等施工後平面図	1/100
A-33	更衣室棟 現況平面図・外構舗装等施工後平面図	1/50
A-34	トイレ棟棟 現況平面図・外構舗装等施工後平面図	1/50
A-35	外構詳細図 (1)	1/10,15
A-36	外構詳細図 (2)	1/5,10,20,25
A-37	(参考) 土木施工詳細図(施工済み)	1/10,20
A-38	(参考)仮設計画図	1/600

S － 建築構造		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺(A1)
S-01	管理棟 構造特記仕様書	NONE
S-02	更衣室棟 構造特記仕様書	NONE
S-03	トイレ棟 構造特記仕様書	NONE
S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)	NONE
S-05	鉄骨構造標準図 (1)	NONE
S-06	鉄骨構造標準図 (2)	NONE
S-07	管理棟 基礎伏図	1/50
S-08	管理棟 小屋伏図	1/50
S-09	管理棟 鋼材リスト	1/15
S-10	管理棟 軸組図 (1)	1/50
S-11	管理棟 軸組図 (2)	1/50
S-12	管理棟 基礎詳細図、鉄骨詳細図	1/20,30
S-13	管理棟 部分詳細図	1/5,10
S-14	更衣室棟 基礎伏図、梁伏図、軸組図、基礎詳細図	1/20,50
S-15	更衣室棟 鉄骨詳細図、各詳細図、鋼材リスト	1/30
S-16	トイレ棟 基礎伏図、基礎断面図、各詳細図	1/30,50

E － 電気設備		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺(A1)
E-01	電気設備工事 特記仕様書	NONE
E-02	電気設備工事 メーカーリスト	NONE
E-03	工事区分表	NONE
E-04	全体配置図	1/600
E-05	配置図 (電気設備平面図)	1/600
E-06	管理棟・更衣室棟 凡例	NONE
E-07	管理棟・更衣室棟 電灯分電盤結線図	NONE
E-08	管理棟 幹線動力・トイレ呼出設備平面図	1/50
E-09	管理棟 電灯設備平面図	1/50
E-10	管理棟 コンセント設備平面図	1/50
E-11	更衣室棟 電灯コンセント設備平面図	1/50
E-12	トイレ棟 電気設備図	1/30

M － 機械設備		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺(A1)
M-01	機械設備工事 特記仕様書	NONE
M-02	機械設備工事 メーカーリスト	NONE
M-03	機械設備工事 給排水設備施工要領図	NONE
M-04	機械設備工事 空調関係施工要領図	NONE
M-05	工事区分表	NONE
M-06	全体配置図	1/600
M-07	配置図 (給水平面図)	1/600
M-08	配置図 (汚水排水平面図)	1/600
M-09	管理棟 空調換気設備機器表、系統図	NONE
M-10	管理棟 空調換気ダクト設備平面図	1/50
M-11	管理棟 空調配管設備平面図	1/50
M-12	管理棟 空調配管配線設備平面図	1/50
M-13	管理棟 給排水衛生設備機器表、器具表	NONE
M-14	管理棟 給排水衛生設備平面図	1/50
M-15	更衣室棟 消火・空調換気設備機器表、平面図	1/50
M-16	トイレ棟 給排水衛生設備図	1/30

特記事項

設計者 協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所東京都登録第1319号
一級建築士登録第122018号 鳴谷 廣

課長 / 担当課長 / 係長 / 担当

製作年月日 令和4年 月 日

工事名称 (仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事

図面名称 図面リスト

縮尺 A1:NONE A3:NONE

内 A-00

全葉 83

明石市都市局都市整備室緑化公園課

特　記　仕　様　書

工事概要等

Ⅰ　工事概要

1　工事場所（地名地番）　　明石市魚住町清水地先

2　地域・地区　　第一種中高層住居専用地域・準住居地域、第2種高度地区

3　敷地面積　　53,659.08 ㎡

4　工事内容
- 新築1　管理棟　：軽量鉄骨造平屋建て　延べ面積 121.02 ㎡
- 新築2　更衣室棟：軽量鉄骨造平屋建て　延べ面積 27.32 ㎡
- 新築3　トイレ棟：軽量鉄骨造平屋建て　延べ面積 26.08 ㎡
- 屋外付帯工事
- 上記工事に伴う電気設備、機械設備工事

Ⅱ　建築工事仕様

1　共通仕様

（1）図面及び特記仕様書に記載のない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版」（以下「標仕」という。）による。

（2）電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び機械設備工事に係る仕様は、それぞれの仕様書を適用する。

2　特記仕様

（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と※印が付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の＜　．　．＞内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）使用材料は、再生材、F☆☆☆☆、低VOC材料を選択する（各項共通事項）。

（5）構造特記仕様書が別にある場合は、特記なき限り、構造特記仕様書を優先する（各項共通事項）。

（6）共通仕様及び特記仕様書により難い場合は、監督員の承諾を受けてメーカー仕様とすることができる。

1　各章共通事項

項　目	特　記　事　項
① 適用基準等	※ 建築工事標準詳細図（(社)公共建築協会　最新版） ※ 工事写真の撮り方　建築編（(社)公共建築協会　最新版） ※ 工事写真撮影ガイドブック　建築工事編及び解体工事編（(社)公共建築協会　最新版） ・ 建築鉄骨設計基準及び同解説（建設大臣官房官庁営繕部監修　最新版） ・ 壁式構造配筋指針（日本建築学会） ・ 壁式構造関係設計基準集・同解説（壁式鉄筋コンクリート造編　日本建築学会）
② 工事実績情報サービス（CORINS）への登録	※ 請負代金額が500万円以上の場合、適用する。　＜1.1.4＞
③ 再生資源利用（促進）関係	※ 計画書及び実施書を作成（エクセルデータ可） ※ 建設リサイクル関係法令に基づく通知・届出等の必要がない工事は、データのみ提出
④ 関係法令等の遵守	建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事 ※ 外壁工事　※ 屋根工事　※ 防水工事 ※ 風速Vo=34m/s ※ 積雪区分　H12建告第1455号　別表（　） 地表面粗度区分（・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ）
5　電気保安技術者	※ 配置する　＜1.3.3＞
⑥ 施工条件	※ 工事用車両の駐車場及び資材置き場　＜1.3.5＞ （※ 場内　・ 場外（資料は工事費に含む。）） その他、工事仕様書及び監督職員との協議による。
⑦ 発生材の処理等	・ 発注者に引渡しを要するもの（　　）　＜1.3.11＞ ・ 特別管理産業廃棄物　種類（　　）　処理方法（　　） ⊙ 現場において再利用を図るもの（ 現場発生土　　） ・ 現場において再資源化を図るもの（　　） ・ せっこうボードの処理方法 ・ 製造業者の回収　⊙ 管理型最終処分場　・ その他（　　） ※ PCB含有物については監督員と協議の上、発注者に引き渡すこと。
⑧ 建築材料等	※ 本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、これと同等のものとすることができる。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 また、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料評価名簿（最新版）」から材料を選定した場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認を得ること。
⑨ 特別な材料の工法	※ 標仕に記載のない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。

10　技能士	＜1.5.2＞ 作業の種別 / 技能検定の職種
⑪ 化学物質の濃度測定	測定時期　・ 工事着手前　※ 工事完成時　・ 工事着手前及び完成時　＜1.5.9＞ 測定対象化学物質 ※ ホルムアルデヒド　※ トルエン　※ キシレン　・ パラジクロロベンゼン ※ エチルベンゼン　※ スチレン 測定方法　※ パッシブ採取機器（サンプラー）を使用し、分析機関にて分析 測定対象室（ 受付、会議室、ロビー、更衣室（男女）　）　測定箇所数（ 各室1 ）箇所 室内空気中化学物質の室内空気濃度基準値 ホルムアルデヒド　100μg/m3（0.08ppm）　トルエン　260μg/m3（0.07ppm） キシレン　870μg/m3（0.20ppm）　パラジクロロベンゼン　240μg/m3（0.04ppm） エチルベンゼン　3,800μg/m3（0.88ppm）　スチレン　220μg/m3（0.05ppm） ※ 化学物質濃度が基準値を超えている場合は、工事部分を引渡すことは不可のため、基準値以下になるまで再測定を行うこと。
12　技術検査	品確法に基づく工事施工途中における技術検査（中間技術検査）　⊙ 行う　＜1.6.2＞ 実施回数（　　）回　実施する段階（　　）
⑬ 完成図等	※ 完成図　＜1.7.1～1.7.3＞＜表1.7.1＞ 完成図の作成は、CADデータ修正による。 完成図の種類及び記入内容は設計図同等とし、各図面の右下に「完成図」と明記する。 完成図の様式 ⊙ 二つ折り製本２部（表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、設計者名、受注者名」を記入の上、「完成図」と明記のこと） ※ JWW形式CADデータ ※ PDF形式データ ※ 保全に関する資料　・（　　）部　※ ２部
⑭ 施工図等の取扱い	※ 施工図等の著作権に関する当該建築物に係る使用権は、発注者に委譲する。 施工図の様式 ⊙ 二つ折り製本１部（表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度、工事名称、受注者名」を記入の上、「施工図」と明記のこと）
⑮ 工事写真	工事写真の撮影対象　・（　　）　※ 監督職員と協議　＜1.2.4＞ デジタルカメラ撮影も可（解像度ほか、監督職員と協議） 記録紙　※ マット紙　・ その他（　　） ※ 出来形確認用の完成写真は、工事写真として撮影すること。下記の完成写真と混同しないこと。
⑯ 完成写真	下記のものを監督職員に提出する。 分類・規格 / 撮影箇所数 / 提出部数 / 原板の大きさ(mm) ⊙ カラー ・ 八つ切り版 ・ キャビネ版 ※ 外観４面 ※ 内観各室２面 ※ １ ・ ２ ※ 24×36
	撮影業者　⊙ 建築完成写真撮影の実績のある業者 ・ 建築完成写真撮影の実績は問わない 装丁　⊙ 写真用装飾アルバム（白表紙、金立字） ・ 市販アルバム
⑰ 設備工事との取合い	設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
⑱ 交通誘導員	※ 要（延べ　100　人） 資格要件 ・ 交通誘導員A（１、２級交通誘導警備検定合格者） ※ 交通誘導員B（警備業者の警備員で、上記以外の交通誘導に従事するもの）

2　仮設工事

1　監督職員事務所	監督職員事務所　・ 設置する（　　㎡程度）　＜2.3.1＞ 監督職員事務所の仕上げの程度、備品、設備等　＜2.3.1＞ ※ 仕上げは通常のもので、備品は打合せテーブル、椅子、棚、エアコン等通常の工事監理に必要なものとし、監督職員と協議の上、設置すること。 ・ その他の備品、設備（　　）
② 表示板	※ 設置する（明石市指定様式（900×600））　＜2.3.1＞ （ただし、請負代金1000万円以上かつ契約工期90日以上の工事に限る）
③ 工事用水及び電力	工事用水　構内既存施設　・ 利用不可　⊙ 利用可（⊙ 有償　・ 無償） 工事用電力　構内既存施設　⊙ 利用不可　・ 利用可（・ 有償　・ 無償）
④ 仮設物撤去等	※ 原形に復する

3　土工事

① 埋戻し及び盛土	種別、材料及び工法　＜3.2.3＞＜表3.2.1＞ ・ A種　※ B種　・ C種　・ D種　・ その他（　　）
② 建設発生土の処理	処理方法　・（　　）　※工事現場外に搬出し、適切に処理　＜3.2.5＞
3　山留めの撤去	鋼矢板等の抜き跡の処理　・（　　）　※ 直ちに砂で充填　＜3.3.3＞ 山留め壁等の存置　・ 存置する　・ 撤去する

4　地業工事

1　試験杭	位置　※ 本杭の最初の1本　・ 図示　＜4.2.2＞ 本数及び寸法　※ 図示　＜4.2.2＞
② 杭及び地盤の載荷試験	杭の載荷試験　・ 鉛直載荷試験　・ 水平載荷試験　＜4.2.3＞ 試験杭の載荷荷重　※ 図示　＜4.2.3＞ 地盤の載荷試験（平板載荷試験）　⊙ 適用する　＜4.2.4＞ 載荷試験の位置及び載荷加重　⊙ 図示　＜4.2.4＞ 試験方法及び報告書の記載事項等は、敷地調査共通仕様書（(社)公共建築協会）による。
3　既製コンクリート杭地業	種類、性能、曲げ強度等による区分等　※ 構造図による　＜4.3.3＞ 杭の寸法、継手の箇所数、杭先端部の形状等　※ 構造図による　＜4.3.3＞ 杭の工法　＜4.3.4＞ ・ ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ工法：支持層の位置及び土質　※ 構造図による アースオーガーの支持層への掘削深さ　※ 1.5m以上　・ 構造図による 杭の支持層への根入れ深さ　※ 1.0m以上　・ 構造図による 根固め液及び杭際固定液の管理試験（　　） ・ 特定埋込杭工法：支持層の位置及び土質　※ 構造図による 杭の精度 根入れ長さの精度　※ 構造図による　＜4.3.5＞ 水平方向の位置ずれの精度　＜4.3.5＞ ※ 再計算による（監督職員に確認要）　・ 杭径/4かつ100mm以下 継手　※ アーク溶接継手　・ 無溶接継手（工法等：　　）　＜4.3.6＞ 杭頭の処理　※ 処理しない（切断しない）　・ 処理する　＜4.3.8＞
4　鋼杭地業	鋼杭の材料　※ 構造図による　＜4.4.3＞ 先端部形状及び補強　※構造図による 杭の工法　＜4.4.4＞ ・ 特定埋杭込工法　支持層の位置及び土質　※ 構造図による 杭の精度 根入れ長さの精度　※ 構造図による 水平方向の位置ずれの精度 ※ 再計算による（監督職員に確認要）　・ 杭径/4かつ100mm以下 継手の工法　※ 構造図による　＜4.4.5＞ 杭頭の処理　※ 処理しない（切断しない）　・ 処理する　＜4.4.6＞
5　場所打ちコンクリート杭地業	帯筋の加工及び組立　※ 構造図による　＜4.5.4＞ 鉄筋の最小かぶり厚さ　※ 構造図による　＜4.5.4＞ 鉄筋かごの補強　※ 構造図による　＜4.5.4＞ 組み立てた鉄筋の節ごとの継手　※ 重ね継手　・ 図示　＜4.5.4＞ セメントの種類　※ 高炉セメントB種　・ 図示　＜4.5.4＞ コンクリートの設計基準強度（Fc）　※ 図示　＜4.5.4＞ コンクリートの種別　・ A種　・ B種　＜4.5.4＞＜表4.5.1＞ スランプ（cm）　※ 18　・ 図示　＜4.5.4＞ 構造体強度補正値（S）（N/mm2）　※ 3　・ 図示　＜4.5.4＞ 鋼管部分の材料　※ 図示　＜4.5.4＞ 杭の工法　＜4.5.5＞＜4.5.6＞ ・ ｱｽﾄﾞﾘﾙ工法　・ ﾘﾊﾞｰｽ工法　・ ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ工法 ・ 場所打ち鋼管ｺﾝｸﾘｰﾄ杭工法　・ 拡底杭工法 支持層の位置及び土質　※ 構造図による　＜4.5.5＞ 本杭の支持層への根入れ深さ　※ 構造図による　＜4.5.5＞ 水平方向の位置ずれの精度　＜4.5.5＞ ※ 再計算による（監督職員に確認要）　・ 杭径/4かつ100mm以下 超音波測定器による孔壁確認　・ 行う　＜4.5.5＞
⑥ 砂利、砂、捨コンクリート地業等	砂利地業に使用する砂利　＜4.6.2＞ ⊙ 再生クラッシャラン　・ 切込砂利　・ 切込砕石 砂地業に使用する砂　＜4.6.2＞ ・ ｼﾙﾄ　⊙ 有機物等の混入しない締固めに適した山砂　・ 川砂　・ 砕砂 床下防湿層に使用する材料　＜4.6.2＞ ※ ポリエチレンフィルム（厚さ0.15mm以上）　⊙ 図示 砂利及び砂地業の範囲　※ 図示　＜4.6.3＞ 砂利及び砂地業の厚さ　※ 00　⊙ 図示 捨コンクリートの範囲　※ 図示　＜4.6.4＞ 捨コンクリートの厚さ　※ 50　⊙ 図示 防湿層の適用　⊙ 適用する　・ 適用しない 防湿層の範囲　※ 図示　＜4.6.5＞ 捨コンクリート（呼び強度18）の水セメント比の最大値は適用しない。

特記事項
- 1. 着手前に、各レベルを現地確認し、監督員へ報告の上、着手すること。
- 2. プレファブメーカーとメーカー仕様等の各詳細を確認の上、製作に着手すること。

協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所兵庫県知事登録第13170号
一級建築士登録第172018号　嶋谷 廣宣

課長	係長	係	設計者

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日	工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内 A-01
令和4年　月　日	図面名称	特記仕様書（1）	縮尺 A1:NONE A3:NONE / 全葉 83

5 鉄筋工事

① 鉄筋の種類
鉄筋の種類等　※ 構造図（構造特記仕様書）による　<5.2.1><表5.2.1>

② 溶接金網
鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径　※ □150　6φ　・ □100　6φ　<5.2.2>

③ 加工
90°未満の折曲げの内法直径　<5.3.2><表5.3.1>
※ D16以下：4d以上、D19～25：6d以上、D29～38：8d以上

④ 継手及び定着
呼び径19mm以上の柱、梁の主筋　<5.3.4><5.5.2>
※ ガス圧接　・ 重ね継手　・ 機械式継手　・ 溶接継手
上記以外の鉄筋　※ 重ね継手
継手位置　※ 構造図による
柱、梁の主筋、耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ　（　　）d
定着長さ　※ 構造図による　・ 標仕　表5.3.4による
仕口内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さが、表5.3.4のフックありの定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法　・ 図示
※ 最小かぶり厚さは目地底から算定する。　<5.3.5><表5.3.6>
・耐久上不利な箇所、軽量コンクリートの場合の鉄筋のかぶり厚さは下表による。

施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法(mm)
柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面 軽量コンクリートを使用し、土に接する部分	※ 10

⑤ 各部配筋
※ 各部配筋参考図による　・ 構造図による　<5.3.7>

6 圧接完了後の圧接部の試験
※ 超音波探傷試験　・ 引張試験　<5.4.10>
・ 引張試験の方法等（　　）

6 コンクリート工事

① コンクリートの種類
コンクリートの類別　※ Ⅰ類　・ Ⅱ類　<6.2.1>
気乾単位容積質量による種類　※ 普通コンクリート　・ 軽量コンクリート
建築基準法第37条第２号の規定に基づく国土交通大臣の認定を受けたｺﾝｸﾘｰﾄ　・ 適用する

設計基準強度Fc (N/mm2)	スランプ (cm)	適用箇所
※ 21　・ 24	※ 15　・ 18	基礎、基礎梁、土間スラブ
※ 18	・ 18	柱、梁、スラブ、壁
	※ 15　・ 18	土間コンクリート、無筋コンクリート

② 構造体コンクリートの仕上り
コンクリートの打放し仕上げ　・ A種　⊙ B種　・ C種　<6.2.5><表6.2.4>
コンクリートの仕上りの平たんさ　・ a種　・ b種　・ c種　<表6.2.5>

③ セメントの種類
※ 普通ポルトランドセメント　・ 高炉セメントA種　<6.3.1><表6.3.1>
・ シリカセメントA種　フライアッシュセメントA種
高炉ｾﾒﾝﾄB種及びﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種の適用箇所　※ 図示

④ 骨材の種類
・ フェロニッケルスラグ　・ 銅ｽﾗｸﾞ細骨材　・ 電気炉酸化ｽﾗｸﾞ骨材　・ 再生骨材H
アルカリシリカ反応性による区分　※ A　・ B

⑤ 混和材料
・ 混和剤の種類（ AE減水剤　　）　・ 混和材の種類（　　）

⑥ 構造体強度補正値（S）
・（　　）N/mm2　※ 表6.3.2による

7 打継ぎ
打継ぎの位置　※ 図示　<6.6.4>
打継ぎ目地の寸法　※ 幅20mm以上、深さ10mm以上　・ 図示

8 湿潤養生
・ 普通エコセメントの場合（　　）　<6.7.2>

⑨ 型枠
外部に面するコンクリートの打増し厚さ　・ 20mm　・ 図示
ひび割れ誘発目地の位置、形状及び寸法　・ 図示
せき板の材料　※ 合板（厚さ12mm）　・ 断熱材兼用型枠材　・ MCR工法用シート
スリーブの材料　・ 鋼管　⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管　<6.8.2><表6.8.1>
・ 溶融亜鉛めっき鋼板　・ つば付き鋼管
存置期間　※標仕 表6.8.2及び表6.8.3の圧縮強度かつせき板で中2H、支柱で中1D日以上は存置すること。　<6.8.4>
・ 普通エコセメントの場合（　　）

⑩ 強度試験
※ 構造体コンクリートの強度判定のための圧縮強度試験は、公的機関にて行う。（公的機関には、JABの認定又はJNLAの登録を受けている試験所を含む）　<6.9.3>

11 軽量コンクリート
適用箇所　・ 図示　種別　・ 1種　・ 2種（気乾単位容積質量　t/m3）　<6.10.1>
スランプ（cm）　※ 21　・ 図示　<6.10.2>

12 寒中コンクリート
適用期間　※ 図示　<6.11.1>
構造体強度補正値（S）　※ 表6.3.2による　・ 図示　<表6.3.2><6.11.2>

13 暑中コンクリート
構造体強度補正値（S）（N/mm2）　※ 3　・ 6　<6.12.2>

14 マスコンクリート
適用箇所　※ 図示　<6.13.1>
ｾﾒﾝﾄの種類　・ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・ 中庸熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ　・ 低熱ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ
・ 高炉ｾﾒﾝﾄB種　・ ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種　・ シリカセメント　<6.13.2>
・ 混和剤の種類（　　）　・ 混和材の種類（　　）
スランプ（cm）　※ 15cm　・ 図示　<6.13.2>
構造体強度補正（S）　※表6.13.1による　・（　　）N/mm2　<6.13.2>

15 流動化コンクリート
・ 適用する　<6.15.1>

7 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場
加工能力等　※ 構造特記仕様書による　<7.1.3>

② 施工管理技術者
※ 配置する　<7.1.4>

③ 鋼材
種類、形状及び寸法　※ 構造図による　<7.2.1><表7.2.1>

4 高力ボルト
※ ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ　・ JIS形高力ﾎﾞﾙﾄ　・ 溶融亜鉛めっき高力ﾎﾞﾙﾄ　<7.2.2>
・ 建築基準法に基づく認定を受けた上記以外の高力ボルト（　　）
ねじの呼び（　　）

⑤ 普通ボルト
ボルト及びナットの材料等　※ 標仕　表7.2.3　・ その他（　　）　<7.2.3>
ねじの呼び（　　）

⑥ アンカーボルト
⊙ 構造用（種類　※ SNR400B　⊙ SS400）　<7.2.4>
・ 建方用（種類　・ SNR400B　※ SS400）
公差域クラス及び仕上げの程度　※ 表7.2.3　⊙ 構造図による

7 溶接材料
・ 表7.2.4以外の溶接材料（　　）　<7.2.5>

8 ターンバックル
種類、ねじの呼び等　<7.2.6>
建築用ターンバックルボルトの種類　※ 羽子板ボルト
建築用ターンバックル胴の種類　※ 割枠式

9 床構造用のデッキプレート
材質、形状及び寸法　※ 構造図による　<7.2.7>

10 スタッド
種類等　※ 構造図による　<7.2.8>

11 柱底均しモルタル
※ 構造図による　・ 無収縮モルタル（※ プレミックス　・ 標仕 7.2.9）　<7.2.9>

12 工作図
高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　<7.3.2>
※ 構造図による

13 仮組
※ 実施しない　・ 実施する　<7.3.10>

14 高力ボルト接合
すべり試験　※ 実施しない　・ 実施する　<7.4.2>
試験の方法等（　　）
ナット回転法（JIS形高力ボルト）の回転量（　　）　<7.4.7>
（ボルトの長さがねじの呼びの５倍を超える場合に限る）

15 溶接接合
技能資格者に対する技量付加試験　※ 実施しない　・ 実施する　<7.6.3>
開先の形状　※ 構造図による　<7.6.4>
・ エンドタブの切断　<7.6.7>
切断箇所（　　）　切断範囲（　　）　切断面の仕上げ（　　）
スカラップの形状　※ 構造図による

16 溶接部の試験
※ 構造図による　<7.6.12>

17 デッキプレートの溶接
デッキプレートと鉄骨部材の溶接方法　※ 構造図による　<7.7.8>

18 錆止め塗装
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲　・ 図示　<7.8.2>
上記以外の面の塗装範囲　⊙ 図示
鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面の　<7.8.4>
錆止め塗料の種別　※ A種　・ B種
耐火被覆材が接着する面に塗装する場合の錆止め塗料の種別　・ A種　・ B種　<7.8.4>

19 耐火被覆　<7.9.2><7.9.3>

種類		耐火性能等
・ 耐火材	・ 半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
吹付け	・ 乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ	
・ 耐火板張り		
・ 耐火材巻付け		
・ ﾗｽ張りモルタル塗り		
・ 耐火塗料塗り		

20 アンカーボルトの設置等
⊙ 構造用アンカーボルト及びアンカーフレーム　<7.10.3>
形状並びに寸法　※ 図示
・ 建方用アンカーボルトの保持及び埋め込み工法　<7.10.3><表7.10.1>
・ A種　・ B種
柱底均しモルタルの厚さ　※ 30mm　・ 50mm　・ 図示　<7.10.3>
柱底均しモルタルの工法　※ A種　・ B種　<表7.10.2>

21 軽量形鋼
ボルトの接合方法　※ 普通ボルト接合　・ 図示　<7.11.2>

22 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合
摩擦面の処理方法　※ ブラスト処理　・ りん酸塩処理　<7.12.5>

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成型セメント板

1 建築用コンクリートブロック　<8.2.2>

	種類	ﾓｼﾞｭｰﾙ呼び寸法（mm）	正味厚さ（mm）	ﾓﾙﾀﾙ調合
・ 補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造	（　　）	長さ（　　）	・ 100　・ 120	※ 表8.2.1
・ ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ帳壁及び塀	※ 空洞ﾌﾞﾛｯｸC（16） ・（　　）	高さ（　　）	・ 150　・ 190 ・ 図示	・ 監督職員の承諾 ・ 図示

各部の配筋　※ 図示　<8.2.5><8.3.4>
ﾓﾙﾀﾙ又はコンクリートの充填範囲　※ 図示　<8.2.8><8.3.7>
塀の厚さ　※ 表8.3.1及び下表による　<8.3.2><表8.3.1>

適用箇所		厚さ（mm）
・塀	高さ 2m以下	・120
	高さ 2m超～2.2m以下	・150

2 ALCパネル　<8.4.2>

区分			設計荷重(N/mm2)	厚さ(mm)	幅(mm)	長さ(mm)	耐火性能(時間)
・一般	・平	・外壁用					
		・床用					
		・間仕切壁用					
		・屋根用					
	・意匠	・外壁用					
		・間仕切壁用					
・コーナー	・平	・外壁用					
		・間仕切壁用					
	・意匠	・外壁用					
		・間仕切壁用					

パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材　※ 図示　<8.4.2>
外壁ﾊﾟﾈﾙ構法の種別　・ A種　・ B種　<8.4.3>
外壁ﾊﾟﾈﾙ構法における建築基準法に基づく風圧力に対応した工法　・ 適用する　<8.4.3>
間仕切壁ﾊﾟﾈﾙ構法の種別　・ C種　・ D種　・ E種　<8.4.4>
幅300mm未満のパネルの使用　・ 使用する　<8.4.3>
パネル短辺小口相互の接合部の目地幅（mm）　※ 10～20　・ 図示　<8.4.3>
出隅及び入隅のﾊﾟﾈﾙ接合部並びにﾊﾟﾈﾙと他部材との取合い部の伸縮調整目地幅（mm）
※ 10～20　・ 図示　<8.4.3>
伸縮調整目地に対する耐火目地材の充填　・ 充填する　<8.4.3>

3 押出成形セメント板（ECP）　<8.5.2～8.5.5><表8.5.1～2>

施工箇所	表面形状	厚さ（mm）	工法	耐火性能	開口寸法の限度
・外壁	※ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	※ 50 ・ 図示	・ A種 ・ B種	※ 有（　　） ・ 無 ※ 目地（製造所の仕様）	※ 図示
・間仕切壁	※ フラットパネル ・ デザインパネル ・ タイルベースパネル	※ 50mm ・ 図示	・ B種 ・ C種	※ 有（　　） ・ 無 ※ 目地（製造所の仕様）	※ 図示

建築基準法に基づく風圧力に対応した工法　・ 適用する　<8.5.3>
幅300mm未満のパネルの使用　・ 使用する　<8.5.3>
パネル相互の目地幅（mm）　※ 図示（長辺≧8、短辺≧15）　<8.5.3>
伸縮調整目地幅（mm）　※ 15　・ 図示　<8.5.3>
耐火構造以外の目地及び隙間の処理　※ ﾊﾟﾈﾙ製造所の仕様による　・ 図示　<8.5.3>

9 防水工事

1 アスファルト防水
改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ　※ 表9.2.3～8による　・ 図示　<9.2.2>
部分貼絶縁層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ　※ 表9.2.5～8による　・ 図示
押え金物の材質及び形状寸法　・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製L-30×15×2.0（mm）　※ 図示　<9.2.2>
屋根保護防水断熱工法における断熱材の厚さ　※ 図示　<9.2.2>
屋根露出防水断熱工法における断熱材の種類及び厚さ　※ 図示　<9.2.2>
絶縁ｼｰﾄの材料　・ ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ（厚さ0.15mm以上）　・ ｸﾞﾗｽﾄｰﾝｸﾛｽ（70g/m²程度）
防水層の工法による種別　<表9.2.3～表9.2.9>

工法	種別	工法	種別
屋根保護防水密着工法	・ A-1　・ A-2　・ A-3	屋根露出防水絶縁工法	・ D-1　・ D-2　・ D-3　・ D-4
屋根保護防水密着断熱工法	・ A1-1　・ A1-2　・ A1-3	屋根露出防水絶縁断熱工法	・ D1-1　・ D1-2
屋根保護防水絶縁工法	・ B 1　・ B 2　・ B 3	屋内防水密着工法	・ E-1　・ E-2
屋根保護防水絶縁断熱工法	・ B1-1　・ B1-2　・ B1-3		

立上り部における保護ｺﾝｸﾘｰﾄの工法　・ 図示　<表9.2.3～6>
露出防水における仕上塗料の種類及び使用量　※ ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様による　・ 図示　<表9.2.7～8>
防水層の下地にｱﾙﾀﾙ塗りを適用する箇所　※ 図示　<9.2.4>
屋根露出防水絶縁断熱工法のﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　※ 図示　<9.2.4>
立上り部の保護方法　・ 乾式保護材　・ れんが押え　・ ｺﾝｸﾘｰﾄ押え　・ ﾓﾙﾀﾙ押え　<9.2.5>
屋上排水溝　・ 適用する　<9.2.5>

特記事項
・
・
・
・

監理者 協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所登録番号第13109号
一級建築士登録第122018号　嶋谷 潔

課長　係長　担当者　設計者

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日　令和4年　月　日

工事名称　（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事　内　A-02
図面名称　特記仕様書（2）　縮尺 A1:NONE A3:NONE　全葉　83

9 防水工事

2 改質アスファルトシート防水

改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの種類及び厚さ　※ 表9.3.1～3による　・ 図示　<9.3.2>
粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ及び部分粘着層付改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの種類及び厚さ　<9.3.2>
※ 表9.3.1～3による　・ 図示
押え金物の材質、形状及び寸法　・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ製L-30×15×2.0（mm）　※ 図示　<9.3.2>
断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ　※ 図示　<9.3.2>
防水層の種別　<9.3.3><表9.3.1～表9.3.3>

工法	種別
屋根露出防水密着工法	・ AS-T1　・ AS-T2
屋根露出防水絶縁工法	・ AS-T3　・ AS-T4　・ AS-J1
屋根露出防水絶縁断熱工法	・ ASI-T1　・ ASI-J1

仕上塗料の種類及び使用量　※ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様による　・ 図示　<表9.3.1～3>
屋根露出防水絶縁断熱工法における防湿用ｼｰﾄ　・ 設置する　<表9.3.3>

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの種類及び厚さ　※表9.4.1～3による　・ 図示　<9.4.2>
絶縁用ｼｰﾄの材質　※ 発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ　・ 図示　<9.4.2>
固定金具の材質、形状及び寸法　<9.4.2>
※ 防錆処理鋼板、ｽﾃﾝﾚｽ鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの（厚さ0.4mm以上）　・ 図示
断熱工法（機械的固定工法及び接着工法）に用いる断熱材の種類及び厚さ　※ 図示　<9.4.2>
防水層の種別　<9.4.3><表9.4.1～表9.4.3>

工法	種別
合成高分子系ルーフィングシート防水	・ S-F1　・ S-F2　・ S-M1　・ S-M2　・ S-M3
合成高分子系ルーフィングシート防水（断熱工法）	・ SI-F1　・ SI-F2　・ SI-M1　・ SI-M2
合成高分子系ルーフィングシート防水（屋内保護密着工法）	・ C-01

接着工法における脱気装置の種類及び設置数量　※ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による　・ 図示
S-M2又はSI-M2で立上りが接着工法の場合の立上り面のｼｰﾄ厚さ（mm）　※ 1.5　・ 図示　<表9.4.1～2>
仕上塗料の種類及び使用量　※ ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様による　・ 図示　<表9.4.1～2>
断熱工法における防湿用フィルムの設置　・ 設置する　<表9.4.2>
屋内保護密着工法におけるモルタルの塗厚　※ 図示　<表9.4.3>
接着工法におけるﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地の場合の目地処理　※ 図示　<9.4.4>
S-F1又はSI-F1の場合のﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地の入隅部の増張り　※ 図示　<9.4.4>
機械的固定工法における建築基準法に基づく風圧力に対応した工法　<9.4.4>
※ 適用する（固定金具の引張試験を3箇所行い、計算書作成の上ピッチを決定する）
屋内保護密着工法における保護層の施工　<9.4.4>
平場のﾓﾙﾀﾙ塗り（床塗り）の目地割り及び種類　※ 目地割2㎡程度、最大目地間隔3m、押し目地　・ 図示
立上り部の保護ﾓﾙﾀﾙ塗厚（mm）　※ 7mm以下　・ 図示　<9.4.4>

4 塗膜防水

防水層の種別及び工程　<9.5.3><表9.5.1～表9.5.2>

工法	種別
ウレタンゴム系塗膜防水	・ X-1（絶縁工法）　・ X-2（密着工法）
ゴムアスファルト系塗膜防水	・ Y-1　・ Y-2

仕上塗料の種類及び使用量　※ 主材料の製造所の仕様による　・ 図示　<表9.5.1>
X-1における脱気装置の種類及び設置数量　※ 主材料の製造所の仕様による　・ 図示　<9.5.3>
ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄ系塗膜防水における工程数及び各工程の使用量　※ 主材料製造所の仕様による　・ 図示
保護層の適用（Y-2工法）　・ 適用する　<9.5.3>

5 ケイ酸質系塗布防水

ｹｲ酸質系塗布防水材の適用部位　・ 図示　※ 表9.6.1による　<9.6.1><表9.6.1>
防水層の種別　・ C-UI　・ C-UP　<9.6.3><表9.6.2>
壁及び天井部の防水層下地の仕上げ　※ ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し仕上げ（B種）　・ 図示　<9.6.4>
ｺﾝｸﾘｰﾄの打継ぎ箇所の処理　※ V形にはつり、水洗い清掃後、指定材料を充填　・ 図示　<9.6.4>
標仕の規定以外の下地処理　※ 図示　<9.6.4>

6 防水保証及び施工標識

※ 三者連名防水保証の保証期間　工事完成日の翌日から　※ 10年　・ 5年
※ ｱｸﾘﾙ板（200×150×3.0、ステンレスビス止め、ｴｯﾁﾝｸﾞ文字書き込み）
（工事年度、工事名称、受注者名、施工業者名、メーカー名、施工部位、防水種別、商品（工法）名、保証期間を記入）

⑦ シーリング

<9.7.2>

種類	施工箇所	寸法（幅×深さ）mm
	⊙ 図示　・（　　）	
	・ 図示　・（　　）	
	・ 図示　・（　　）	

2成分形シーリング材のサンプリング　※ 不要　・ 要　<9.7.4>
接着性試験　・ 簡易接着性試験　・ 引張接着性試験　<9.7.4>

10 石工事

1 施工一般

石材の割付　※ 図示　<10.1.3>
粗面仕上げの石材の加工　※ 図示　<10.1.3>
床へのワックスの使用　・ 使用する　<10.1.5>

2 石材

床用石材　※ 2等品　・ 図示　<10.2.1>
その他の石材　※ 1等品　・ 図示　<10.2.1>
石材の形状及び寸法　※ 正方形に近い矩形、1枚の面積0.8㎡以下　・ 図示　<10.2.1>

11 タイル工事

3 取付け金物

石材の仕上げの種類等　<表10.2.1～表10.2.2>

施工箇所	仕上げの種類	石材の種類

テラゾの種石の種類及び大きさ　※ 大理石、1.5～12mm　・ 図示　<10.2.1>
テラゾブロックの形状、仕上げ面による区分及び寸法　※ 図示　<10.2.1>
テラゾタイルの寸法による区分　※ 図示　<10.2.1>
ﾃﾗｿﾞﾌﾞﾛｯｸ及びﾃﾗｿﾞﾀｲﾙの表面仕上げの種類　・ 細磨き　・ 水磨き　・ 本磨き　<10.2.1><表10.2.2>

発金物の材質、形状及び寸法　※ ｽﾃﾝﾚｽ、1－75×75×6（mm）、長さ100又は150mm　・ 図示　<10.2.2>
乾式工法用金物の種類、形状及び寸法　※ 表10.2.4による　・ 図示　<表10.2.4>
乾式工法用金物の方式　・ スライド方式　・ ロッキング方式　<表10.2.4>
特殊部位に使用する引金物、だぼ、かすがい及び受金物
※ 外壁湿式工法及び内壁空積工法用金物に準ずる　・ 図示
特殊部位に使用するﾌｧｽﾅｰの方式　・ ｽﾗｲﾄﾞ方式　・ ﾛｯｷﾝｸﾞ方式　・ 図示　<10.2.2>
吊金物の材質、形状　※ ｽﾃﾝﾚｽ製、径6mm、長さ80mmの加工物　・ 図示　<10.2.2>
化粧吊りﾎﾞﾙﾄの材質、形状　※ ｽﾃﾝﾚｽ製、M10、化粧ﾅｯﾄ付き　・ 図示　<10.2.2>
アンカーの材質、工法　※ 10.2.2(4)による　・ 図示　<10.2.2>
あと施工アンカーの材質、寸法等　※ 図示　<10.2.2>
上記以外の金物の材質、形状及び寸法　<10.2.2>
※ 見本又は証明となる資料等を監督職員に提出　・ 図示

4 その他の材料

取り合いﾓﾙﾀﾙ、既調合目地用ﾓﾙﾀﾙ、石裏面処理材、裏打ち処理材　※ 専門工事業者の指定製品　・ 図示
外壁湿式工法に使用するドレンパイプの材質　※ 図示　<10.2.3>
金物の固定に使用する充填材料　※ 専門工事業者の指定製品　・ 図示　<10.2.3>

5 工法

<10.3.1～10.7.4>

施工箇所	工法	石材厚さ（mm）	石裏面、裏打ち処理の適用	下地ごしらえ	一般目地幅（mm）	伸縮調整目地 位置	伸縮調整目地 目地寸法
	・ 外壁湿式		・ 適用する				
	・ 内壁空積		・ 適用する				
	・ 乾式		・ 適用する				
床及び階段							
特殊部位							

12 木工事

① 一般事項

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置　※ 表11.1.1による　・ 図示　<11.1.3>
伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の寸法　※ 9.7.3による　・ 図示　<11.1.3>
※ 便所等、室内の入隅、建具取合等は、5mm×5mm程度の目地幅とし、吹き抜けの玄関ホール壁等は上記による。

② 材料、工法等

タイルの種別・工法等　<11.2.2～11.4.2>

施工箇所	形状寸法（mm）	種類	工法	釉薬 無釉	釉薬 施釉	役物 有	役物 無	色 標準	色 特注	耐凍害性 適用	耐滑り性 適用
便所床	100×100	内装ﾀｲﾙ	圧着	⊙	・	・	⊙	⊙	・	⊙	・
便所内壁	100×100	内装ﾀｲﾙ	接着	・	⊙	・	⊙	⊙	・	⊙	⊙
外部床	100×100	外装ﾀｲﾙ	圧着	⊙	・	⊙	・	⊙	・	⊙	⊙

※ 標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形品とする。
タイルの試験張り、見本焼き　※ 行わない　・ 行う　<11.2.2><11.3.2>

③ 下地及びタイルごしらえ

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理　<11.2.7><11.3.7>
・ 目荒し工法　・ MCR工法　・ 図示

4 有機系接着剤によるタイル張り

シーリング材の種類　<11.3.4>
打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ材　・ 図示
伸縮調整目地、その他の目地　※変成ｼﾘｺｰﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ　・ 図示

① 一般事項

見え掛り面の表面の仕上げの程度　<12.1.4><表12.1.1～2>
（機械加工）　適用箇所　※ 図示
種別　・ A種　・ B種　・ C種
（手加工）　種別　・ H-A種　※ H-B種（内部造作材）　※ H-C種（下地材）

② 材料

木材の含水率　※ A種　・ B種　・ 図示　<12.2.1><表12.2.1>
木材の規格・樹種等　<12.2.1><12.4.1><12.5.1><12.6.1><12.7.1>

施工箇所	材種・規格	樹種	形状寸法（mm）	等級など（材面の品質）	含水率	保存処理
窓額縁	造作用針葉樹製材 JAS規格品	米栂	図示（テリ：10）	上小節（見掛）	10%以下	

3 防腐・防蟻処理

薬剤の加圧注入の適用部位　※ 図示　<12.3.1>
薬剤の保存処理性能区分　・ K2　・ K3　・ K4　・ 図示　<12.3.1>
表面処理用木材保存剤による処理の適用　・ 適用する　<12.3.1>
塗布する薬剤の種類及び適用部材　※ 図示　<12.3.1>
薬剤塗布の処理方法　※ 12.3.1(4)(b)による　・ 図示　<12.3.1>
薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理　・ 行う　<12.3.1>
合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理　・ 行う　<12.3.1>

4 防虫処理

防虫処理　・ 適用する　<12.3.2>

5 内部間仕切軸壁及び床組

間仕切軸組に用いる木材　※ 杉又は松　・ 図示　<12.4.1>
床組に用いる木材　※ 杉又は松　・ 図示

⑥ 窓、出入口その他

窓、出入口その他に用いる木材　<12.5.1>
※ ひのき（吊元枠、水掛りの下枠及び敷居）　※ その他（松又は杉）　・ 図示

7 床板張り

縁甲板及び上がりがまちに用いる木材　※ ひのき　・ 図示　<12.6.1>

13 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺

板及びコイルの種類　※ 屋根用コイル（JIS G 3322）　・ 図示　<13.2.2>
塗膜の耐久性の種類、めっき付着量、厚さ等　※ 図示　<13.2.2>
下葺材料の種類　<13.2.2>
・ アスファルトルーフィング940
・ 改質ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ下葺材（・ 一般ﾀｲﾌﾟ　・ 複層基材ﾀｲﾌﾟ　・ 粘着層付ﾀｲﾌﾟ）
屋根葺形式　・ 瓦棒葺（心木なし）　・ 立平葺　・ 横葺　・ 図示　<13.2.3>
建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に対応した工法　・ 適用する　<13.2.3>
屋根葺工法　※ 図示　<13.2.3>
雪止め　・ 設ける　<13.2.3>

② 折板葺

折板の形式による区分　※ 重ね形又ははぜ締め形　⊙ 図示　<13.3.2>
折板の材料による区分　※ 鋼板製　⊙ 図示　<13.3.2>
折板の山高、山ﾋﾟｯﾁ及び耐力による区分並びに厚さ　※ 図示　<13.3.2>
折板に使用する材料の材質の種類　※ 図示　<13.3.2><表13.2.1>
タイトフレームに使用する材料の表面処理（屋内の場合）　※ 図示　<13.3.2>
軒先面戸板　⊙ 適用する　<13.3.2>
折板に張る断熱材の種類、厚さ、防火性能等　※ 図示　<13.3.2>
建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に対応した工法　⊙ 適用する　<13.3.3>
折板のけらば納め　⊙ 図示　※ けらば包み　<13.3.3>

3 粘土瓦葺

種類、大きさ、産地等　※ 図示　<13.4.2>
役物瓦の種類　・ 鬼瓦　・ のし瓦　・ 冠瓦　・ 袖瓦　・ 桟瓦　・ 軒瓦　<13.4.2>
雪止め瓦　・ 使用する　<13.4.2>
凍害試験（JIS A 5208）　・ 行う　<13.4.2>
瓦桟木の材質及び寸法　※ 杉、幅21×高さ15（mm）以上　・ 図示　<13.4.2>
棟補強用心材の材質及び寸法　※ 杉、幅40×高さ30（mm）以上　・ 図示　<13.4.2>
棟補強等に使用する金物等の材質、形状、寸法及び留付け方法　※ 図示　<13.4.2>
建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に対応した工法　・ 適用する　<13.4.3>
桟木の留付け工法　※ 図示　<13.4.3>
棟の工法　・ 7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟　・ のし積み棟　<13.4.3>

④ とい

といその他の材種等　<13.5.2><表13.5.1>
・ 配管用鋼管　・ 排水管継手　・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管　・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手
・ ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ　⊙ 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ雨どい　・ 表面処理鋼板　・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板
・ とい緊結用鋼線
とい受金物及び足金物の材種　※ ｽﾃﾝﾚｽ　・ 溶融亜鉛めっき　<13.5.2><表13.5.2>
とい受金物及び足金物の形状　※ 図示　<13.5.2>
とい受金物の取付け間隔　※ 表13.5.2による　⊙ 図示　<13.5.2><表13.5.2>
多雪地域の場合の軒どい取付け間隔（0.5m以下）　・ 適用する　<13.5.2>
鋼管製といの防露巻き　※ 表13.5.4による　・ 図示　<13.5.3><表13.5.4>

14 金属工事

1 ステンレスの表面仕上げ

表面仕上げの種類　※ HL　・ 図示　<14.2.1>

2 ｱﾙﾐﾆｳﾑ及びｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の表面処理

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別　<14.2.2><表14.2.1>
・ AB-1種　・ AB-2種　・ AC-1種　・ AC-2種　・ BA-1種　・ BA-2種
・ BB-1種　・ BB-2種　・ BC-1種　・ BC-2種　・ C種
陽極酸化被膜の着色方法　※ 二次電解着色　・ 図示
陽極酸化被膜の色合等　※ 図示

3 鉄鋼の亜鉛めっき

亜鉛めっきの種別　・ A種　・ B種　・ C種　・ D種　・ E種　・ F種　<14.2.3><表14.2.2>

特記事項
・
・
・
・

監理者 協和コンサルタンツ 級建築士事務所
一級建築士事務所第京都府知事登録第13109号
一級建築士登録第122016号 嶋谷 廣

課長 | 係長 | 係員

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日 令和4年 月 日

工事名称 （仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事
図面名称 特記仕様書（3）
縮尺 A1：NONE A3：NONE
内 A-03
全葉 83

15 左官工事

④ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　※ 19形（屋内）　※ 25形（屋外）　・ 図示　<14.4.2><表14.4.1>
屋外の場合の野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　※ 図示　<14.4.3>
屋外の場合の野縁の間隔　※ 図示　<14.4.3>
ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強　※ 図示　<14.4.4>
天井のふところが1.5m以上の場合の補強方法　・ 図示　※ 14.4.4（8）による
天井下地材における耐震性を考慮した補強　※ 図示　<14.4.4>
屋外の軒、ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強　※ 図示　<14.4.4>

⑤ 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類　※ 表14.5.1による　・ 図示　<14.5.3>
スタッドの高さが5.0mを超える場合のスタッド等の種類　※ 図示　<14.5.4>
出入口及びこれに準ずる開口部の補強　※ 14.5.4(5)による　・ 図示　<14.5.4>

6 金属成形板張り

金属成形板の種別及び表面処理　※ 図示　<14.6.2>
取付け用下地　※ 樺仕14章4節による　・ 図示　<14.6.3>
伸縮調整継手　・ 適用する　<14.6.3>

7 アルミニウム製笠木

部材の種類　・ 250形　・ 300形　・ 350形　<14.7.2><表14.7.1>
笠木本体材料の表面処理の種別　<14.7.2><表14.2.1>
・ AB-1種　・ AB-2種　・ AC-1種　・ AC-2種　・ BA-1種　・ BA-2種
・ BB-1種　・ BB-2種　・ BC-1種　・ BC-2種　・ C種
建築基準法に基づく風圧力及び積雪荷重に対応した工法　・ 適用する　<14.7.3>

8 手すり及びタラップ

手すり材料及びタラップ材料の種別　※ 図示　<14.8.2>
タラップ材料の表面処理の種別　<14.8.3>
※ 表14.2.2C種（亜鉛めっきの場合）　※ 仕上げなし（ｽﾃﾝﾚｽの場合）　・ 図示

① 下地

ラス系下地の種類　（通気工法）・ 二層下地　・ 単層下地　<15.2.4>
（直張り工法）・ ﾗｽﾓﾙﾀﾙ下地　・ ﾗｽｼｰﾄﾓﾙﾀﾙ下地
外張断熱工法で断熱材の外側に胴縁を施工する形式の通気工法　・ 適用する　<15.2.4>
建築基準法に基づく耐力壁、防火構造、準耐火構造等の指定がある場合の仕様　・ 図示
ラス及び補強用平ラス　<15.2.4>
※ ２種波形ラス700（通気工法二層下地の場合）
※ ２種防水紙付きリブラス800（通気工法単層下地の場合）　・ 図示
ラスシート　<15.2.4>
山高、山ピッチ、質量及び溶接ピッチによる区分　※LS4（建築基準法に基づく耐力壁）　・ 図示
ｽﾀｰﾌﾟﾙの形状及び寸法　※ L925TS（ﾘﾌﾞﾗｽの場合）　※ L1010JS（波形ﾗｽの場合）　・ 図示
通気工法二層下地における防水紙の換気口部の措置　※ 本進標仕11.4.3による　・ 図示　<15.2.4>
直張り工法ラスシートモルタル下地のラスシート　<15.2.4>
建築基準法に基づく耐力壁として使用する場合の施工方法　※ 図示
せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ　※ 図示　<15.2.5>
木質系セメント板の種類及び厚さ　※ 図示　<15.2.5>
こまい下地の建築基準法に基づく耐力壁の指定　・ 指定あり　<15.2.6>
木ずり用小幅板の樹種　※ 杉（心去り材）　・（　　）　<15.2.7>

② モルタル塗り

モルタルの材料　⊙ 現場調合材料　・ 既調合材料（　　）　<15.3.2>
既製目地材の形状　・ 図示　<15.3.2>
床の目地の目地割り及び種類　※ 目地割２㎡程度、最大目地間隔3m、押し目地　・ 図示　<15.3.5>
外装ﾀｲﾙ張り下地等の下地ﾓﾙﾀﾙ塗り及び下地調整材塗りの接着力試験　・ 行う　<15.3.5>

③ セルフレベリング材塗り

セルフレベリング材の種類及び品質　・ せっこう系　⊙ セメント系　<15.5.2>

4 仕上塗材仕上げ

薄付け仕上塗材（適用箇所は図示）　<15.5.2><表15.5.1>

呼び名	仕上げの形状	工法
・ 外装薄塗材Si ・ 可とう形外装薄塗材Si	・ 砂壁状　・ ゆず肌状　・ さざ波状	・ 吹付け ・ ﾛｰﾗｰ塗り ・ こて塗り
・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状　・ ゆず肌状　・ 平たん状　・ 凹凸状 ・ ゆず肌状　・ さざ波状　・ 着色骨材砂壁状	
・ 可とう形外装薄塗材E	・ 砂壁状　・ ゆず肌状　・ 平たん状　・ 凹凸状　・ さざ波状	
・ 防水形外装薄塗材E	・ ゆず肌状　・ さざ波形　・ 凹凸状	
・ 外装薄塗材S	・ 砂壁状	
・ 内装薄塗材C ・ 内装薄塗材L	・ 凹凸状　・ 平たん状　・ ゆず肌状　・ さざ波状	
・ 内装薄塗材Si ・ 内装仕上塗材E	・ 砂壁状じゅらく　・ ゆず肌状　・ 平たん状 ・ 凹凸状　・ さざ波状	
・ 内装薄塗材W	・ 京壁状じゅらく　・ ゆず肌状　・ 平たん状　・ 凹凸状	

内装薄塗材及び内装厚塗材で吸放湿性を有する塗材　・ 使用する　<15.6.2>
厚付け仕上塗材（適用箇所は図示）　<15.5.2><表15.5.1>

呼び名	仕上げの形状	工法
・ 外装厚塗材C　・ 外装厚塗材Si　・ 外装厚塗材E ・ 内装厚塗材C　・ 内装厚塗材L　・ 内装厚塗材G ・ 内装仕上塗材Si　・ 内装仕上塗材E	・ 吹放し　・ 凸部処理 ・ 平たん状　・ 凹凸状 ・ ひき起こし　・ かき落とし	・ 吹付け ・ ﾛｰﾗｰ塗り ・ こて塗り

外装厚塗材Si及び外装厚塗材Eの上塗材　※ 図示　<15.6.2><表15.6.1>
セメントスタッコ以外の外装厚塗材Cの上塗材　※ 図示　<15.6.2><表15.6.1>

複層仕上塗材（適用箇所は図示）　<15.5.2><表15.5.1><表15.5.2>

呼び名	仕上げの形状等	工法
・ 複層塗材CE　・ 複層塗材Si ・ 複層塗材E　・ 複層塗材RE ・ 可とう形複層塗材CE ・ 防水形複層塗材CE　・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材RE　・ 防水形複層塗材RS	・ 凸部処理　・ 凹凸模様　・ ゆず肌状 耐候性　※ 耐候形３種　・（　　） 上塗材の種類 溶媒　※ 水系　・ 溶剤系 樹脂　※ ｱｸﾘﾙ系　・ ｳﾚﾀﾝ系 外観　※ つやあり　・ つやなし	・ 吹付け ・ ﾛｰﾗｰ塗り

ALCパネル下地の内壁目地部の形状　※ V形目地付き　・ 図示　<15.6.4>

5 マスチック塗材塗り

種別　・ A種　・ B種　<15.7.2>

6 せっこうプラスター塗り

下塗り及び中塗り材　<15.8.2>
・ 既調合プラスター（下塗り用）　・ 現場調合プラスター（下塗り用）
上塗り材　・ 既調合プラスター（上塗り用）　・ しっくい塗り　<15.8.2>

7 しっくい塗り

木ずり、こまい土壁塗り、せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ以外の下地の適用　・ 適用する　<15.10.1>
既調合しっくいのしっくい塗材の種類等　※ 図示
調合及び各層の塗厚　<15.10.3>
※ 表15.10.1による（木ずり下地の場合）　※ 表15.10.2による（こまい土壁下地の場合）　・ 図示

8 こまい壁塗り

土壁用のり　<15.11.2>
・ ふのり　※ つのまた　・ ぎんなんそう　・ 粉末海藻
砂壁用のり　<15.11.2>
※ ふのり　・ つのまた　・ こんにゃくのり　・ にかわ　・ 合成高分子系混和剤
土物仕上げに用いる色土の種類　※ 図示　<15.11.2>
大津仕上げに用いる色土の種類　※ 図示　<15.11.2>
色砂の種類　※ 図示　<15.11.2>
ト塗りの調合　※ 表15.11.2による　・ 図示　<15.11.3><表15.11.2>
塗厚　※ 表15.11.8による　・ 図示　<15.11.4><表15.11.8>
建築基準法に基づく耐力壁の場合の塗厚　※ 図示
こまい壁の工程種別　※ A種　・ B種　<15.11.5><15.11.9>
上塗りする土物仕上げの工法　<15.11.7>
・ 水ごね土物１工法　・ 水ごね土物２工法　・ のりさし土物工法
・ のりごね工法　・ 砂壁仕上げ工法　・ 切返し仕上げ工法
ちりじゃくり　※ 図示　<15.11.7>
大津仕上げの工法　・ 普通大津仕上げ工法　・ 大津みがき仕上げ工法　<15.11.8>

9 ロックウール吹付け

仕上げ吹付け厚さ　※ 図示　<15.12.3>

16 建具工事

① 共通事項

防火戸の指定　※ 図示　<16.1.3>
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸のﾋｭｰｽﾞ装置、熱感知器又は煙感知器との連動　・ 図示
建具見本の製作　・ 行う（建具番号：　　）　<16.1.4>
特殊な建具の仮組　・ 行う（建具番号：　　）　<16.1.4>
防犯建物部品の適用　・ 適用する　<16.1.6>

② アルミニウム製建具

外部に面する建具　<16.2.2><16.2.4><表16.2.1>

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
⊙ A種	S-4	A-3	W-4	※ 70	※ 図示
・ B種	S-5			・ 100	※ 図示
・ C種	S-6	A-4	W-5	※ 100	※ 図示

防音ドア、防音サッシの遮音性の等級　・ T-1　・ T-2　・ T-3　・ T-4
断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級　・ H-1　・ H-2　・ H-3　・ H-4　・ H-5
耐震ドアの面内変形追随性の等級　・ D-1　・ D-2　・ D-3
防虫網の材質　・ 合成樹脂製　・ ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製　※ ｽﾃﾝﾚｽ製（SUS316）
防虫網（合成樹脂製）の線径及び網目　※ 0.25mm以上、網目16～18ﾒｯｼｭ　⊙ 図示
防虫網の取付方法　⊙ 外部可動式　⊙ 固定式　<16.2.3>
防鳥網　・ 適用する　<16.2.3>
ｱﾙﾐﾆｳﾑの表面処理の種別　・ AR-1種　・ AR-2種　・ AC-1種　・ AC-2種　・ RA-1種　・ RA-2種
・ BB-1種　・ BB-2種　・ BC-1種　・ BC-2種　・ C種　<16.2.4>
アルミニウムの表面処理の色の別　※ 標準色　・ 特注色　<16.2.4>
結露水の処理方法　※ 図示　<16.2.4>
水切り板、ぜん板等　※ 図示　<16.2.5>
木下地における外部に面する内付け建具回りの止水処理　※ 建具の製作所の仕様による

3 樹脂製建具

外部に面する建具　<16.3.2><16.3.4><表16.3.1>

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・ A種	S-4	A-4	W-4	※ 70	※ 図示
・ B種	S-5		W-5	・ 100	※ 図示
・ C種	S-6			※ 100	※ 図示

外部に面する防音ﾄﾞｱｾｯﾄ、防音ｻｯｼの遮音性の種別　・ T-A種　・ T-B種　<表16.3.3>
外部に面する断熱ﾄﾞｱｾｯﾄ、断熱ｻｯｼの断熱性の種別　・ H-A種　・ H-B種　・ H-C種　<表16.3.4>

防虫網の材質　・ 合成樹脂製　・ ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製　※ ｽﾃﾝﾚｽ製（SUS316）
防虫網（合成樹脂製）の線径及び網目　※ 0.25mm以上、網目16～18ﾒｯｼｭ　・ 図示
防虫網の取付方法　・ 外部可動式　・ 固定式　<16.3.3>
防鳥網　・ 適用する　<16.3.3>
ガラスの種類　※ 複層ガラス　・ 図示　<16.3.3>
外部に面する建具のｶﾞﾗｽ溝の寸法、形状等　※ 建具製造所の仕様　・ 図示　<16.3.4>
表面色　※ 標準色　・ 特注色　<16.3.4>
水切り板、腰板等　※ 図示　<16.3.5>
外部に面する内付け建具回りの止水処理　・ 建具製造所の仕様による　<16.3.5>

4 鋼製建具

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄ　・ 適用する　<16.4.2><表16.4.1>
外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級　・ S-4　・ S-5　・ S-6　<16.4.2>
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級　・ T-1　・ T-2　・ T-3　・ T-4
断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級　・ H-1　・ H-2　・ H-3　・ H-4　・ H-5
耐震ドアの面内変形追随性の等級　・ D-1　・ D-2　・ D-3
ｽﾃﾝﾚｽ鋼板の種類　※ SUS304　・ SUS430J1L　・ SUS443J1　・ 図示　<16.4.3>
鋼板類の厚さ　※ 表16.4.2による　・ 図示　<16.4.4><表16.4.2>

5 鋼製軽量建具

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの気密性の等級　・ A-3　<16.5.2>
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級　・ T-1　・ T-2　・ T-3　・ T-4
断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級　・ H-1　・ H-2　・ H-3　・ H-4　・ H-5
耐震ドアの面内変形追随性の等級　・ D-1　・ D-2　・ D-3
鋼板の種類　・ 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯　・ 電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
めっきの付着量　・ Z06　・ F06　・ E24　<16.5.3>
ビニル被覆鋼板の被覆原板の種類　・ SG　・ SE　<16.5.3>
めっきの付着量　・ Z06　・ F06　・ E24　<16.5.3>
カラー鋼板　・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯　・ 溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
・ 電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯　<16.5.3>
防音ドアの遮音性の等級　・ T-1　・ T-2　・ T-3　・ T-4
断熱ドアの断熱性の等級　・ H-1　・ H-2　・ H-3　・ H-4　・ H-5
耐震ドアの面内変形追随性の等級　・ D-1　・ D-2　・ D-3
召合せ、縦小口包み板等の材質　※ 鋼板　・ ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の押出形材
鋼板類の厚さ　・ 図示　※ 表16.4.1による　<16.5.4><表16.4.1>

6 ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット　・ 適用する　<16.6.2>
外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級　・ S-4　・ S-5　・ S-6
防音ドア、防音サッシの遮音性の等級　・ T-1　・ T-2　・ T-3　・ T-4
断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級　・ H-1　・ H-2　・ H-3　・ H-4　・ H-5
耐震ドアの面内変形追随性の等級　・ D-1　・ D-2　・ D-3
ｽﾃﾝﾚｽ鋼板の種類　※ SUS304　・ SUS430J1L　・ SUS443J1　・ 図示　<16.6.3>
表面仕上げ　・ 図示　※ HL　<16.6.4>

⑦ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率　・ A種　※ B種　・ C種　<16.7.2><表16.7.1>
フラッシュ戸に使用する材料　※ 表16.7.2による　⊙ 図示　<16.7.2><表16.7.2>
フラッシュ戸の表面材
・ 普通合板　・ 天然木化粧合板　・ 特殊加工化粧合板（厚さ　mm）
かまち及び鏡板の樹種　※ 図示　<16.7.2>
ふすまの材料の種別　・ Ⅰ型　・ Ⅱ型　<16.7.2><表16.7.3>
ふすま紙の上張りの種類　・ 鳥の子　・ 新鳥の子　・ ビニル紙　<16.7.2>
枠及びくつずりの材料　※ 図示　<16.7.2>
表面材の厚さ　・ 図示　※ 表16.7.6による　<16.7.3><表16.7.6>
見込み寸法　・ 図示　※ 表16.7.7による　<16.7.3><表16.7.7>
ふすまの縁の仕上げ　・ 図示　<16.7.4>

⑧ 建具用金物

既製金物又はこれに準ずる金物で、機能上必要な最低限のもの　<16.8.1>
※ 建具の製造所の仕様による　・ 図示
金物の種類及び見え掛り部の材質　・ 図示　※ 表16.8.1による　<16.8.2>
金属製建具用丁番の枚数及び大きさ　・ 図示　※ 表16.8.2による　<16.8.2>
樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ　・ 図示　※ 表16.8.3による　<16.8.2>
木製建具用丁番の枚数及び大きさ　・ 図示　※ 表16.8.3による　<16.8.2>
木製用建具の戸車及びレール　・ 図示　※ 表16.8.5による　<16.8.2>
握り玉及びﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、押板類、ｸﾚｾﾝﾄ等の取付け位置　※ 図示　<16.8.3>
マスターキー　⊙ 製作する　<16.8.4>

9 自動ドア開閉装置

駆動装置の性能値　・ 図示　※ 表16.9.1による（引き戸用駆動装置の場合）<16.9.2>
引き戸用駆動装置（多機能トイレ出入口に限る）の性能値　<16.9.2><表16.9.2>
・ 図示　※ 表16.9.2による
検出装置の性能　・ 図示　※ 表16.9.3による（引き戸用検出装置の場合）
<16.9.2><表16.9.3>
戸の開閉方式　※ 図示　<16.9.3>
引き戸用検出装置の種類　<16.9.3><表16.9.4>
・ 光線（反射）ｾﾝｻｰ　・ 熱線ｾﾝｻｰ　・ 音波ｾﾝｻｰ　・ 光電ｾﾝｻｰ
・ 電波ｾﾝｻｰ　・ ﾏｯﾄｽｲｯﾁ　・ 押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ　・ 多機能ﾄｲﾚｽｲｯﾁ
凍結防止措置　・ 行う　<16.9.3>

特記事項
・
・
・
・

監理	協和コンサルタンツ　級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第13109号 一級建築士登録第122018号　鳴谷 廣
課長 / 係長 / 係員 / 係員	
明石市都市局都市整備室緑化公園課	
製作年月日	令和4年　月　日
工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事
図面名称	特記仕様書（4）
縮尺	A1:NONE A3:NONE
図番	内　A-04
全葉	83

⑩ 自閉式上吊り引戸装置

装置の性能　・図示　※ 表16.10.1による　<16.10.3><表16.10.1>

11 重量シャッター

シャッターの種類　<16.11.2>
・管理用ｼｬｯﾀｰ　・外壁用防火ｼｬｯﾀｰ　・屋内用防火ｼｬｯﾀｰ　・防煙ｼｬｯﾀｰ
管理用ｼｬｯﾀｰ及び外壁用防火ｼｬｯﾀｰの耐風圧強度　※ 図示　<16.11.2>
開閉方式の種類　※ 上部電動式（手動併用）　・上部手動式　<16.11.2><表16.11.1>
電動ｼｬｯﾀｰの二重ﾁｪｰﾝ、急降下制動装置、急降下停止装置等の設置箇所　※ 図示
電動式ｼｬｯﾀｰの障害物感知装置の設置箇所　※ 図示　<16.11.2>
屋内用防火ｼｬｯﾀｰ又は防煙ｼｬｯﾀｰの危害防止機構の設置箇所　※ 図示　<16.11.2>
（煙感知器連動、熱感知器連動、手動閉鎖装置により閉鎖するものに限る）
外壁用防火ｼｬｯﾀｰ、屋内用防火ｼｬｯﾀｰ、防煙ｼｬｯﾀｰを除くｼｬｯﾀｰのｼｬｯﾀｰｹｰｽ　・設置する
スラット及びシャッターケース用鋼板　<16.11.3>
・溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯　・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯　<16.11.3>
めっき付着量　・図示　※ Z12又はH12　<16.11.3>

12 軽量シャッター

開閉方式　・上部電動式（手動併用）　※ 手動式　<16.12.2>
耐風圧強度　※ 図示　<16.12.2>
保護装置の設置箇所　※ 図示　<16.12.2>
スラットの材質　<16.12.3>

種類	めっき付着量
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯	・図示　・Z06　・F06
・塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯	・図示　・AZ90

スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形　<16.12.4>

13 オーバーヘッドドア

セクション材料による区分　<16.13.2>
※ スチールタイプ　・アルミニウムタイプ　・ファイバーグラスタイプ
耐風圧性能の区分　※ 図示　<16.13.2>
開閉方式による区分　※ バランス式　・チェーン式　・電動式　<16.13.2>
収納形式による区分
・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形　・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形　・ﾊｲﾘﾌﾄ形　・ﾊﾞｰﾁｶﾙ形　<16.13.2>
保護装置（電動式）の設置箇所　※ 図示　<16.13.2>
ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙの使用材料　※ 溶融亜鉛めっき鋼板（Z27）　・ｽﾃﾝﾚｽ鋼板　<16.13.4>

⑭ ガラス

フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類　※ 図示　<16.14.2>
型板ガラスの厚さによる種類　※ 図示　<16.14.2>
網入板ガラス及び線入板ガラス　<16.14.2>
網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類　※ 図示
合わせガラス　<16.14.2>
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類　※ 図示
強化ガラス　<16.14.2>
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類　※ 図示
熱線吸収板ガラス　<16.14.2>
板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類　※ 図示
複層ガラス　<16.14.2>
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性、日射遮蔽性による区分及び乾燥気体の種類　※ 図示
熱線反射ガラス　<16.14.2>
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類並びに日射熱遮へい性及び耐久性による区分　※ 図示
倍強度ガラス　<16.14.2>
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類　※ 図示
ガスケット　<16.14.2>
※ ｸﾞﾚｲｼﾞﾝｸﾞﾁｬﾝﾈﾙ形（枠見込み70mmのｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具に用いる引違い及び片引き障子の場合）・図示
板ガラスをはめ込む溝の大きさ　・図示　※ 建具製造所の仕様　<16.14.3>
熱線反射ガラスの映像調整　・行う　<16.14.4>
ガラスブロックの表面形状、呼び寸法及び厚さ　※ 図示　<16.14.5>
壁用金属枠及び補強材　※ 図示　<16.14.5>
力骨の材質、寸法及び形状　<16.14.5>
・図示　※ ｽﾃﾝﾚｽ鋼（SUS304）、径5.5mmのはしご形状複筋及び単筋
化粧目地ﾓﾙﾀﾙの色　※ 図示　<16.14.5>
シーリング材の種類　※ 図示　<16.14.5>
金属製化粧カバーの材質、寸法及び形状　※ 図示　<16.14.5>
建築基準法に基づく風圧力に対応した工法　・適用する　<16.14.5>
壁用金属枠の留付け間隔（木下地の場合）　※ 図示　<16.14.5>
ガラスブロックの目地幅の寸法　<16.14.5>
・図示
※ 8mm以上15mm以下（平積みの場合）
※ 曲率半径をｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸの幅寸法の10倍以上、外側15mm以下、内側6mm以上
伸縮調整目地の位置　・図示　※ 6m以下ごとに幅10～25mmのものを設置　<16.14.5>
伸縮調整目地の目地部の横力骨の納まり　・図示　※ ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ製造所の仕様　<16.14.5>

17 カーテンウォール工事

1 共通事項

カーテンウォールの諸性能値　※ 図示　<17.1.3>
性能の確認方法及び判定方法　<17.1.3>
※ 資料提出による監督職員の承諾　・図示

2 メタルカーテンウォール

金属系材料の種類　※ 図示
シ　リング材の種類　※ 図示　<17.2.2>
ガラス取付け材の種類　※ 図示　<17.2.2>
構造ガスケットの材質、形状等　※ 図示　<17.2.2>
断熱材の仕様等　※ 図示　<17.2.2>
製品の許容寸法差　・図示　※ 表17.2.1による（ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金鋳物の場合を除く）
製品の見え掛り部分の仕上げ　※ 図示
ガラス溝の寸法、形状等　・図示　※ カーテンウォール製造所の仕様
躯体付け金物の取り付け位置の寸法許容差　・図示　※ 表17.2.2による
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差　・図示　※ 表17.2.3による
構造ガスケットを用いるガラスの取付け方法　※ 図示　<17.2.6>

3 PCカーテンウォール

コンクリートの種類　・普通コンクリート　・軽量コンクリート　<17.3.2>
コンクリートの品質　<17.3.2>
設計基準強度（Fc）　・（　　）N/mm2　※ 30N/mm2
スランプ　・（　　）cm　※ 12cm
気乾単位容積質量　・（　　）t/m3　※ 2.1t/m3超2.5t/m3以下
単位水量の最大値　・（　　）kg/m3　※ 185kg/m3
鉄筋の種類　・（　　）　※ SD295A　<17.3.2>
補強鉄線の径及び網目寸法　※ 図示　<17.3.2>
シーリング材の種類　※ 図示　<17.3.2>
耐火目地材の仕様等　※ 図示　<17.3.2>
断熱材の仕様等　※ 図示　<17.3.2>
先付け材料の仕上げ材（タイル等）、建具枠、ゴンドラ用ガイドレール等　※ 図示　<17.3.2>
製品の見え掛り部の寸法許容差　・図示　※ 表17.3.1による　<17.3.3><表17.3.1>
PCカーテンウォールの仕上げ　※ 図示　<17.3.3>
アンカー溝の寸法及び寸法許容差　※ 図示　<17.3.3>
配筋　※ 図示　・計算書による監督職員の承諾　<17.3.4>
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差　・図示　※ 表17.3.2による　<17.3.5><表17.3.2>
構造ガスケットを用いるガラスの取付け方法　※ 図示　<17.3.6>
耐火被覆　<17.3.7>

部位	種類	材料	工法

18 塗装工事

① 素地ごしらえ

木部の素地ごしらえ　⊙ A種（不透明塗料塗り）　⊙ B種（透明塗料塗り）　<10.2.2>
鉄鋼面の素地ごしらえ　・A種　・B種　※ C種　<18.2.3>
亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ　・A種　・B種　<18.2.4>
ﾓﾙﾀﾙ及びﾌﾟﾗｽﾀｰ面の素地ごしらえ　・A種　※ B種　<18.2.5>
ｺﾝｸﾘｰﾄ面及びALCﾊﾟﾈﾙ面の素地ごしらえ　・A種　※ B種　<18.2.6>
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面の素地ごしらえ　<18.2.7>
せっこうﾎﾞｰﾄﾞの目地工法が継目処理工法の場合　※ A種　・図示
せっこうﾎﾞｰﾄﾞの目地工法が上記以外の工法の場合　※ B種　・図示

② 錆止め塗料塗り

鉄鋼面錆止め塗料の種別（仕上げ塗料がEP-Gに限る）　<18.3.2><表18.3.1>
・A種　※ B種
亜鉛めっき鋼面錆止め塗料の種別（仕上げ塗料がEP-Gを除く）　<18.3.2><表18.3.2>
※ A種　・B種
鉄鋼面錆止め塗料塗り　<18.3.3><表18.3.3>
※ A種（見え掛り）　※ B種（見え隠れ）　・図示
亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗り（仕上げ塗料がEP-Gを除く）　<18.3.3><表18.3.4>
※ A種（鋼製建具等）　※ B種（その他）　・図示

③ 合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り（SOP）

合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類　※ 1種　・図示　<18.4.2>
木部合成樹脂調合ペイント塗り（多孔質広葉樹除く）　<18.4.3><表18.4.1>
※ A種（屋外）　※ B種（屋内）　・図示
鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗り　・A種　※ B種　<18.4.4><表18.4.2>

4 ｸﾘﾔﾗｯｶｰ塗り（CL）

クリヤラッカー塗り　・A種　※ B種　<18.5.2><表18.5.1>

5 ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）

アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り　・A種　※ B種　<18.6.2><表18.6.1>

⑥ 耐候性塗料塗り

鉄鋼面耐候性塗料塗りの上塗り塗料の等級　※ 図示　<18.7.2><表18.7.1>
亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗りの上塗り塗料の等級　※ 図示　<18.7.3><表18.7.2>
ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面耐候性塗料塗り　<18.7.4><表18.7.3>
・A種　・B種　・C種

7 つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（EP-G）

ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等　<18.8.2><表18.8.1>
つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り　・A種　※ B種
屋内の鉄鋼面つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り　・A種　※ B種<18.8.3><表18.8.2>

⑧ 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（EP）

合成樹脂エマルションペイント塗り　・A種　※ B種　<18.9.2><表18.9.1>

9 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り（EP-T）

ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、ﾌﾟﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面等　<18.10.2><表18.10.1>
合成樹脂エマルション模様塗料塗り　・A種　※ B種

⑩ ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り（UC）

ウレタン樹脂ワニス塗り　・A種　※ B種　<18.11.2><表18.11.1>

11 ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り（OS）

オイルステイン塗料の仕様等　※ 図示　<18.12.2><表18.12.1>

12 木材保護塗料塗り（WP）

木材保護塗料塗り　・A種　※ B種　<18.13.2><表18.13.1>

19 内装工事

① ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ、ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ及びｺﾞﾑ床ﾀｲﾙ張り

⊙ ビニル床シート　<19.2.2>
種類の記号　※ FS　・図示
色柄　※ 図示
厚さ（mm）　※ 2.0　・図示
・帯電防止床シート　<19.2.2>
種類、性能、厚さ等　※ 図示
・帯電防止床タイル　<19.2.2>
種類、形状等　※ 図示
⊙ 視覚障害者用床タイル　<19.2.2>
種類、形状等　※ 図示
・耐動荷重性床シート　<19.2.2>
種類、厚さ等　※ 図示
⊙ 防滑性床シート　<19.2.2>
種類、厚さ等　※ 図示
・防滑性床タイル　<19.2.2>
種類、寸法、厚さ等　※ 図示
ビニル幅木の材質の種類　※ 図示　<19.2.2>
ビニル幅木の厚さ及び高さ（mm）　※ 厚さ1.5以上、高さ60　・図示
・ゴム床タイル　<19.2.2>
色柄、種類、厚さ、寸法等　※ 図示
施工重所の下地がｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別　<19.2.2><表19.2.2>
ビニル床シート及びビニル床タイル用接着剤の種別　※ 図示
ゴム床タイル用接着剤の種別　※ 図示
ﾓﾙﾀﾙ塗り下地、ｺﾝｸﾘｰﾄ下地、ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り下地、木下地以外の下地の工法　<19.2.3>
※ 図示
ビニル床シート張りの目地処理工法　・図示　※ 熱溶接工法　<19.2.3>

2 カーペット敷き

織じゅうたんの織り方及びパイルの形状　※ 図示　<19.3.2>
織じゅうたんの色柄　・図示　※ 模様のない無地のもの　<19.3.2><表19.3.1>
織じゅうたんのパイル糸の種類　・A種　・B種　・C種　<19.3.2><表19.3.1>
帯電性　・適用する　<19.3.2>
タフテッドカーペットのパイルの形状及びパイル長　※ 図示　<19.3.2>
帯電性　・適用する　<19.3.2>
ニードルパンチカーペットの厚さ　※ 図示　<19.3.2>
帯電性　・適用する　<19.3.2>
タイルカーペットの種類及び形状　<19.3.2>
※ 第一種のループパイル　・図示
タイルカーペットの寸法及び総厚さ（mm）　<19.3.2>
※ 500角、総厚さ6.5　・図示
下敷き材　※ 第2種第2号（JISL3204）の反毛ﾌｪﾙﾄ（呼び厚さ8mm）　・図示　<19.3.2>
見切り、押え金物の材質、種類及び形状　※ 図示　<19.3.2>
タフテッドカーペットの工法　・グリッパー工法　・全面接着工法　<19.3.3>
織じゅうたん（ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法）の接合方法　<19.3.3>
※ ヒートボンド工法　・丈夫な綿糸、亜麻糸又は合成繊維糸を手縫いで間ぜまにつづり縫い
タイルカーペットの敷き方　<19.3.3>
※ 市松敷き（平場）　※ 模様流し（階段部分）　・図示

3 合成樹脂塗床

弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げの種類　<19.4.3>
※ 平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
エポキシ樹脂系塗床の工法　<19.4.3>
・薄膜流しのべ工法（・平滑　・防滑）
・厚膜流しのべ工法（・平滑　・防滑）
・樹脂モルタル工法（・平滑　・防滑）

特記事項

監理者 協和コンサルタンツ　級建築士事務所
一級建築士事務所東京都知事登録第13109号
一級建築士登録第122018号　梅谷廣

課長　班長　担当

製作年月日 令和4年　月　日

明石市都市局都市整備室緑化公園課

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	A-05
図面名称	特記仕様書（5）	縮尺 A1：NONE A3：NONE	全葉 83

19 内部仕上げ

4 フローリング張り

単層ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞの種類 ・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ１等 ・ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ１等 <19.5.2>
工法（釘留め工法） ・ 根太張り工法 ・ 直張り工法 <19.5.3>
フローリングの樹種 ※ なら ・ 図示 <19.5.4>
複合フローリングの種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 <19.5.4>
工法（接着工法）
フローリングの樹種 ※ なら ・ 図示 <19.5.5>
フロ―リングブロックの樹種、厚さ及び大きさ ※ 図示 <19.5.5>
フローリング裏面の緩衝材の仕様等 ※ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 <19.5.5>
現場塗装仕上げを行う場合の仕様等 ※ 図示 <19.5.6>

5 畳敷き

畳の種別 <19.6.2><表19.6.1>
・A種 ・B種 ・C種 ・D種（・ KT-Ⅰ ・ KT-Ⅱ ・ KT-Ⅲ ・ KT-K ・ KT-N）

⑥ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ及び合板張り

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ、その他のﾎﾞｰﾄﾞ類の種類、厚さ等 ※ 図示 <19.7.2>
普通合板の表板の樹種名、板面の品質、厚さ及び接着の程度 ※ 図示 <19.7.2>
普通合板の防虫処理 ・ 行う <19.7.2>
天然木化粧合板の化粧板の樹種、接着の程度及び厚さ ※ 図示 <19.7.2>
天然木化粧合板の防虫処理 ・ 行う
特殊加工化粧合板の化粧加工の方法、表面性能、接着の程度及び厚さ <19.7.2>
※ 図示
特殊加工化粧合板の防虫処理 ・ 行う <19.7.2>
遮音シール材の種類 <19.7.2>
・ ｱｸﾘﾙ系、ｳﾚﾀﾝ系等のｼｰﾘﾝｸﾞ材 ・ ｼﾞｮｲﾝﾄｺﾝﾊﾟｳﾝﾄﾞ
軽量鉄骨下地、木下地以外の下地 ※ 図示 <19.7.3>
合板類の張付け ・ A種 ※ B種 <19.7.3><表19.7.3>
せっこうボードの目地工法の種類 <19.7.3><表19.7.5>
⊙ 継目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目透し工法
※ 継目処理工法に使用するボードは、ベベルエッジ可

⑦ 壁紙張り

壁紙の種類 ※ 図示 <19.8.2>
壁紙の防火性能 ※ 図示 <19.8.2>
ﾓﾙﾀﾙ面及びﾌﾟﾗｽﾀｰ面の素地ごしらえ ・ A種 ※ B種 <19.8.3>
コンクリート面の素地ごしらえ ・ A種 ※ B種 <19.8.3>
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面及びその他ﾎﾞｰﾄﾞ面の素地ごしらえ ・ A種 ※ B種 <19.8.3>

⑧ 断熱・防露

断熱材の種類及び厚さ ※ 図示 <19.9.2>
断熱材現場発泡工法における断熱材の種類 <19.9.3>
※ A種1又はA種1H ・ 図示
断熱材の吹付け厚さ ※ 図示 <19.9.3>

20 ユニット及びその他の工事

1 フリーアクセスフロア

<20.2.2>

表面仕上材の寸法	ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ高さ（mm）	耐震性能（Ks）	所定加重（N）	帯電防止性能（Ω）	漏えい抵抗
		・ 0.6 ・ 1.0	・3,000 ・5,000	・ ≧1.2 ・ ≧0.6	（ ）Ω （＞1×10 Ω）

試験方法 <20.2.2>
・ 耐荷重性能（mm） ※ 変形5.0以下、残留変形3.0以下 ・ 図示
・ 耐衝撃性能 ※ 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと ・図示
・ ﾛｰﾘﾝｸﾞﾛｰﾄﾞ性能（mm） ※ 残留変形3.0以下 ・ 図示
・ 耐燃焼性能
・ 建築基準法に基づく不燃材料の指定又は認定を受けたもの
・ 燃焼終了後の残炎時間が0秒であること
寸法精度 ・ 図示 <20.2.2>

2 可動間仕切

<20.2.3>

構造形式	構成基材 スﾀｯﾄﾞ	構成基材 ﾊﾟﾈﾙ（ﾄﾞｱ含む）	遮音性（透過損失）	ﾊﾟﾈﾙ表面仕上げ
・ ｽﾀｯﾄﾞ式（内蔵） ・ ｽﾀｯﾄﾞ式（露出） ・ ﾊﾟﾈﾙ式 ・ ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金系 ・ ｽﾁｰﾙ系 ・（ ）	・ 木質系 ・ ｽﾁｰﾙ系 ・ ｶﾞﾗｽ系 ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金系 ・ 樹脂系 ・ せっこう系 ・ ﾍﾟｰﾊﾟｰｺｱ系 ・（ ）	・ 15dB ・ 30dB ・ 36dB以上 ・（ ）dB	※ 図示

パネル内に取り付ける建具寸法及び形状 ・ 図示 <20.2.3>

3 移動間仕切

ﾊﾟﾈﾙ操作方法による種類 ・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式 <20.2.4>
パネル表面材の材質及び仕上げ ※ 図示 <20.2.4>
パネル圧接装置の操作方法 ※ 図示 <20.2.4>
遮音性（透過損失） ・ 36dB未満 ・ 36dB以上 ・ 図示 <20.2.4>
ハンガーレール取付け下地の補強 <20.2.4>
※ 取付け全重量の5倍以上の荷重に対し、耐力及び変形量が使用上支障がないもの ・ 図示
パネルをランナーに取り付ける部品 <20.2.4>
※ ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの ・ 図示 <20.2.4>
ハンガーレール、ランナーの強度 <20.2.4>
※ ﾊﾟﾈﾙ重量の5倍の荷重をﾊﾟﾈﾙ1枚に使用するﾗﾝﾅｰ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
・ 図示
あと施工アンカーを使用する場合の材質、寸法等 ※ 図示 <20.2.4>

④ トイレブース

パネル表面材 ⊙ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板 <20.2.5>
脚部の種類 ※ 幅木タイプ ⊙ 図示 <20.2.5>
ドアエッジの材質 ⊙ 図示 ※ トイレブース製造所の仕様による <20.2.5>

5 階段滑り止め

材種、形状、寸法等 ※ 図示 <20.2.6>
取付け工法 ※ 接着工法 ・埋込み工法 <20.2.6>

6 黒板及びホワイトボード

黒板の区分 ※ 焼付け黒板 ・ 研出し黒板 <20.2.8>
黒板の種類 ・ 鋼製黒板 ・ ほうろう黒板 <20.2.8>
ホワイトボードの仕様等 ※ 図示 <20.2.8>

⑦ 鏡

鏡のガラス厚さ ※ 5mm ・ 図示 <20.2.9>

⑧ 表示

対人衝突防止表示の形状、寸法、材質等 ※ 図示 <20.2.10>
非常用進入口等の表示 ・ 図示 <20.2.10>
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示 <20.2.10>

9 煙突ライニング

煙突用成形ライニング材の適用安全使用温度 ※ 図示 <20.2.11>

⑩ ブラインド

ブラインドの形式 ⊙ 横形 ・ 縦形 <20.2.12>
横形ブラインドの種類 <20.2.12>
※ ｷﾞﾔ式ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ・ ｺｰﾄﾞ式ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ ・ 操作棒式ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ
横形ブラインドの幅、高さ ⊙AW1(1.65*2.47) AW2(0.74×2.47) AW3(1.65*1.545) <20.2.12>
※ ブラインドの下端は、窓枠下端迄とする。
横形ブラインドのスラット幅 ※ 25mm ・ 図示 <20.2.12>
横形ブラインドのスラットの材質 <20.2.12>
※ アルミニウム合金製 ・ 樹脂製 ・ 木製 ・ 図示
横形ブラインドのヘッドボックス及びボトムレールの材種 <20.2.12>
※ 鋼製 ・ アルミニウム合金製 ・ 図示
縦形ブラインドの幅及び高さ ※ 図示 <20.2.12>
縦形ブラインドの開閉方式 ・ 片開き方式 ・ 両開き方式 <20.2.12>
縦形ブラインドの操作方法 ・ １本操作ｺｰﾄﾞ方式 ※ ２本操作ｺｰﾄﾞ方式 <20.2.12>
縦形ブラインドのスラットの仕様 <20.2.12>
・ 焼付け塗装仕上げのｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ 防炎性能の表示がある特殊樹脂加工のｸﾛｽﾑｽﾗｯﾄ
縦形ブラインドのスラットの幅 ※ 図示 <20.2.12>

11 ロールスクリーン

操作方法 ・ ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ式 ・ ｺｰﾄﾞ式（ﾁｪｰﾝ式） ・ 電動式 <20.2.13>
幅及び高さ ※ 図示 <20.2.13>
スクリーンの材種 ・ ガラス繊維製 ・ 合成・天然繊維製 ・ 木製 <20.2.13>
スクリーンの品質 ※ 図示 <20.2.13>
巻取りﾊﾟｲﾌﾟ、ｳｪｲﾄﾊﾞｰ、操作ｺｰﾄﾞ又は操作チェーンその他の材料 <20.2.13>
※ ロールスクリーン製造所の仕様による ・ 図示

⑫ カーテン及びカーテンレール

<20.2.14>

ｼﾝｸﾞﾙ・ﾀﾞﾌﾞﾙの別	形式	開閉操作方式
⊙ ｼﾝｸﾞﾙ ・ ﾀﾞﾌﾞﾙ	⊙ 片引き ・ 引分け	⊙ 手引き ・ ひも引き ・ 電動

カーテン用きれ地の種別、品質、特殊加工等 ※ 図示 <20.2.14>
ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ及びﾌﾟﾗｸﾞﾗｯﾍﾟｯﾄの強さによる区分 ・ 10-60 ※ 10-90 <20.2.14>
レールの材料による区分 <20.2.14>
※ ｱﾙﾐﾆｳﾑ又はｱﾙﾐﾆｳﾑ合金の押出し成型材 ・ 図示
レールの仕上げ ※ アルマイト ・ 図示 <20.2.14>
レールの形状 ※ 角形 ・ C形 ・ D形 ・ I形 ・ H形 <20.2.14>
ひだの種類 <20.2.14>
・ ﾌﾗﾝｽﾋﾀﾞ（三つひだ） ・ 箱ひだ、つまひだ（二つひだ） ⊙ ﾌﾟﾚｰﾝひだ、片ひだ
暗幕用ｶｰﾃﾝの両端、上部及び召合せの重なり ※ 300mm以上 ・ 図示 <20.2.14>

13 プレキャストコンクリート工事

補強鉄線の径及び網目寸法 ※ 図示 <20.3.2>
コンクリートの設計基準強度（Fc） <20.3.3>
※ 水ｾﾒﾝﾄ比55%以下、単位ｾﾒﾝﾄ量の最小値300kg/m3を満たす調合強度 ・ 図示
配筋 ※ 配筋を定めた計算書を提出 ・ 図示 <20.3.3>
取付け方法 ※ 図示 <20.3.4>

14 間知石及びｺﾝｸﾘｰﾄ間知ﾌﾞﾛｯｸ積み

間知石の材種 ・ 花こう岩 ・ 凝灰岩 ・ 安山岩 <20.4.2>
コンクリート間知ブロックの種類 ※ 図示 <20.4.2>
コンクリート間知ブロックの質量区分 <20.4.2>
・ A（350kg以上） ・ B（350kg未満）
間知石の積み方 ・ 布積み ※ 谷積み <20.4.3>
目塗り ・ 行う <20.4.3>
伸縮調整目地の材種、厚さ等 ※ 図示 <20.4.3>

21 排水工事

① 屋外雨水排水

排水管用材料 <21.2.1>

材種	規格名称	種類・記号	呼び径
・ 遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管	・ ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ製品（遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管）	・ 外圧管（１種）	
⊙ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	⊙ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管	⊙ VP ⊙ VU	
	・ ﾘﾌﾞﾗｲﾝ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ三層管	・ RS-VU	
・ 硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手	・ 排水用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手	・ DV	
	・ 屋外排水設備用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管継手	・ VU継手	

※ ｺﾝｸﾘｰﾄ製ﾏﾝﾎｰﾙ及び桝との取付け部には、管の外側に砂付け加工を行った管を使用
排水管の基礎 ※ 図示
側塊の形状及び寸法 ※ 図示 <21.2.1>
排水桝、ふたの種類等 ※ 図示 <21.2.1>
鋼鉄製ふたの名称、種類及び適用荷重 ※ 図示 <21.2.1>
グレーチングの仕様 <21.2.1>

材質	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	ﾎﾞﾙﾄ固定	上面形状
⊙ 鋼製（めっき） ・ ｽﾃﾝﾚｽ製	⊙ 溝ふた ⊙ 桝ふた ⊙ U字側溝 ・ 図示	・ 歩行用 ⊙ T-7 ・ T-6 ・ T-14 ・ T-20 ・ T-25	※ 細目 ・ 普通目 ・ 細目	・ あり	※ 凹凸形 ・ 平形 ・ 凹凸形

現場打ちコンクリートの種類 ※ 普通コンクリート ・ 図示 <21.2.1>
現場打ちコンクリートの設計基準強度 ※ 18N/mm2 ・ 図示 <21.2.1>
現場打ちコンクリートのスランプ ・ 15cm ・18cm ・ 図示 <21.2.1>
現場打ちの場合の鉄筋 ※ SD295A ・ 図示 <21.2.1>
遣上抑制層に用いる材料 ※ 図示 <21.2.1>
砂の粒度試験 ・ 行う <21.2.1>
埋戻しに用いる材料 <表3.2.1><21.2.1>
・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種
現場打ち排水桝の足掛け金物（幅400mm） <21.2.2>
・ 径22mmのSUS製 ・ 径22mmの防錆処置した鋼製 ・ 径10mmの合成樹脂被覆加工品
遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管の基床の厚さ及び種類 ※ 図示 <21.2.2>
硬質ポリ塩化ビニル管の基床の厚さ及び種類 ※ 図示 <21.2.2>
継手の接合材 ※ 接着剤 ・ ゴム輪 <21.2.2>

② 街きょ、縁石及び側溝

縁石及び側溝の種類、形状及びｻｲｽﾞ ※ 図示 <21.3.1><表21.3.1>
砂利地業の厚さ ※ 100mm ⊙ 図示 <21.3.2>

22 舗装工事

1 路床

凍上抑制層の厚さ ・ 図示 <22.2.2>
透水性舗装におけるフィルター層の厚さ ※ 図示 <22.2.2>
路床安定処理の方法 ・ 図示 <22.2.2>
盛土に用いる材料 <22.2.3><表3.2.1>
・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
路床安定処理用添加材料 <22.2.3><表22.2.1>
・ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・ 高炉ｾﾒﾝﾄB種 ・ ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種
・ 生石灰 特号 ・ 生石灰 1号 ・ 消石灰 特号 ・ 消石灰 1号
路床土の支持力比（CBR試験）の適用 ・ 適用する <22.2.5>
路床締固め度の試験の適用 ・ 適用する <22.2.5>
現場CBR試験の適用 ・ 適用する <22.2.5>

2 路盤

路盤の厚さ ※ 図示 <22.3.2>
路盤材料 <22.3.3><表22.3.1>
・ ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ・ 粒度調整砕石 ・ 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ ・ 再生粒度調整砕石
・ ｸﾗｯｼｬﾗﾝ鉄鋼ｽﾗｸﾞ ・ 粒度調整鉄鋼ｽﾗｸﾞ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼ｽﾗｸﾞ
⊙ 切込砕石：再生砕石（RC-40：アスファルト舗装-C、RC-30：ブロック舗装-A）

3 アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 <22.4.2>
舗装の平たん性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・図示 <22.4.2>
再生アスファルトの種類 ・ 60～80 ・ 80～100 <22.4.3><表22.4.1>
ｼｰﾙｺｰﾄ用の乳剤 ・ PK-1 ・ PK-2 <22.4.3>
表層・基層の加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物及び再生加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の種類 <22.4.4><表22.4.4>
・ 密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（13） ・ 細粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（13）
・ 密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（13F） ・ 粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（20）
・ 密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（13F） ・ 粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（20）
⊙ 開粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（13）
アスファルト混合物等の抽出試験の適用 ・ 適用する <22.4.6>

特記事項 ・

建設業許可	協和コンサルタンツ 級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事登録第13105号 一級建築士登録第122018号 鳴谷 廣貴	課長	係長	主任	担当	製作年月日 令和4年 月 日	工事名称 (仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事 / 内 A-00
	明石市都市局都市整備室緑化公園課						図面名称 特記仕様書（6） 縮尺 A1:NONE A3:NONE / 全葉 83

4 コンクリート舗装

コンクリート舗装の構成　※ 図示　<22.5.2>
コンクリート舗装の厚さ　・ 図示　※ 70mm（歩行者用通路の場合）　<22.5.2>
寒冷地の縁部立下り寸法等　※ 図示　<22.5.2>
コンクリートの種類　・ 図示　※ 普通コンクリート　<22.5.3>
<22.5.3><表22.5.1>

部位	設計基準強度 (N/mm2)	スランプ（cm）	細骨材の最大寸法（mm） 砂利	細骨材の最大寸法（mm） 砕石
車路及び駐車場	※ 24 ・（　　）	※ 8 ・（　　）	・ 25 ・ 40 ・（　　）	・ 20 ・ 25 ・（　　）
歩行者用通路	※ 18 ・（　　）		※ 25 ・（　　）	※ 20 ・（　　）

早強ポルトランドセメント　・ 使用する　<22.5.3>
加熱施工式注入目地材の種別　※ 低弾性タイプ　・ 高弾性タイプ　<22.5.3>
コンクリート舗装の目地　<22.5.4><表22.5.3>

部位		目地の種類	目地間隔
駐車場	縦方向	※ 突合せ目地 ・ 図示	※ 5m程度ごと ・ 図示
	横方向	※ 収縮目地 ・ 図示	※ 3m程度ごと ・ 図示
車路及び歩行者用通路	縦方向	※ 突合せ目地 ・ 図示	※ 3m程度ごと ・ 図示
	横方向	※ 収縮目地 ・ 図示	※ 4m程度ごと ・ 図示
舗装内の桝の周囲		※ 伸縮調整目地 ・ 図示	
建築物、構造物との取合い		※ 伸縮調整目地 ・ 図示	

目地の構造　※ 図22.5.1による　・ 図示　<22.5.4><図22.5.1>

5 カラー舗装

カラー舗装の種類　・ 加熱系　・ 常温系　<22.6.2>
加熱系カラー舗装の構成及び厚さ　※ 図示　<22.6.2>
表層に使用する加熱系混合物の結合材　<22.6.2>
・ アスファルト混合物　・ 石油樹脂系混合物
常温系カラー舗装の工法　・ ニート工法　・ 塗布工法　<22.6.2>
着色部の下部　・ アスファルト舗装　・ コンクリート舗装　<22.6.2>
加熱系混合物に使用する材料　・ 着色骨材　・ 白然石　<22.6.3>
顔料の添加量（加熱系混合物の結合材に石油樹脂を使用する場合）　・ 図示　<22.6.4>
ニート工法及び塗布工法の配合その他　※ 図示　<22.6.4>
加熱系混合物の抽出試験　・ 行う　<22.6.6>

⑥ 透水性アスファルト舗装

舗装の構成　※ 図示　<22.7.2>
舗装の平たん性　・ 図示　※ 著しい不陸がないもの　<22.7.2>
開粒度アスファルト混合物の抽出試験　・ 行う　<22.7.6>

⑦ ブロック系舗装

コンクリート平板舗装の目地材　※ 砂　・ モルタル　<22.8.2>
舗石舗装の基層　・アスファルト混合物　・コンクリート版　<22.8.2>
基層の厚さ　<22.0.2>
※ 50mm（ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の場合）　※ 70mm（ｺﾝｸﾘｰﾄ版の場合）　⊙ 図示
ｺﾝｸﾘｰﾄ平板舗装及び舗石舗装のｸｯｼｮﾝ材　※ 砂　・ 空練りﾓﾙﾀﾙ　<22.8.2>
仕上り面の平たん性　<22.8.2>
※ ｺﾝｸﾘｰﾄ平板間、ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ間、舗石間の段差3mm以内　・ 図示
コンクリート平板の種類及び寸法　※ 図示　<22.8.3>
コンクリート平板の厚さ　※ 60mm　・ 図示　<22.8.3>
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの種類、形状、寸法及び表面加工等　※ 図示　<22.8.3>
ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸの厚さ（mm）及び曲げ強度（N/mm2）　<22.8.3>
※ 厚さ80、曲げ強度5.0（車路）
※ 厚さ60、曲げ強度3.0（歩行者用通路）
⊙ 図示
舗石に用いる石材の種類、形状、寸法及び厚さ　※ 図示　<22.8.3>

8 砂利敷き

砂利敷きの種別　<22.9.2><表22.9.1>
※ A種（通路）　※ B種（建物周囲その他）　・ 図示

23 植栽及び屋上緑化工事

1 共通事項

土壌の水素イオン濃度指数（pH）、電気伝導度（EC）等の試験　・ 行う　<23.1.3>

2 植栽基盤

植栽基盤の整備　・ 適用する　<23.2.2>
有効土層として整備する面積　※ 図示　<23.2.2>
有効土層として整備する厚さ　※ 表23.2.1による　・ 図示　<23.2.2>

植栽基盤に浸透した雨水排水のための暗きょ、開きょ、排水層、縦穴排水等の設置　・ 図示　<23.2.2>
植栽基盤の整備工法の種別　<23.2.2><表23.2.2>
※ A種（樹木）　※ B種（芝及び地被類）　・ 図示
土壌改良材　・ 適用する　<23.2.2>
土壌改良材の種類　※ 図示　<23.2.3>
植込み用土　・ 客土　・ 現場発生土の良質土　<23.2.3>
発生土の処理　※ 工事現場外に搬出し、適切に処理　・ 図示　<23.2.4>

3 植樹

樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みものの適用　・ 適用する　<23.3.2>
樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みものの数量　・ 図示　<23.3.2>
支柱材の種類　※ 丸太　・ 図示　<23.3.2>
丸太の防腐処理方法　※ 加圧式防腐処理丸太材を使用　・ 図示　<23.3.2>
幹巻き用材料　※ 幹巻き用テープ　・ わら　・ こも　<23.3.2>
支柱　・ 添え柱形　・ 鳥居形　・ ハッ掛け形　・ 布掛け形　<23.3.3>
・ ワイヤ掛け形　・ 地下埋設形
新植植樹の枯れ補償期間　・ 図示　※ 引渡しの日から1年　<23.3.4>
移植樹木の枯損処置を行う期間　・ 図示　※ 引渡しの日から1年　<23.3.6>

4 芝張り、吹付けは種及び地被類

芝の種類　※ コウライシバの類　・ ノシバの類　<23.4.2>
吹付けは種用種子の種類　※ 洋芝類　・ 図示　<23.4.2>
吹付けは種用種子の量　※ 図示　<23.4.2>
地被類の種類、芽立数、径及び単位面積当たりの株数　※ 図示　<23.4.2>
芝張りの工法　※ 目地張り（平地）　※ べた張り（法面）　・ 図示　<23.4.3>
枯損した芝及び地被類の処置　※ 23.3.4に準ずる　<23.3.4><23.4.7>

5 屋上緑化

土壌層の厚さ　※ 図示　<23.5.2>
排水層の種類　・ 軽量骨材　・ 透水排水管　・ 板状成形品　<23.5.3>
土壌層の植込み用土の種類　・ 人工軽量土　※ 改良土　<23.5.3>
樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数並びに刈込みものの数量　・ 図示　<23.5.3>
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※ 図示　<23.5.3>
「屋根ふき材及び壁外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」に基づく風圧力に対応した工法　・ 適用する　<23.5.4>
支柱の設置及び形式　※ 図示　<23.5.4>
かん水装置の設置及び種類　※ 図示　<23.5.4>

24 解体工事

1 一般事項

受注者は、解体工事に先立ち近隣住民に対して十分な説明を行うと共に、苦情等が発生した場合には、誠意をもって対応すること。
受注者は、誤って工事現場内に第三者が立ち入らないよう十分に注意すること。
解体工事に係る重機及び仮設材の搬出入については、監督職員と事前に打合せを行うこと。
作業時間は原則として午前8時30分から午後5時までとし、日曜・祝日は作業しないこととするが、詳細については関係各所と打合せの上、決定すること。
解体工事に先立ち、工事範囲外の建物（近隣も含む）及び監督職員が指示するものについては、着工前に現況写真撮影等による事前調査を行い、工事施工に起因して破損、汚染等が生じた場合は、原則として受注者の責任において速やかに原状復旧を行うこと。
地中埋設物（埋設管等を含む）の事前調査を行い、必要な諸手続きを延滞なく行うとともに安全管理に万全の処置を講ずること。なお、不審な点があれば監督職員に報告の上、監督職員の指示に従うこと。
設計図に記載の寸法と現地測量との間に大幅な差異がある場合は、監督職員にその旨を報告の上、協議すること。

2 共通事項

解体工事に伴い発生する建設副産物の処分は、「建築工事に係る資材の再資源化等に関する法律」のほか、関連法規に従い適正に搬出処分を行うこと。
建設副産物は中間処理を行い、再生利用、減量化等を図るよう努めること。
塵埃防止として、場内に加圧ポンプ付散水栓を設置し、適宜散水すること。なお、上階散水が必要な場合は、揚水ポンプの使用も併せて考慮すること。
枠組足場による防音パネル（鋼製、アルミ製）又は防音シートを設置する場合は、設計図書で定められた位置及び高さまで設置すること。
原則として、足場控えは建築物の柱・梁に堅固に緊結し、強風時の転倒防止を図るとともに随時取り外しが可能になるよう配慮すること。
全ての建設副産物は、処分地が指定する寸法以下に破砕し、受注者の責任において所定の手続きの上、速やかに搬出処分すること。
埋戻し及び整地の状態は、監督職員の指示に従うこと。また、埋戻しには良質土を使用し、ランマー類で十分締め固めを行うこと。なお、転圧はその土質、使用機器等に応じ、締固めに適した含水状態で行うこと。
建設副産物の搬出走行中は、積載物が落下しないよう十分な養生・保護をするとともに、安全運転に留意すること。
門、塀、池等の撤去に当たっては、個々にその規模、構造等を確認すること。また、これらの撤去については、基礎部分を含めて完全に撤去すること。なお、これらを撤去することにより、隣接地に影響を及ぼす可能性がある場合は、監督職員と協議すること。
建設副産物の処分については、建設廃棄物等（変更）処理計画書により速やかに場外搬出処分すること。ただし、特定建設資材については、再資源化施設に搬出すること。
建設副産物は現場において分別し、処理・再生利用に応じた搬出処分を基本とすること。なお、コンクリート躯体解体前に、内部造作、既存備品、ガラス、アルミサッシ枠等を解体、分別、収集すること。
地上部（上屋）の解体完了後、順次掘削しながら地中梁、基礎の解体撤去を行うこと。
なお、近隣への振動等の影響を考慮の上、解体部分の順序を計画すること。
鉄筋コンクリート造の建築物の解体用重機は、油圧式圧搾機の性能を有するものとし、解体は安全で能率的な作業方法により順次解体すること。なお、圧搾機の使用不可能な場所については、監督職員と打合せの上、適切な機械（道具）を用いること。
鉄骨、鉄筋の切断については、切断方法を含め監督職員と事前に十分協議すること。
解体撤去用の外部足場により発生する可能性がある電波障害について十分配慮すること。
排水施設の撤去については、経路等を調査の上、既存法面、周辺隣接地に影響を及ぼさないよう撤去計画を立てること。
会所及び排水管は全て掘り起こし、完全に撤去すること。なお、既存排水施設等との取合いがある場合は、適切に補修すること。また、既存のまま存置する会所、排水管、雨水側溝等は清掃し、排水機能を確保すること。
原則として、樹木等の撤去は根株を含めて掘り起こし、場外搬出処分とすること。また、移植する場合は、監督職員の指示する位置に移植すること。
除却工事の施工者は、「建築物除却届（建築基準法第15条第1項）」を兵庫県知事に届け出ること（明石市の所管課へ提出）。
特別管理産業廃棄物については、関係法令、都道府県の条例の厳守、関係官公署への手続を速やかに行うとともに、適正に処理すること。

特記事項　・

設計者	協和コンサルタンツ　級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事登録第13109号 一級建築士登録第122018号　嶋 谷 実	課長	係長	担当	製作年月日 令和4年　月　日
明石市都市局都市整備室緑化公園課					

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	A-07
図面名称	特記仕様書（7）	縮尺	A1：NONE A3：NONE
		全葉	83

建築工事メーカーリスト

※建築工事の使用材料及び施工については、本メーカーリストの中より選択することを原則とし、記載がないものについては、監督員の承諾を得るものとする。（参考：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・社団法人「公共建築協会」発行　建築材料等評価名簿）

	名称・品名		会　社　名
防水工事	アスファルト 及び 改質アスファルトシート		・七王工業㈱　・日新工業㈱　・田島ルーフィング㈱　・東亜工業㈱　・昭石化工㈱　・㈱ＡＲセンター
	合成高分子ルーフィング	加硫ゴム系 ルーフィングシート	・三ツ星ベルト㈱　・シバタ工業㈱　・田島ルーフィング㈱　・日新工業㈱　・ニッタ化工品㈱　・アサヒゴム㈱
		塩化ビニル樹脂系 ルーフィングシート	・アーキヤマデ㈱　・ロンシール工業㈱　・田島ルーフィング㈱　・日新工業㈱　・早川ゴム㈱
	塗膜防水（塗布）	ウレタンゴム系	・保土谷建材㈱　・ニッタ化工品㈱　・三ツ星ベルト㈱　・AGCポリマー建材㈱
		ゴムアスファルト系	・成瀬化学工業　・日新工業㈱　・田島ルーフィング㈱　・東亜工業㈱　・㈱ウォータイト
		ケイ酸質系 及び ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ系・EVA系	・大関化学工業㈱　・昭和電工建材㈱　・大日化成㈱　・ユニオン建材工業㈱
	シーリング		・コニシ㈱　・セメダイン㈱　・サンスター技研㈱　・日本シーカ㈱　・横浜ゴム㈱
	※各防水種別でリストになくても、メインとなる防水工法のメーカーにその種別の防水の取り扱いがあれば使用可とする。		
石工事	石		・関ヶ原石材㈱　・矢橋大理石㈱　・神戸大理石工業㈱　・㈱池西石材
	人工大理石		・㈱アドヴァン　・㈱エービーシー商会　・アイカ工業㈱　・㈱シブタニ
タイル工事	タイル		・㈱ＬＩＸＩＬ　・㈱ダントー　・ＫＹタイル㈱　・ＴＯＴＯ㈱　・ニッタイ工業㈱
木工事	兵庫県産木材		・兵庫県木材業協同組合連合会（兵庫県木連県産木材供給部会）会員メーカーによる。
屋根・樋工事	金属板		・ＪＦＥ鋼板㈱　・㈱淀川製鋼所　・日鉄住金鋼板㈱　・元旦ビューティー工業㈱　・三晃金属工業㈱
	シングル		・田島ルーフィング㈱　・日新工業㈱
	塩化ビニル製樋		・ケイミュー㈱　・三菱ケミカルインフラテック㈱　・タキロンシーアイ㈱　・積水化学工業㈱
金属工事	アルミ笠木 ＥＸＰ．Ｊカバー		・㈱エービーシー商会　・理研軽金属工業㈱　・三協立山㈱　・㈱パラキャップ社　・カネソウ㈱
	天井・床点検口		・ナカ工業㈱　・理研軽金属工業㈱　・㈱ダイケン
	グレーチング ステンレス金物 排水金物等		・カネソウ㈱　・㈱ニムラ　・福西鋳物㈱　・㈱中部コーポレーション
	建築金物 （手摺・ﾉﾝｽﾃｯﾌﾟ） （見切金物等）		・ナカ工業㈱　・ワイエム工業㈱　・ケージーバルテック㈱　・㈱シンドウ工業 ・杉田エース㈱　・㈱ナスタ　・㈱ダイケン　・神栄ホームクリエイト㈱(旧新協和)　・㈱アシスト
建具工事	シャッター オーバーヘッドドア		・文化シャッター㈱　・三和シャッター工業㈱　・東洋シャッター㈱　・金剛産業㈱
	自動ドア開閉駆動装置		・ナブテスコ㈱　・扶桑電気工業㈱
	鍵		・㈱ゴール　・美和ロック㈱
	ハンガードア		・文化シャッター㈱　・三和シャッター工業㈱　・㈱くろがね工作所　・小松ウォール工業㈱　・コマニー㈱
	スライディングウォール		・㈱ニチベイ　・立川ブラインド工業㈱　・コマニー㈱　・小松ウォール工業㈱
	トイレブース		・コマニー㈱　・小松ウォール工業㈱　・信越ファインテック㈱　・三和シャッター工業㈱　・文化シャッター㈱
	ガラス ガラスブロック		・ＡＧＣ㈱　・セントラル硝子㈱　・日本板硝子㈱ ・日本電気硝子㈱（電気硝子建材㈱）
	スクールパーテーション （鋼製軽量建具）		・コマニー㈱　・文化シャッター㈱　・三和シャッター工業㈱　・小松ウォール工業㈱
	防煙垂壁		・ＡＧＣ㈱　・セントラル硝子㈱　・日本板硝子㈱　・㈱ミヨシ　・三和シャッター工業㈱　・文化シャッター㈱

	名称・品名	会　社　名
塗装工事	一般塗装	・関西ペイント㈱　・日本ペイント㈱　・大日本塗料㈱　・ロックペイント㈱　・㈱トウペ　・大同塗料㈱　・神東塗料㈱　・大谷塗料㈱
	吹付塗装	・菊水化学工業㈱　・エスケー化研㈱　・ＡＧＣコーテック㈱　・関西ペイント㈱　・日本ペイント㈱ ・神東塗料㈱　・大日本塗料㈱　・㈱ハマキャスト(天然石調)
内外装工事	フローリング	・大建工業㈱　・朝日ウッドテック㈱　・㈱ウッドワン　・天龍木材㈱　・永大産業㈱　※県産木材の指定があれば木工事の項による。
	ビニル床タイル	・東リ㈱　・田島ルーフィング㈱　・ロンシール工業㈱　・㈱エービーシー商会　・㈱サンゲツ
	ビニル床シート	・東リ㈱　・田島ルーフィング㈱　・ロンシール工業㈱　・㈱エービーシー商会　・タキロンシーアイ㈱　・㈱サンゲツ
	カーペット	・東リ㈱　・田島ルーフィング㈱　・ロンシール工業㈱　・㈱サンゲツ　・㈱スミノエ　・アスワン㈱
	クロス	・リリカラ㈱　・㈱サンゲツ　・㈱シンコール　・東リ㈱　・㈱スミノエ
	メラミン不燃化粧板(抗菌)	・アイカ工業㈱　・イビケン㈱　・日本デコラックス㈱
	岩綿吸音板	・大建工業㈱　・東洋テックス㈱　・吉野石膏㈱
ユニット及び その他の工事	カーテン・舞台幕	・㈱スミノエ　・アスワン㈱　・㈱川島織物セルコン　・㈱シンコール　・東リ㈱　・㈱サンゲツ
	流し台	・ナスラック㈱　・㈱ＬＩＸＩＬ　・タカラスタンダード㈱　・㈱トーヨーキッチンスタイル
	シャワーユニット	・ＴＯＴＯ㈱　・㈱ＬＩＸＩＬ　・パナソニック㈱　・日ポリ化工㈱
	教育施設用家具	・㈱西尾家具工芸社　・㈱内田洋行
	ブラインド	・立川ブラインド工業㈱　・㈱ニチベイ　・トーソー㈱
	舞台装置	・㈱博電舎　・㈱シネマ工房　・㈱オーエス　・日本スクリーン㈱
	屋内運動場椅子収納台車	・フジタス工業㈱　・㈱丸橋鉄工(代理店㈱カンサイ)　・セノー㈱
	体育器具	・セノー㈱　・㈱小川長春館　・㈱ニシオカ　・日本体器㈱
屋外附帯工事	フェンス	・ＪＦＣ建材㈱　・朝日スチール工業㈱　・日鉄建材㈱
	防球ネット	・塚本商事機械㈱　・朝日スチール工業㈱　・㈱アメノ　・㈱センターサービス
外壁改修工事	外壁改修【施工】	・㈱コンステック　・菊水化学工業㈱　・ショーボンド建設㈱　・大成工材㈱　・㈱伏見工業
	ピンネット工法【施工】	・コニン㈱（ﾎﾞﾝﾄﾞｶｰﾎﾟﾋﾟﾝﾈｯﾄ）　・㈱リノテック（ﾈｯﾄﾊﾟﾘﾔｰ）　・全日本外壁ﾋﾟﾝﾈｯﾄ工事業協同組合（ﾀｷﾓﾙﾋﾟﾝﾈｯﾄ）　※第三者賠償責任保険付
	ｱｽﾍﾞｽﾄ含有塗材等除去工法【施工】	・ダイオーテック㈱（ﾊﾞｷｭｰﾑﾌﾞﾗｽﾄ）　・㈱マルホウ（ｳｫｰﾀｰｸﾘｰﾝ）　・㈱アシレ（ﾊﾞｷｭｰﾑｳｫｰﾀｰｼﾞｪｯﾄ）　※集塵装置付除去工法
プレファブ工事	管理棟・更衣室棟	・日成ビルド工業㈱　・㈱システムハウスR&C　・姫路ハウスサービス㈱　・三協フロンテア㈱　・大和リース㈱
	トイレ棟	・㈱クラフト　・㈱アークノハコ　・㈱都市造形　・トーヨーマテラン㈱　・日野興業㈱

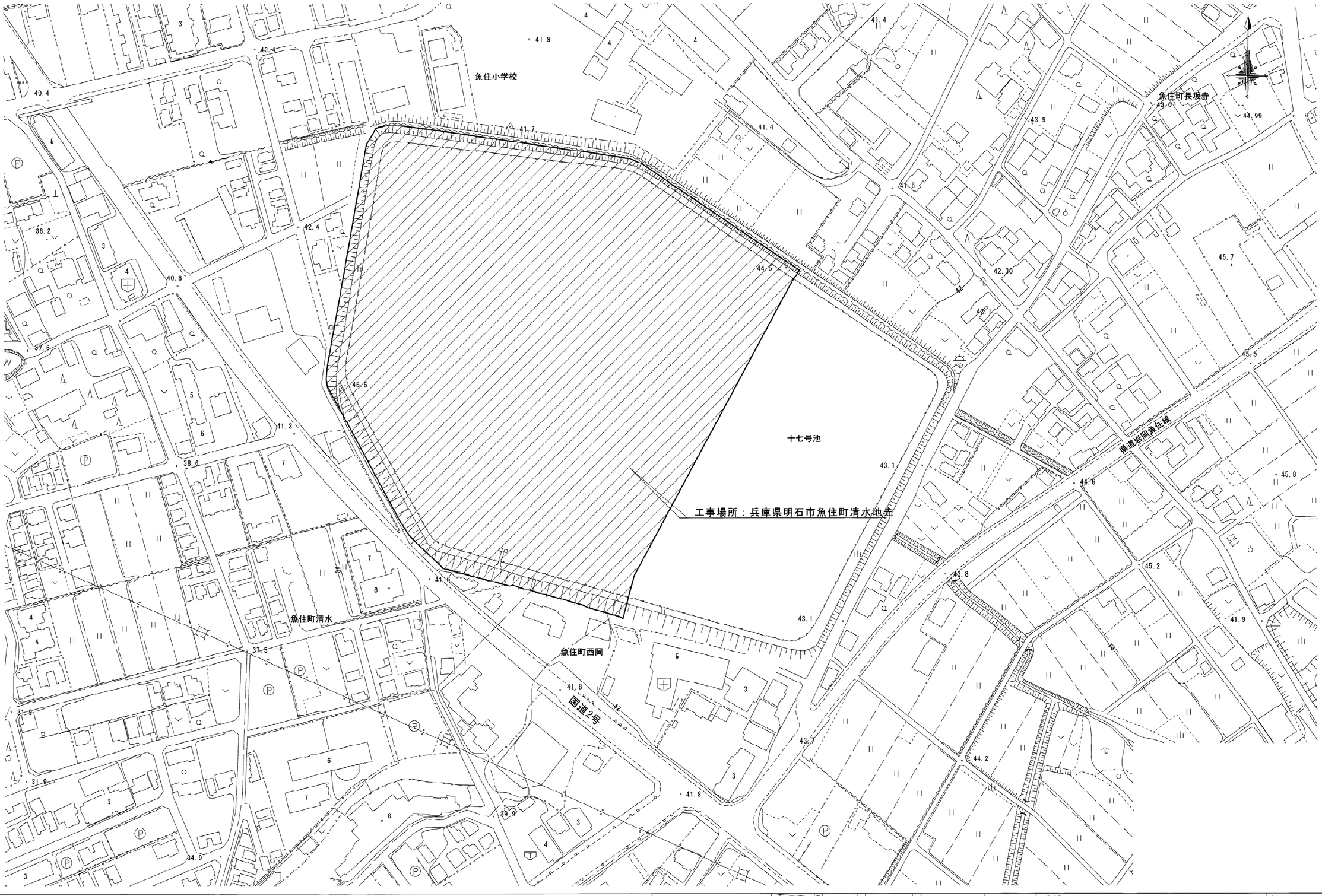
特記事項
・
・
・
・

監理者 協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所兵庫都登録第13109号 一級建築士登録第122018号　嶋谷 実	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 令和4年　月　日	工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内 A-08
	明石市都市局都市整備室緑化公園課					図面名称	メーカーリスト　縮尺 A1：NONE A3：NONE	全葉 83

工事区分表

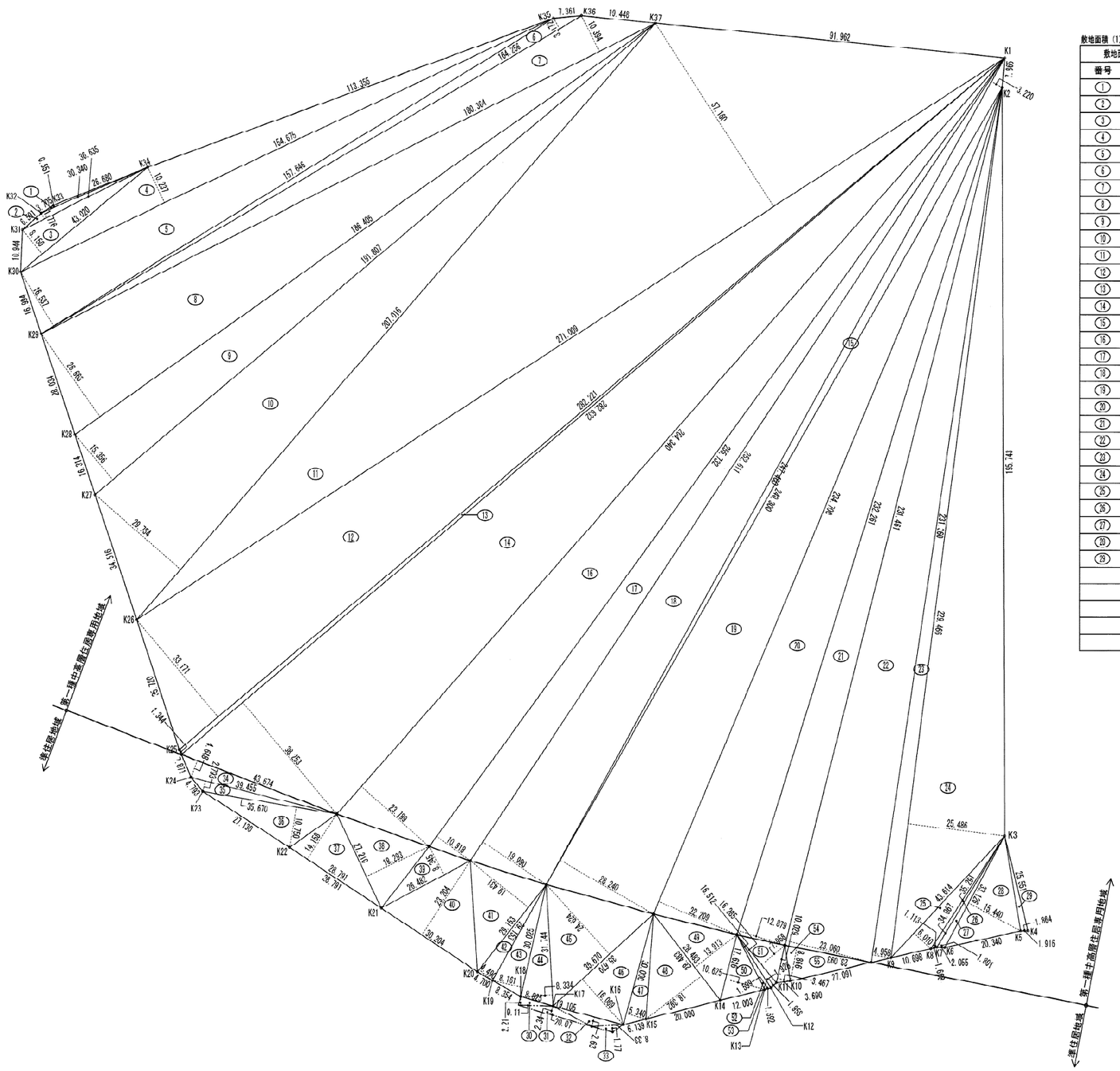
工事区分	工事内容	建築	電気	機械			備考
1　スリーブ、仮枠、補強	（1）基礎梁、梁、壁、床等の配管用貫通スリーブ		○	○			
	（2）同上貫通部分の鉄筋補強	○					
	（3）盤及びボックス類の仮枠		○	○			
	（4）同上開口部の鉄筋補強	○					
	（5）天井埋込照明器具類取付切込及び補強	○					
	（6）吹出口、吸込口等取込用切込及び補強	○					
	（7）　（1）（3）のモルタル詰め補修		○	○			
	（8）　（5）（6）のスミ出し		○	○			
	~~（9）デッキプレートの貫通・補強・切込~~						
2　ピット、シャフト、トレンチ、点検口	~~（1）機器据付用ピット及び壁~~						
	~~（2）P.S（M.S）、E.P.S~~						
	（3）床下点検口	○					
	（4）床、壁、天井、シャフトピットの点検口	○					
	（5）排水用ピット及び壁	○					
3　給水、電気、ガスの引込、下水本管接続	（1）給水引込工事			（別途工事）			
	（2）電気引込工事（負担金別途）		（別途工事）				
	（3）受電設備		（別途工事）				
	（4）下水本管接続工事			（別途工事）			
	（5）ガスの開栓			（別途工事）			
4　槽類	~~（1）受水槽（チャンネルベース共）~~						
	~~（2）　（1）の電極棒取付用開口~~						
	~~（3）給水本槽、仕上、防水~~						
	~~（4）　（3）の槽内の通気立上げ、ベンドキャップ~~						
5　コンクリート基礎	~~（1）受水槽、空調室外機、キュービクル、マンテナンティ、ポンプ等~~						
	（2）機器類のアンカー打込			○			
6　電極棒、電磁弁	~~（1）水位（電極棒）~~						
7　排水設備	（1）屋内屋外雨水排水工事（ルーフドレイン、竪樋、桝共）	○（側溝・雨水桝）					
	（2）屋内屋外排水設備工事（雑排水、汚水）			○			
	（3）床排水目皿、排水管			○			
	~~（4）ガソリントラップ桝~~						
8　自家発電設備	~~（1）自家発電機基礎~~						
	~~（2）屋外埋設オイルタンク架台~~						
	~~（3）オイルサーブ架台~~						
	~~（4）オイルタンク付、配管及び据付等~~						
9　衛生器具、流し台、コンロ台	（1）洗面器、大小便器、汚物流し			○			
	（2）水栓類、石鹸入れ、紙巻器他			○			
	（3）化粧鏡	○					
	（4）流し台、吊戸棚、水切、水切棚	○					
	（5）同上排水トラップ	○（本体）		○（接続）			
	（6）電気コンロ	○					
	~~（7）洗面化粧カウンター~~						
	（8）ベビーチェア	○					
	（9）便所内補助手摺	○					
	（10）湯沸器（各流し台　室外式）			○			
	~~（11）洗濯機パン（排水トラップ、用器セーリング、止め金具共）~~						

工事区分	工事内容	建築	電気	機械			備考
10　換気設備	（1）天井扇（ダクト、ベンドキャップ共）			○			
	（2）換気扇（ウェザーカバー共）			○			
	~~（3）ロッカーボックス~~						
	（4）ダクト用ファン（ダクト、チャンバー共）			○			
	（5）全熱交換器付換気扇			○			
	（6）同上スイッチ			○			
11　ガラリ	（1）外壁ガラリ	○					
	（2）ドア取付Vはこれに準ずるもの	○					
	（3）換気扇用外部ガラリ（ベンドキャップ）	○（開口）		○			
12　操作盤、2次側配管配線及び接続	~~（1）加圧給水ポンプ用操作盤~~						
13　ユニットバス	（1）ユニットバス本体	○					
	（2）ユニットバス内照明、給排水器具	○（本体）	○（接続）	○（接続）			
	（3）器具等取付用穴明け及び、補強板取付	○					
	（4）水栓締付け金具			○			
14　その他	（1）消火器（建物にかかるもの）			○			
	~~（2）消火器（設備にかかるもの）~~						
	（3）消火器収納ボックス			○			
	~~（4）扉開閉チェンロを設置する場合の電磁材の取付~~						
	~~（5）ガス漏れ警報器~~						
	（6）設備配管用天井盤及び床仕上げ材の穴明け		○	○			
	~~（7）電気錠~~						
	（8）工事用の水道料金及び電気料金	○	○	○			
	（9）本受電後引渡しまでの電気料金	○	○	○			
	（10）本設後引渡しまでの水道料金及びガス料金	○	○	○			
	~~（11）発電機~~						
	~~（12）発電機　一次側電源配管・配線~~						
	~~（13）発電機　二次側電源配管・配線~~						
	（14）空調機リモコンスイッチ			○			
	~~（15）排気ガス排出ステム~~						
	~~（16）同士配管・配線~~						
	~~（17）同士制御盤~~						
	~~（18）EVカ~~						
	~~（19）同士感知器及び配管・配線工事~~						
	~~（20）屋外埋設消火栓~~						
	（21）分電盤から各棟までの幹線ケーブルの布設		○				



特記事項	・ ・ ・ ・	委託 協和コンサルタンツ 一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第13109号 一級建築士登録第122018号 嶋 谷 廣 宏	課長 / 係長 / 担当者 / 係長 / 担当	明石市都市局都市整備室緑化公園課	製作年月日 令和4年 月 日

工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	図 A-10
図面名称	付近見取図 縮尺 A1:1/1000 A3:1/2000	全葉 83



敷地面積（1）（第一種中高層住居専用地域）

敷地面積　求積表　　(㎡)

番号	底　辺	高　さ	倍　面　積
①	30.340	0.551	16.71734000
②	36.635	1.776	65.06376000
③	43.020	0.150	350.61300000
④	154.675	10.237	1,583.40797500
⑤	157.646	16.537	2,606.99190200
⑥	164.256	3.172	521.02003200
⑦	180.364	10.394	1,874.70341600
⑧	186.405	26.663	4,970.11651500
⑨	191.807	15.356	2,945.38829200
⑩	207.016	29.754	6,159.55406400
⑪	271.009	57.160	15,490.87444000
⑫	282.221	33.171	9,361.55279100
⑬	282.632	1.344	379.85740800
⑭	282.632	38.253	10,811.52189600
⑮	247.460	3.220	796.82120000
⑯	264.340	23.789	6,288.38426000
⑰	255.732	10.918	2,792.08197600
⑱	252.611	19.990	5,049.69309000
⑲	240.300	28.240	6,786.07200000
⑳	234.700	22.209	5,212.45230000
㉑	232.261	12.879	2,991.28941900
㉒	231.461	23.060	5,337.49066000
㉓	231.360	4.958	1,147.08288000
㉔	229.466	25.486	5,848.17047600
㉕	43.614	6.010	262.12014000
㉖	35.291	1.113	39.27888300
㉗	34.067	1.801	61.35466700
㉘	33.126	15.440	511.46544000
㉙	1.864	25.551	47.62706400
		合　計	100,308.76808606
		合計／2	50,154.38~~404303~~
		敷地面積	50,154.38

敷地面積（2）（準住居地域）

敷地面積　求積表　　(㎡)

番号	底　辺	高　さ	倍　面　積
㉚	9.110	2.210	20.13310000
㉛	20.070	2.340	46.96380000
㉜	19.110	2.630	50.25930000
㉝	8.330	1.770	14.74410000
㉞	43.674	4.648	202.99675200
㉟	39.455	2.793	110.19781500
㊱	35.670	10.750	383.45250000
㊲	28.791	14.158	407.62297800
㊳	27.210	18.293	497.75253000
㊴	26.482	8.345	220.99229000
㊵	30.204	23.204	700.85361600
㊶	29.153	19.431	566.47194300
㊷	29.153	4.490	130.89697000
㊸	30.025	8.161	245.03402500
㊹	31.744	8.334	264.55449600
㊺	35.670	24.624	878.33808000
㊻	35.670	16.069	573.18123000
㊼	30.000	5.340	160.20000000
㊽	28.483	18.392	523.85933600
㊾	28.483	13.913	396.28397900
㊿	17.626	10.625	187.27625000
(51)	16.285	7.958	129.59603000
(52)	16.512	1.599	26.40268800
(53)	16.512	1.928	31.83513600
(54)	10.029	3.467	34.77054300
(55)	23.093	8.866	204.74253800
		合　計	7,009.41202500
		合計／2	3,504.70~~601250~~
		敷地面積	3,504.70

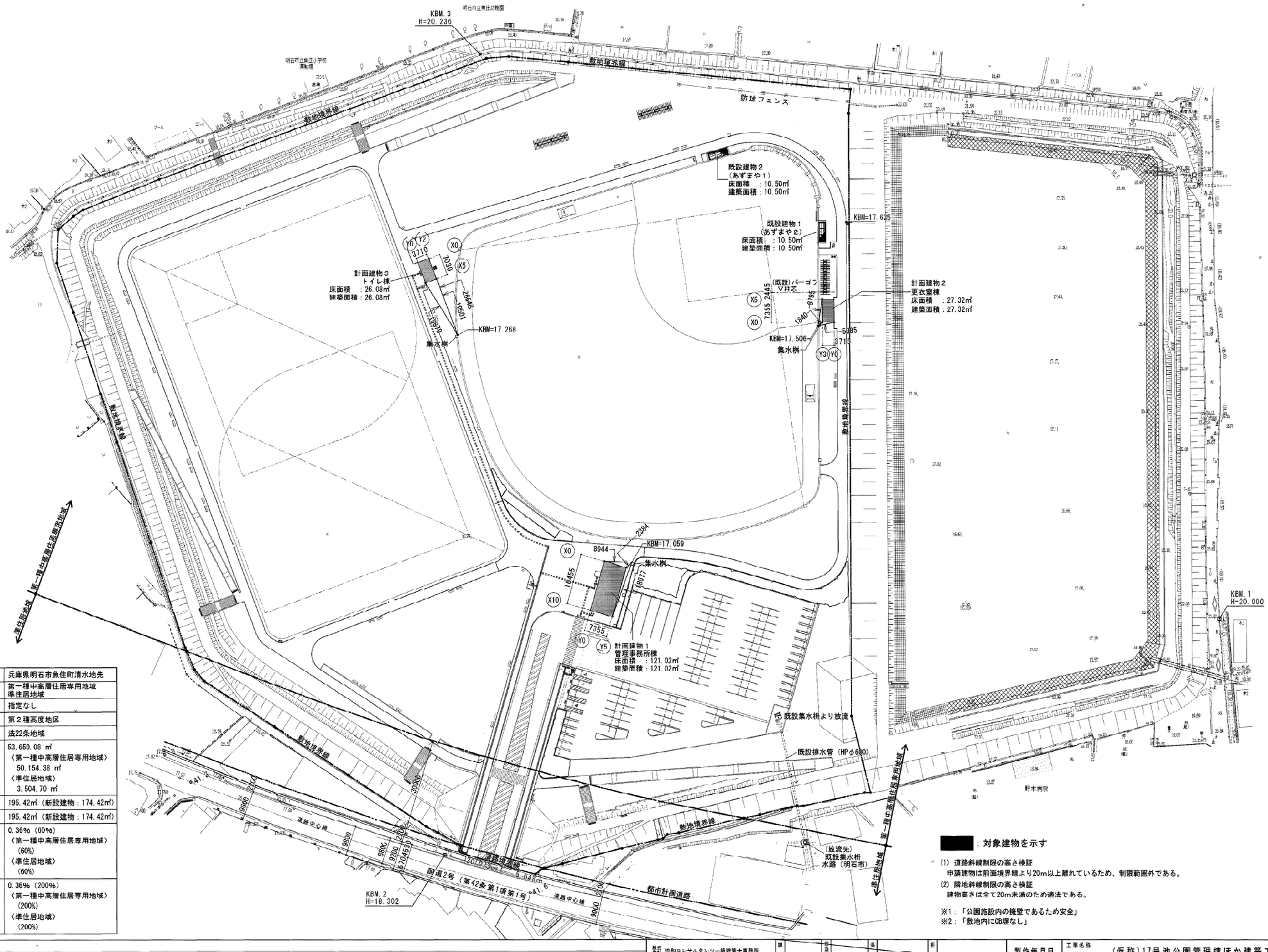
敷地面積（1）＋敷地面積（2）

敷地面積　求積表	(㎡)
敷地面積（1）	50,154.38
敷地面積（2）	3,504.70
合計	53,659.08

特記事項

株式会社 協和コンサルタンツ　級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第13109号 一級建築士登録第122018号　嶋谷 廣宣	課長	係長	担当	製作年月日 令和4年　月　日	工事名称：（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事　内：A-11 図面名称：敷地求積図　縮尺 A1:1/600 A3:1/1200　全葉：83

明石市都市局都市整備室緑化公園課



【　敷地の概要　】

工事場所	兵庫県明石市魚住町清水地先
用途地域	第一種中高層住居専用地域 準住居地域
防火地域	指定なし
高度地区	第２種高度地区
その他の区域	法22条地域
敷地の合計面積	53,659.08 ㎡ 〈第一種中高層住居専用地域〉 50,154.38 ㎡ 〈準住居地域〉 3,504.70 ㎡
建築面積計	195.42㎡（新設建物：174.42㎡）
床面積計	195.42㎡（新設建物：174.42㎡）
建蔽率	0.36% (60%) 〈第一種中高層住居専用地域〉 (60%) 〈準住居地域〉 (60%)
容積率	0.36% (200%) 〈第一種中高層住居専用地域〉 (200%) 〈準住居地域〉 (200%)

■ ：対象建物を示す

※ (1) 道路斜線制限の高さ検証
申請建物は前面境界線より20m以上離れているため、制限範囲外である。
(2) 隣地斜線制限の高さ検証
建物高さは全て20m未満のため適法である。

※1：「公園施設内の擁壁であるため安全」
※2：「敷地内にCB塀なし」

特記事項

株式会社 協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所兵庫県知事登録第13109号 一級建築士登録第122016号　嶋谷 廣次	課長		担当課長名		係長		担当	製作年月日 令和4年　月　日	工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	A-12
明石市都市局都市整備室緑化公園課									図面名称	全体配置図	縮尺 A1:1/600 A3:1/1200	全葉 83

設計概要

一般事項	工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	用途地域	第1種中高層住居専用地域 準住居地域	構造概要	架構	軽量鉄骨ブレース構造	基礎	鉄筋コンクリート造布基礎 基礎立上り：撥水剤（大日技研工業（株）ランデックスコート同等品）
	建築場所	兵庫県明石市魚住町清水地先	防火指定	防火指定なし			セルフレベリング材 t=10		軽鉄下地
	工事種別	新築	建ぺい率	60 % 容積率 200 %		天井	十間コンクリート t=100	天井	グラスウール t=50（16kg/m³品）
	建物用途	管理棟	その他指定				ワイヤーメッシュ 6φ 150×150クロス		
建物概要	型式	日成ビルド工業(株) GT-XY 4H*9K (同等品以上とする)	階数	平屋建		床	押出法ポリスチレンフォーム3種b(t=30)	壁	軽鉄下地
	建築面積	121.02 m²	最高軒高	3.665 m			防湿シート t=0.15		グラスウール t=50（16kg/m³品）
	延床面積	121.02 m²	最高高さ	4.440 m			砕石 t=100		

外部仕上

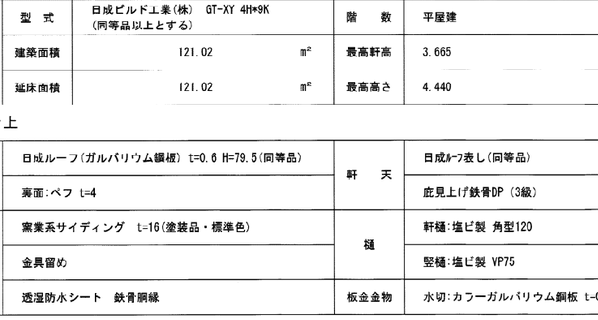
屋根	日成ルーフ(ガルバリウム鋼板) t=0.6 H=79.5(同等品)	軒天	日成ﾙｰﾌ表し(同等品)	建具 (建具表による)	
	裏面:ベフ t=4		底見上げ鉄骨DP（3級）		
外壁	窯業系サイディング t=16(塗装品・標準色)	樋	軒樋:塩ビ製 角型120		
	金具留め		竪樋:塩ビ製 VP75		
	透湿防水シート 鉄骨胴縁	板金金物	水切:カラーガルバリウム鋼板 t=0.35		

符号	仕様	硝子	寸法	備考

内部仕上

階	室名	天井高	床	巾木	壁	天井	廻縁	備考
1	ロビー	2,700	長尺塩ビシート t=2.0(防滑性) 土間コンクリート	ソフト巾木 H=60	ビニルクロス PB t=12.5	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	カウンター ブラインドボックス
	受付	2,700	長尺塩ビシート t=2.0 土間コンクリート	ソフト巾木 H=60	ビニルクロス PB t=12.5	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	ブラインドボックス
	会議室	2,700	長尺塩ビシート t=2.0 土間コンクリート	ソフト巾木 H=60	ビニルクロス PB t=12.5	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	ミニキッチン
	更衣室（男）	2,780	長尺塩ビシート t=2.0 土間コンクリート	ソフト巾木 H=60	ビニルクロス（ライニング:化粧ケイカル板 t=6） 耐水石膏ボード t=12.5(ライニング下地:耐水合板 t=12)	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	シャワーユニット
	更衣室（女）	2,780	長尺塩ビシート t=2.0 土間コンクリート	ソフト巾木 H=60	ビニルクロス（ライニング:化粧ケイカル板 t=6） 耐水石膏ボード t=12.5(ライニング下地:耐水合板 t=12)	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	シャワーユニット
	便所（男）	2,780	磁器質タイル貼 100角 土間コンクリート	――	磁器質タイル貼 100角 ラスカットボード t=9.5	ケイカル板 t=6.0 EP	塩ビ製	トイレブース(H=2000) ベビーチェア
	便所（女）	2,780	磁器質タイル貼 100角 土間コンクリート	――	磁器質タイル貼 100角 ラスカットボード t=9.5	ケイカル板 t=6.0 EP	塩ビ製	トイレブース(H=2000) ベビーチェア
	多目的便所	2,780	磁器質タイル貼 100角 土間コンクリート	――	磁器質タイル貼 100角 ラスカットボード t=9.5	ケイカル板 t=6.0 EP	塩ビ製	ベビーチェア

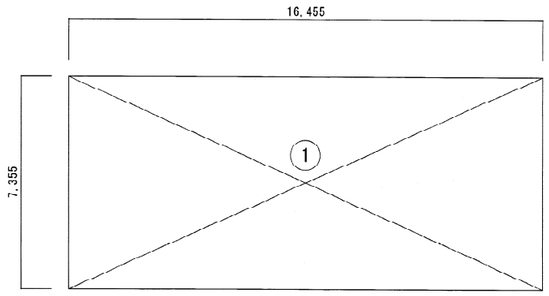
備考　1．使用建材は全てＦ☆☆☆☆品を使用する。　2．アスベストを含有した建材を使用しない。



室別求積図　S=1/100

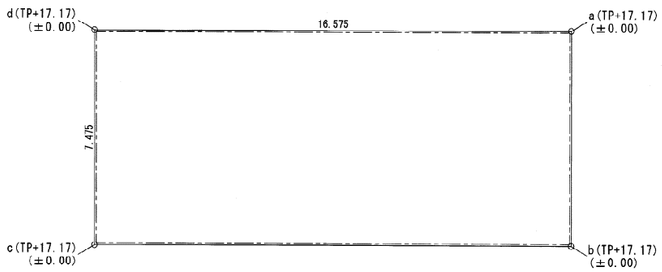
室別床面積計算表

No	計算式			室名	室別集計	室面積	換気区画		
							区分	面積	2室1室
1	2.7675 × 7.3550 =	20.3560		受付	20.3560	20.35	居室	20.35	―
2	4.5500 × 3.6775 =	16.7326							
3	1.8200 × 2.5875 =	4.7093		会議室	21.4419	21.44	居室	21.44	―
4	6.3700 × 3.6775 =	23.4257							
5	1.8200 × 1.0900 =	1.9838		ロビー	25.4095	25.40	居室	25.40	―
6	2.3400 × 3.6775 =	8.6054							
6a	1.3000 × 1.1775 =	1.5308		更衣室(女)	10.1361	10.13	居室	10.13	―
7	2.3400 × 3.6775 =	8.6054							―
7a	1.3000 × 1.1775 =	1.5308		更衣室(男)	10.1361	10.13	居室	10.13	
8	2.3125 × 2.5125 =	5.8102		多目的(2)	5.8102	5.81	非居室	5.81	―
9	1.3650 × 4.1325 =	5.6409							
10	2.3125 × 1.6200 =	3.7463		WC(男)	9.3871	9.38	非居室	9.38	―
11	3.6775 × 3.2225 =	11.8507		WC(女)	11.8507	11.85	非居室	11.85	―



求積図　S=1/100

求積表		
記号	計算式	面積
①	16.455 × 7.355	= 121.026
延べ面積 ①		= 121.02
建築面積 ①		= 121.02



平均地盤面算定図　S=1/100

平均地盤面算定式					
区間 (始点－終点)	H1 (m)	H2 (m)	L (m)	面積A (㎡)	
a ～ b	0.00	0.00	7.475	(0.00+0.00)×7.475/2=	0.0000
b ～ c	0.00	0.00	16.575	(0.00+0.00)×16.575/2=	0.0000
c ～ d	0.00	0.00	7.475	(0.00+0.00)×7.475/2=	0.0000
d ～ a	0.00	0.00	16.575	(0.00+0.00)×16.575/2=	0.0000
合計			48.000		0.0000
平均高さ(A/L)=	0.0000 / 48.00 = 0.00				
平均地盤面=	設計GL + 0.00 m				

特記事項

建築士事務所　協和コンサルタンツ　級建築士事務所
一級建築士事務所東京都知事登録第13109号
一級建築士登録第122018号　嶋谷 廣

課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	(仮)17号池公園管理棟ほか建築工事	内 A-13
			令和4年 月 日	図面名称	管理棟　縮尺 A1:1/100 設計概要・仕上表・求積図・平均地盤面算定・室別求積図　A3:1/200	全業 83

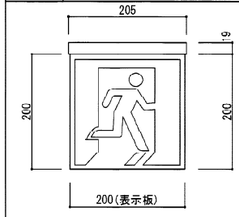
明石市都市局都市整備室緑化公園課

S	室名札（平付）	1／5	6箇所



本体　：アクリル板＜3．0＞　シルクスクリーン印刷
※各室名は「受付」「会議室」「更衣室(女)」「更衣室(男)」とする。
ステ板　：アクリル板＜3．0＞
※表示基板はステ板に接着固定のこと。
取付方法：皿タッピンネジ

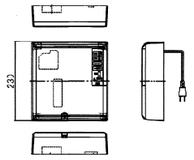
Sa	避難口誘導標識（天井面設置）	1／5	1箇所



アルミ金具(取付用φ5×2)
材質：蓄光硬質プレート(高輝度)
サイズ：200×200×t0.6
取付方法：天井面アルミ金具取付後、表示板差込み
※取付ビスは、天井面に適したビスを使用

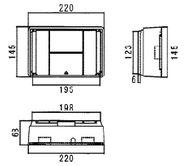
FC	電気錠制御盤	1箇所

BAN-DST 同等品

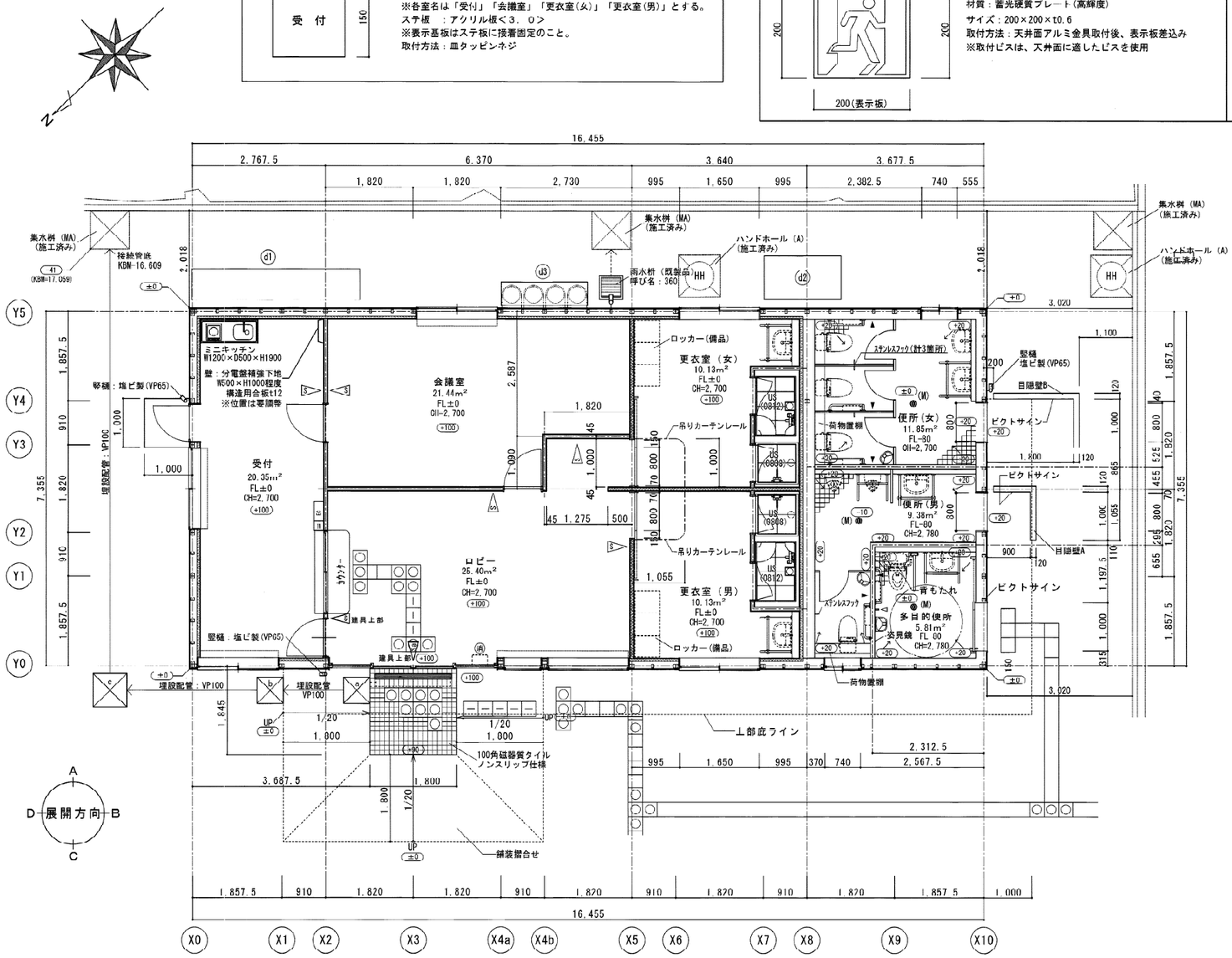


TW	タイマー収納箱	1箇所

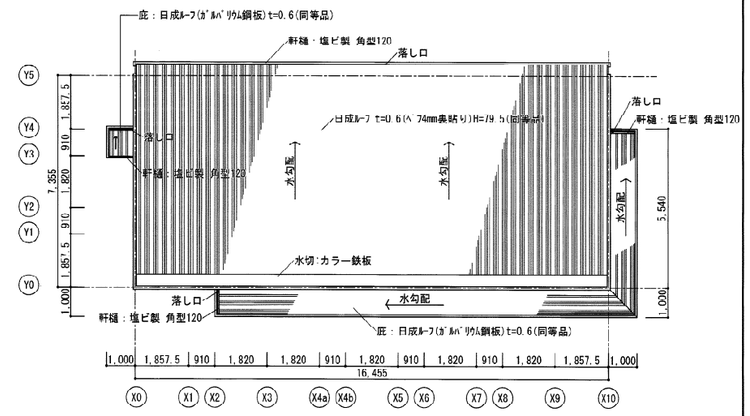
BAN-OP,WT+BAN-OPBOX 同等品



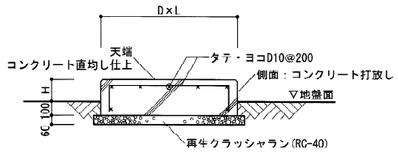
3個所スイッチボックスに取付



平面図　S=1/50



屋根伏図　S=1/100



基礎詳細図　S=1/20

符号	名　称	寸法（L×D）	高さ（H）	数量
d1	室外機基礎	3500×650	200	1
d2	給湯器基礎	1600×900	200	1
d3	ガスボンベ基礎	1800×500	200	1

設計基準強度

コンクリート強度：基礎　Fc=21N /m㎡　SL=15cm

＜共通事項＞

- 設計GL＝（17.17）±0 とする。
- ±0　：設計GLよりの仕上高さを示す。
- ：喚起誘導ブロックを示す。
- S　：サイン(室名札)位置を示す。
- d1　：避難口誘導標識（壁面設置）位置を示す。
- ：非常用押釦(電気設備工事)位置を示す。(部分詳細図参照)
- ：非常用押釦(電気設備工事)下部位置を示す。(部分詳細図参照)
- ⊗(M)　：排水日皿（機械設備工事）を示す。
- ：グラスウール t=50（16kg/m³品）
- a　：雨水桝（a～c）コンクリート桝（現場打ち）
- 消　：ABC消火器(BOX共) 内部（床置型）鋼製 10型1本用(機械設備工事)

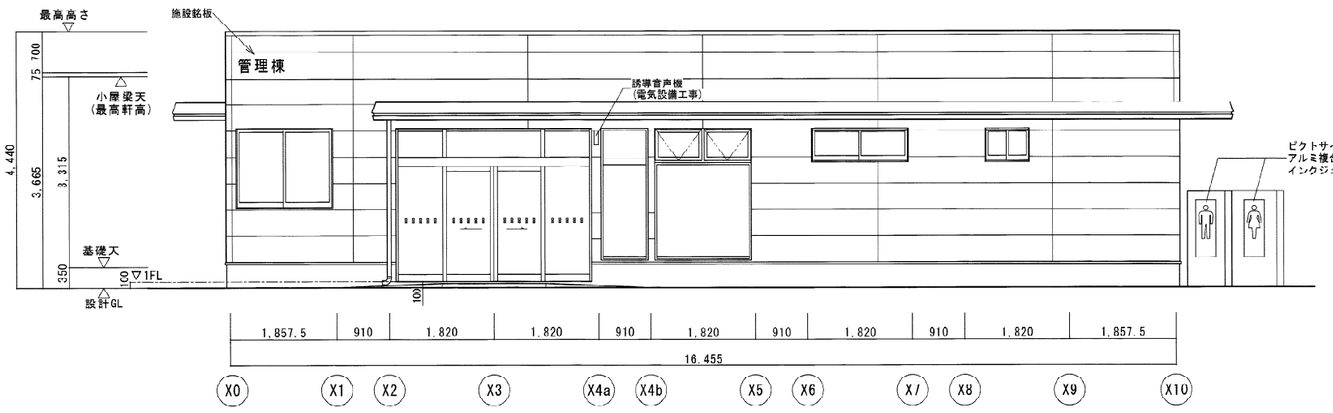
特記事項	・
	・
	・
	・

監理者	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事登録第13109号 一級建築士登録第125018号 地谷 典宏	課長	担当責任者	係長	主任

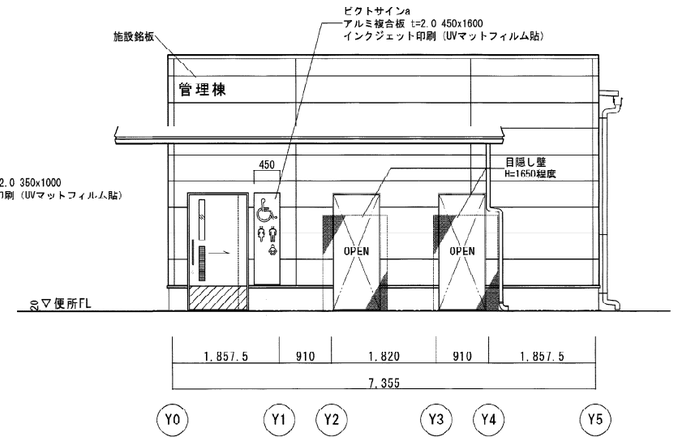
製作年月日	令和4年　月　日

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	A-14
図面名称	管理棟 平面図・雑詳細図・屋根伏図	縮尺	A1:1/5,20,50,100 A3:1/10,40,100,200
		全葉	83

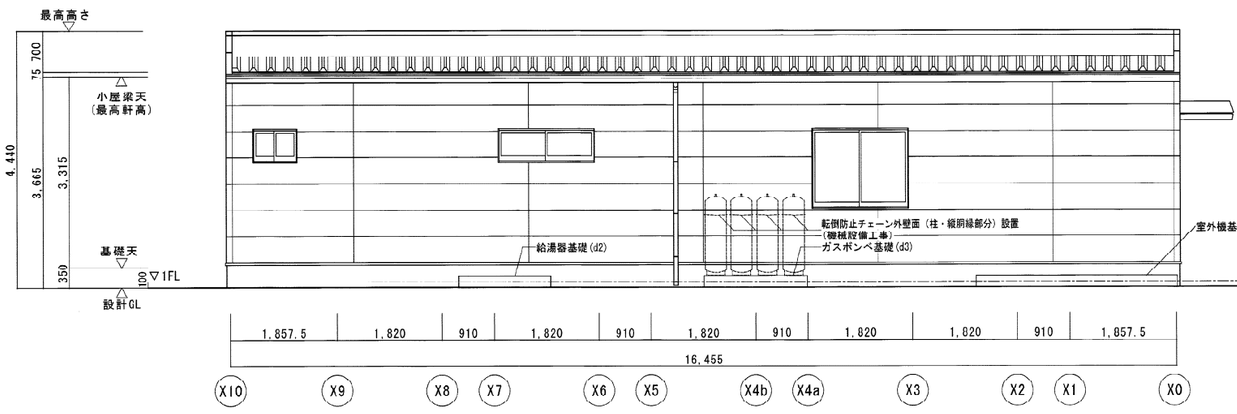
明石市都市局都市整備室緑化公園課



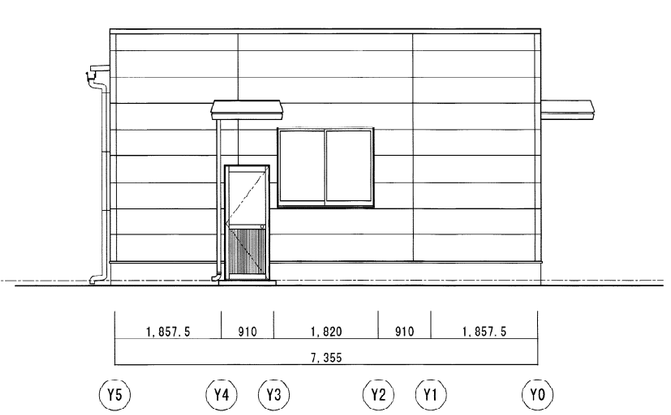
北側立面図　S=1/50



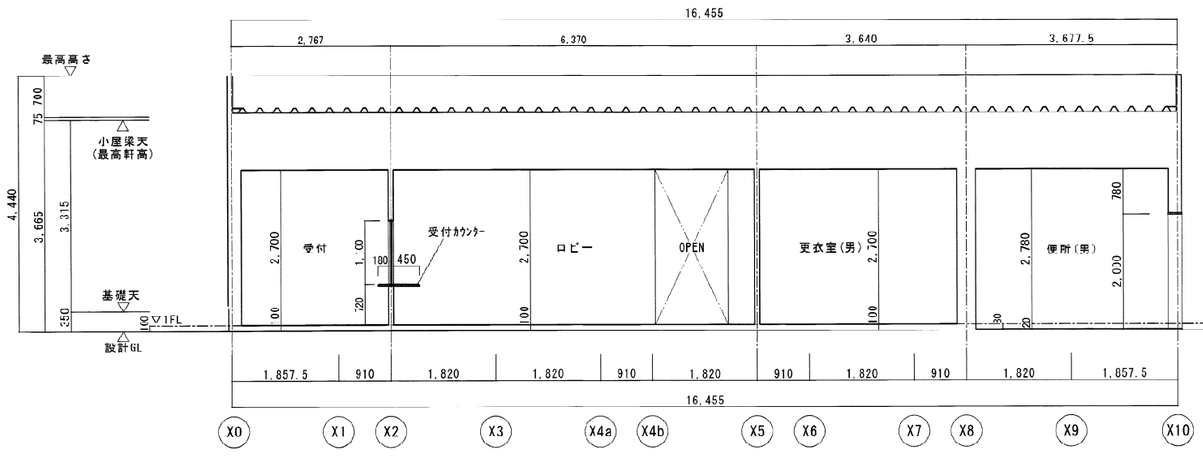
西側立面図　S=1/50



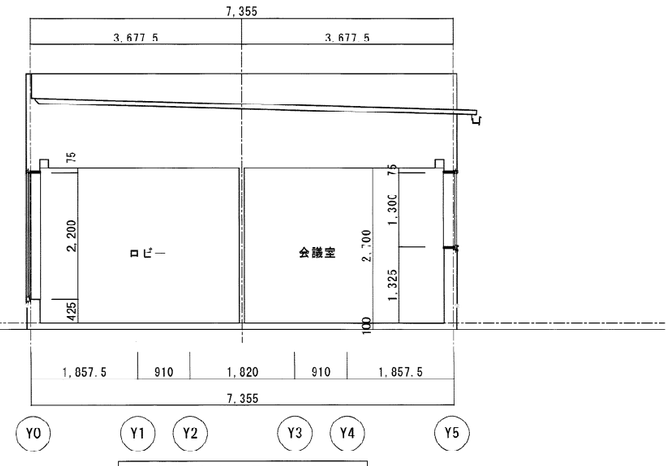
南側立面図　S=1/50



東側立面図　S=1/50



A－A’ 断面図　S=1/50

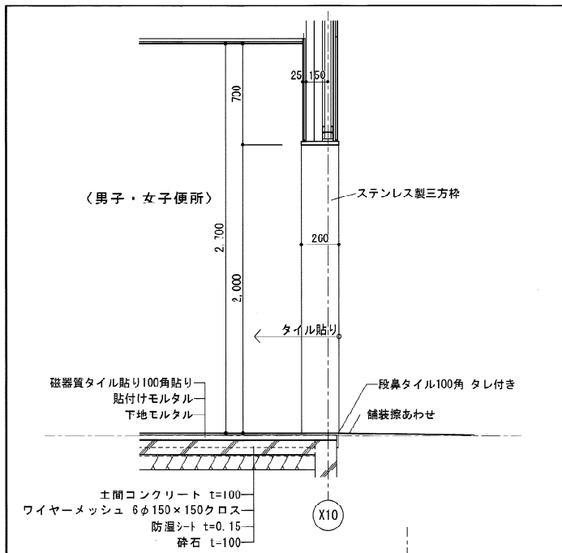


B－B’ 断面図　S=1/50

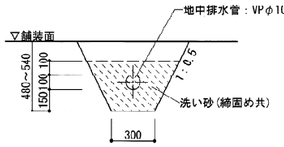
特記事項

設計 協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一都建築士事務所東京都登録第12139号 一級建築士登録第159018号 嶋谷 康司	課長	協議済	係長	担当	製作年月日 令和4年 月 日
明石市都市局都市整備室緑化公園課					

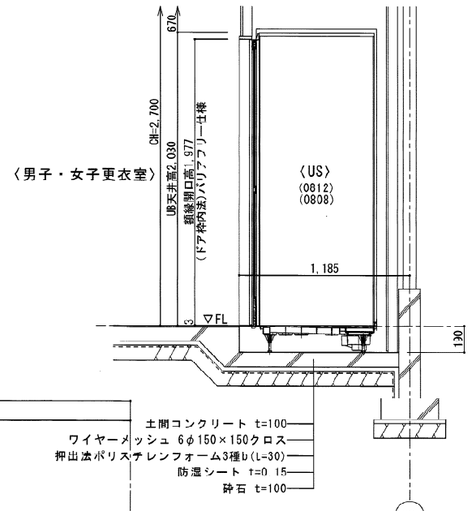
工事名称	（仮称）1/号池公園管理棟ほか建築工事	内	A-15
図面名称	管理棟 立面図・断面図	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
		全葉	83



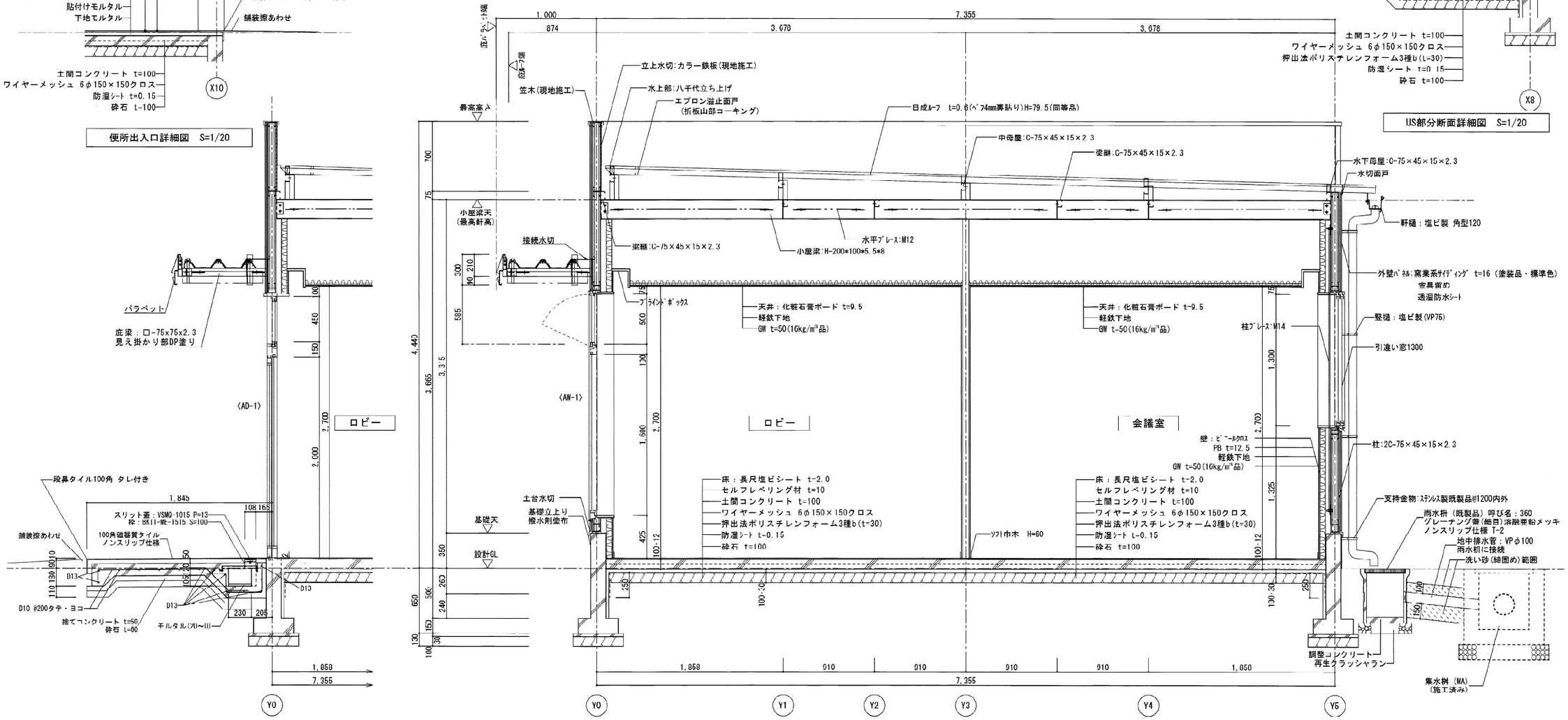
便所出入口詳細図 S=1/20



地中埋設配管詳細図 S=1/20



US部分断面詳細図 S=1/20



AD-1部詳細図 S=1/20

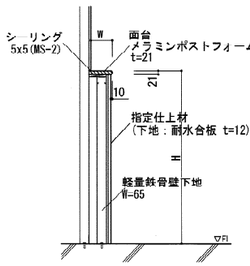
矩 計 図 S=1/20

特記事項

設計者 協和コンサルタンツ 一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第13109号 一級建築士登録第123018号 鳴谷 廣	課長	担当者	係長	技師	明石市都市局都市整備室緑化公園課	製作年月日 令和4年 月 日	工事名称 (仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事 / 図面名称 管理棟 矩計図・雑詳細図 / 縮尺 A1:1/20 A3:1/40 / 内 A-16 / 全業 83

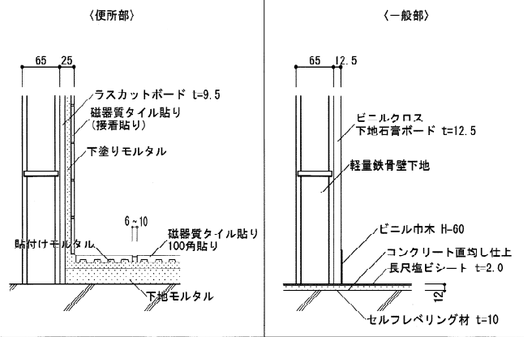
部分詳細図(2)

配管ライニング詳細図 S=1/20

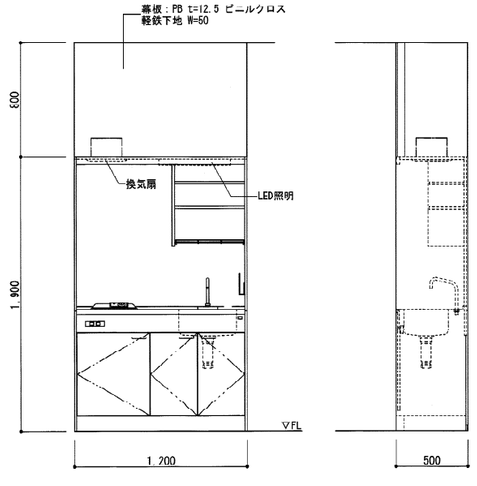


ライニング 寸法表		
適用箇所	W	H
小便器用・便所（男）	150	1,200
洋便器用・便所（男）	150	1,000
・多目的便所	100	1,000
手洗い洗面器用・便所（男）(女)	150	1,000
・更衣室（男）(女)	150	820
・多目的便所	100	820

内壁--床納まり詳細図 S=1/5

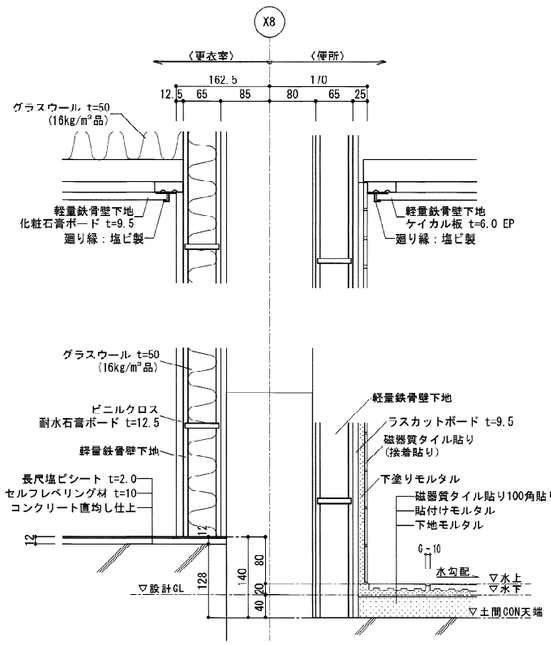


ミニキッチン詳細図 S=1/20

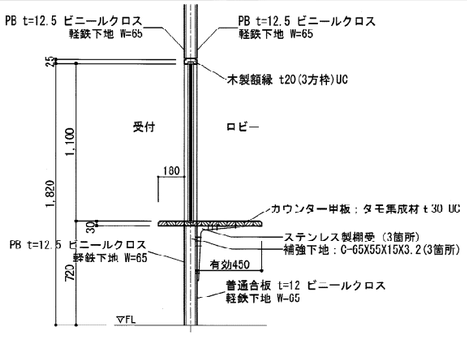


LIXIL ミニキッチン DMK12LEW 同等品
扉タイプ、フルユニット、シングルレバー水栓
電気コンロ(単相100V、1300W)
LED照明(6.7W)、換気扇(UVF-14MMK ダクト径Φ100)
トップ：ステンレス(SUS430)、シンク：ステンレス(SUS430)
※上台キャビネットのコンロ側の側板(内側)、背板、天板、幕板の内側は、不燃化粧板(t3)とする

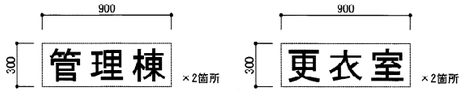
X8通り詳細図 S=1/5



受付カウンター詳細図 S=1/20



施設銘板 S=1/20

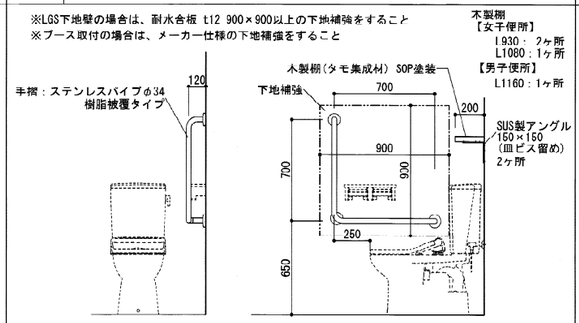


＜文字＞
本体　：ステンレス箱文字（ＳＵＳ　３０４）合成樹脂焼付塗装仕上
表面文字：ステンレス鋼板＜１．０＞
立上り板：ステンレス鋼板＜０．５＞
補強用渡し板：ステンレス鋼板＜２．０＞

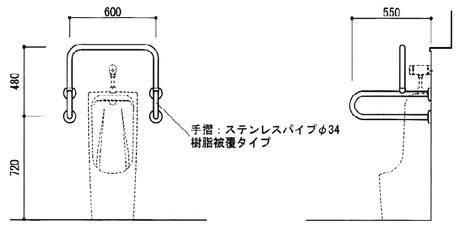
取付方法：スタッドボルトＭ４ ステンレス
※表面文字・立上り板・補強用渡し板の接合は、剥離防止の為、硬ロウ付け加工（融接）を全周施すこと。
スタッドボルトは補強用渡し板にタップ穴加工の上ねじ込み、硬ロウ付け加工（融接）を施すこと。

L型手摺詳細図 S=1/20

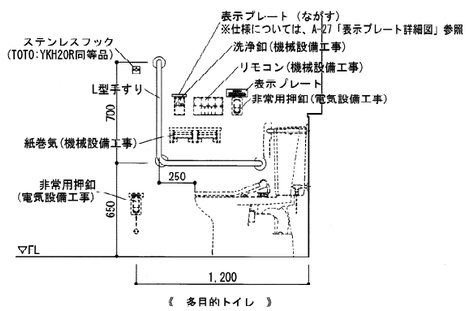
※LGS下地壁の場合は、耐水合板 t12 900×900以上の下地補強をすること
※ブース取付の場合は、メーカー仕様の下地補強をすること



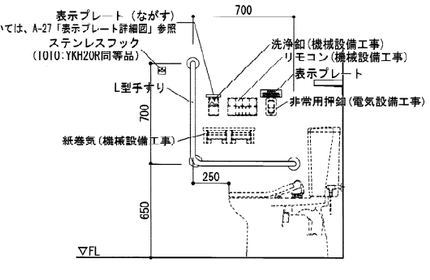
小便器用手摺詳細図 S=1/20



洋便器廻り詳細図 S=1/20

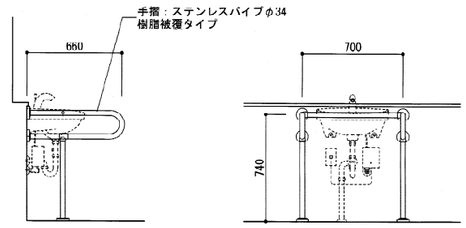


《 多目的トイレ 》

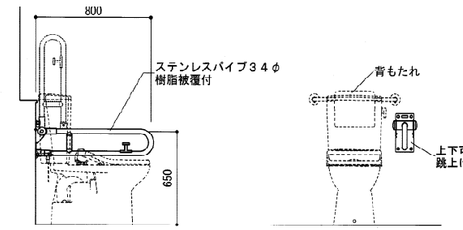


《 一般部 》

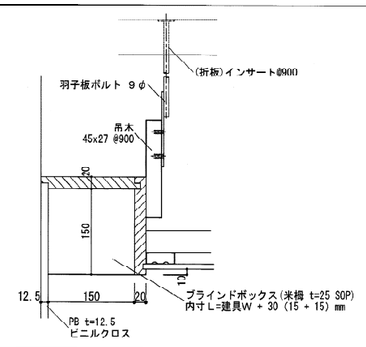
洗面用手摺詳細図 S=1/20



跳上げ手摺詳細図 S=1/20

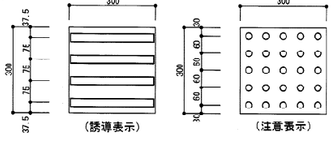


カーテンボックス詳細図 S=1/5



喚起誘導ブロック詳細図 S-1/5

〈管理棟ロビー〉
〈トイレ棟ポーチ〉



※視覚障害者誘導用(線状・点状)シート t=7mm
材質：ポリウレタンエラストマー
裏のり：ブチル系粘着材（芯材=ポエステル不織布）
専用プライマー：特殊合成ゴム

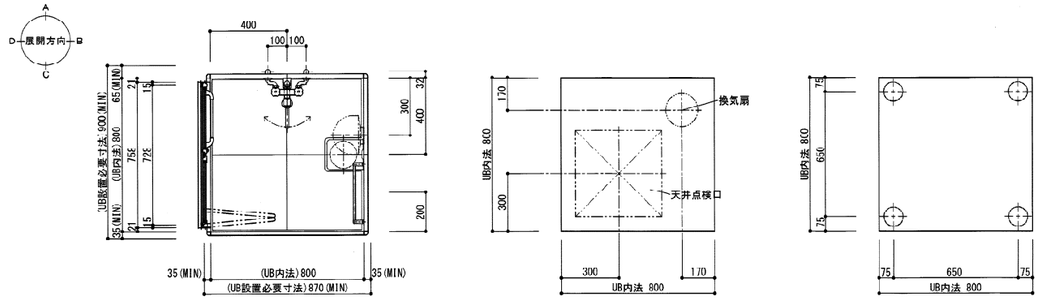
特記事項

監理 協和コンサルタンツ 一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事第131099号 一級建築士登録第122018号 嶋谷 真	課長	係長	担当	製作年月日 令和4年 月 日	明石市都市局都市整備室緑化公園課

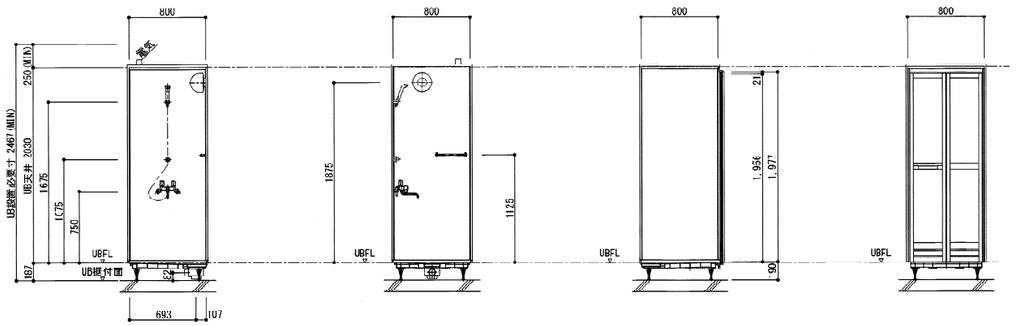
工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	A-17
図面名称	部分詳細図(1) 縮尺 A1:1/5,20 A3:1/10,40	全葉	83

部分詳細図(1)

ユニットシャワー(0808)詳細図(参考図)　S=1/15,30



平面詳細図　S=1/15　／　大井伏図　S=1/15　／　床支持位置図　S=1/15

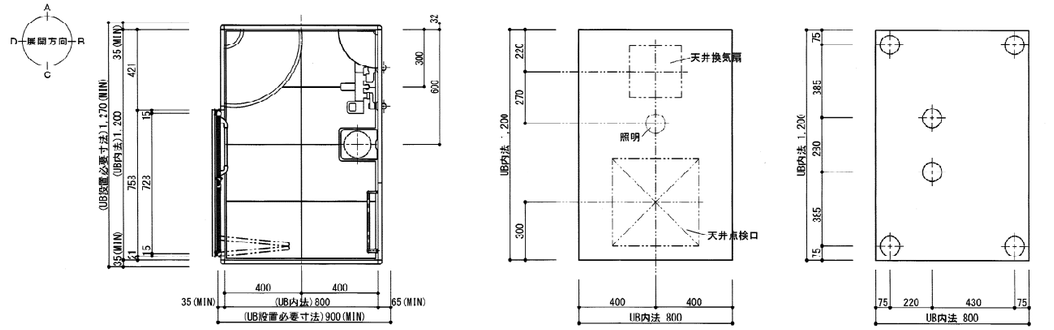


A 展 開 S=1/30　／　B 展 開 S=1/30　／　C 展 開 S=1/30　／　D 展 開 S=1/30

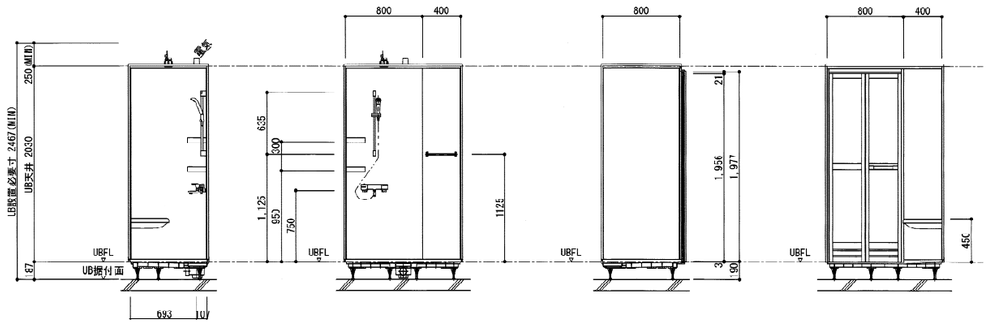
TOTO ユニットシャワー JSV0808UL 同等品

名　称	仕様・寸法	色・柄	特記事項	備　考
天井パネル	化粧鋼板複合パネル（抗菌カビ仕様・モール式） 点検口（□450）(絞り点検口・落下防止用紐付 石膏ボード2枚貼り)	ホワイト		
壁パネル	ＨＱパネル	ベーシスホワイト		
床パネル	ＦＲＰ カワリ床(単色)	ホワイト		HDR36
ド　ア　枠	アルミアルマイト処理	アイボリー		HDR36
ドアパネル	折戸　ドア脱着機構付 面材：型板ステレン板 W=800(有効開口幅 671mm)	アイボリー 面材：半透明		HDR36
シャワー水栓	TM9250　2ハンドルシャワー　金具			
シャワーハンガー	TH556F6	ホワイト		
照明	半球形照明（LEDランプ） 消費電力9W以下　60W相当　電球色 VVF1.6φ×2C　L=2.0m付		(以降接続：電気設備)	
ジョイントボックス	エコノミージョイント　WJ3107相当品		(ジョイントボックスまでの 配線及びジョイントボックス 内の結線:電気設備工事)	
天井換気扇 (パイプファンタイプ	IKK65　定格電圧100V　接続部外径φ95 換気扇(φ170) 天井開口(φ100)		(以降接続：機械設備)	
給水エルボ	シャワー用　青銅鋳物製　接続口　Rc1/2		(以降接続：機械設備)	
給湯エルボ	シャワー用　青銅鋳物製　接続口　Rc1/2		(以降接続：機械設備)	
排水トラップ	ABS樹脂　封水深50mm　接続口　VP50受口 ヘアーキャッチャー付 高圧洗浄管対応		(以降接続：機械設備)	
タオル掛け	ステンレスパイプ　φ13　L=300	ホワイト		

ユニットシャワー(0812)詳細図(参考図)　S=1/15,30



平面詳細図　S=1/15　／　天井伏図　S=1/15　／　床支持位置図　S=1/15



A 展 開 S=1/30　／　B 展 開 S=1/30　／　C 展 開 S=1/30　／　D 展 開 S=1/30

TOTO ユニットシャワー JSV0812UT 同等品

名　称	仕様・寸法	色・柄	特記事項	備　考
天井パネル	化粧鋼板複合パネル（抗菌カビ仕様・モール式） 点検口（□450）(絞り点検口・落下防止用紐付 石膏ボード2枚貼り)	ホワイト		
壁パネル	ＨＱパネル	ベーシスホワイト		
床パネル	ＦＲＰ カワリ床(単色)	ホワイト		HDR36
ド　ア　枠	アルミアルマイト処理	アイボリー		HDR36
ドアパネル	折戸　ドア脱着機構付 面材：型板ステレン板 W=800(有効開口幅 671mm)	アイボリー 面材：半透明		HDR36
シャワー水栓	TBV03433JA　壁付サーモスタットシャワー金具 (スパウトL=70)			
スライドバー シャワーヘッド	スライドバー　φ22 L=635 スプレーシャワー ホース：L=1600	スタッドバー：メタル調 ヘッド・ホワイトグレー ホース：シルバー		
照明	電源内蔵型LEDダウンライト 消費電力12W　電球色 VVF1.6φ×2C　L=2.0m付		(以降接続：電気設備)	
ジョイントボックス	エコノミージョイント　WJ3107相当品		(ジョイントボックスまでの 配線及びジョイントボックス 内の結線:電気設備工事)	
天井換気扇	IKJC5　定格電圧100V　接続部外径φ95 換気扇(□270)　天井開口(□171)		(以降接続：機械設備)	
給水エルボ	シャワー用　青銅鋳物製　接続口　Rc1/2		(以降接続：機械設備)	
給湯エルボ	シャワー用　青銅鋳物製　接続口　Rc1/2		(以降接続：機械設備)	
排水トラップ	ABS樹脂　封水深50mm　接続口　VP50受口 ヘアーキャッチャー付 高圧洗浄管対応		(以降接続：機械設備)	
タオル掛け	ステンレスパイプ　φ13　L=300	ホワイト		
収納棚	コーナー収納棚2段	石目調		
腰掛け	ABS樹脂　コーナー付けタイプ	ホワイト		

特記事項

設計監理者　協和コンサルタンツ　一級建築士事務所
一級建築士事務所東京都知事登録第13109号
一級建築士登録第122018号　鳴谷 廣

課長	計画担当	係長	担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日　令和4年　月　日

工事名称　(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事

図面名称　部分詳細図(2)

縮尺　A1:1/15,30　A3:1/30,60

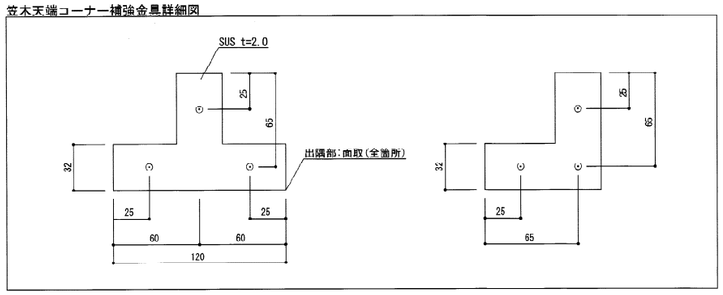
内　A 18

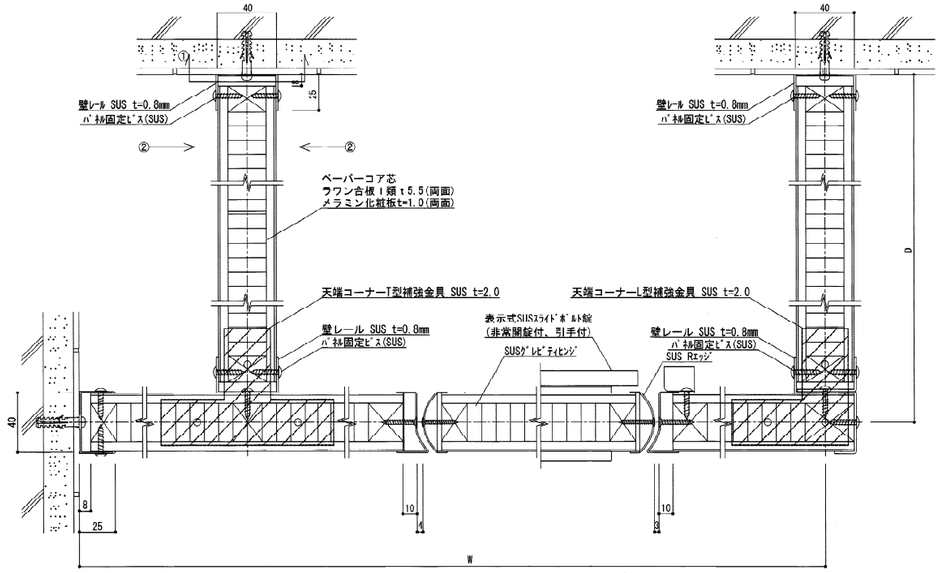
全葉　83

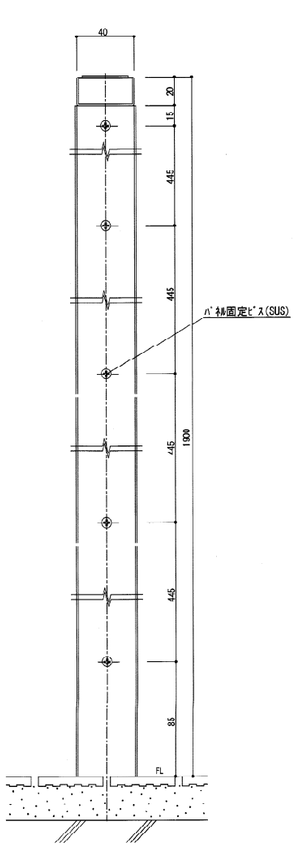
仕　様

材質・仕上	ペーパーコア芯、ラワン合板１類t5.5(両面)、メラミン化粧板t=1.0(両面)
見　込	40
磧　子	ー
金　物	SUSグレビティヒンジ中心吊、表示式SUSスライドボルト錠(非常開錠付、引手付、ﾒｰｶｰﾀﾆ LB-517同等品)
	SUS戸当り(外開き戸)
	SUS戸当り帽子掛(内開き戸、ﾒｰｶｰﾀﾆ LC-530同等品)
備　考	SUS笠木L|-40×20×2.0、SUS巾木H60、SUSRエッジ、上下端樹脂カバー(戸先側のみ)
	上下小口防水テープ又は防水塗装、固定用補強入(ペーパーホルダー・ロータンク・手摺)
	使用するﾋﾞｽ類はすべてSUSとすること。

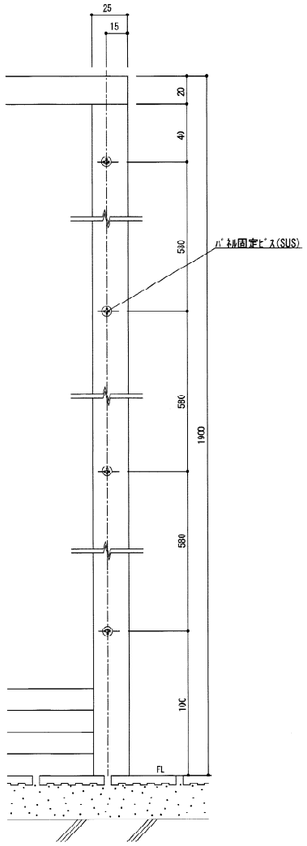
笠木天端コーナー補強金具詳細図



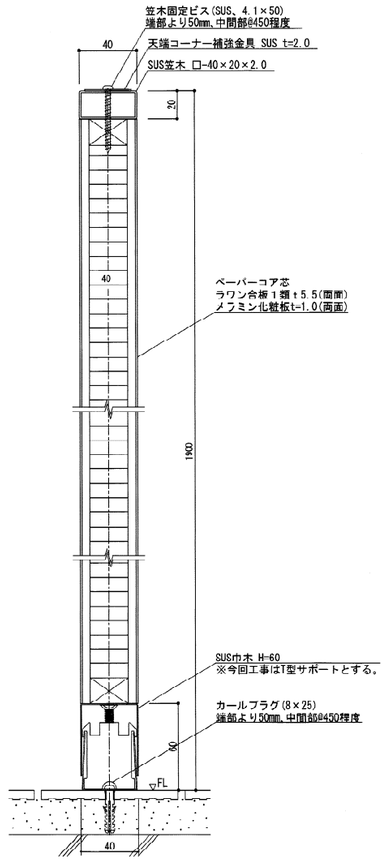


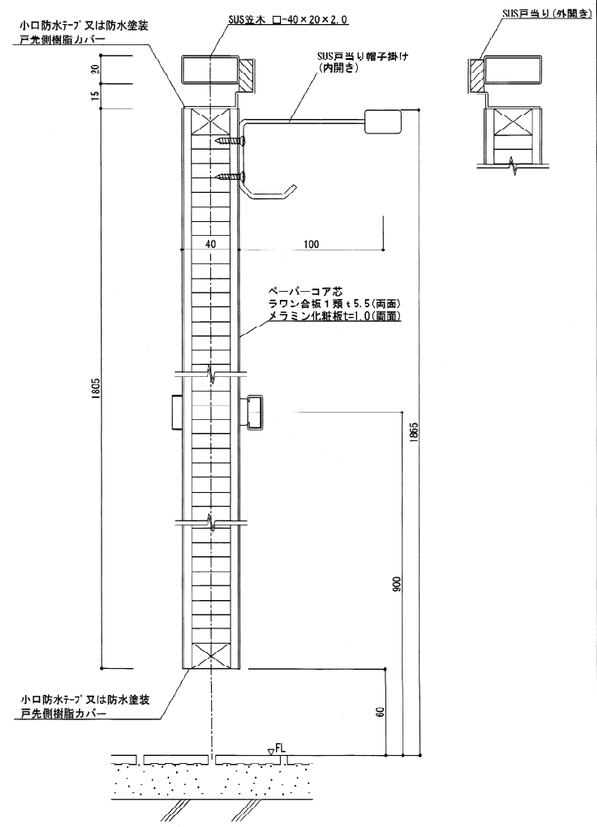


壁レール取付断面詳細図(①方向)



壁レール取付詳細図(②方向)



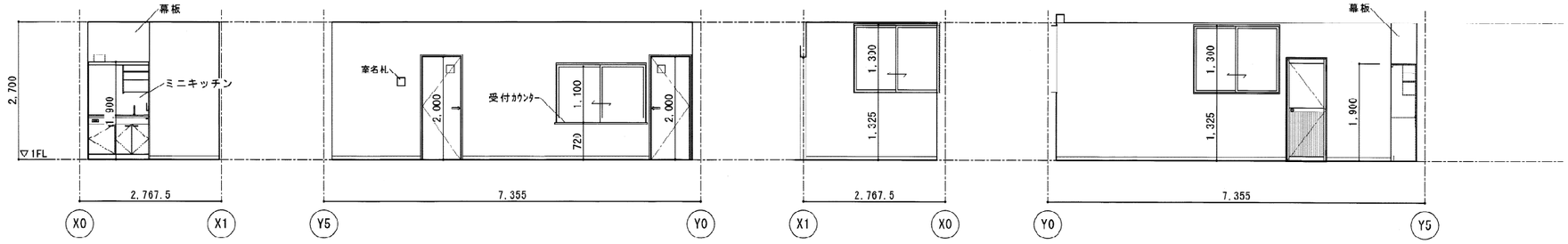


特記事項	・ ・ ・ ・	設計 協和コンサルタンツ　級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事登録第131098号 一級建築士登録第122018号　鳴谷 廣	課長	係長	係員	作図	製作年月日 令和4年　月　日	工事名称 (仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事 図面名称 トイレブース参考図　縮尺 A1:1/2 A3:1/4	内 A-10 全 83

明石市都市局都市整備室緑化公園課

受付

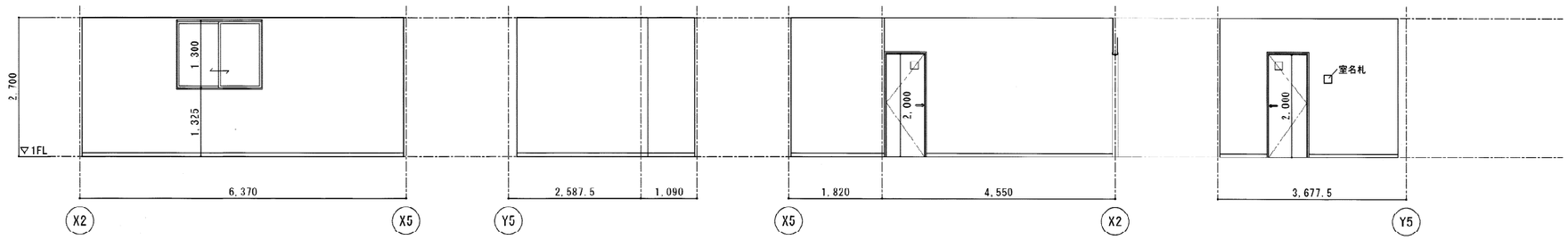
床	長尺塩ビシート t=2.0
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	PB t=12.5 ビニルクロス
天井	化粧石膏ボード t=9.5
備考	廻縁：塩ビ製 ブラインドボックス ミニキッチン



受付

会議室

床	長尺塩ビシート t=2.0
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	PB t=12.5 ビニルクロス
天井	化粧石膏ボード t=9.5
備考	廻縁：塩ビ製



会議室

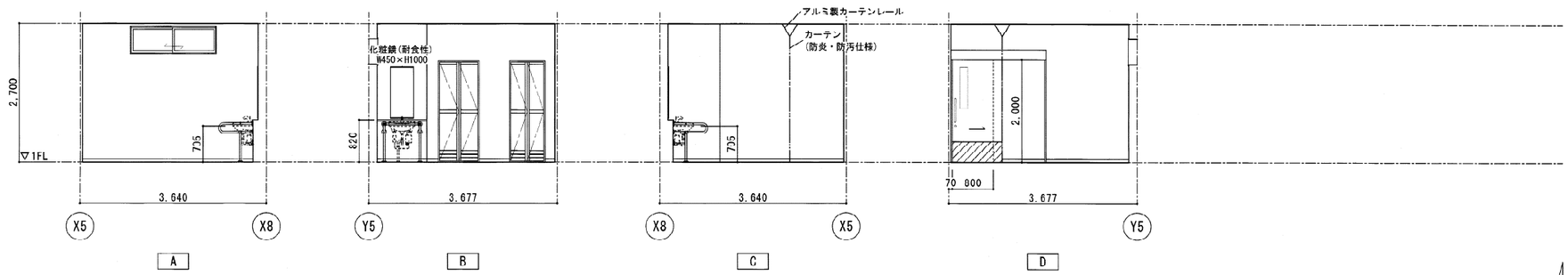
ロビー

床	長尺塩ビシート t=2.0
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	PB t=12.5 ビニルクロス
天井	化粧石膏ボード t=9.5
備考	廻縁：塩ビ製 カウンター ブラインドボックス

ロビー

更衣室（女）

床	長尺塩ビシート t=2.0
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	耐水石膏ボード t=12.5 ビニルクロス
ﾗｲﾆﾝｸﾞ	耐水合板 t=12 化粧ケイカル板 t=6
天井	化粧石膏ボード t=9.5
備考	廻縁：塩ビ製 シャワーユニット アルミ製カーテンレール カーテン、洗面手摺



更衣室（女）

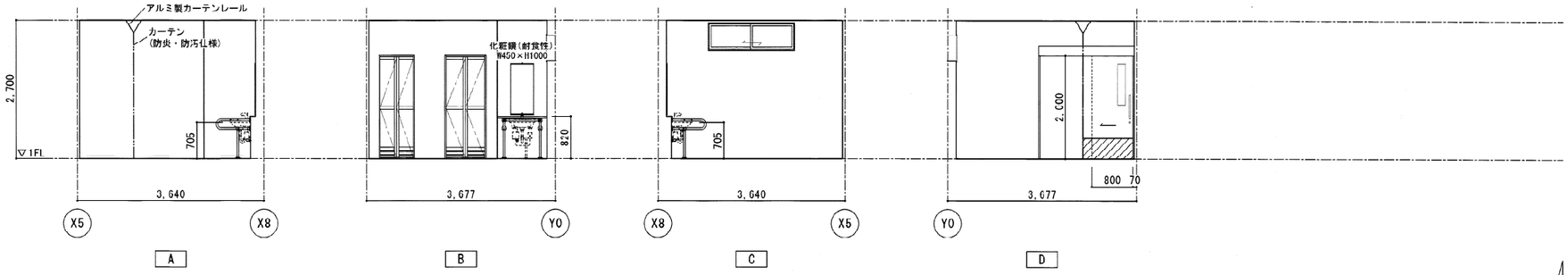
特記事項

・
・
・
・

監理者	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第13105号 一級建築士登録第122018号　鳴谷 薫
課長	初回作成者
係長	
担当	
明石市都市局都市整備室緑化公園課	
製作年月日	令和4年　月　日
工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事
図面名称	管理棟 展開図(1)
縮尺	A1：1/50 A3：1/100
内	A-20
企業	83

更衣室（男）

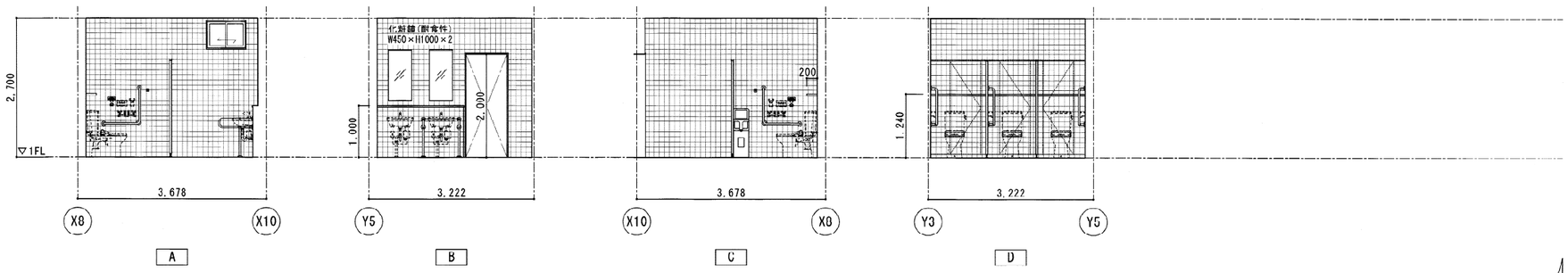
床	長尺塩ビシート t=2.0
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	耐水石膏ボード t=12.5 ビニルクロス
ﾗｲﾆﾝｸﾞ	耐水合板 t=12 化粧ケイカル板 t=6
天井	化粧石膏ボード t=9.5
備考	廻縁：塩ビ製 シャワーユニット アルミ製カーテンレール カーテン、洗面手摺



更衣室（男）

便所（女）

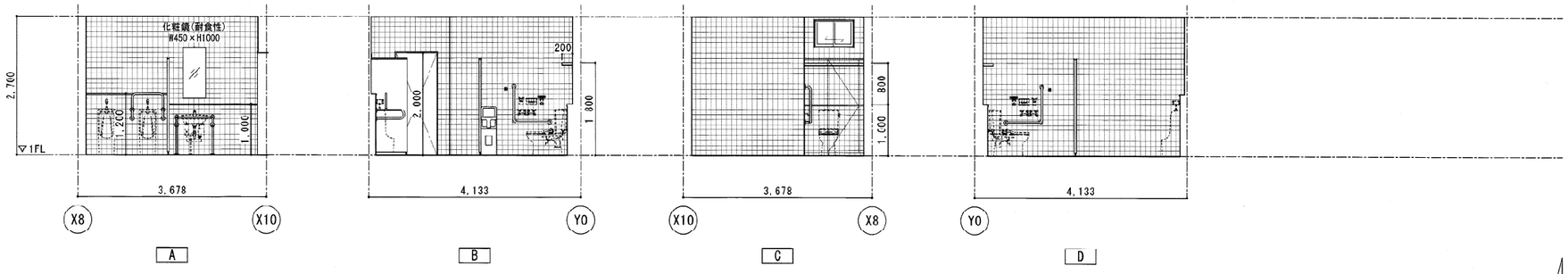
床	磁器質タイル貼　100角
巾木	ー
壁 （ﾗｲﾆﾝｸﾞ共）	磁器質タイル貼　100角 ラスカットボード t=9.5
天井	ケイカル板 t=6.0 EP
備考	廻縁：塩ビ製 トイレブース（H=2000） ベビーチェア（TOTO YKA16K同等品） L型手摺、洗面手摺、棚



便所（女）

便所（男）

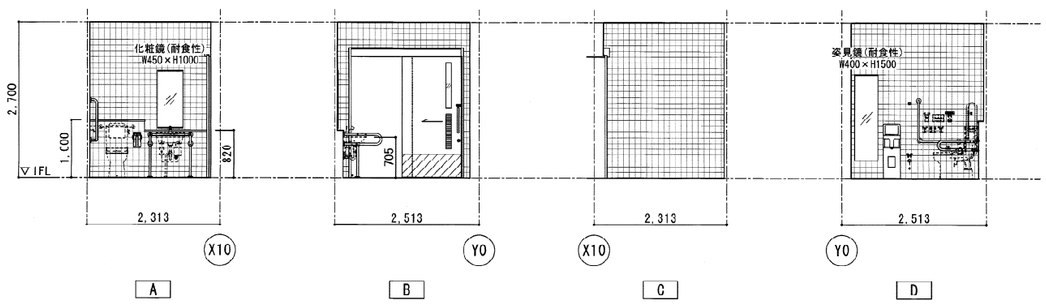
床	磁器質タイル貼　100角
巾木	ー
壁 （ﾗｲﾆﾝｸﾞ共）	磁器質タイル貼　100角 ラスカットボード t=9.5
天井	ケイカル板 t=6.0 EP
備考	廻縁：塩ビ製 トイレブース（H=2000） ベビーチェア（TOTO YKA15同等品） L型手摺、洗面手摺、棚



便所（男）

多目的便所

床	磁器質タイル貼　100角
巾木	ー
壁 （ﾗｲﾆﾝｸﾞ共）	磁器質タイル貼　100角 ラスカットボード t=9.5
天井	ケイカル板 t=6.0 EP
備考	廻縁：塩ビ製 トイレブース（H=2000） ベビーチェア（TOTO YKA15同等品） L型手摺、跳上式手摺、洗面手摺



多目的便所

特記事項
・
・
・
・

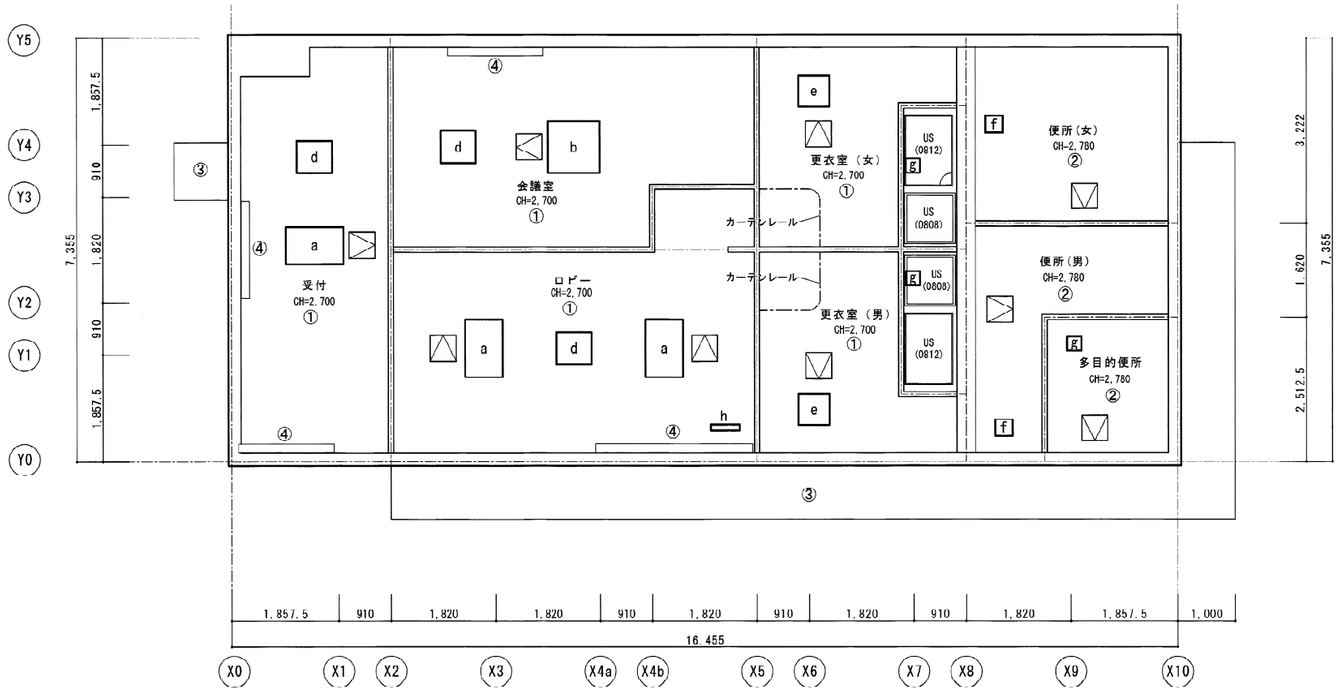
株式会社 協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所東京都登録第13109号
一級建築士登録第122018号　鳴谷 廣

課長 | 係長 | 担当

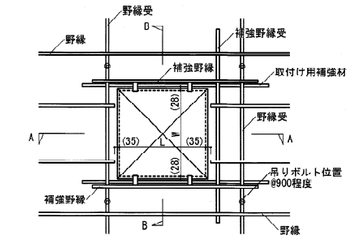
明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日　令和4年　月　日

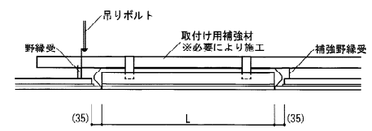
工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	A-21
図面名称	管理棟 展開図(2)	縮尺 A1：1/50 A3：1/100	全葉 83



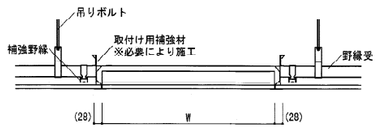
天井伏図　S=1/50



伏図　S=1/20



Ａ－Ａ　断面図　S=1/10



Ｂ－Ｂ　断面図　S=1/10

軽量鉄骨天井下地開口補強

【 凡　例 】

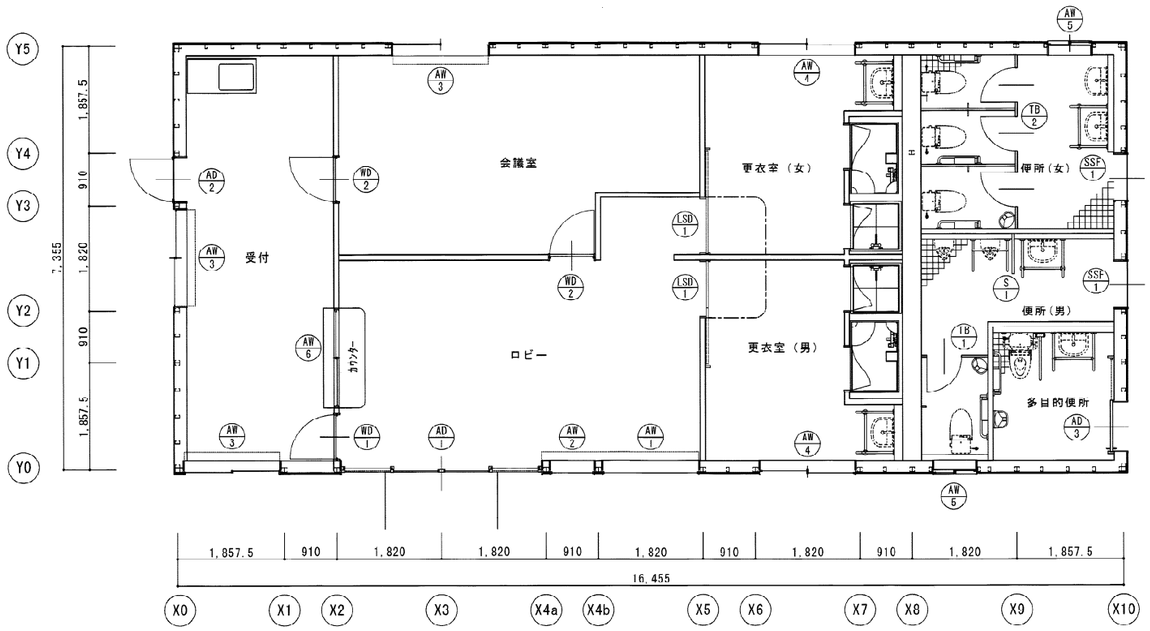
①	化粧石膏ボード t=9.5
②	ケイカル板 t=6.0 EP
③	日成ルーフ表し（同等品）
④	ブラインドボックス

空調設備用	凡例	開口寸法	数量
	a	650 × 1000	3
	b	900 × 900	1
換気設備用	d	610 × 610	2
	e	540 × 540	2
	f	300 × 300	2
	g	250 × 250	3
	h	100 × 500	1

天井点検口	凡例	開口寸法	数量
		450 × 450	9

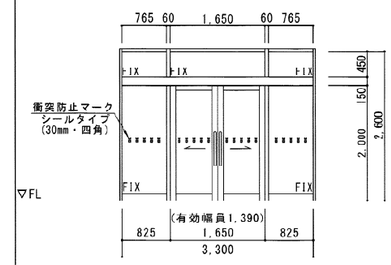
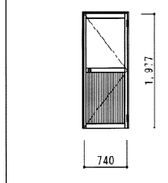
特記事項		監理	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第12109号 一級建築士登録第122018号　城谷 廣	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 令和4年　月　日	工事名称　(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事　内　A-22 図面名称　管理棟　縮尺 A1:1/10,20,50 天井伏図・軽量鉄骨天井下地開口補強　A3:1/20,40,100　全葉　83

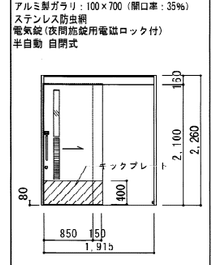
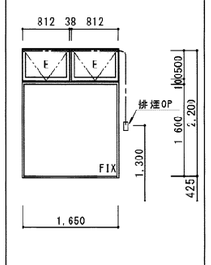
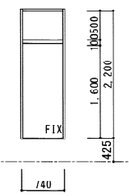
明石市都市局都市整備室緑化公園課

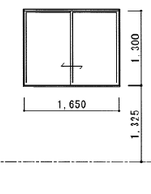
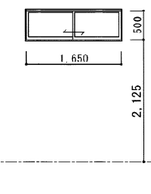


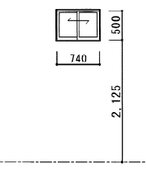
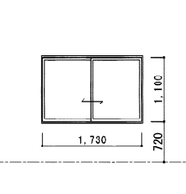
建具配置図　S=1/50

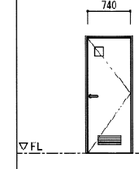
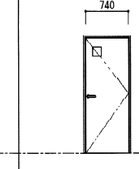
建具リスト　S=1/50

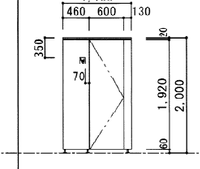
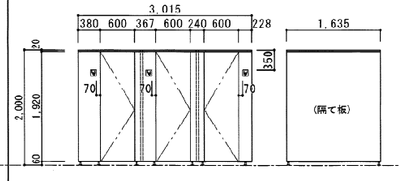
符号	数量				
		AD 1 アルミ製引分けハンガードア	1	AD 2 アルミ製片開戸	1
姿図					
場所		ロビー		受付	
見込		77		71	
仕上		アルミ		アルミ	
硝子		引分扉：網入透明板ガラス t=6.8、FIX：網入透明板ガラス t=6.8		上部：網入透明板ガラス t=6.8、下部：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ	
金物		大型引手、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠		錠玉、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ｻﾑﾀｰﾝ、ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ、丁番	
備考		付属金物一式 木製額縁 t20(3方枠)UC		付属金物一式 木製額縁 t20(3方枠)UC	

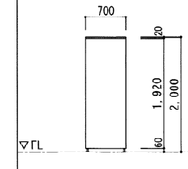
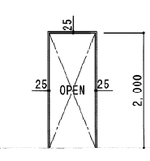
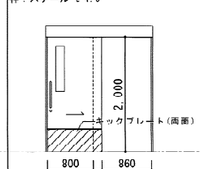
符号	数量						
		AD 3 アルミ製片引き戸(ハンガーレール)	1	AW 1 アルミ製外倒窓付FIX窓	1	AW 2 アルミ製FIX窓	1
姿図		アルミ製ガラリ：100×700（開口率：35%） ステンレス防虫網 電気錠（次間施錠用電磁ロック付） 半自動 自開式 					
場所		多目的便所		ロビー		ロビー	
見込		71		65		55	
仕上		アルミ		アルミ		アルミ	
硝子		網入型板ガラス t=6.8（100×800）		網入透明板ガラス t=6.8		FIX 網入透明板ガラス t=6.8 外側面：網入透明板ガラス t=6.8	
金物		引棒、シリンダー錠、サムターン、金握なし キックプレート(SUS HL)、付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	
備考		アルミ製額縁 t25(3方枠)		木製額縁 t20(4方枠)UC		木製額縁 t20(3方枠)UC	

符号	数量				
		AW 3 アルミ製引違い窓	3	AW 4 アルミ製引違い窓	2
姿図					
場所		受付、会議室		男子更衣室・女子更衣室	
見込		55		55	
仕上		アルミ		アルミ	
硝子		網入型板ガラス t=6.8		網入型板ガラス t=6.8	
金物		クレセント、付属金物一式		クレセント、付属金物一式	
備考		木製額縁 t20(4方枠)UC、防虫SUS網戸(40メッシュ)		木製額縁 t20(4方枠)UC、防虫SUS網戸(40メッシュ)	

符号	数量				
		AW 5 アルミ製引違い窓	2	AW 6 アルミ製引違い窓	1
姿図					
場所		女子便所・男子便所		受付	
見込		55		55	
仕上		アルミ		アルミ	
硝子		網入型板ガラス t=6.8		透明板ガラス t=3	
金物		クレセント、付属金物一式		クレセント、付属金物一式 下部フラットレール	
備考		木製額縁 t20(4方枠)UC、防虫SUS網戸(40メッシュ)		木製額縁 t20(3方枠)UC	

符号	数量				
		WD 1 木製開き戸	1	WD 2 木製開き戸	2
姿図		アルミ製ガラリ：150×400（開口率：39%） 			
場所		受付		会議室	
見込		40　枠：110		40　枠：110	
仕上		扉：ポリ合板　枠：米栂SOP		扉：ポリ合板　枠：米栂SOP	
硝子		型板ガラス t=4（150×150）		型板ガラス t=4（150×150）	
金物		レバーハンドル、サムターン ドアチェック、付属金物一式		レバーハンドル、サムターン ドアチェック、付属金物一式	
備考		—		—	

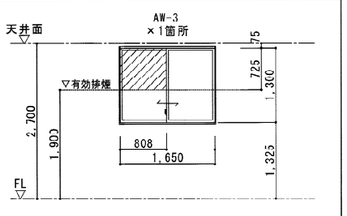
符号	数量				
		TB 1 トイレブース	1	TB 2 トイレブース	1
姿図					
場所		便所（男）		便所（女）	
見込		40		40	
仕上		トイレブース参考図参照(A-19)		トイレブース参考図参照(A-19)	
硝子		—		—	
金物		トイレブース参考図参照(A-19)		トイレブース参考図参照(A-19)	
備考		ブースサイン(100×100)		ブースサイン(100×100)	

符号	数量						
		S 1 スクリーン	1	SSF 1 ステンレス製三方枠	2	LSD 1 軽量スチール製片引き戸（ハンガーレール）	2
姿図						半自動 目閉式 枠：スチール t=1.6 	
場所		便所（男）		便所（男）（女）		更衣室（男）（女）	
見込		40		250		扉：40　枠：180	
仕上		トイレブース参考図参照(A-19)		HL		扉：化粧鋼板 t=0.5　枠：SOP塗装	
硝子		—		—		型板ガラス t=4（150×800）	
金物		トイレブース参考図参照(A-19)		—		引棒、付属金物一式 キックプレート(SUS HL)	
備考		—		—		—	

LVS算定表　S=1/50

受付	居室	室・避難経路・2室1室
排煙区分	(1)	CH　2.700
A	20.35	（室別求積図より）
L	2.14	> 1.02 (A/20)
V	機械換気	> —
S	0.58	> 0.41 (A/50)

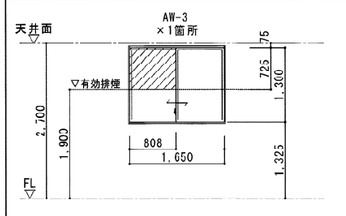
<備考>



L	1.65×1.30	=	2.145
V	—	=	—
S	0.808×0.725	=	0.585

会議室	居室	室・避難経路・2室1室
排煙区分	(1)	CH　2.700
A	21.44	（室別求積図より）
L	2.14	> 1.07 (A/20)
V	機械換気	> —
S	0.58	> 0.43 (A/50)

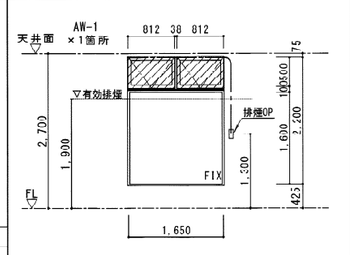
<備考>



L	1.65×1.30	=	2.145
V	—	=	—
S	0.808×0.725	=	0.585

ロビー	居室	室・避難経路・2室1室
排煙区分	(1)	CH　2.700
A	25.40	（室別求積図より）
L	2.64	> 1.27 (A/20)
V	機械換気	> —
S	0.81	> 0.51 (A/50)

<備考>

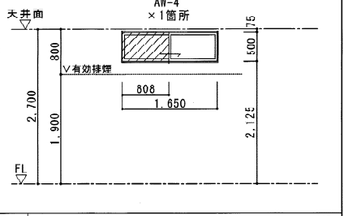


（開口角度：45° 以上）

L	1.65×1.60	=	2.640
V	—	=	—
S	(0.812×0.50)×2	=	0.812

更衣室（女）（男）	居室	室・避難経路・2室1室
排煙区分	(1)	CH　2.700
A	10.13	（室別求積図より）
L	0.82	> 0.51 (A/20)
V	機械換気	> —
S	0.40	> 0.20 (A/50)

<備考>



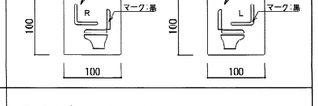
L	1.65×0.50	=	0.825
V	—	=	—
S	—	=	—

排煙区分：(1) =建築基準法施行令116条の2—1 ニによる。
ALVSの各計算は寸法の1mmの位を切り捨てて行う（安全側）。

無窓階算定表

階	室名	建具記号	扉形状	開口種別	有効開口部 幅	高さ	箇所	面積[a]	腰高	ガラス	備考
1階	ロビー	AW1	FIX	大	1.650	1.600	1	2.640	0.425	普通(t5)	
		AD1	両引戸	小	0.78	2.000	2	3.360	0.000	強化(t5)	
						計	2	箇所			
	合計[Σa]							6.000	よって		
	床面積[A]/30	121.02		×1/30		=		4.034	[Σa]≧[A]/30	→	有窓室

ブースサイン詳細図　S＝1／5

設置箇所	女子・男子トイレブース
形状寸法	
材質	アクリルプレート-100x100x2 マーク：耐候性シート貼

特記事項
・排煙設備の手動開放装置は床面から1500以内に設置すること
・
・
・

登録 協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一部建築工事事務所東京都登録第12109号
一級建築士登録第122018号　嶋谷 泉

課長	担当技術者	係長	担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日	工事名称	内
令和4年　月　日	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	A-23
	図面名称　管理棟　縮尺 A1:1/5,50 建具配置図・建具リスト・LVS算定表・無窓階算定・詳細図　A3:1/10,100	全葉 83

設計概要

一般事項	工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	用途地域	第1種中高層住居専用地域 準住居地域		構造概要	架構	軽量鉄骨ﾌﾞﾚｰｽ構造	基礎	鉄筋コンクリート造布基礎 基礎立上り：撥水剤（大日技研工業（株）ランデックスコート同等品）
	建築場所	兵庫県明石市魚住町清水地先	防火指定	防火指定なし			床	セルフレベリング材 t=10	天井	軽鉄下地
	工事種別	新築	建ぺい率	60 %	容積率 200 %			土間コンクリート t=100		グラスウール t=50（16kg/m³品）
	建物用途	更衣室棟	その他指定					ワイヤーメッシュ 6φ 150×150クロス		
建物概要	型式	日成ビルド工業(株) GT-XY 4H*9K （同等品以上とする）	階数	平屋建				押出法ポリスチレンフォーム3種b(t=30)	壁	軽鉄下地
	建築面積	27.32 m²	最高軒高	3.365 m				防湿シート t=0.15		グラスウール t=50（16kg/m³品）
	延床面積	27.32 m²	最高高さ	4.140 m				砕石 t=100		

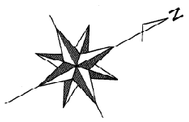
外部仕上

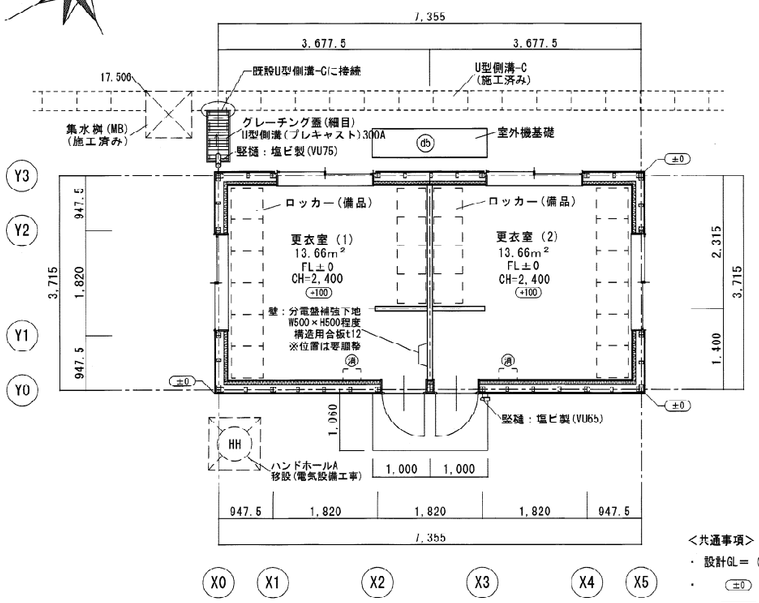
屋根	日成ルーフ(ガルバリウム鋼板) t=0.6 H=70.5(同等品)	軒天	日成ルーフ裏し(同等品)	建具 (建具表による)	符号	仕様	硝子	寸法	備考
	裏面:ペフ t=4		庇見上げ鉄骨DP（3級）						
外壁	窯業系サイディング t=16(塗装品・標準色)	樋	軒樋:塩ビ製 角型120						
	金具留め		竪樋:塩ビ製(VU75)						
	透湿防水シート 鉄骨胴縁	板金金物	水切:カラーガルバリウム鋼板 t=0.35						

内部仕上

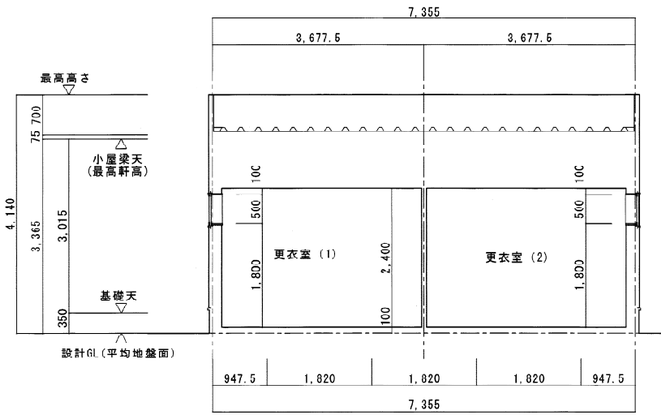
階	室名	天井高	床	巾木	壁	天井	廻縁	備考
1	更衣室（1）	2,400	長尺塩ビシート t=2.0 土間コンクリート t=100 金ゴテ押え	ソフト巾木 H=60	ビニルクロス PB t=12.5	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	
	更衣室（2）	2,400	長尺塩ビシート t=2.0 土間コンクリート t=100 金ゴテ押え	ソフト巾木 H=60	ビニルクロス PB t=12.5	化粧石膏ボード t=9.5	塩ビ製	

備考　1．使用建材は全てＦ☆☆☆☆品を使用する。　2．アスベストを含有した建材を使用しない。

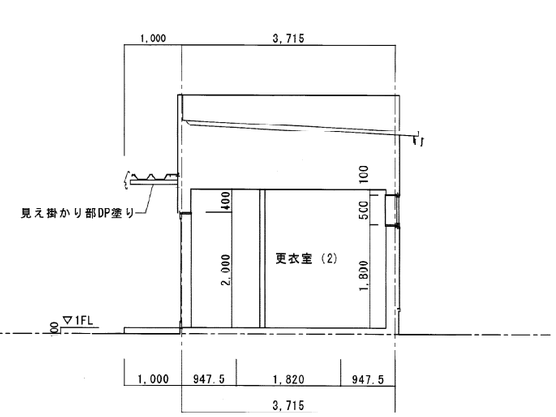




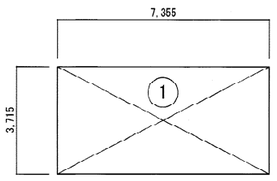
平面図　S=1/50



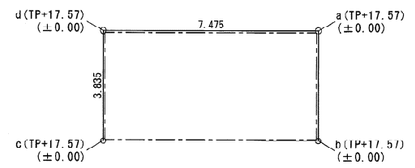
Y断面図　S=1/50



X断面図　S=1/50



求積図　S=1/100



平均地盤面算定図　S=1/100

求積表

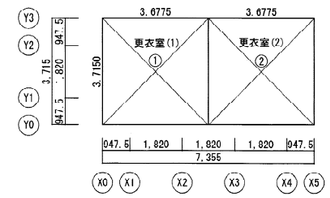
記号	計算式	面積
①	7.355 × 3.715	= 27.32~~0825~~
延べ面積 ①		= 27.32
建築面積 ①		= 27.32

平均地盤面算定式

区間（始点～終点）	H1 (m)	H2 (m)	L (m)	面積A (㎡)	
a ～ b	0.00	0.00	3.835	(0.00+0.00)×3.835/2=	0.0000
b ～ c	0.00	0.00	7.475	(0.00+0.00)×7.475/2=	0.0000
c ～ d	0.00	0.00	3.835	(0.00+0.00)×3.835/2=	0.0000
d ～ a	0.00	0.00	7.475	(0.00+0.00)×7.475/2=	0.0000
合計			22.620		0.0000

平均高さ(A/L)= 0.0000 / 22.62 = 0.00

平均地盤面= 設計GL + 0.00 m



室別求積図　S=1/100

室別床面積計算表

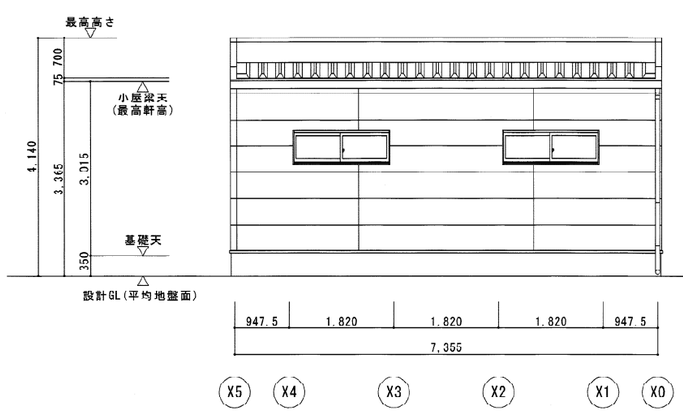
No	計算式	室名	室別集計	室面積	採煙区画 区分	採煙区画 面積	採煙区画 2室1室
1	3.6775 × 3.7150 − 13.6619	更衣室(1)	13.6619	13.66	非居室	13.66	−
2	3.6775 × 3.7150 = 13.6619	更衣室(2)	13.6619	13.66	非居室	13.66	−

＜共通事項＞

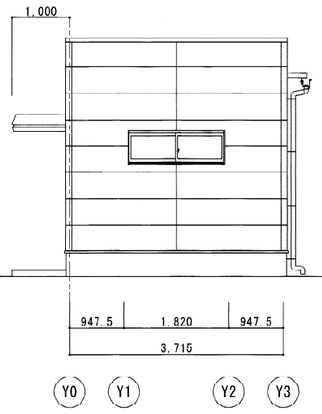
- 設計GL＝（17.57）±0 とする。
- ±0 ：設計GLよりの仕上高さを示す。
- ：グラスウール t=50（16kg/m³品）
- 通 ：ABC消火器(BOX共) 内部（床置型）鋼製 10型1本用(機械設備工事)

特記事項

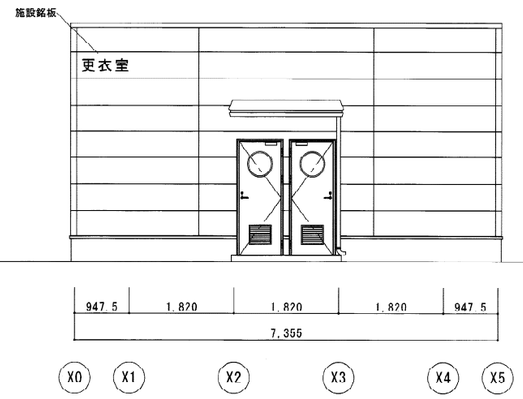
監理	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所登録第13109号 一級建築士登録第122010号 地谷 廣	課長	係長	担当	製作年月日 令和4年 月 日	工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事
						図面名称	更衣室棟 平面図・断面図 設計概要・仕上表・求積図・平均地盤面算定・室別求積図
						縮尺	A1:1/50,100 A3:1/100,200
					明石市都市局都市整備室緑化公園課	内	A-24
						全葉	83



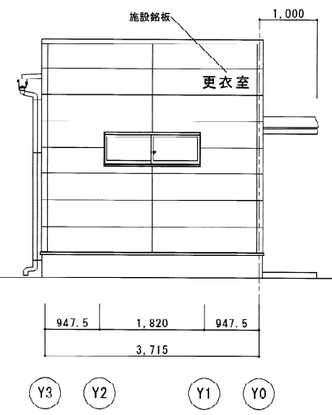
北側立面図　S=1/50



東側立面図　S=1/50



南側立面図　S=1/50

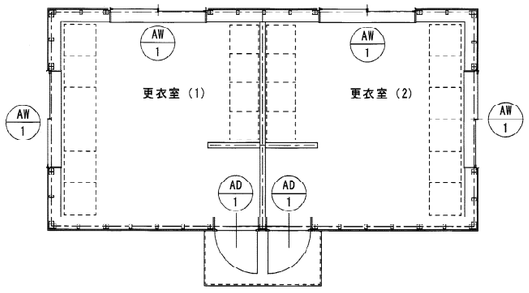


西側立面図　S=1/50

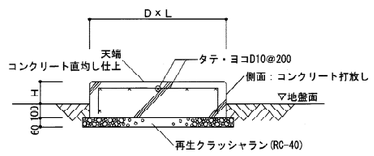
建具リスト　S=1/50

符号	数量				
	AD 1	アルミ製片開戸	2	AW 1	アルミ製引違い窓	4
姿図	アルミ製ガラリ：350×250（開口率：35%） ステンレス防虫網 ▽FL 2,000 740			560 1,650 1,880	
場所	更衣室（1）・更衣室（2）			更衣室（1）・更衣室（2）	
見込	71			55	
仕上	アルミ			アルミ	
硝子	丸窓：ポリカーボネート板 t5(マット調)			ポリカーボネート板 t5(マット調)	
金物	レバーハンドル、シリンダー錠、サムターン、ドアチェック、丁番、付属金物一式			クレセント、付属金物一式	
備考	アルミ製額縁 t20(3方枠)			アルミ製額縁 t20(4方枠) 防虫SUS網戸(40メッシュ)	

※無窓開算定・・・［Σa］＜［A］/30　→　無窓階



建具配置図　S=1/50

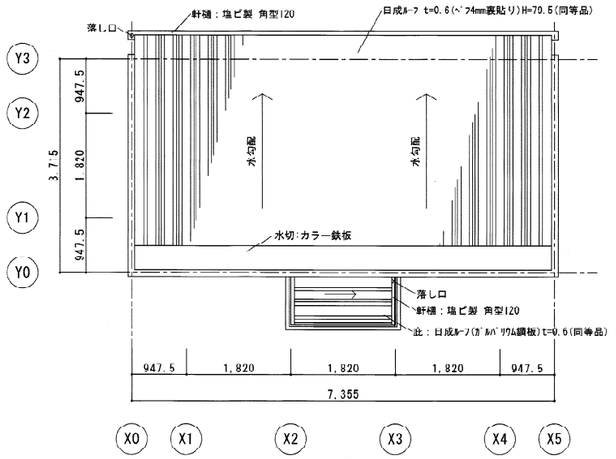


基礎詳細図　S=1/20

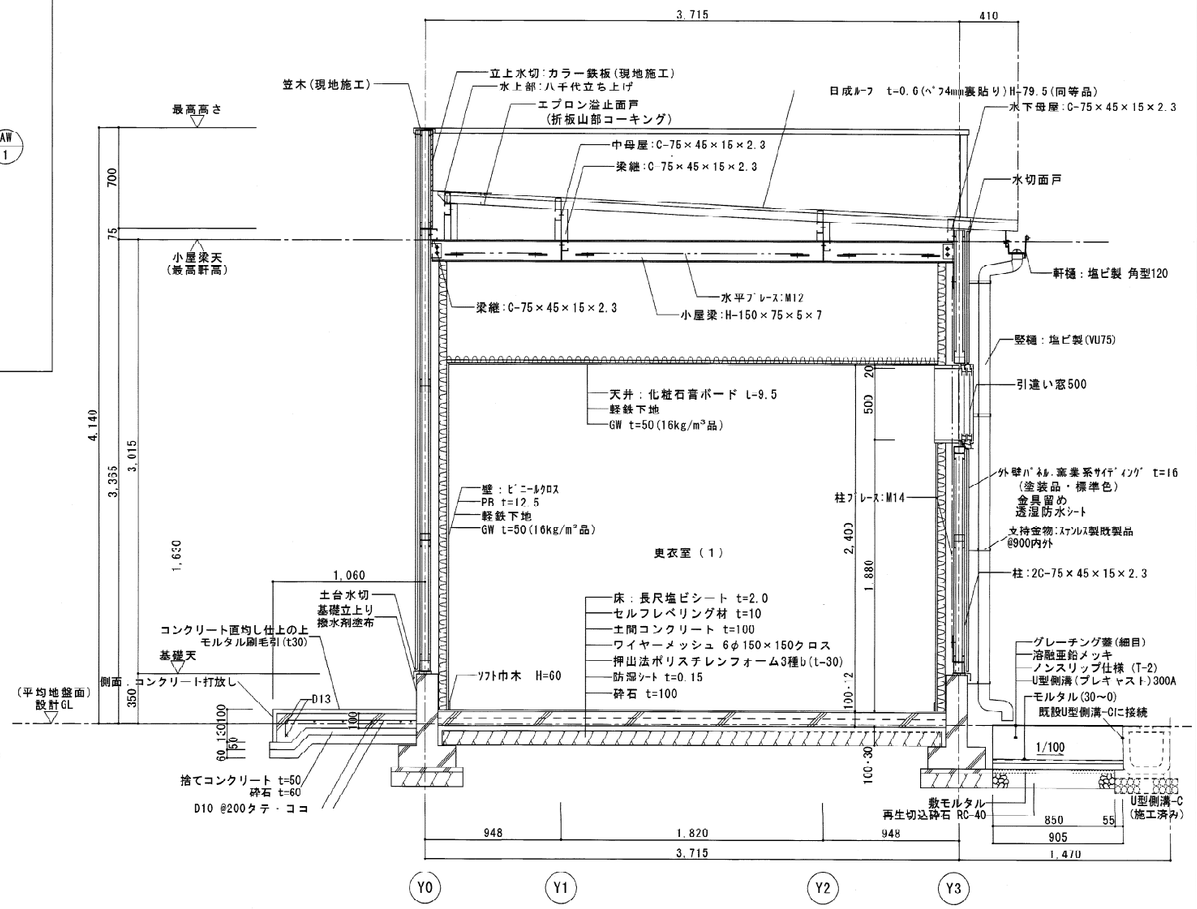
符号	名称	寸法（L×D）	高さ（H）	数量
㎡5	室外機基礎	2000×500	150	1

設計基準強度

コンクリート強度：基礎	Fc=21N/mm²	SL=15cm



屋根伏図　S=1/50



矩計図　S=1/20

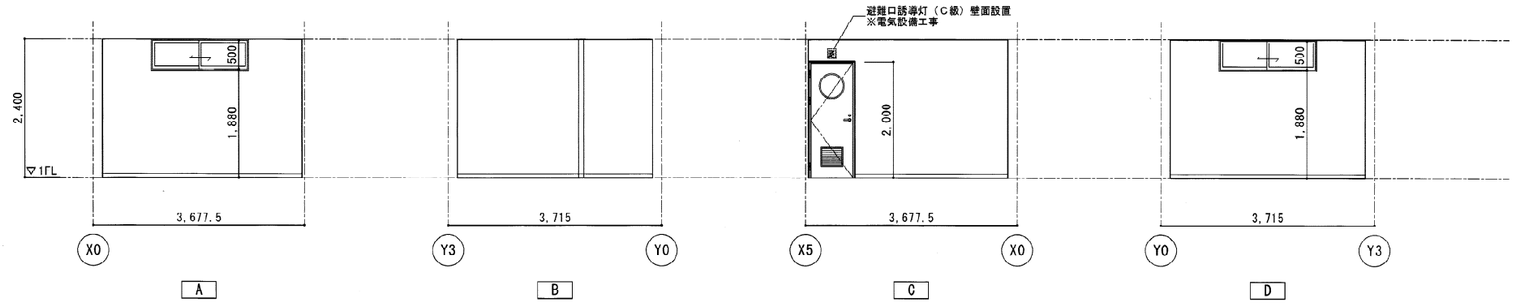
特記事項

設計監理	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士登録第13109号 一級建築士登録第122010号　嶋谷 廣	課長	係長	担当	製作年月日 令和4年　月　日
明石市都市局都市整備室緑化公園課					

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	A-25
図面名称	更衣室棟 立面図・建具リスト・建具配置図・矩計図・屋根伏図・詳細図	縮尺	A1:1/20,50 A3:1/40,100
		全葉	83

更衣室（1）

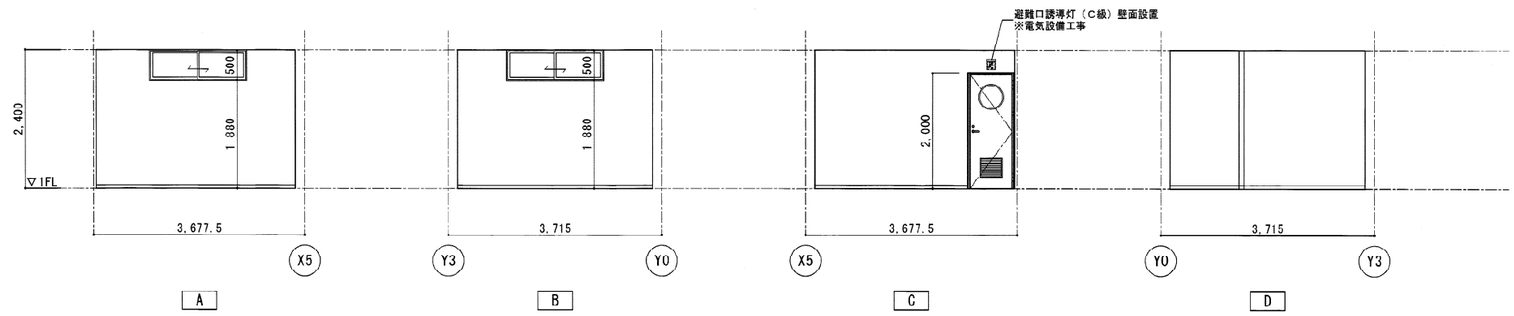
床	長尺塩ビシート t=2.0
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	PB t=12.5 ビニルクロス
天井	化粧石膏ボード t=9.5
備考	廻縁：塩ビ製



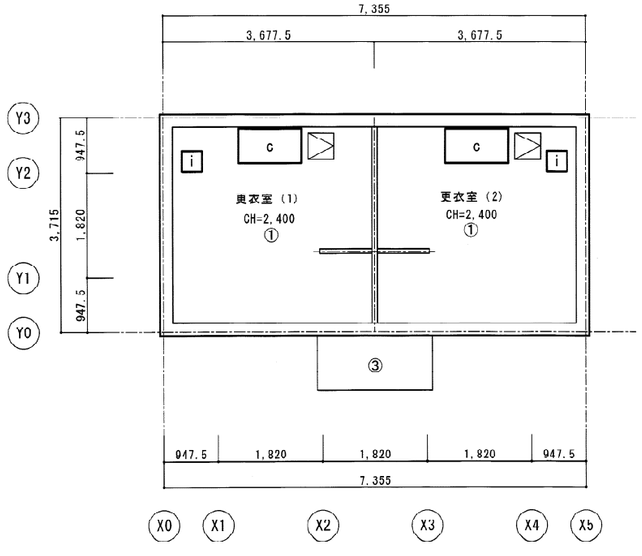
更衣室（1）

更衣室（2）

床	長尺塩ビシート t=2.0
巾木	ソフト巾木 H=60
壁	PB t=12.5 ビニルクロス
天井	化粧石膏ボード t=9.5
備考	廻縁：塩ビ製



更衣室（2）



天井伏図　S=1/50

【凡例】

①	化粧石膏ボード t=9.5
③	日成ルーフ表し(同等品)

空調設備用	凡例	開口寸法	数量
	C	600 × 1100	2
換気設備用	i	350 × 350	2

天井点検口	凡例	開口寸法	数量
	☒	450 × 450	2

特記事項

監理 協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所登録第13109号
一級建築士登録第122010号　嶋谷 廣

課長　係長　係員　担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日　令和4年　月　日

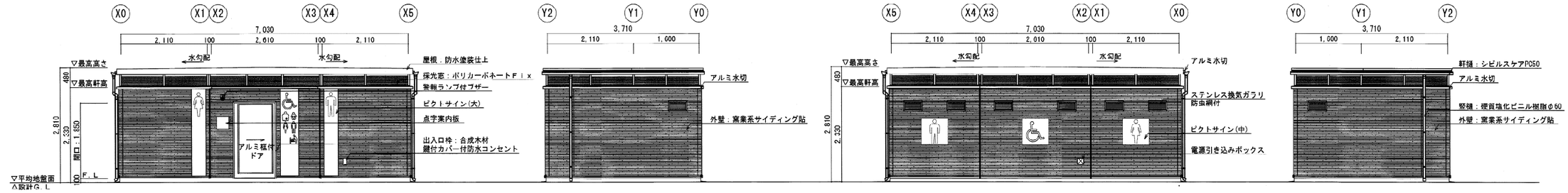
工事名称　（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事

図面名称　更衣室棟　展開図・天井伏図

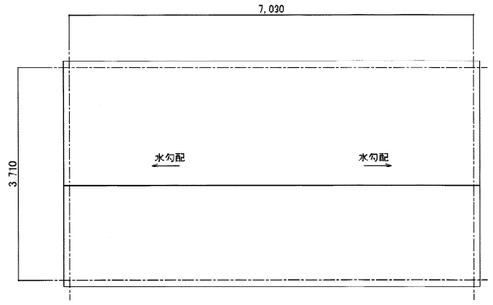
縮尺　A1:1/50　A3:1/100

内　A-26

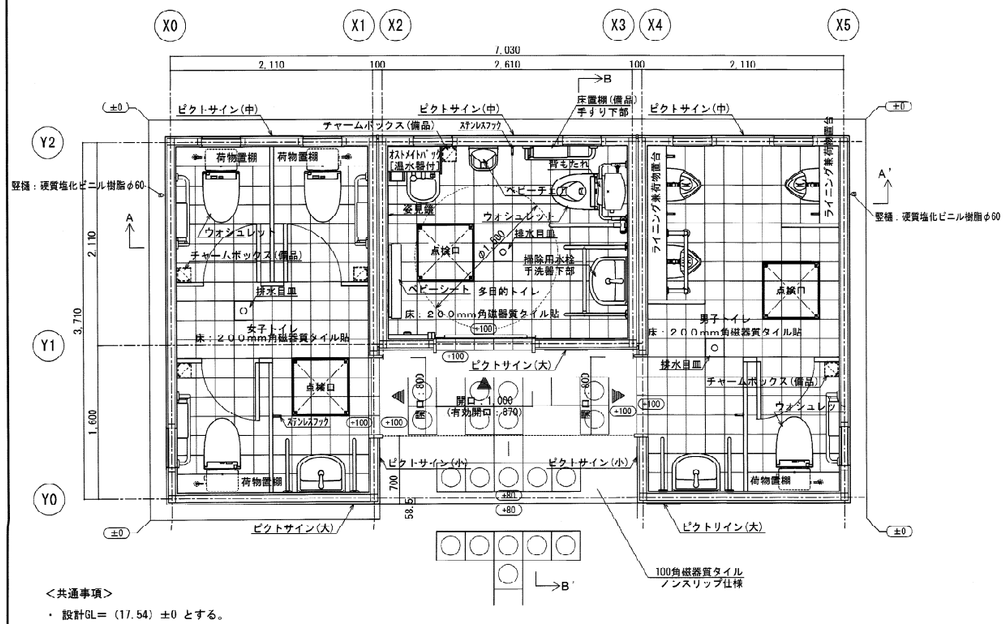
全葉　83



西立面図　S=1/50　　北立面図　S=1/50　　東立面図　S=1/50　　南立面図　S=1/50



屋根伏図　S=1/50



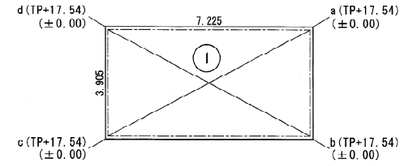
平面図　S=1/30

<共通事項>

- 設計GL＝（17.54）±0 とする。
- ±0　：設計GLよりの仕上高さを示す。
- □　：喚起誘導ブロックを示す。

仕　様　書（本体工事に含む）

		仕　様	色，品番
外部仕上	屋　根	ＰＣ下地　防水塗装仕上	グレー
	外　壁	窯業系サイディング貼	
	建　具	採光窓：ポリカーボネートＦｉｘ	ブルースモークマット
		複合パネル貼アルミ框付引き戸（多目的）表示錠・管理錠付	ステンカラー／半自動式／夜間施錠用電磁ロック付
		ステンレス換気ガラリ［防虫網付］	
	その他	アルミ水切	シルバー
		出入口枠：合成木材	
		アルミ複合板トイレサイン	
		点字案内板（多目的）［多目的トイレ内の配置図を表示］	
		警報ランプ付ブザー	赤
		音声案内装置	
		鍵付カバー付防水コンセント	
内部仕上	天　井	ＰＣ下地　塗装仕上［凹凸状小粒吹付］	ホワイト
	内　壁	アルミ積層複合パネル貼	ホワイト
	床	２００mm角磁器質タイル貼	女：ベージュ系／多：ホワイト系／男：ベージュ系
	衛生器具	陶製　手洗器・便器［手洗器：自動水栓］	パステルアイボリー
		ウォシュレット	パステルアイボリー
		幼児用補助便座（多目的）	ホワイト
		背もたれ（多目的）	スマイルベージュ
		オストメイトパック［温水器付］（多目的）	パステルアイボリー
		掃除用水栓（多目的手洗器下部）	
		ステンレス製樹脂被覆手すり	パステルアイボリー／小便器：アイボリー
		化粧鏡（450×1000）	
		姿見鏡（多目的）（450×1500）	
		ベビーチェア（多目的）	ホワイト
		ベビーシート（多目的）	ホワイト
		ステンレス紙巻器	
		ステンレスフック（耐荷重：5kgf）	
		ステンレス製床置棚（多目的）	
		チャームボックス（備品）	
		ステンレス排水目皿	
	その他	ライニング兼荷物置台（男子）	ブラック
		ブース・メラミン化粧合板フラッシュ　戸当たり兼帽子掛フック付 非常時外開き対応	女：ベージュ／男：グレー
		荷物置棚・メラミン化粧合板フラッシュ	女：ベージュ／男：グレー
		点検口：２００mm角磁器タイル貼［６００角］	女：ベージュ系／多：ホワイト系／男：ベージュ系
特記事項		基礎コンクリート：ＦＣ＝２１Ｎ／mm² 基礎鉄筋　ＳＤ２９５Ａ 本体：角型鋼管　ＳＴＫＲ－４００（ＰＺ） 製品本体には、給排水・電気設備二次側一式を含む。 製品本体は「ＧＰＬ表示認定企業製品」及び、「ISO 9001:2015」「ISO 14001:2015」の認証取得企業製品とする。 製品本体は日本公園施設業協会生産物賠償責任保険加入製品とする。 製品本体はクラフト：ＲＨ－０３ＦＥ－７０３０または、同等品以上とする。 使用建材は全てＦ☆☆☆☆品を使用する。 アスベストを含有した建材を使用しない。	



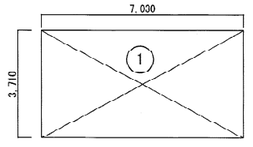
平均地盤面算定図　S=1/100

平均地盤面算定式

区間（始点－終点）	H1 (m)	H2 (m)	L (m)	面積A (㎡)	
a ～ b	0.00	0.00	3.905	(0.00+0.00)×3.905/2=	0.0000
b ～ c	0.00	0.00	7.225	(0.00+0.00)×7.225/2=	0.0000
c ～ d	0.00	0.00	3.905	(0.00+0.00)×3.905/2=	0.0000
d ～ a	0.00	0.00	7.225	(0.00+0.00)×7.225/2=	0.0000
合計			22.260		0.0000

平均高さ(A/L)＝　0.0000 / 22.26 = 0.00

平均地盤面＝　設計GL + 0.00 m



求積図　S=1/100

求積表

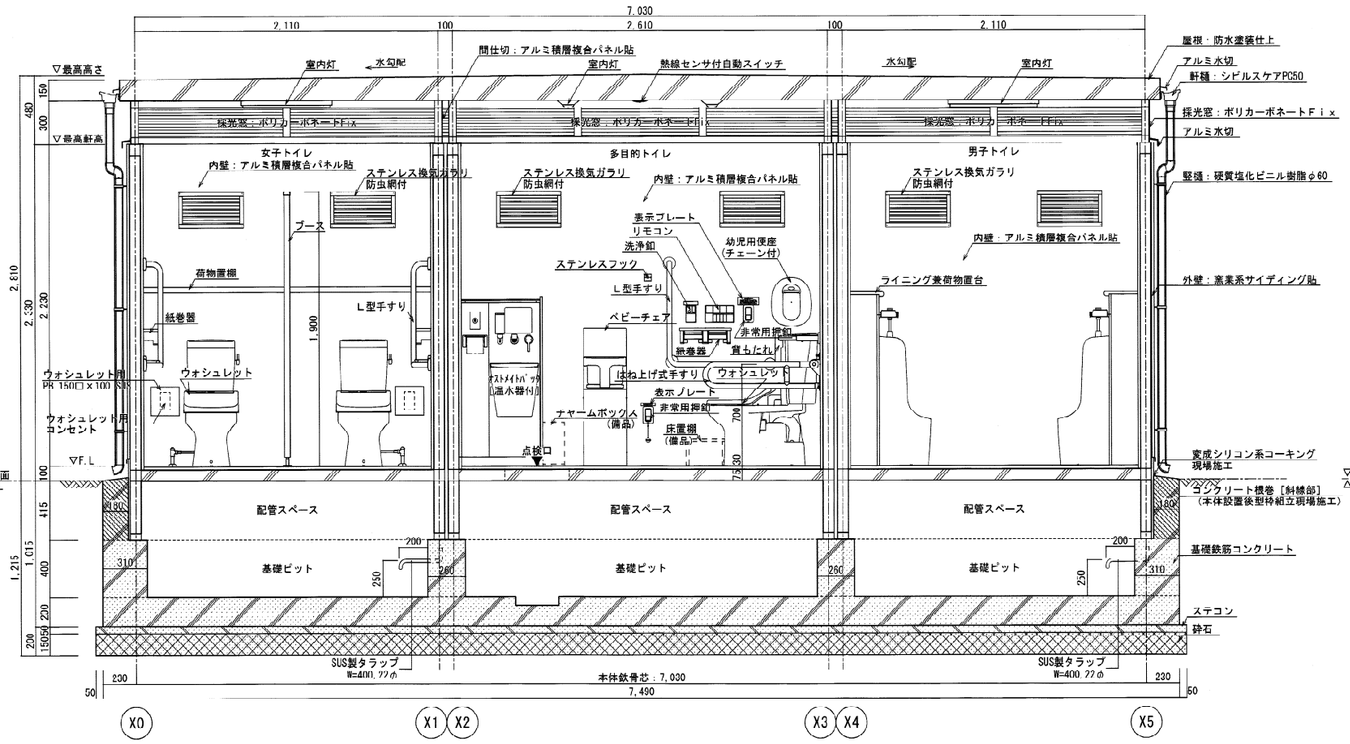
記号	計算式	面積
①	3.710 × 7.030	＝ 26.081
延べ面積 ①		－ 26.00
建築面積 ①		＝ 26.08

特記事項	・
	・
	・
	・

設計者	協和コンサルタンツ　一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事登録第131099号 一級建築士登録第122018号　鳴谷 真	課長	副課長	係長	担当
明石市都市局都市整備室緑化公園課		製作年月日	令和4年　月　日	工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事
		図面名称	トイレ棟	縮尺	A1:1/30, 50, 100 A3:1/60, 100, 200
			平面図・立面図・屋根伏図・仕様書・求積図・平均地盤面算定		

内　A-27

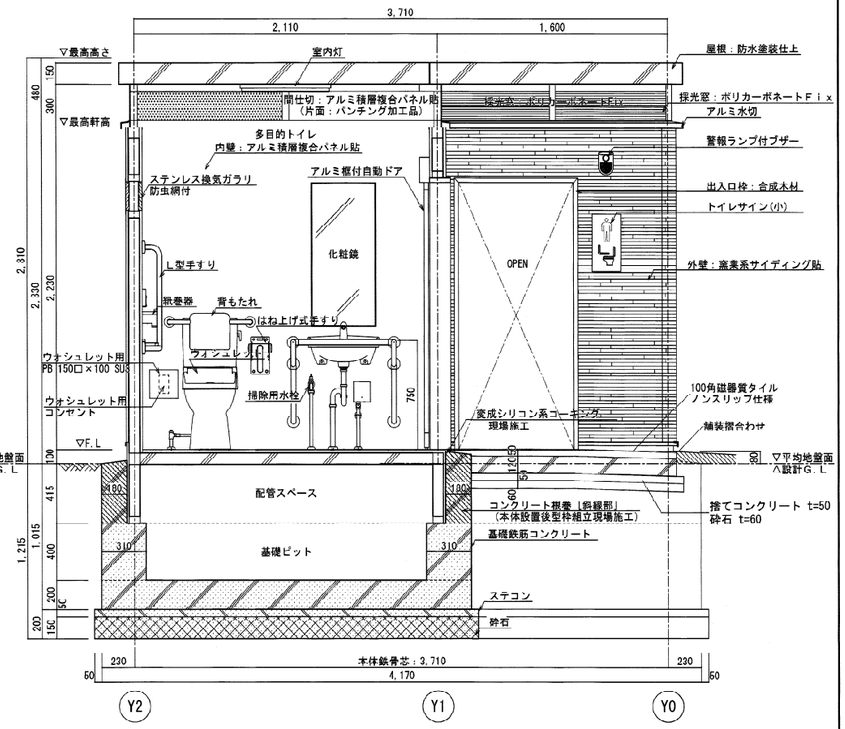
全葉　83



A－A’ 断面詳細図　S=1/20

部分は現場施工とする。

※SUS(304)製タラップは、男子トイレおよび女子トイレの計2箇所とする。

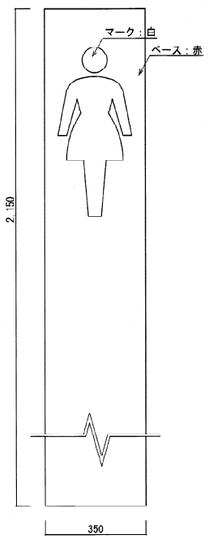
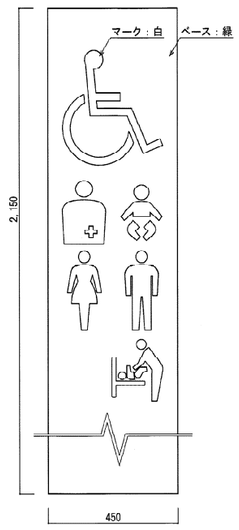
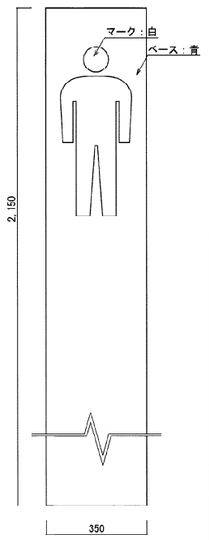


B－B’ 断面詳細図　S=1/20

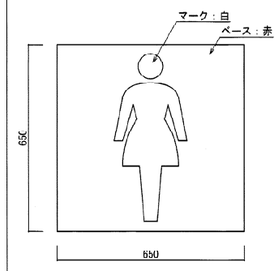
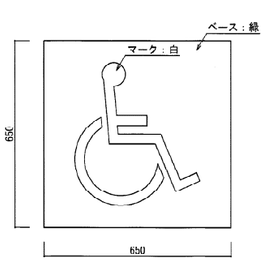
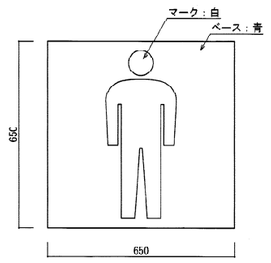
部分は現場施工とする。

特記事項	監理技術者 協和コンサルタンツ 級建築士事務所 一級建築士事務所奈良県知事登録第1310号 一級建築士登録第122018号 嶋谷 眞幸	課長 / 係長 / 担当	明石市都市局都市整備室緑化公園課	製作年月日 令和4年 月 日	工事名称：(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事 図面名称：トイレ棟 断面詳細図　縮尺 A1:1/20 A3:1/40	内 A-28 全葉 83

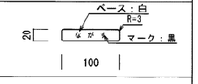
ピクトサイン（大）詳細図　S=1/10

名　称	女子トイレ正面	多目的トイレ正面	男子トイレ正面
形状寸法			
材　質	アルミ複合板-350x2,150 インクジェット印刷（UVマットフィルム貼）	アルミ複合板-450x2,150 インクジェット印刷（UVマットフィルム貼）	アルミ複合板-350x2,150 インクジェット印刷（UVマットフィルム貼）

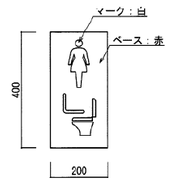
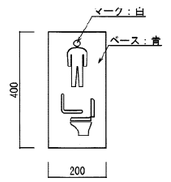
ピクトサイン（中）詳細図　S=1/10

設置箇所	女子トイレ背面	多目的トイレ背面	男子トイレ背面
形状寸法			
材　質	アルミ複合板-650x650 インクジェット印刷（UVマットフィルム貼）	アルミ複合板-650x650 インクジェット印刷（UVマットフィルム貼）	アルミ複合板-650x650 インクジェット印刷（UVマットフィルム貼）

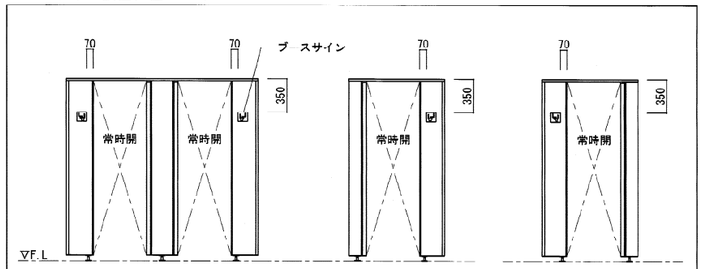
表示プレート詳細図　S=1/5

設置箇所	各目的トイレ・男女トイレブース内
形状寸法	
材　質	アクリルプレート-100x70x5 マーク：耐候性シート貼

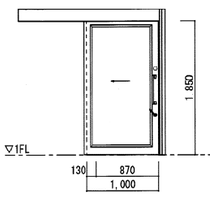
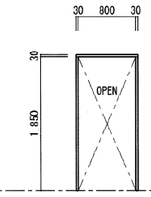
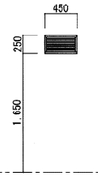
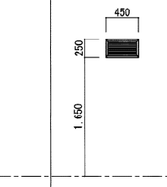
ピクトサイン（小）詳細図　S=1/10

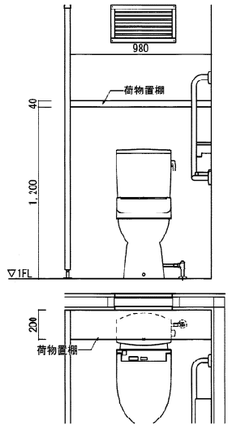
設置箇所	女子トイレ入口	男子トイレ入口
形状寸法		
材　質	アルミ複合板-200x400 インクジェット印刷（UVマットフィルム貼）	アルミ複合板-200x400 インクジェット印刷（UVマットフィルム貼）

ブースサイン設置位置　S=1/30



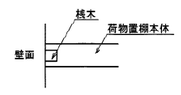
建具表　S=1/40

位　置	多目的入口　1箇所	男女トイレ入口　2箇所	室内側　8箇所	外側　8箇所
形状寸法				
名　称	複合パネル貼アルミ枠付引き戸	男女トイレ入口三方枠	ステンレス換気ガラリ	ステンレス換気ガラリ （防虫網付）
材　質	フレーム：アルミ 内部：表面 アルミ積層複合パネルt=3 芯材 発泡ポリスチレンパネルt=22	合成木材　t=30	ステンレス　t=0.8	ステンレス　t=0.8
仕　上	アルミアルマイト仕上　ステンカラー	—	ヘアライン仕上	ヘアライン仕上
備　考	ハンガ　ドアクロ　ザ　シリンダ　錠 内掛錠錠（外部表示錠） 夜間施錠用電磁ロック付	—	開口部面積：0.0861(㎡) 有効換気面積：0.0376(㎡) 開口率：　43.7(%)	



荷物置棚配置図　S=1/10

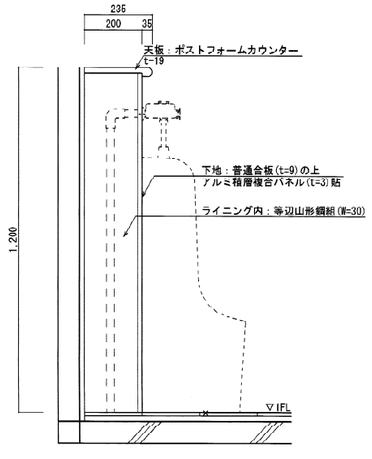
980×200×40　2枚（女子）
960×200×40　1枚（女子）
960×200×40　1枚（男子）



荷物置棚が設置される個所に桟木を壁３面に遣わせ、
荷物置棚を嵌め込み接着剤等で固定する。

荷物置棚材質
芯材：押出法ポリスチレンフォーム
仕上材：メラミン化粧板貼

荷物置棚詳細図　S=1/5



小便器ライニング詳細図　S=1/10

特記事項	・ ・ ・ ・

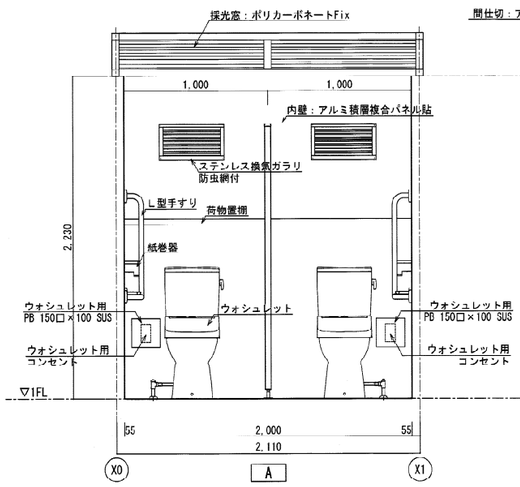
委託者　協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所登録(13109)号
一級建築士登録第122016号　嶋谷 眞

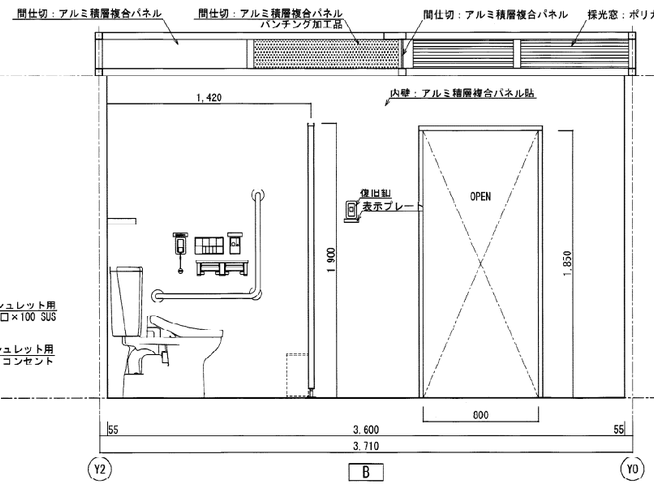
課長　係長　担当

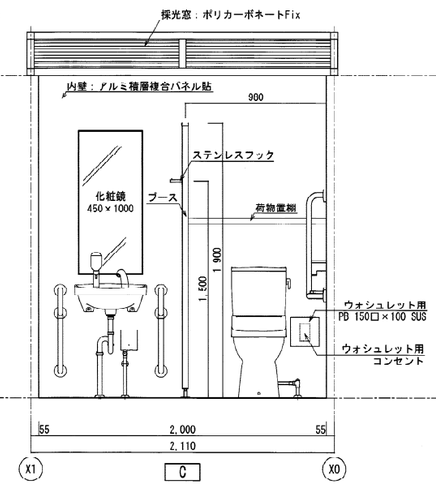
明石市都市局都市整備室緑化公園課

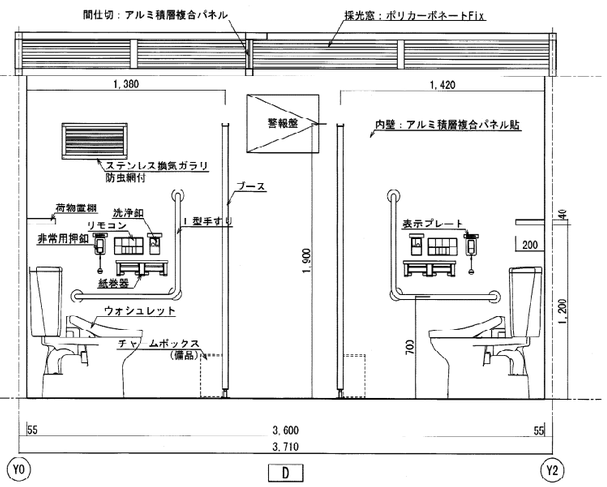
製作年月日　令和4年　月　日

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	A-29
図面名称	トイレ棟 サイン詳細図・建具表・雑詳細図	縮尺 A1:1/5,10,30,40 A3:1/10,20,60,80	全葉 83







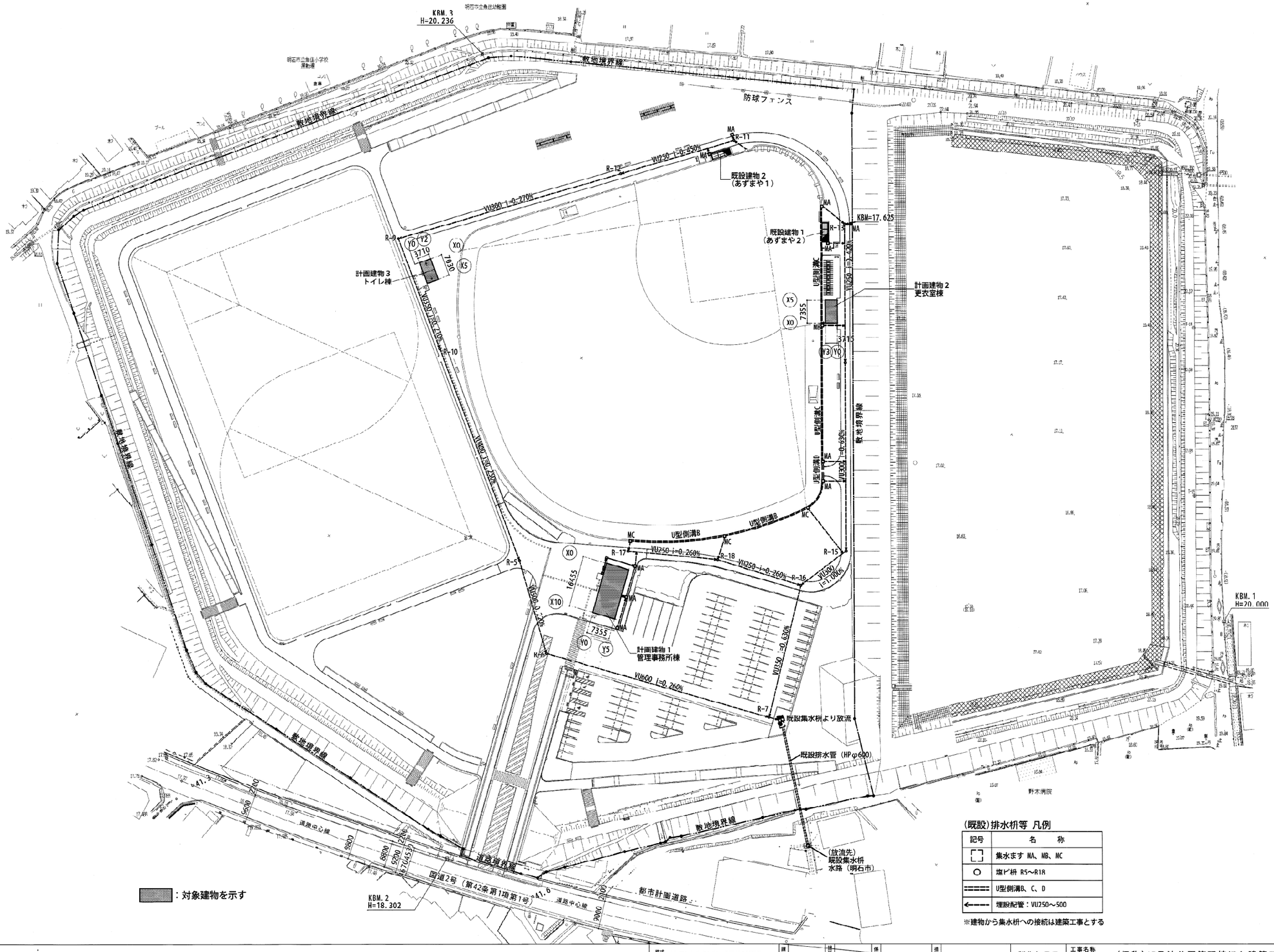


※備品以外は全て工場制作とする

特記事項	・ ・ ・ ・	設計者	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所登録第13109号 一級建築士登録第122010号　嶋谷 廣	課長	係長	担当	製作年月日 令和4年　月　日

明石市都市局都市整備室緑化公園課

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	A-30
図面名称	トイレ棟 展開詳細図	縮尺 A1:1/20 A3:1/40	全葉 83



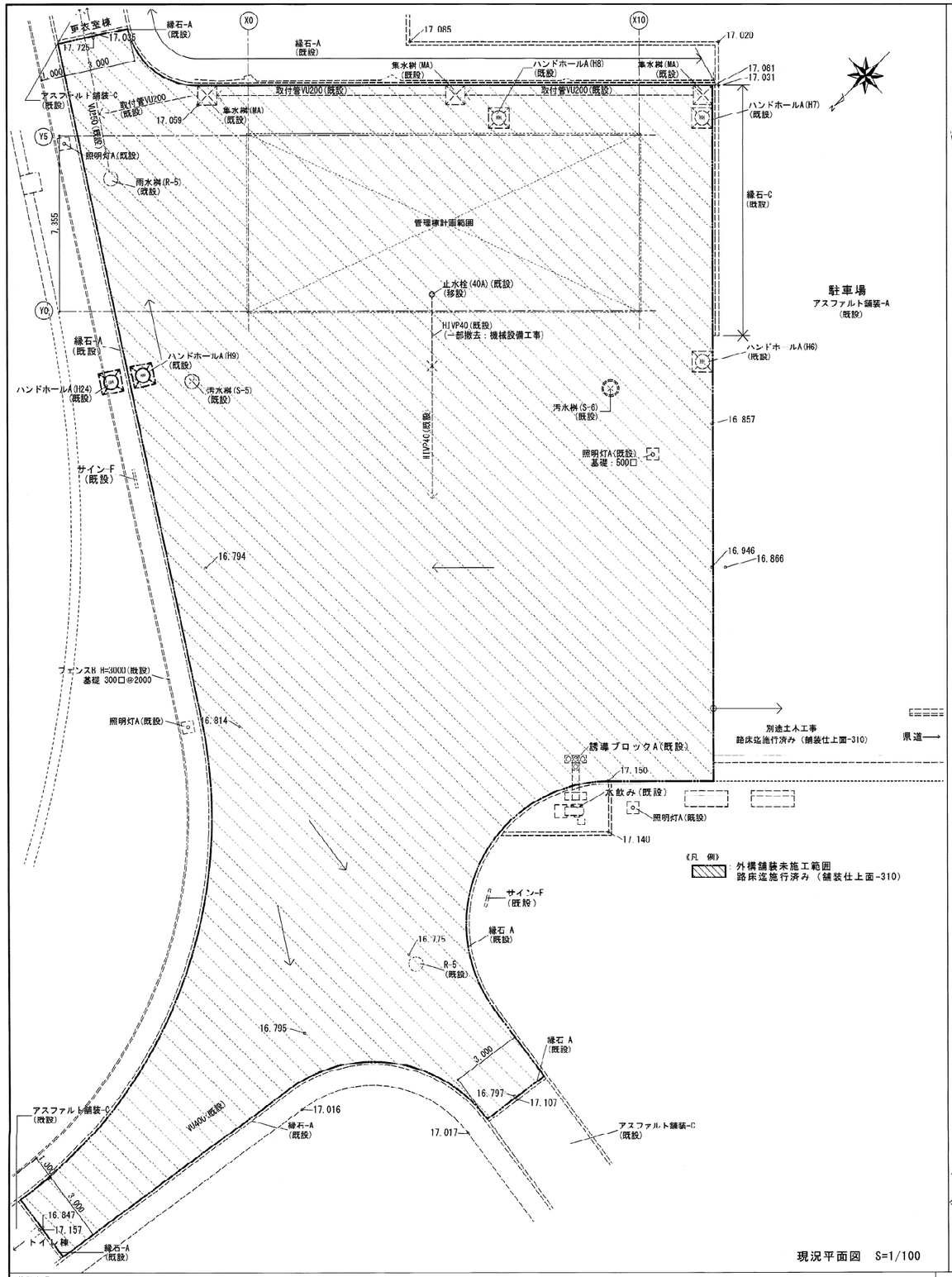
(既設)排水桝等 凡例

記号	名　称
[ ]	集水ます MA、MB、MC
○	塩ビ桝 R5～R18
=====	U型側溝B、C、D
←----	埋設配管：VU250～500

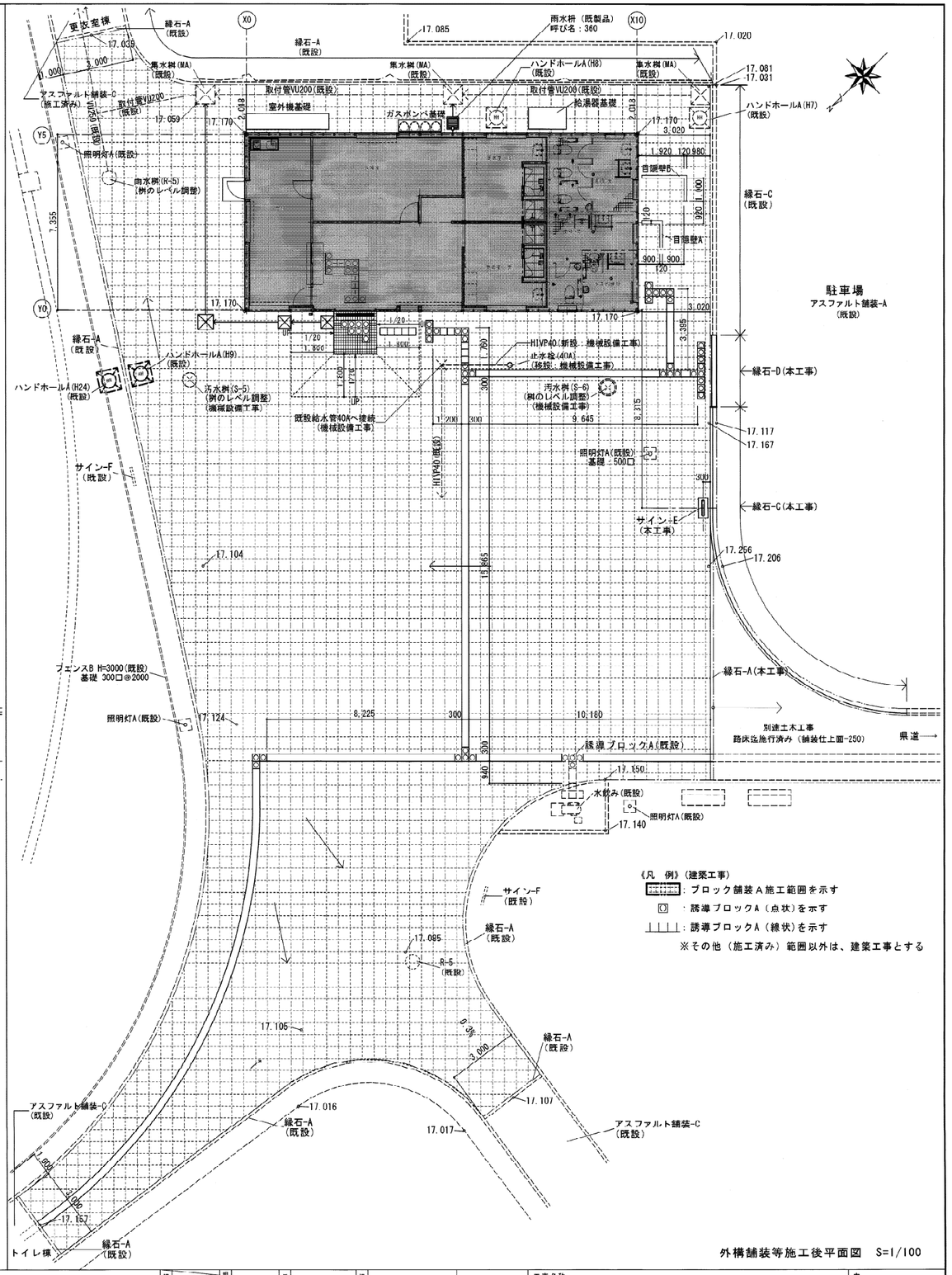
※建物から集水桝への接続は建築工事とする

特記事項

検証会社 協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第13109号 一級建築士登録第122018号　嶋谷 廣	課長	係長	係員	担当	製作年月日	工事名称	内 A-31
					令和4年　月　日	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	
明石市都市局都市整備室緑化公園課						図面名称 (既設)構内雨水排水全体配置図 (建物～放流先) 縮尺 A1:1/600 A3:1/1200	主葉 83



現況平面図　S=1/100



外構舗装等施工後平面図　S=1/100

特記事項

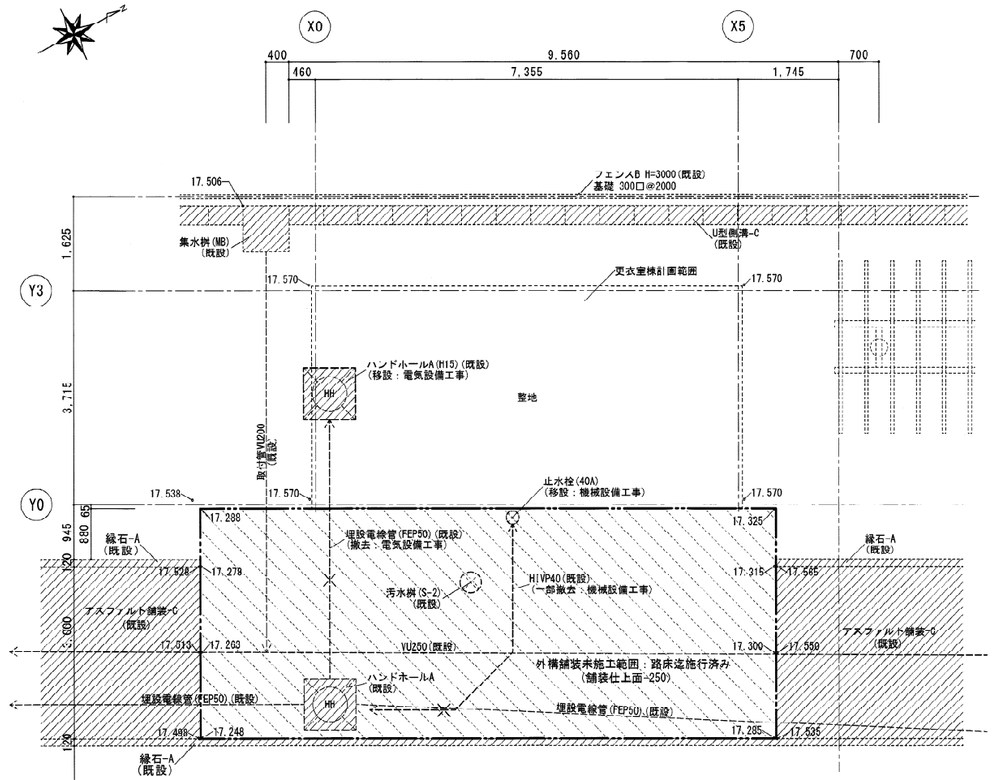
設計者 協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所登録第13109号
一級建築士登録第122018号　嶋谷 潔

課長 / 担当者名 / 係長 / 担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日 令和4年 月 日

工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	内	A 32
図面名称	管理棟 現況平面図・外構舗装等施工後平面図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
		全葉	83



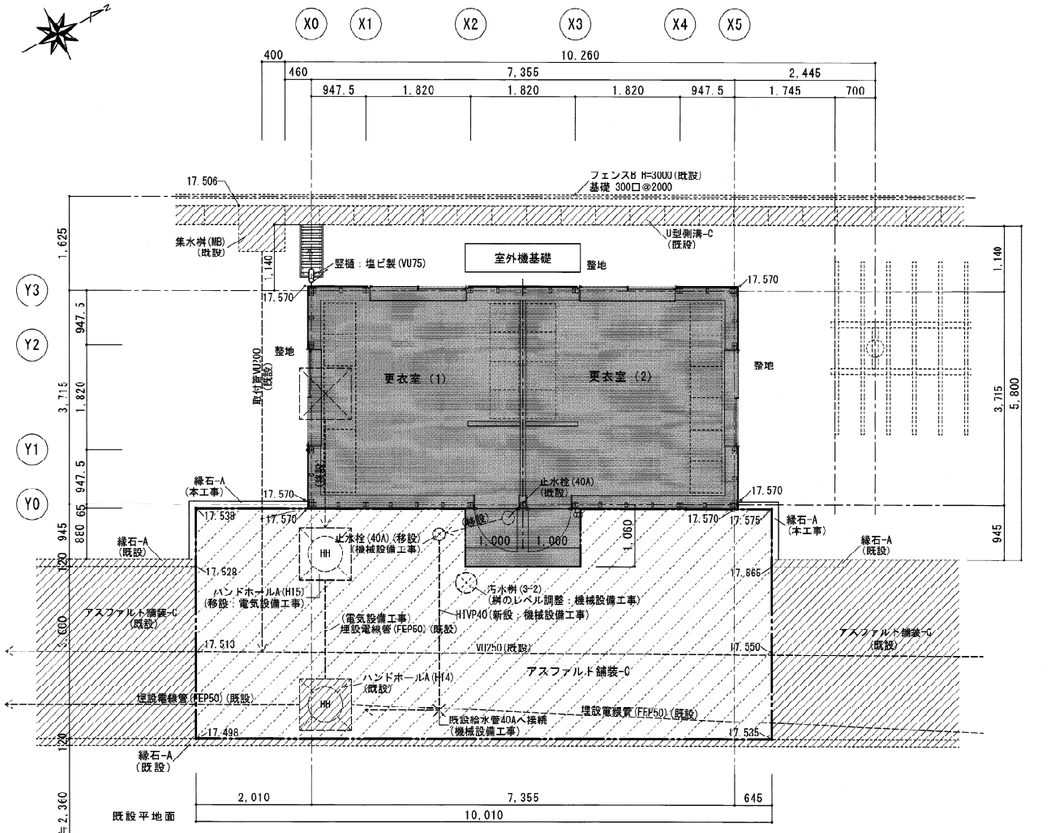
現況平面図　S＝1/50

《凡　例》

：舗装等既設範囲を示す

：舗装等未施工範囲を示す
路床迄施工済み(舗装仕上面-250)

既設法面 N-1:2.0



外構舗装等施工後平面図　S＝1/50

《凡　例》

：舗装等既設範囲を示す

(建築工事範囲)

：アスファルト舗装-C施工範囲を示す

※その他(既設)範囲以外は、建築工事とする

既設法面 N=1:2.0

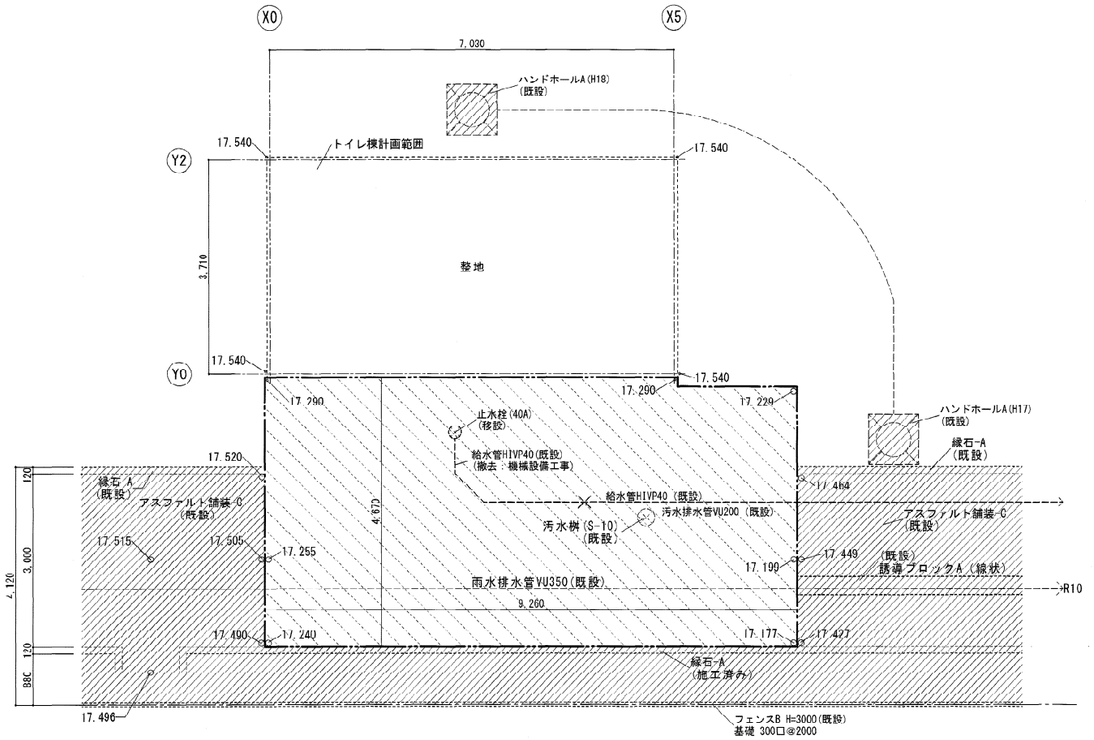
特記事項	・
	・
	・
	・

作成者	協和コンサルタンツ一級建築士事務所
	一級建築士事務所東京都知事登録第13109号
	一級建築士登録第122018号　嶋谷 眞登

課長	係長	担当	製作年月日
			令和4年　月　日

明石市都市局都市整備室緑化公園課

工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事		内 A-33
図面名称	更衣室棟 現況平面図・外構舗装等施工後平面図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	全葉 83

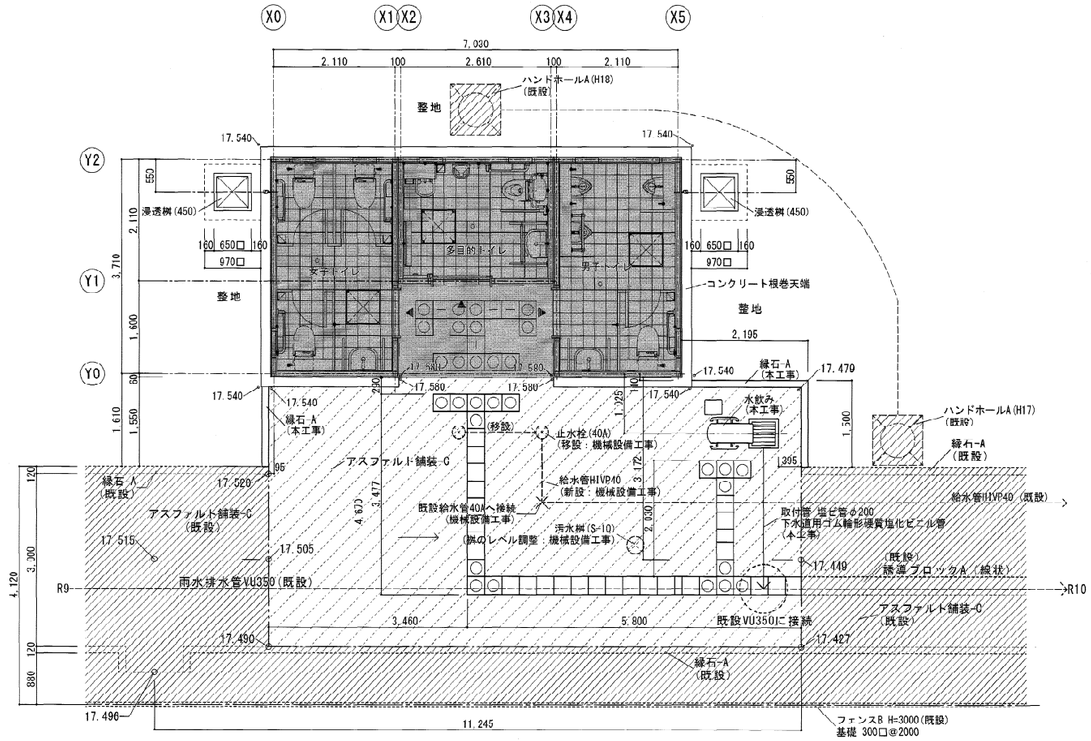


現況平面図　S＝1/50

《凡　例》

：舗装等施工済み範囲を示す

：外構舗装未施工範囲
路床迄施行済み（舗装仕上面 250）



外構舗装等施工後平面図　S＝1/50

《凡　例》

：舗装等施工済み範囲を示す

（建築工事範囲）

：アスファルト舗装-C施工範囲を示す

：誘導ブロックA（点状）を示す

：誘導ブロックA（線状）を示す

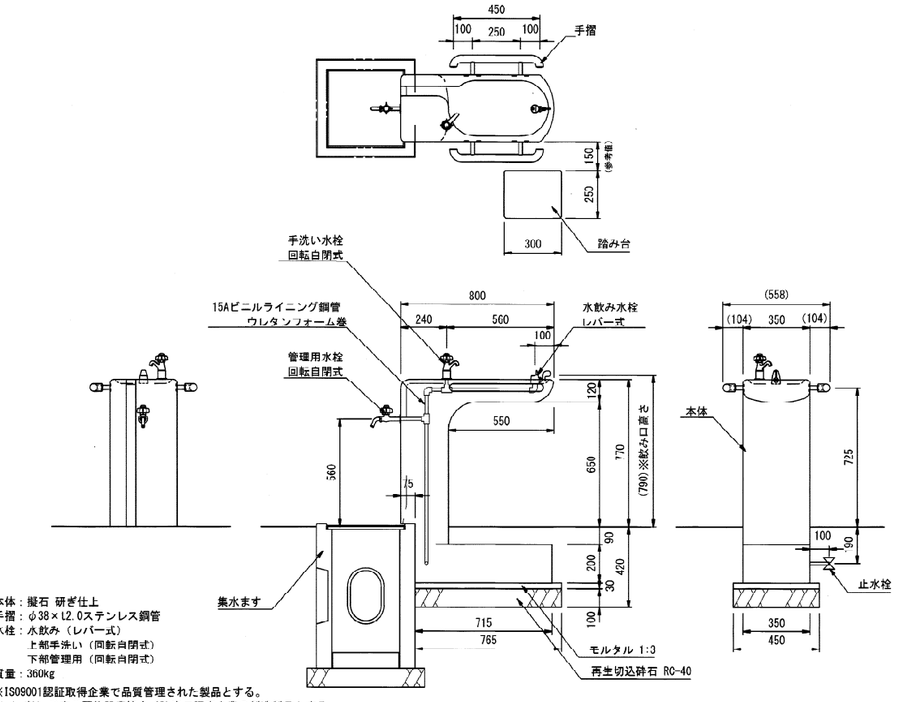
※その他（施工済み）範囲以外は、建築工事とする

特記事項

株式会社 協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事登録第13109号 一級建築工業登録第122018号	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 令和4年　月　日
明石市都市局都市整備室緑化公園課					

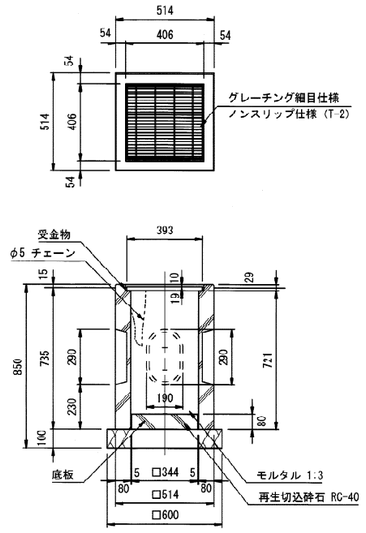
工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	A-34
図面名称	トイレ棟　縮尺 A1:1/50 現況平面図・外構舗装等施工後平面図　A3:1/100	全葉	83

水飲み　S=1/15(A1)、S=1/30(A3)



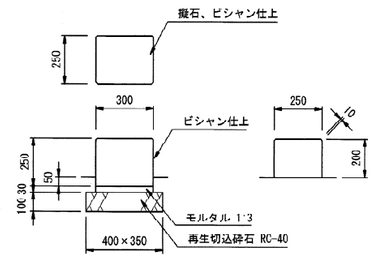
本体：擬石 研ぎ仕上
手摺：φ38×t2.0ステンレス鋼管
水栓：水飲み（レバー式）
　上部手洗い（回転自閉式）
　下部管理用（回転自閉式）
質量：360kg
※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。
KOTOBUKI (EX-84090D)同等品

水飲み 集水ます　S=1/15(A1)、S=1/30(A3)



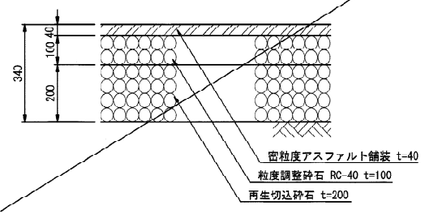
本　体：擬石、PCコンクリート　一体成形品
縁　部：研ぎ仕上
胴　部：打放し
ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ：細目仕様 鉄製 溶融亜鉛メッキ　ノンスリップ仕様（T-2）
受金物：t2.3 鋼板
底　板：PCコンクリート打放し
質　量：250kg
※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。
KOTOBUKI (EX-84170)同等品

水飲み 踏み台　S=1/15(A1)、S=1/30(A3)

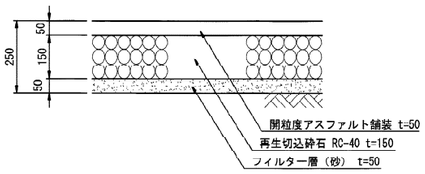


本　体：擬石、ビシャン仕上
質　量：54kg
※ISO9001認証取得企業で品質管理された製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会 SPL表示認定企業の製造製品とする。
※（一社）日本公園施設業協会の生産物賠償責任保険に加入した製品とする。
KOTOBUKI (EX 84060)同等品

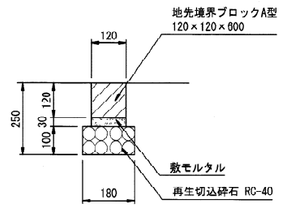
アスファルト舗装-A　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)



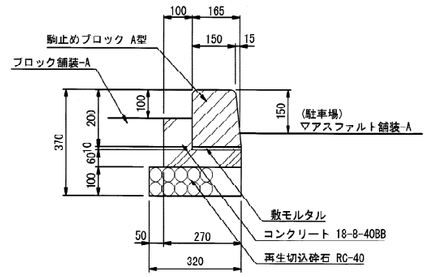
アスファルト舗装-C　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)



縁石-A　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)

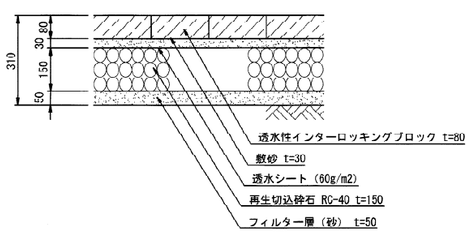


縁石-C　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)

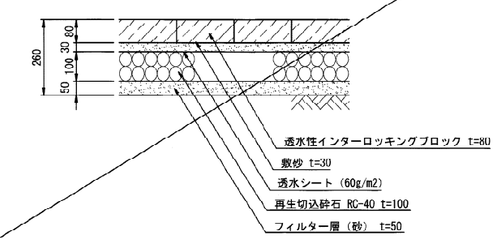


ブロック舗装-A　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)

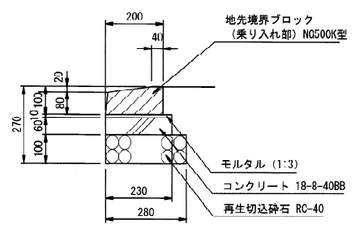
形状：198(200)×98(100)



ブロック舗装-B　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)



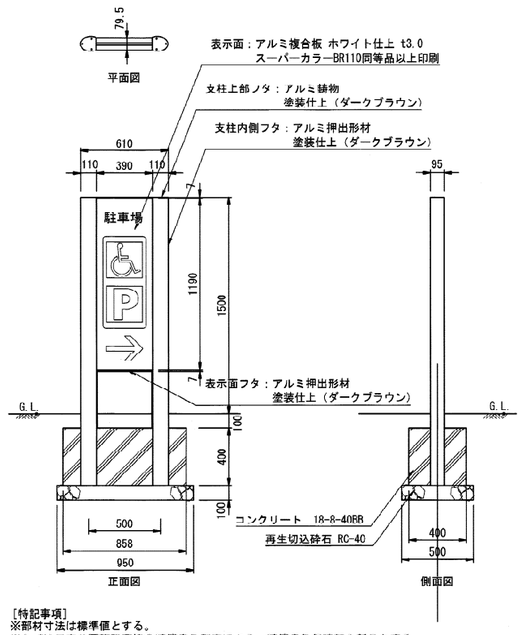
縁石-D　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)



特記事項

設計	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第13109号 一級建築士登録第122018号　鳴谷 薫	課長 / 担当課長 / 係長 / 担当者	明石市都市局都市整備室緑化公園課
製作年月日	令和4年　月　日	工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事
図面名称	外構詳細図（1）	縮尺	A1:1/10,15 A3:1/20,30
内	A-35	全葉	83

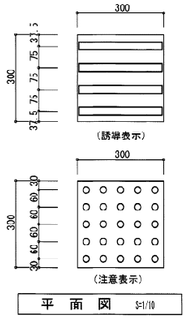
サイン-E　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

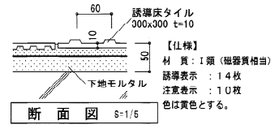


[特記事項]
※部材寸法は標準値とする。
※(一社)日本公園施設業協会賠償責任制度による、賠償責任保険加入製品とする。
※(一社)日本公園施設業協会が認定した「SPL表示認定企業」の設計・製造・販売製品とする。
※本製品は、ISO 9001:2015認証取得企業製品とする。

床（誘導表示・注意表示）詳細図　S=1/5,10(A1)、S=1/10,20(A3)

（管理棟・トイレ棟　エントランスポーチ）





【仕様】
材　質：Ⅰ類（磁器質相当）
誘導表示　：１４枚
注意表示　：１０枚
色は黄色とする。

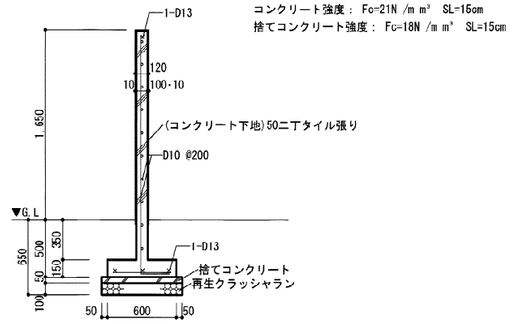
断　面　図　S=1/5

平　面　図　S=1/10

目隠壁　S=1/25(A1)、S=1/50(A3)

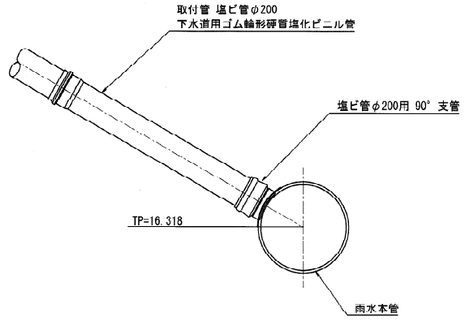
（管理棟）

設計基準強度
コンクリート強度：　Fc=21N /m m²　SL=16cm
捨てコンクリート強度：　Fc=18N /m m²　SL=15cm

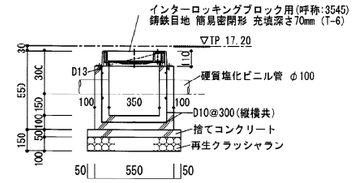


雨水取付管 本管接続標準図　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

水飲み一雨水本管接続

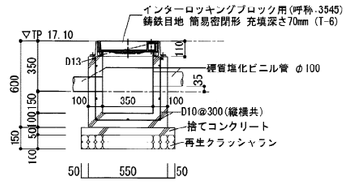


雨水桝a(管理棟)　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)



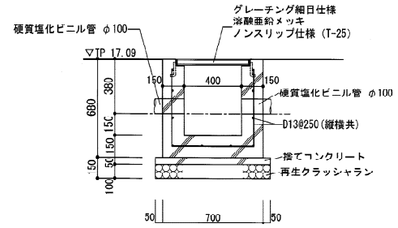
設計基準強度
コンクリート強度：　Fc=21N /m m²　SL=15cm
捨てコンクリート強度：　Fc=18N /m m²　SL=15cm

雨水桝b(管理棟)　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)



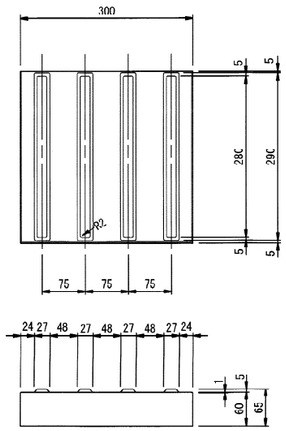
設計基準強度
コンクリート強度：　Fc=21N /m m²　SL=15cm
捨てコンクリート強度：　Fc=18N /m m²　SL=15cm

雨水桝c(管理棟)　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

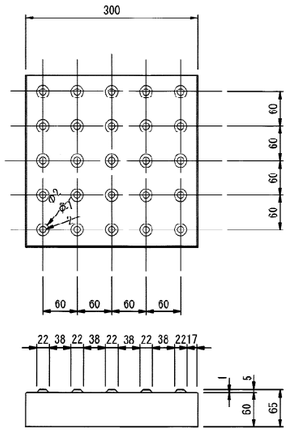


設計基準強度
コンクリート強度：　Fc=21N /m m²　SL=15cm
捨てコンクリート強度：　Fc=18N /m m²　SL=15cm

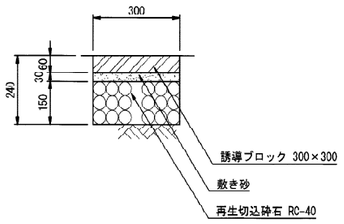
誘導ブロック（線状ブロック）　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)



誘導ブロック（点状ブロック）　S=1/5(A1)、S=1/10(A3)

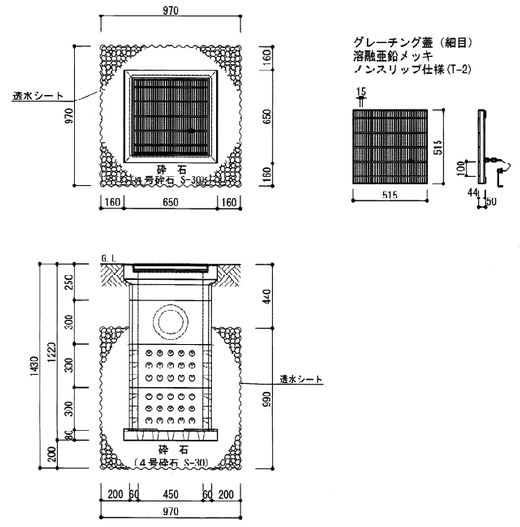


誘導ブロック-A　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)



雨水浸透桝（トイレ棟）　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

雨水浸透ハニーホール(一般浸透ます：450)同等品

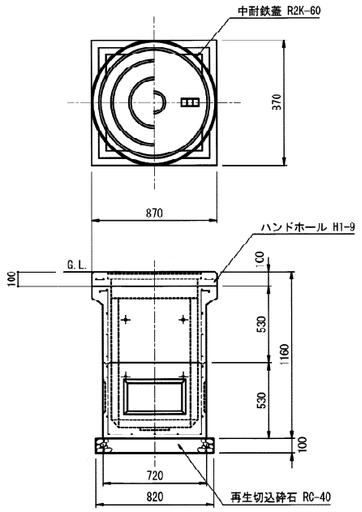


特記事項

設計者	株式会社 協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第13109号 一級建築士登録第122018号　嶋谷 廣	課長 / 係長 / 担当	明石市都市局都市整備室緑化公園課
製作年月日	令和4年　月　日	工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事
図面名称	外構詳細図（2）	縮尺	A1:1/5,10,20,25 A3:1/10,20,40,50
内	A 36	全葉	83

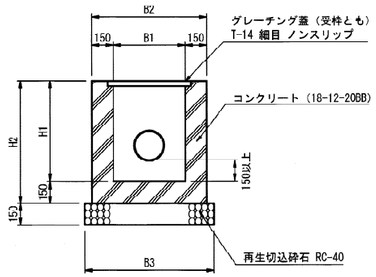
部分詳細図

ハンドホール-A　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)



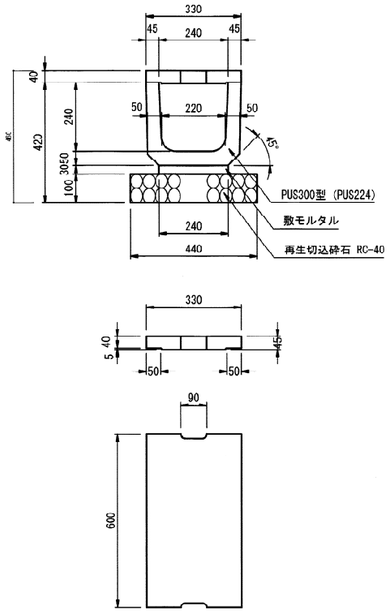
※ハンドホール内分岐は、レジン注入型（セルパック）T分岐とする。

集水ます（MA、MB、MC）　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

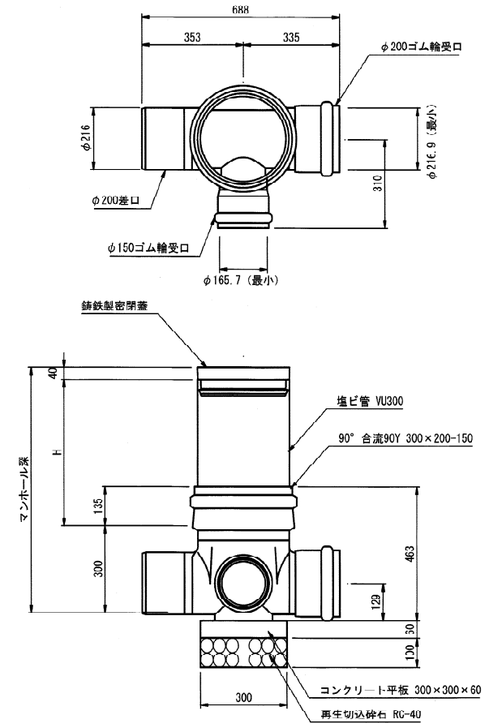


種別	H1	H2	B1	B2	B3	記号
MA	600	750	500	800	900	
MB	700	850	500	800	900	MA-1
MC	800	950	500	800	900	MA-2

U型側溝-C　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)



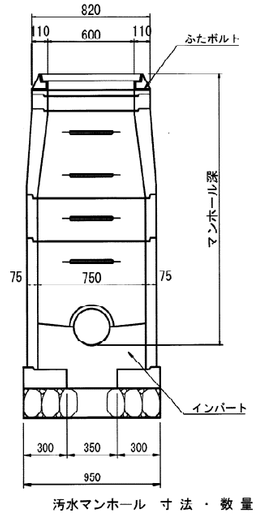
汚水塩ビマンホール合流　S=1/10



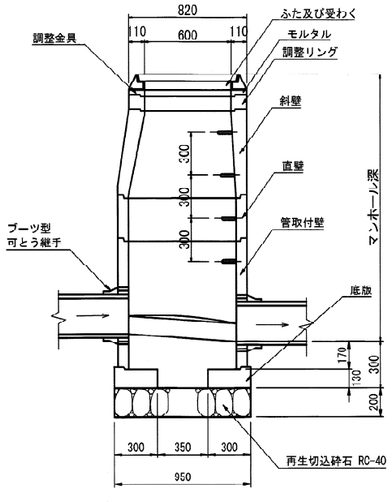
人孔番号	マンホール深	流入管 径	流入管 管底高	流出管 径	流出管 管底高	H VU300 延長	備考
	m	mm	m	mm	m	m	
S-2	0.477	200	17.063	200	17.043	0.137	

汚水排水　0号マンホール　S=1/20(A1)、S=1/40(A3)

横断面図



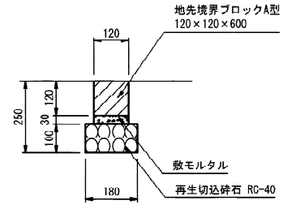
縦断面図



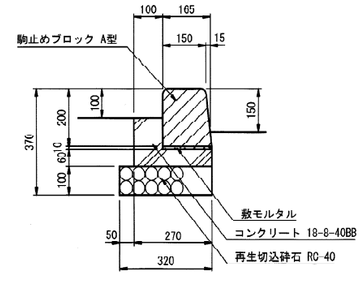
汚水マンホール　寸法・数量表

人孔番号	マンホール深	流入管 径	流入管 管底高	流出管 径	流出管 管底高	ブロック箱(cm) 底版130mm	取体ブロック 30	60	90	120	150	180	片斜壁ブロック 30	45	60	調整リング(cm) 5	10	15	調整金具(mm) 25	45	人孔蓋金及び受枠 110mm	備考
	m	mm	m	mm	m	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	組	組	組	
S-6	0.798	200	16.402	200	16.382	1	1								1			1		1		1	T-14

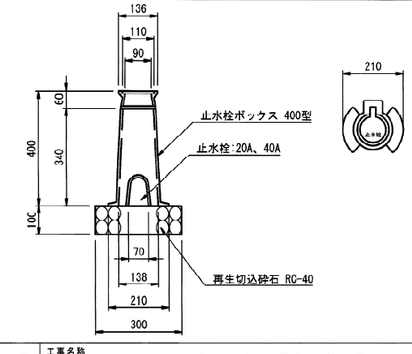
縁石-A　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)



縁石-C　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)



止水栓ボックス　S=1/10(A1)、S=1/20(A3)



特記事項

協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所登録第13109号
一級建築士登録第122018号　嶋谷 勇

課長	係長	担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日　令和4年　月　日

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事
図面名称	（参考）土木工作物詳細図（施工済み）
縮尺	A1：1/10, 20　A3：1/20, 40
内	A-37
全葉	83

KBM. 3
H=20.236

明石市立魚住幼稚園

明石市立魚住小学校
運動場

敷地境界線

防球フェンス

既設建物2
(あずまや1)

KBM=17.625

既設建物1
(あずまや2)

既設パーゴラ

仮囲い：成形鋼板 H=2.0m(全周)

6.7m

1.1m

25tラフタークレーン

仮設鉄板敷（建て方時：1日）
1524×6096×t22（10枚）

6.4m

11.3m

16tラフタークレーン

仮設鉄板敷（建て方、折板等荷揚げ時）
1574×6096×t22（8枚）

10tトラック(材料搬入)

〈共通凡例〉

：キャスターゲート（W3.6m×H4.5m）

Ⓖ：交通誘導員

舗装施工済み範囲(220㎡)養生
シート養生(防炎シート程度)+
砂敷き+鉄板敷き

舗装施工済み範囲(423㎡)養生
シート養生(防炎シート程度)+
砂敷き+鉄板敷き

敷地境界線

10tトラック(材料搬入)

16tラフタークレーン
仮設鉄板敷（建て方、折板等荷揚げ時）
1524×6096×t22（16枚）

11.3m

2.5m

2.5m

12.9m

16.6m

16.5m

1.5m

1.0m

仮設便所(汲み取り式)設置位置
仮設現場事務所設置位置

5.8m

仮囲い(フェンスバリケード)

53.2m

5.9m

5.0m

敷地境界線

A1.

2.0%

9670

道路中心線

9500

6800

5270

5745.30

工事車両等搬入出入口

A1.6

道路中心線

9500

国道2号（第42条第1項第1号）

KBM. 1
H=20.000

野木神社

凡例

：舗装施工済み範囲（アスファルト舗装-C 50-150-50）及び車両走行範囲

：舗装未施工範囲及び車両走行範囲

特記事項	・ ・ ・ ・	株式会社 協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第13100号 一級建築士登録第122018号 鳴谷 廣	課長	班主任技術者	係長	担当	製作年月日 令和4年 月 日	工事名称 (仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	内 A-38
			明石市都市局都市整備室緑化公園課					図面名称 (参考)仮設計画図 縮尺 A1:1/600 A3:1/1200	全葉 83

構造設計特記仕様書

注1：構造図に記載された事項は本標準図に優先して適用する。　注2：適用は ● 印を記入する。
注3：図面及び仕様書に疑義が生じた場合は書面を工事管理者に提出し協議すること。

1．建築物の構造内容

（1） 建築場所　明石市魚住町清水先
（2） 工事種別　● 新築　□ 増築　□ 増改築　□ 改築
（3） 構造一級建築士の関与　□ 必要　● 必要としない
□ 法第20条第一号（高さ60m超）
□ 法第20条第二号（ □ RC造高さ20m超　□ S造4階建以上　□ 木造高さ13m超　□ その他）
（4） 構造種別
□ 木造（W）　□ 補強コンクリートブロック造（CB）　● 鉄骨造（S）
□ 鉄筋コンクリート造（RC）　□ 壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□ 鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）　□ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□ プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）　□
（5） 階数　地下 0 階　地上 1 階　塔屋 0 階
（6） 主要用途　事務所
（7） 屋上付属物
□ 高架水槽　kN　□ キュービクル　kN　□ 広告塔　□ 煙 突
（8） 特別な荷重
□ エレベーター　人乗り（ロープ式 油圧式）　□ リフト　kN　□ ホイスト　kN
□ 倉庫積載床用　kN　□ 受水槽　kN
（9） 付帯工事
□ 門塀　□ 擁壁　□　□　□　□
（10） 増築計画　□ 有（　）　● 無
（11） 構造計算ルート　X方向ルート　1 -（ 2 ）　Y方向ルート　1 -（ 2 ）

2．使用構造材料

（1） コンクリート　（レディーミクストコンクリート JIS Q 1001, JIC Q 1011, JIC A 5308）

運用箇所	種類	設計基準強度 Fc = N/mm²	品質管理強度 Fq = N/mm²	スランプ cm	備考
捨てコンクリート	● 普通	18	−	−	
土間コンクリート	● 普通	18	18	15	
基礎、基礎梁	● 普通	21	24	15	
柱、梁、壁、床	□ 普通	21	21	15	比重
押えコンクリート	□ 普通、□ 軽量	21	21	15	比重
細骨材の種類		● 砂	□ 山砂	□ 人工	
粗骨材の種類		● 砕利	□ 砕石	□ 人工	
水の区分		● 水道水	□ 地下水	□ 工業用水	
混和剤の種類（JIS A6204-2011）		● AE減水材	□ 高性能AE減水材		
呼び強度を保証する材齢、養成		● 材齢（ ● 28日 □ 56日 □ ）			
		● 養成（ □ 現場封かん ● 現場水中 □ 標準 ）			

● 単位水量は185kg/m3以下、単位セメントは270kg/m3以上とする。
※捨てコンクリートは水セメント比の最大値と共に除外する。

（2） コンクリートブロック（CB）
□ A種　□ B種　□ C種　厚 □100　□120　□150　□190　使用箇所（ ）

（3） 鉄筋

種類	径	使用箇所	継手工法
● SD295A	D10～D16	基礎	● 重ね継手
□ SD345	D19以上		□ ガス圧接継手
□ SD390			□ 溶接継手
□ 材種			□ 機械式継手（ ）
□ 大臣認定番号 MSHR-			各継手の仕様詳細については本仕様書（7）鉄筋の項の鉄筋継手等の欄に表示する。
□ SKD35			
●	6Φ		

溶接金網（JIS G 3551）

（4） 鋼材

種類	使用箇所	現場溶接	
● SS400 □ SMH400 □ SM400 A,B,C	梁	□ 有 ● 無	JIS G 3101
● STK400 □ STK490 ● SMH400JL	杵	□ 有 ● 無	JIS G 3353
□ BCR295 □ BCP235 □ BCP325		□ 有 □ 無	大臣認定品MSTL-
□ SM490A □ SM490B □ SM490C		□ 有 □ 無	JIS G
● SSC400	柱、母屋、間柱材	□ 有 ● 無	JIS G 3350
● SNR400B	水平ブレース、壁ブレース	□ 有 ● 無	JIS A 5540
溶接材料 □ JIS Z			

○使用箇所の詳細については別途図示する。

（5） ボルト
□ 高力ボルト　□ F10T（JIS B1186）　□ S10T認定番号（MBLT-9010）（□ M16、□ M20、□ M22、□ M24）
● ボルト（JIS B1180）M12 M16　● 強度区分4.8　● 強度区分10.9
● アンカーボルト　□ SNR400B　M　L= mm　ナット（□ シングル、□ ダブル）
● SS400　M16　L=320 mm　ナット（□ シングル、● ダブル）
□ SS400　16φ　L= mm　ナット（□ シングル、□ ダブル）
□ 頭付スタッドボルト　φ=　L= mm　使用箇所（□ 柱、□ 大梁、□ 小梁）

（6） 屋根、床、壁

材質	型式 厚 その他	使用箇所	仕様・構法
ＡＬＣ版	厚	□ 壁 □ 床板	□ スライド □ 縦壁ロッキング □ ボルト止め
折 版	H＝79 厚 0.6	● 屋根 □	□
デッキプレート	厚	□ 床板 □	□

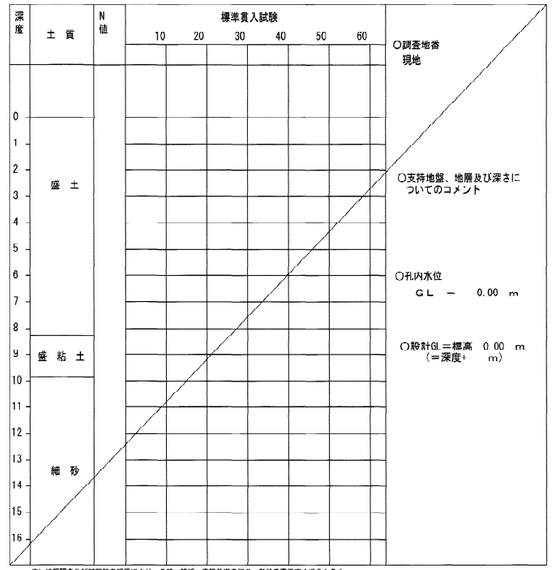
3．地 盤

（1） 地盤調査資料と調査計画
● 有（● 敷地内 □ 近隣）　□ 無（ 調査予定 □ 有 □ 無）

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査項目	調査項目	資料有り	調査項目
ボーリング調査	●		静的貫入試験			標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理調査		
試験盛（支持層の確認）			平板載荷試験		●	液状化判定		
スエーデン式サウンディング			現場透水試験			FS検査		

注）上記表中の資料があるもの、調査計画が有るものに○を記入する。

（2） ボーリング柱状図 入力値、土質構成（基礎・杭の位置を明記すること）



注）地盤調査及び試験杭の結果により、長径、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4．地業工事

（1） 直接基礎　□ ベタ基礎　● 布基礎　□ 独立基礎　試験掘　□ 有 ● 無
深さ GL − 0.65m　支持層 −　長期許容支持力度 50 kN/m²　載荷試験 ● 有 □ 無

（2） 直接基礎　□ 浅層混合処理工法　□ 深層混合処理工法　□ ラップルコンクリート
深さ 設計 m　長期許容支持力度 kN/m²　載荷試験 □ 有 □ 無

注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針：日本建築センター2002」を参照とする。

（3） 基礎杭　支持層 − 微細砂

種類	材料	施工法	備考
□ RC □ PRC □ PHC □ H鋼 □ 鋼管 □ 摩擦杭 □ 先端開付鋼管 □ 場所打ち コンクリート杭	PRC □ I種 □ II種 □ III種 PHC □ A種 □ B種 □ C種 鋼材 □ SS400 □ STK400 鋼材 □ STK400 □ STK490 コンクリート Fc N/mm² Fq N/mm² スランプ cm以下 セメント量 kN/m³ 鉄 筋 主 筋 SD HOOP SD	□ 打ち込み □ 埋込み（セメントミルク工法） □ □ 回転圧入工法（G-EOSパイル工法） □ オールケーシング □ 拡径杭 □ リバースサーキュレーション □ アースドリル □ ミニアース □ BH □ 深礎 □ 手掘 □ 機械掘	認定 第 号 平成 年 月 日

杭仕様　□ 施工計画書承認　□ 杭施工結果報告書
試験杭（ □ 有 □ 無）　（ □ 打ち込み・ □ 積載・ □ 孔壁測定）　本

杭径（mm）	設計支持力（kN）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項

5．鉄筋コンクリート工事

本構造設計標準仕様書はコンクリートの設計基準強度（Fc）が36N/mm2以下に適用し、鉄筋の材質はSD390以下に適用する。

（1） コンクリート
● コンクリートはJIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するJIS認定工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS5（最新版）による。
● 耐久設計基準強度 Fd　● 一般　□ 標準　□ 長期　□ 超長期
● セメントは、ＪＩＳ Ｒ５２１０の普通ポルトランドセメントを標準とする。
● 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
● 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの運用を受ける期間に当たる場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を受けること。
● フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
● 構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体はJASS 5T-603によることとし、供試体は標準養生、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打ち込み量が150m³を越える場合は、150m³ごとまたは、その端数ごとに１回を標準とする。
１回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。
尚、供試体の数量は、特別指示のない場合は、１回当たり６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。
● ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて運搬に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。
なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は１５０分、２５℃以上の場合は１２０分以内とする。

（2） 鉄　筋
● 鉄筋は、JIS G3112の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除きJASS5標準図に記載されている事項を除きJASS5による。
□ 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137 に規定されるD種１号適合品とする。
● 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」による。
● 鉄筋継手等

鉄筋継手工法	継手の性能等の設計条件による仕様・基礎 (1) 引張力最小部位	(2) (1) 引張力最小部位（注） A級	B級	SA級	鉄筋の径
● 重ね継手	● 40d 「 35d				● D10～D22
□ 圧接継手	□ 告示1463号第2項各号	□			□
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□	□		□ D（ ）以上
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□	□	□	□ D（ ）以上

注）（1）以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって「鉄筋継手使用概要（建築物の構造関係技術基準解説書 2007）」によって検討した鉄材の条件・仕様によること。

□ Ｄ19未満は、すべて重ね継手とする。
□ 継手部分の施工要領は、社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手手工標準仕様」（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）による。
継手部の検査方法・外部検査 □ 有 □ 無 、引張試験 □ 有 □ 無 、超音波試験 □ 有 □ 無
ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合は、最初の数ロットについてじゃ引張試験も併用し、一回の試験は5本以上とする。
（1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で200箇所程度とする。）
□ 柱の帯筋（ＨＯＯＰ）の加工方法は、□ H型（タガ型）□ W型（溶接型）□ S型（スパイラル型）とする。
● コンクリート及び鉄筋の試験は、第三者機関の試験期間で行うこと。
試験・検査機関名　決定後速やかに報告すること。
代行業者名　決定後速やかに報告すること。

（3） 型　枠
● 材料　合板厚　１２ mmを標準とする。　● 施工はＪＡＳＳ５による。
● 盤枠保存期間

種別 / 部位	せき板 基礎 はり側、壁	せき板 スラブ下、はり下	支柱 スラブ下	支柱 はり下
早強ポルトランドセメント	2	3	4	6
普通ポルトランドセメント	3	5	6	10
高炉セメント A種 シリカセメント A種	5	8	10	16
普通ポルトランドセメント	6	8	12	17
普通ポルトランドセメント	8	12	15	25
高炉セメント A種 シリカセメント A種	10	16	20	28
早強ポルトランドセメント	6	8	12	17
普通ポルトランドセメント	8	12	15	25
高炉セメント A種 シリカセメント A種	10	16	20	28
コンクリートの圧縮強度	5.0 N/mm²	設計基準強度の５０％	設計基準強度の５０％	
			８５％	１００％

注）1　片持ち梁、ひさし、スパン９．０m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）2　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）3　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）4　盛りかえ後の支柱頭部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）5　支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）6　直上階に著しく大きな積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛替えを行わないこと。
注）7　支柱の盛替えは、養生中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6．鉄骨工事　（施工方法等計画書）

（1） 鉄骨工事は、指示のない限り下記による。
● 日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
● 社）日本溶接協会「建築鉄骨溶接施工指針」
□ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

（2） 工事監理者の承認を必要とするもの
● 製作工場　● 製作要領書　□ 工作図　● 施工計画書
● 認定または登録工場　（ 大臣認定 3 H Ⓦ R J グレード 都登録 T1 T2 T3 ランク ）
● 材料規格証明書※、または試験成績書
● 鋼材　□ 高力ボルト　□ 特殊ボルト　□ スタッドボルト
材料規格証明書※、または試験成績書
□ 社内検査表

（3） 工事監理者が行う検査項目
（□印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□ 原寸検査　□ 組立・開先検査　□ 製品検査　□ 建方検査

（4） 接合部の溶接は、下記によること
● 平成12年建設省告示1464号第2号イ、ロ
□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要領
□ 日本建築学会「溶接工事基準、同解説 Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
● 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

（5） 接合部の検査
● 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査方法 社内	検査方法 第三者	検査方法 工事監理者	備考
□ 完全溶込溶接部（突合せ溶接）	外観検査（※）	% 個	% 個	% 個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び計測）
	超音波探傷試験	% 個	% 個	% 個	
	内質検査（注） □ 磁粉試験	% 箇	% 箇	% 箇	
	内質検査（注） □ 浸透液探傷試験	% 箇	% 箇	% 箇	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
● 隅肉溶接部	外観検査（※）	100 % 個	− % 個	− % 個	
第三検査機関名	CIW認定機関 （都知事登録 号）				

第三検査機関名とは、建築主、工事監理者または工事施工者が、受け入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1） 現場溶接部については、原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと。
注2） 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事に報告すること。

□ 高力ボルトの検査結果（検査結果は後日工事管理者に報告すること）
軸力導入後 □ 要 □ 否　高力ボルトすべり係数試験 □ 要 □ 否
□ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、供回り等の異常が無い事を確認する。
□ トルシア形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

（6） 防錆塗料
● 防錆塗装の範囲は高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めペイントは、□ JIS K5621、□ JIS K5625、● JIS K5674を使用して、4つ星2回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
□ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工事塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2回塗りとする。

（7） 耐火被覆の材料　□

7．設備関係　（令129条の2の4の一準拠）

● 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
● 建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止めの等、防腐のための有効な措置を講ずる事。
□ 建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全である事。
□ 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さ5cm以上とした鉄筋コンクリート造とする事。
□ 設備配管は、地震等等の建物変形に追従できること。又、地震力等に対して適切に支持されている事。
● 設備機器の据付及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全である事。
□ エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されている事。
● 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
□ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

8．その他

● 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
● 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
● 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

特記事項
・本特記仕様書により難い場合は、監督員の承認を受けてメーカー仕様とすることができる。
・
・

監理	課長	担当課長	係長	担当

監理 協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所東京都知事登録第12159号
一級建築士登録第195018号 嶋谷 廣幸

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日 令和4年 月 日

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	S-01
図面名称	管理棟 構造特記仕様書	縮尺 A1：NONE A3：NONE	全葉 83

構造設計特記仕様書

注1：構造図に記載された事項は本標準図に優先して適用する。　注2：適用は ● 印を記入する。
注3：図面及び仕様書に疑義が生じた場合は書面を工事管理者に提出し協議すること。

1．建築物の構造内容

(1) 建築場所　明石市魚住町清水先
(2) 工事種別　● 新築　□ 増築　□ 増改築　□ 改築
(3) 構造一級建築士の関与　□ 必要　● 必要としない
□ 法第20条第一号（高さ60m超）
□ 法第20条第二号（ □ RC造高さ20m超　□ S造4階建以上　□ 木造高さ13m超　□ その他）
(4) 構造種別
□ 木造（W）　□ 補強コンクリートブロック造（CB）　● 鉄骨造（S）
□ 鉄筋コンクリート造（RC）　□ 壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□ 鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）　□ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□ プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）　□
(5) 階数
地下 0 階　地上 1 階　塔屋 0 階
(6) 主要用途　更衣室
(7) 屋上付属物
□ 高架水槽　kN　□ キュービクル　kN　□ 広告塔　□ 煙突
(8) 特別な荷重
□ エレベーター　人乗り（ロープ式　油圧式）　□ リフト　kN　□ ホイスト　kN
□ 倉庫積載床用　kN　□ 受水槽　kN
(9) 付帯工事
□ 門塀　□ 擁壁　□　□　□　□　□
(10) 増築計画　□ 有（　　）　● 無
(11) 構造計算ルート　X方向ルート　1 -（ 2 ）　Y方向ルート　1 -（ 2 ）

2．使用構造材料

(1) コンクリート　（レディーミクストコンクリート JIS Q 1001, JIC Q 1011, JIC A 5308）

運用箇所	種類	設計基準強度 Fc = N/mm²	品質管理強度 Fq = N/mm²	スランプ cm	備考
捨てコンクリート	● 普通	18	−	−	
土間コンクリート	● 普通	18	18	15	
基礎、基礎梁	● 普通	21	24	15	
柱、梁、壁、床	□ 普通	21	21	15	比重
押えコンクリート	□ 普通、□ 軽量	21	21	15	比重
繊維材の種類		● 砂	□ 山砂	□ 人工	
銀骨材の種類		● 砂利	□ 砕石	□ 人工	
水の区分		● 水道水	□ 地下水	□ 工業用水	
混和剤の種類　（JIS A6204-2011）		● AE減水材	□ 高性能AE減水材		
呼び強度を保証する材齢、養成		● 材齢（ ● 28日 □ 56日 □ ）			
		● 養成（ □ 現場封かん ● 現場水中 □ 標準 ）			

● 単位水量は185kg/m3以下、単位セメントは270kg/m3以上とする。
※捨てコンクリートは水セメント比の最大値と共に除外する。

(2) コンクリートブロック（CB）
□ A種　□ B種　□ C種　厚 □100　□120　□150　□190　使用箇所（　　）

(3) 鉄筋

	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋（JIS G 3112）	● SD295A	D10～D16	基礎	● 重ね継手
	□ SD345	D19以上		□ ガス圧接継手
	□ SD390			□ 溶接継手
高強度せん断補強筋	□ 材種			□ 機械式継手（　）
	□ 大臣認定番号 MSHS-			各継手の仕様詳細については本仕様書（7）鉄筋の項の鉄筋継手等の欄に表示する。
丸鋼	□ SR235			
溶接金網（JIS G 3551）	●	6φ		

(4) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	
● SS400　□ SMH400　□ SM400 A,B,C	梁	□ 有 ● 無	JIS G 3101
● STK400　□ STK490　● STKR400,L	柱	□ 有 ● 無	JIS G 3353
□ BCR295　□ BCP235　□ BCP325		□ 有 □ 無	大臣認定品MSTL-
□ SM490A　□ SM490B　□ SM490C		□ 有 □ 無	JIS G
● SSC400	柱、母屋、筋かい材	□ 有 ● 無	JIS G 3350
● SNR400B	水平ブレース、壁ブレース	□ 有 ● 無	JIS A 5540
溶接材料　□ JIS Z			

○使用箇所の詳細については別途図示する。

(5) ボルト
□ 高力ボルト　□ F10T（JIS B1186）　□ S10T認定番号（MBLT-9010）（□ M16、□ M20、□ M22、□ M24）
● ボルト（JIS B1180）　M12　M16　● 強度区分4.8　● 強度区分10.9
● アンカーボルト　□ SNR400B　M　L= mm　ナット（□ シングル、□ ダブル）
● SS400　M16　L=320 mm　ナット（□ シングル、● ダブル）
□ SS400　16φ　L= mm　ナット（□ シングル、□ ダブル）
□ 頭付スタッドボルト　φ=　L=　mm 使用箇所（□ 柱、□ 大梁、□ 小梁）

(6) 屋根、床、壁

材質	型式 厚 その他	使用箇所	仕様・構法
ALC版	厚	□ 壁 □ 床板	□ スライド □ 縦壁ロッキング □ ボルト止め
折版	H=79 厚0.6	● 屋根 □	□
デッキプレート	厚	□ 床版 □	□

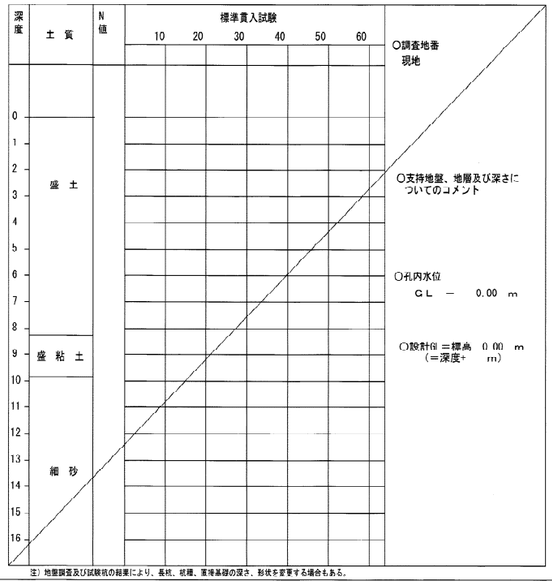
3．地盤

(1) 地盤調査資料と調査計画
● 有（● 敷地内 □ 近隣）　□ 無（ 調査予定 □ 有 □ 無）

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査項目	調査項目	資料有り	調査項目
ボーリング調査	●		静的貫入試験			標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理調査		
試験盛（支持層の確認）			平板載荷試験		●	液状化判定		
スェーデン式サウンディング			現場透水試験			PS検層		

注）上記表中の資料があるもの、調査計画が有るものに○を記入する。

(2) ボーリング標準貫入値、土質構成（基礎・杭の位置を明記すること）



注）地盤調査及び試験杭の結果により、長杭、短杭、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4．地業工事

(1) 直接基礎　□ ベタ基礎　● 布基礎　□ 独立基礎　試験盛 □ 有 ● 無
深さ GL − 0.65m　支持層 −　長期許容支持力度 50 kN/m²　載荷試験 ● 有 □ 無

(2) 直接基礎　□ 浅層混合処理工法　□ 深層混合処理工法　□ ラップルコンクリート
深さ 設計 m　長期許容支持力度 kN/m²　載荷試験 □ 有 □ 無
注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針・日本建築センター2002」を参照とする。

(3) 基礎杭

種類	材料	施工法	備考
□ RC □ PRC □ PHC □ H鋼 □ 鋼管 □ 直接杭 □ 先端翼付鋼管 □ 場所打ち コンクリート杭	PRC □ I種 □ II種 □ III種 PHC □ A種 □ B種 □ C種 鋼材 □ SS400 □ STK400 鋼材 □ STK400 □ STK490 コンクリート Fc N/mm² Fc N/mm² スランプ cm以下 セメント量 kN/m³ 鉄筋主筋 SD HOOP SD	□ 打ち込み □ 埋込み（セメントミルク工法） □ □ 回転圧入工法（G-ECSパイル工法） □ オールケーシング □ 拡底杭 □ リバースサーキュレーション □ アースドリル □ ミニアース □ BH □ 深礎 { □ 手掘 □ 機械掘 } 基 号 平成 年 月 日 認定	

杭仕様　□ 施工計画書承認　□ 杭施工結果報告書
試験杭（□ 有 □ 無）（□ 打ち込み・ □ 積載・ □ 孔壁測定）　本

杭径（mm）	設計支持力（kN）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項

5．鉄筋コンクリート工事

木構造設計標準仕様書はコンクリートの設計基準強度（Fc）が36N/mm2以下に適用し、鉄筋の材質はSD390以下に適用する。

(1) コンクリート
● コンクリートはJIS A 5308（レディーミクスコンクリート）に適合するJIS認定工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS5（最新版）による。
● 耐久設計基準強度 Fd　● 一般　□ 標準　□ 長期　□ 超長期
● セメントは、ＪＩＳ Ｒ５２１０の普通ポルトランドセメントを標準とする。
● 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
● 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を受けること。
● フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
● 構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体はJASS 5T-603によることとし、供試体は標準養生、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごとをとする。
また、打ち込み量が150m³を越える場合は、150m³ごまたは、その端数ごとに１回を標準とする。
１回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。
尚、供試体の数量は、特別指示のない場合は、１回当たり６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。
● ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。
なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は１５０分、２５℃以上の場合は１２０分以内とする。

(2) 鉄筋
● 鉄筋は、JIS G3112の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除きJASS5標準図に記載されている事項を除きJASS5による。
□ 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137 に規定されるD種１号適合品とする。
● 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」による。
● 鉄筋継手等

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級 (1) 引張力最小部位	(2) (1) 引張力最小部位（注） A級	B級	SA級	鉄筋の種 m
■ 重ね継手	■ 40d □ 35d				■ D10～D22
□ 圧接継手	□ 告示1463号第2項各号	□			□
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□	□		□ D（ ）以上
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□	□	□	□ D（ ）以上

注）(1) 以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本鉄筋センター等の団体・指定機関等が発行した継手工法の等級で、構造計算にあたって「鉄筋継手使用概準（建築物の構造関係技術基準解説書 2001）によって検討した部材の条件・仕様によること。

□ ＵＩＹ未満は、すべて重ね継手とする。
□ 継手部分の施工要領は、社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手手工標準仕様」（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）による。
継手部の検査方法・外部検査 □ 有 □ 無 . 引張試験 □ 有 □ 無 . 超音波試験 □ 有 □ 無
ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合は、最初の数ロットについてじゃ引張試験も併用し、一同の試験は5本以上とする。
（1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で200箇所程度とする。）
□ 柱の帯筋（ＨＯＯＰ）の加工方法は、□ Ｈ型（タガ型）□ Ｗ型（溶接型）□ Ｓ型（スパイラル型）とする。
● コンクリート及び鉄筋の試験は、第三者機関の試験期間で行うこと。
試験・検査機関名　決定後速やかに報告すること。
代行業者名　決定後速やかに報告すること。

(3) 型枠
● 材料　合板厚　１２ mmを標準とする。　● 施工はＪＡＳＳ５による。
● 型枠保存期間

種類	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	中庸熱ポルトランドセメント
存置期間の標準（日）			
平均気温 15℃以上	2	3	4
平均気温 5～15℃	3	5	6
平均気温 5℃未満	5	8	10
コンクリートの圧縮強度	6.0 N/mm²	設計基準強度の６０%	

種類	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	中庸熱ポルトランドセメント
存置期間の標準（日）			
平均気温 15℃以上	8	17	28
平均気温 5～15℃	10	25	28
平均気温 5℃未満	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	設計基準強度の５０%	設計基準強度の５０%	１００%

注）1　片持ち梁、ひさし、スパン９．０m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）2　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）3　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）4　盛りかえ後の支柱頭部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）5　支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）6　直上階に著しく大きな積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛替えを行わないこと。
注）7　支柱の盛替えは、養成中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6．鉄骨工事　（旅工方法等計画書）

(1) 鉄骨工事は、指示のない限り下記による。
● 日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
● 社）日本鋼構造協会「建築鉄骨事施工指針」
□ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
● 製作工場　● 製作要領書　□ 工作図　● 施工計画書
● 認定または登録工場（ 大臣認定 ＳＭ㊊ＫＪ クレート 都登録 Ｉ1 Ｉ2 Ｉ3 ランク ）
● 材料規格証明書※、または試験成績書
● 鋼材　□ 高力ボルト　□ 特殊ボルト　□ スタッドボルト
材料規格証明書※、または試験成績書
□ 社内検査表

(3) 工事監理者が行う検査項目
（□印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□ 原寸検査　□ 組立・開先検査　□ 製品検査　□ 建方検査

(4) 接合部の溶接は、下記によること
● 平成12年建設省告示1464号第2号イ、ロ
□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要領
□ 日本建築学会「溶接工事基準、同解説 Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
● 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

(5) 接合部の検査
● 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査方法 社内	第三者	工事監理者	備考
□ 完全溶込溶接部（突合せ溶接）	外観検査（※）	% 個	% 個	% 個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による（目視及び5倍鏡）
	超音波探傷試験	% 個	% 個	% 個	
	内質検査（注） □ 硬さ試験	% 個	% 個	% 個	
	内質検査（注） □ 示準鋼塗布	% 個	% 個	% 個	
	マクロ試験・その他	個	個	個	
● 隅肉溶接部	外観検査（※）	100 % 個	− % 個	− % 個	
第三検査機関名	GIN認定機関	（都知事登録 号）			

第三検査機関名とは、建築主、工事監理者または工事施工者が、受け入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1）　現場溶接部については、原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと。
注2）　知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事に報告すること。

□ 高力ボルトの検査結果（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
軸力導入後　□ 要 □ 否　高力ボルトすべり係数試験　□ 要 □ 否
□ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、供回り等の異常が無い事を確認する。
□ トルシア形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

(6) 防錆塗料
● 防錆塗装の範囲は高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めペイントは、□ JIS K5621、□ JIS K5625、● JIS K5674を使用して、1つ里2回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
□ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工事塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料　□

7．設備関係　（令129条の2の4の事項）

● 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
● 建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講ずる事。
□ 建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全である事。
□ 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さ5cm以上とした鉄筋コンクリート造とする事。
□ 設備配管は、地震事等の建物変形に追従できること。又、地震力等に対して適切に支持されている事。
● 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全である事。
□ エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されている事。
● 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。
□ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし首の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

8．その他

● 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
● 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
● 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

特記事項
・
・本特記仕様書により難い場合は、監督員の承諾を受けてメーカー仕様とすることができる。
・
・

設計者	協和コンサルタンツ 級建築士事務所 一級建築士事務所兵庫県知事登録第13109号 一級建築士登録第122012号 嶋 田 廣	課長	班長	設計
明石市都市局都市整備室緑化公園課				
製作年月日	令和4年 月 日	工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内 S-02
		図面名称	更衣室棟 構造特記仕様書	縮尺 A1：NONE A3：NONE　全葉 83

構造設計特記仕様書

注1：構造図に記載された事項は本標準図に優先して適用する。　注2：適用は ● 印を記入する。
注3：図面及び仕様書に疑義が生じた場合は書面を工事管理者に提出し協議すること。

1．建築物の構造内容

(1) 建築場所　明石市魚住町清水先
(2) 工事種別　● 新築　□ 増築　□ 増改築　□ 改築
(3) 構造一級建築士の関与　□ 必要　● 必要としない
□ 法第20条第一号（高さ60m超）
□ 法第20条第二号（ □ RC造高さ20m超　□ S造4階建以上　□ 木造高さ13m超　□ その他）
(4) 構造種別 ※プレファブユニット仕様（工場制作）
□ 木造（W）　□ 補強コンクリートブロック造（CB）　● 鉄骨造（S）
□ 鉄筋コンクリート造（RC）　□ 壁式鉄筋コンクリート造（WRC）
□ 鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC）　□ 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造（WPRC）
□ プレキャスト鉄筋コンクリート造（PRC）　□
(5) 階数　地下 0 階　地上 1 階　塔屋 0 階
(6) 主要用途　トイレ棟
(7) 屋上付属物
□ 高架水槽　kN　□ キュービクル　kN　□ 広告塔　□ 煙 突
(8) 特別な荷重
□ エレベーター　人乗り（ロープ式 油圧式）　□ リフト　kN　□ ホイスト　kN
□ 倉庫積載床用　kN　□ 受水槽　kN
(9) 付帯工事
□ 門扉　□ 擁壁　□　□　□　□　□
(10) 増築計画　□ 有（　　）　● 無
(11) 構造計算ルート　X方向ルート　1 -（ 1 ）　Y方向ルート　1 -（ 1 ）

2．使用構造材料 ※ユニットトイレについては、メーカー仕様とする

(1) コンクリート　（レディーミクストコンクリート JIS Q 1001, JIC Q 1011, JIC A 5308）

運用箇所	種類	設計基準強度 Fc = N/mm²	品質管理強度 Fq = N/mm²	スランプ cm	備考
捨てコンクリート	● 普通	18	−	−	
土間コンクリート	● 普通	18	21	15	
基礎、基礎梁	● 普通	21	24	15	
柱、梁、壁、床	□ 普通	21	21	15	比重
押えコンクリート	□ 普通、□ 軽量	21	21	15	比重
細骨材の種類	● 砂　□ 山砂　□ 人工				
粗骨材の種類	● 砂利　□ 砕石　□ 人工				
水の区分	● 水道水　□ 地下水　□ 工業用水				
混和剤の種類 （JIS A6204-2011）	● AE減水材　□ 高性能AE減水材				
呼び強度を保証する材齢、養成	● 材齢（ ● 28日 □ 56日 □ ） ● 養成（ □ 現場封かん ● 現場水中 □ 標準 ）				

● 単位水量は185kg/m3以下、単位セメントは270kg/m3以上とする。
※捨てコンクリートは水セメント比の最大値と共に除外する。

(2) コンクリートブロック（CB）
□ A種　□ B種　□ C種　厚 □100　□120　□150　□190　使用箇所（　　）

(3) 鉄筋

	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋 （JIS G 3112）	● SD295A	D10～D16	基礎	● 重ね継手
	□ SD345	D19以上		□ ガス圧縮継手
	□ SD390			□ 溶接継手
高強度繊維補強筋	□ 材種			□ 機械式継手（　）
	□ 大臣認定番号 MSEB-			各継手の仕様詳細については本仕様書 (2) 鉄筋の項の鉄筋継手等の欄に表示する。
丸鋼	□ SR235			
溶接金網（JIS G 3551）	□	6φ		

(4) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	
□ SS400 □ SWH400 □ SN400 A,B,C		□ 有 □ 無	JIS G 3101
● STKR400 □ STKH490 □ SWH400XL	柱、梁等	□ 有 ● 無	JIS G 3353
□ BCR295 □ BCP235 □ BCP325		□ 有 □ 無	大臣認定品MSTL-
□ SN490A □ SN490B □ SN490C		□ 有 □ 無	JIS G
□ SSC400		□ 有 □ 無	JIS G 3350
□ SNR400B		□ 有 □ 無	JIS A 5540
溶接材料 □ JIS Z			

(5) ボルト
□ 高力ボルト □ F10T（JIS B1186） □ S10T認定番号（MBLT-9010）（□ M16、□ M20、□ M22、□ M24）
● ボルト（JIS B1180）M12 M16 ● 強度区分4.8 ● 強度区分10.9
● アンカーボルト □ SNR400B M l = mm ナット（□ シングル、□ ダブル）
● SS400 M12 L=500 mm ナット（□ シングル、● ダブル）
□ SS400 16φ L= mm ナット（□ シングル、□ ダブル）
□ 頭付スタッドボルト φ= L= mm 使用箇所（□ 柱、□ 大梁、□ 小梁）

(6) 屋根、床、壁

材質	型式 厚 その他	使用箇所	仕様・構法
ALC版	厚	□ 壁 □ 床板	□ スライド □ 縦壁ロッキング □ ボルト止め
折版	H=	□ 屋根	
デッキプレート	厚	□ 床版	

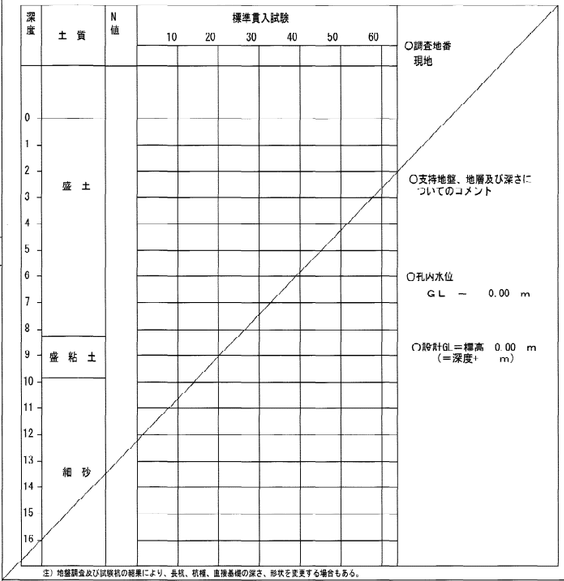
3．地盤

(1) 地盤調査資料ト調査計画
● 有（● 敷地内 □ 近隣）　□ 無（ 調査予定 □ 有 □ 無）

調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査項目	調査項目	資料有り	調査項目
ボーリング調査	●		静的貫入試験			標準貫入試験		
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査		
試験杭（支持層の確認）			平板載荷試験		●	液状化判定		
スエーデン式サウンディング			現場透水試験			PS検層		

注）上記表中の資料があるもの、調査計画が有るものに○を記入する。

(2) ボーリング標準貫入値、土質構成（基礎・杭の位置を明記すること）



注）地盤調査及び試験杭の結果により、長杭、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4．地業工事

(1) 直接基礎　● ベタ基礎　□ 布基礎　□ 独立基礎　試験盛　□ 有　● 無
深さ GL − 1.075m　支持層 −　長期許容支持力度 30 kN/m²　載荷試験 ● 有 □ 無

(2) 直接基礎　□ 浅層混合処理工法　□ 深層混合処理工法　□ ラップルコンクリート
深さ 設計 m　長期許容支持力度 kN/m²　載荷試験 □ 有 □ 無
注）「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針・日本建築センター2002」を参照とする。

(3) 基礎杭　支持層 − 粘土砂

種類	材料	施工法	備考
□ RC □ PRC □ PHC □ H鋼 □ 鋼管 □ 座掘杭 □ 先端翼付鋼管 □ 場所打ち コンクリート杭	PRC（□ I種 □ II種 □ III種） PHC（□ A種 □ B種 □ C種） 鋼材 □ SS400 □ STK400 鋼材 □ STK400 □ STK490 コンクリート Fc N/mm² Fq N/mm² スランプ cm以下 セメント量 kN/m³ 鉄筋 主筋 SD HOOP SD	□ 打ち込み □ 埋込み（セメントミルク工法） □ 回転圧入工法（G-EGSパイル工法） □ オールケーシング □ 拡底杭 □ リバースサーキュレーション □ アースドリル □ ミニアース □ BH □ 深礎 { □ 手掘 □ 機械掘 }	認定 第 号 平成 年 月 日

杭仕様　□ 施工計画書承認　□ 杭施工結果報告書
試験杭（□ 有 □ 無）（□ 打ち込み・□ 積載・□ 孔壁測定）　本

杭種−(mm)	設計支持力（kN）	杭の先端の深さ（m）	本数	特記事項

5．鉄筋コンクリート工事 ※ユニットトイレについては、メーカー仕様とする

本構造設計標準仕様書はコンクリートの設計基準強度（Fc）が36N/mm2以下に適用し、鉄筋の材質はSD390以下に適用する。

(1) コンクリート
● コンクリートはJIS A 5308（レディーミクストコンクリート）に適合するJIS認定工場の製品とし、施工に関しては標準図に記載されている事項を除き、JASS5（最新版）による。
● 耐久設計基準強度 Fd　● 一般　□ 標準　□ 長期　□ 超長期
● セメントは、ＪＩＳ Ｒ５２１０の普通ポルトランドセメントを標準とする。
● 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
● 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を受けること。
● フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一面の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
● 構造体コンクリートについて、現場の圧縮強度試験供試体はJASS 5T-603によることとし、供試体は標準養生、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごとをとする。また、打ち込み量が150m³を越える場合は、150m³ごまたは、その端数ごとに１回を標準とする。１回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた３台の運搬車からその必要本数を採取する。尚、供試体の数量は、特別指示のなさ場合は、１回当たり６本以上とし、そのうち４週用に３本を用いる。
● ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。
なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は１５０分、２５℃以上の場合は１２０分以内とする。

(2) 鉄筋
● 鉄筋は、JIS G3112の規格品を標準とする。施工は、標準図に記載されている事項を除きJASS5標準図に記載されている事項を除きJASS5による。
□ 高強度せん断補強筋は、JIS G 3137 に規定されるＤ種１号適合品とする。
● 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）（２）」による。
● 鉄筋継手等

鉄筋継手工法	継手の位置等の設計条件による仕様・等級 (1) 引張力最小部位	(2) (1) 引張力最小部位（注） A級	B級	SA級	鉄筋の径 cm
● 重ね継手	● 40d 「 35d				● D10～D22
□ 圧接継手	□ 告示1463号第2項各号	□			□
□ 溶接継手	□ 告示1463号第3項各号	□	□		□ D（ ）以上
□ 機械式継手	□ 告示1463号第4項各号	□	□	□	□ D（ ）以上

注）(1) 以外の部位に設ける継手は、平成12年告示第1463号ただし書きに基づき、日本鉄筋継手協会、日本建築センター等の認定・評定等を取得した継手工法の等級で、構造計算にあたって「鉄筋継手使用限界（建築物の構造関係技術基準解説書 2007）」によって検討した部材の条件・仕様によること。

□ Ｄ19未満は、すべて重ね継手とする。
□ 継手部分の施工要領は、社）日本鉄筋継手協会「鉄筋継手手工標準仕様」（ガス圧接継手工事、溶接継手工事、機械式継手工事）による。
継手部の検査方法・外部検査 □ 有 □ 無 、引張試験 □ 有 □ 無 、超音波試験 □ 有 □ 無
ガス圧接部分の検査を超音波探傷試験によって行う場合は、最初の数ロットについてじゃ引張試験も併用し、一回の試験は5本以上とする。
（1ロットは同一作業班が同一日に作業した圧接箇所で200箇所程度とする。）
□ 柱の帯筋（ＨＯＯＰ）の加工方法は、□ Ｈ型（タガ型）□ Ｗ型（溶接型）□ Ｓ型（スパイラル型）とする。
● コンクリート及び鉄筋の試験は、第三者機関の試験期間で行うこと。
試験・検査機関名　決定後速やかに報告すること。
代行業者名　決定後速やかに報告すること。

(3) 型枠
● 材料　合板厚　12 mmを標準とする。　● 旅工はＪＡＳＳ5による。
● 型枠保存期間

種類 部位 セメントの種類による早強ポルトランドセメントの割合	基礎、けり側、柱、壁		スラブ下、けり下		スラブ下		けり下
	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント 高炉セメント A種 シリカセメント A種	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント 高炉セメント A種 シリカセメント A種	早強ポルト ランドセメント	普通ポルト ランドセメント 高炉セメント A種 シリカセメント A種	早強ポルト ランドセメント 普通ポルト ランドセメント 高炉セメント A種 シリカセメント A種
コンクリートの材令 5℃以上	2	3	4	6	8	17	26
5～15℃	3	5	6	10	12	25	28
その他	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	5.0 N/mm²		設計基準強度の５０%		設計基準強度の５０%		
					８５%		１００%

注）1　片持ち梁、ひさし、スパン9．0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
注）2　大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
注）3　支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
注）4　盛りかえ後の支柱頭部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。
注）5　支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
注）6　直上階に著しく大きな積載荷重がある場合においては、支柱（大梁の支柱を除く）の盛替えを行わないこと。
注）7　支柱の盛替えは、養成中のコンクリートに有害な影響をもたらすおそれのある振動又は衝撃を与えないように行うこと。

6．鉄骨工事（施工方法等計画書）※ユニットトイレについては、メーカー仕様とする

(1) 鉄骨工事は、指示のない限り下記による。
● 日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
● 社）日本鋼構造協会「標準鉄骨書施工指針」
□ 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの
● 製作工場　● 製作要領書　□ 工作図　● 施工計画書
□ 認定または登録工場 （ 大臣認定 ３ Ｈ Ｍ Ｒ Ｊ グレード 都登録 T1 T2 T3 フンク ）
● 材料規格証明書※、または試験成績書
● 鋼材　□ 高力ボルト　□ 特殊ボルト　□ メタットボルト
材料規格証明書※、または試験成績書
□ 社内検査表

(3) 工事監理者が行う検査項目
（口印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること）
□ 原寸検査　□ 組立・開先検査　□ 製品検査　□ 建方検査

(4) 接合部の溶接は、下記によること
● 平成12年建設省告示1464号第2号イ、ロ
□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要領
□ 日本建築学会「溶接工事基準、同解説 Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
● 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

(5) 接合部の検査
● 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法		検査方法 社内	第二者	工事監理者	備考
□ 完全溶込溶接部（突合せ溶接）	外観検査（※）		% 個	% 個	% 個	※平成12年建設省告示第1464号第二号による（自視及び計測）
	超音波探傷試験		% 個	% 個	% 個	
	内容検査（注）	□ 磁粉試験	% 箇	% 箇	% 箇	
		□ 示温塗料塗布	% 箇	% 箇	% 箇	
	マクロ試験・その他		個	個	個	
● 隅肉溶接部	外観検査（※）		100 個	− % 個	− % 個	
第三検査機関名	CIW認定機関		（都知事登録 号）			

第三検査機関名とは、建築主、工事監理者または工事施工者が、受け入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1）　現場溶接部については、原則として第二者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと。
注2）　知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事に報告すること。

□ 高力ボルトの検査結果（検査結果は後日工事管理者に報告すること）
軸力導入後 □ 要 □ 否　高力ボルトすべり係数試験 □ 要 □ 否
□ 一次締め後にマーキングを行い、二次締め後そのずれを見て、供回り等の異常が無い事を確認する。
□ トルシア形高力ボルトは二次締め後、ピンテールが破断していることを確認する。

(6) 防錆塗料
● 防錆塗装の範囲は鼻力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めペイントは、□ JIS K5621、□ JIS K5625、● JIS K5674を使用して、4つ星2回塗りを標準とするが、実状に応じて決定すること。
□ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工事塗装と同じ錆止めペイントを使用し、2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料　□

7．設備関係（令129条の2の4の事項）※ユニットトイレについては、メーカー仕様とする

● 建築設備の構造は、構造耐力上安全な構造方法を用いるものとする。
● 建築設備の支持構造部および緊結金物には、錆止め等、防腐のための有効な措置を講ずる事。
□ 建築物に設ける屋上からの突出する水槽・煙突・その他これらに類するものは、風圧・地震力等に対して構造耐力上主要な部分に緊結され、安全である事。
□ 煙突は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さ5cm以上とした鉄筋コンクリート造とする事。
□ 設備配管は、地震事等の建物変形に追従できること。又、地震力等に対して適切に支持されている事。
● 設備機器の架台及び基礎については、風圧・地震力等に対して構造耐力上安全である事。
□ エレベーターの駆動装置等は、構造体に安全に緊結されている事。
● 特記以外の塗装遮孔は原則として設けない。
□ 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

8．その他

● 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
● 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
● 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

特記事項
・本特記仕様書により難い場合は、監督員の承認を受けてメーカー仕様とすることができる。
・
・

設計者	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事登録第12119号 一級建築士登録第122018号	確認	課長	係長	担当
製作年月日	令和4年 月 日	明石市都市局都市整備室緑化公園課			
工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事			内	S-00
図面名称	トイレ棟 構造特記仕様書	縮尺	A1：NONE A3：NONE	全葉	83

鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）

１．一般事項

（１） 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

（２） 記号

d … 異形棒鋼の呼び名に用いた数値　　D … 部材の成　　R … 直径

@… 間隔　r … 半径　℄… 中心線　lo … 部材間の内法距離　ho…部材間の内法高さ

ST… あばら筋　HOOP … 帯筋　S.HOOP … 補強帯筋　φ… 直径又は丸鋼

２．鉄筋加工、かぶり

（１） 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図	d, R, 余長	d, R, 余長	d, R, 余長
鉄筋の余長	4d以上	6d以上（＊4d以上）	8d以上（＊4d以上）

折曲げ内法寸法Rは、SR235～SD345の径16および D16以下は3d以上、SD295～SD345のD19～D38は4d以上、D41およびSD390は5d以上。
スラブ筋、壁筋には丸鋼は使用しない。

折まげ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込む下ばよびL形状のキャップタイにのみ用いる。

＊片持スラブ上端筋の先端

（２） 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90° 以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のりの寸法(R)
d, R	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SR295 SD295A・B SD345	16φ　以下 D16	3d　以上
			19φ　以上 D19	4d　以上
d, R	上記以外の鉄筋	SR295A・B	16φ　以下 D16	
		SD345	19φ ～ 25φ D19 ～ D25	6d　以上
		SD390	28φ ～ 32φ D29 ～ D41	8d　以上

（３） 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲（N/mm²）	定着の長さ 一般（L2）	定着の長さ 下ば筋（L3） 小梁	定着の長さ 下ば筋（L3） スラブ	特別の定着及び重ね継手の長さ（l1）
SR235	21,24	35d　フックつき	25dフックつき	15cmフックつき	40d　フックつき
	18以下	45d　フックつき			45d　フックつき
SD295A SD295B SD345	27～36	40d　または 25d　フックつき※	25d　または 15dフックつき	10d　かつ 15cm　以上	40d　または 40d　フックつき
	18以下	40d　または 30d　フックつき			45d　または 40d　フックつき
SD390	27～36	40d　または 25d　フックつき※			40d　または 40d　フックつき
	21～24	40d　または 30d　フックつき			45d　または 40d　フックつき

継　手

1．末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2．継ぎ手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3．直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
4．Ｄ２９以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5．鉄筋径の差が７mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状　3mm 以下　θ＞80°　1.4d 以上　1.1d 以上　d/5 以下　d/4 以下

圧接継手　　重ね継手（下図のいずれかとする）

a ≧400　　1.5L1 以上　　約 0.5L1

（４） かぶり厚さ

（単位：mm）

ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

部位			設計かぶり厚さ(mm)	最小かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30	20
		屋外	40 (1)	30 (20)
	柱 はり 耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50 (2)	40 (1) (30)
	擁壁		50 (3)	40
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁		50	40 (4)
	基礎・擁壁		70	60 (5)

かぶり厚さ

〔注〕（１） 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて３０mmとすることができる。
（２） 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて４０mmとすることができる。
（３） コンクリートの品質及び施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて４０mmとすることができる。
（４） 軽量コンクリートの場合は、１０mm増しの値とする。
（５） （ ）内は仕上げがある場合。

（５） 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値１．５d以上
粗骨材の最大寸法の１．２５倍以上かつ２５以上

図の● 印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要

柱　梁

（６） 鉄筋のフック　（a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。）

a．丸鋼　b．あばら筋、帯筋　c．煙突の鉄筋
d．柱、梁（基礎梁は除く）の出すみ部分の鉄筋（右図参照）
e．単純梁の下端筋
f．その他、本配筋標準に記載する箇所

３．杭

（地震力等の水平力を考慮する必要のある場合は、別途検討すること。）

（１） ＰＲＣ杭、又はＰＨＣ杭の全てに補強を行う

所定の位置に止まった場合			所定より低く止まった場合		
杭　径	300φ，350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16	10-D16
HOOP	D10-@150				

補強筋　HOOP@150　基礎下場　コンクリート止め板　30　L2　φ

HOOP@150　3－D16　基礎下場　45°　但し　l≦φの場合　l＞φの場合　工事監理者の指示による　150　L2　L　150　1.5φ

（２） 現場打ちコンクリート杭

杭頭処理　斫部分　10以上600～1000　余盛コンクリート　主筋40d　HOOP筋の継手は片側溶接10d又は重ね継手40d　へりあき200以上　スペーサーフラットバー@3，000(各4ヶ所)　主筋のかぶりは100以上とする　杭間隔は2×φかつφ＋1000以上　CL　主筋40d　重ね継手

４．基礎

（１） 直接基礎

帯フープ　ベース筋　a＝D1＋2dの範囲　主筋間隔は200以下　bの範囲　主筋間隔の１．５倍かつ300以下　斜め筋　3－D13以上　CL　45°　45°　d　b　a　b

（２） 杭基礎

フック付き　フック無し　20d以上　かぶり厚さ　CL　(片側)　20d　(両側)　余長4d

（３） べた基礎

ハンチを付けた場合（a≧3）

1．耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう
　但し上筋と下筋を読みかえる
2．①の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
3．②の鉄筋はＤ１３以上
4．埋戻し土のある場合は４０を７０とする

L1 or L3　150以上　a　1　2　40　L2　Td

（４） 基礎接合部の補強

L1　L2　W1　500＜H≦1000　H　2－D16　45°～60°　3-D13　L2　＊＊＊　300　＊印筋はD10－@200とする　H≦500は＊印筋は不用とする

W1の三角壁厚さは、２００以上又は地中梁幅とし、配筋は同厚の壁リストにならう

５．地中梁

（１） 独立基礎、杭基礎の場合　（定着、継手）

外端部　内端部　lo　ln/4　ln/2　ln/4　15d　（継手範囲）　15d　L2　L1

（２） 布基礎、べた基礎の場合　（定着、継手）　＊上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる

外端部　内端部　lo　lo/4　lo/2　lo/4　20d　L2　L1　15d

上端筋継手範囲　下端筋継手範囲　上端筋継手範囲

（３） 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

地中梁の主筋、スタッドボルト（スタッドジベル）による、おさまりに注意する　根巻形　鉄骨柱D　125以上　埋込形　鉄骨柱D　D以上　HOOP 2－D13以上　HOOP 2－D13以上　(基礎梁のない側)　地中梁上端筋　割列防止用U字筋　地中梁　埋込み長さh　主筋　40d以上　地中梁上端筋　B．PL下端 30～50　BRL下端　30～50　注）根巻形注脚を採用する場合には耐力、変形、性能などについて一分に注意して設計されたもの。　埋込み長さh　角形鋼管3D　H型鋼2．5D以上　主筋　150以上　ベース下の施工を慎重にする

（４） 水平ハンチの場合の　あばら筋加工要領　ハンチ梁幅ハンチ　1　6～8　2-D13＊　＊一般のあばら筋と同様のものを2本束ねる　柱　ハンチ筋

（５） せいの高い梁の　あばら筋加工要領　D：1，500を超える場合　D　3d　③の拡大図

６．柱

（１） 柱主筋の継手　継手の好ましい位置　ho/4　ho/2　ho/4　圧縮継手　重ね継手

（２） 柱主筋の定着　鉄筋のフックは柱頭の四隅の鉄筋並びにはりのせいが小さく、設計応力に対して必要な定着長さが不足する箇所に付ける　L2　ho　400以上　L1　150以上

（３） 帯筋　D　第一帯筋　150以下　〃　150以下　パネル部分は0.2%以上とする　135°　鉄筋ピッチ以下　第一帯筋　A H型（タガ型）　A S型（スパイラル型）　15d　L1は中間部50dかつ300以上　末端部の添巻は1．5巻以上とする　B W型（溶接型）　5d以上　10d以上　5d　L　2d　2d　L1は片面溶接10d　両面溶接5d以上とする　C 口型　C 日型　C m型　L1　L2　4d　L1は50d以上　かつ30cm以上とする

注　１　第一帯筋は、梁づらに入れること
注　２　W型で現場溶接をする場合は主筋の位置を揃える
注　３　フックおよび継手の位置は交互とする

（４） 斜め柱、斜め梁

柱幅が斜材（柱又は梁）幅が同一柱幅が斜材（柱又は梁）幅が異る柱脚で斜材となる場合

柱D　L2　L1　1.5D　梁D　D

注　１　１．５Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし@100以下とする
注　２　① の鉄筋は2－D13かつ、２本の一段太い鉄筋とする

（５） 絞り　6d　100　帯筋より１サイズ太く、又は同サイズ２本　a≦D/6　15d　L2　L1　D　400　a＞D/6

（６） 二段筋の保持　6φ－@1000　a＝1．5×（呼び名の数値）　6φ @1000

特記事項	・ ・ ・ ・

監理者	協和コンサルタンツ　級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第13109号 一級建築士登録第122018号　鳴谷 廣	課長	担当者	係長
明石市都市局都市整備室緑化公園課				

製作年月日	令和4年　月　日	工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事
図面名称	鉄筋コンクリート構造配筋標準図（１）	縮尺	A1：NONE A3：NONE
内	S-04	全葉	83

鉄骨構造標準図　（1）

1. 一般事項

(1) 材料及び検査
- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いるＴ事に適用し、かつ鋼材の厚さが４０mm以下のものとする
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

(2) 工作一般
- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承諾を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼のひずみ矯正は、冷間矯正とする

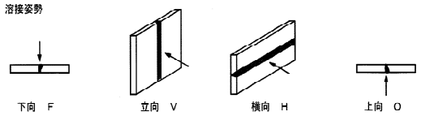
(3) 高力ボルト接合
- (a) 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

(4) 溶接接合
- (a) 溶接工

溶接技能者は施工する溶接に適応するＪＩＳ　Ｚ３８０１（手溶接）又はＪＩＳ　Ｚ３８４１（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器

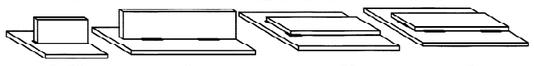
(f) 交流アーク溶接機　３００Ａ～５００Ａ　(c) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(D) アークエアーガウジング機（直流）　(e) 溶接電流を測定する電流計
(A) サブマージアーク溶接機１式　(A) 溶接棒乾燥機
- (c) 溶接方法

アーク手溶接（MC）　ガスシールドアーク半自動溶接C）
セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接NGC）　アークエアー ガウジング（AAG）
- (d) 溶接姿勢

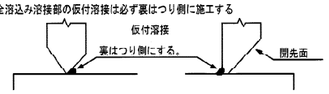


- (e) 組立て溶接技術者は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置

組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



(f) 溶接施工
- (イ) エンドタブ

Ⅰ） 突合せ溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける

Ⅱ） エンドタブの材質は、母材と同質とする

Ⅲ） エンドタブの長さは、MC：３５mm以上
NGC、GC：４０mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より１０mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする

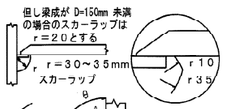
Ⅳ） ブレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は、工事監理者の承認を得る



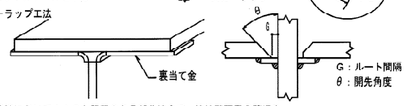
- (ロ) 裏あて金

材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で６mm、半自動溶接で９mm以上とする

但し梁成が D=150mm 未満の場合のスカーラップは r＝２０とする



- (ハ) スカーラップ　半径は３０～３５mmと１０mmのダブルアールとする
- (ニ) ノンスカーラップ工法



- (ホ) 裏はつり

規準図の溶接においてＡＡＧと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける
- (ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行なう

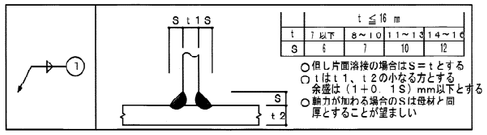
(5) 塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装しない

2. 溶接規準図

（注）　f：余盛　G：ルート間隔　R：ファース　S：脚長　（単位ｍｍ）

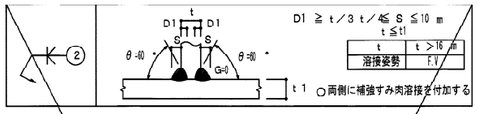
(1) 隅肉溶接



t ≦16 mm				
t	7 以下	8～10	11～13	14～16
S	6	7	10	12

○但し片面溶接の場合はS＝tとする
○tはt1、t2の小なる方とする
余盛は（1＋0.1S）mm以下とする
○静力が加わる場合のSは母材ﾌﾗﾝｼﾞ厚とすることが望ましい

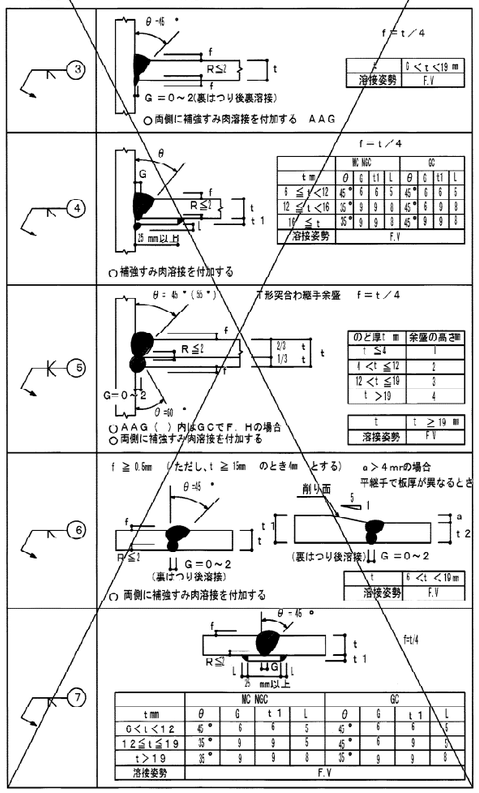
(2) 部分溶け込み溶接　（使用箇所に注意）



t	t ＞16 mm
溶接姿勢	F.V

○両側に補強すみ肉溶接を付加する

(3) 突合せ溶接　（平継手　T形継手）



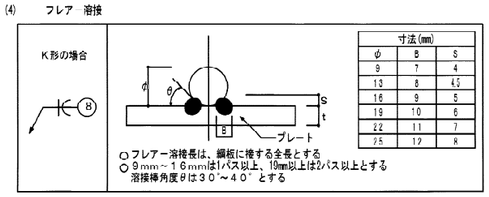
tmm	MC NGC θ	G	t 1	L	GC θ	G	t 1	L
0＜t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	6
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	6
t＞19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

のど厚t mm	余盛の高さ mm
t ≦4	1
4 ＜t ≦12	2
12 ＜t ≦18	3
t ＞19	4

t	t ≧ 19 mm
溶接姿勢	F.V

t mm	MC NGC θ	G	t 1	L	GC θ	G	t 1	L
0＜t＜12	45°	6	6	5	45°	6	6	6
12≦t≦19	35°	9	9	5	45°	6	9	6
t＞19	35°	9	9	8	35°	9	9	8
溶接姿勢	F.V							

(4) フレア　溶接

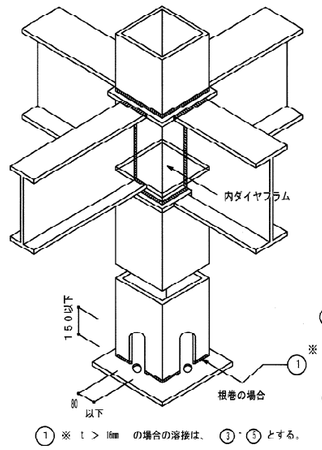


寸法(mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

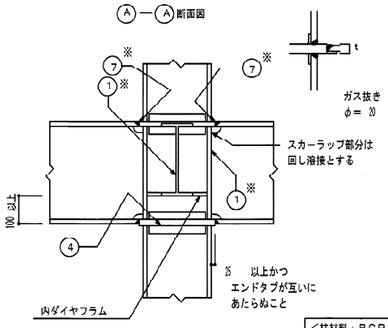
○フレアー溶接長は、鋼板に接する全長とする
○9mm～16mmは1パス以上、19mm以上は2パス以上とする
溶接棒角度θは30°～40°とする

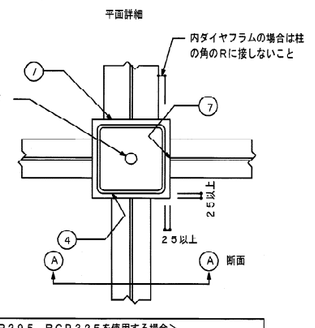
溶接記号番号を○中に記入のこと

○ BOX型　（通しダイヤフラムの場合）



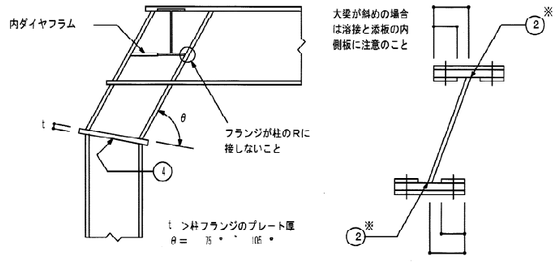
● 柱が途中で折れる場合及び梁成が異なる場合





① ※ t ＞ 16mm　の場合の溶接は、③・⑤とする。

<柱材料：BCR295、BCP325を使用する場合>
ダイヤフラムは、SN490B・C、SM490同等以上の鋼材を使用する事。
ダイヤフラム厚は、接合する柱、梁の最大厚の2サイズアップとする事。

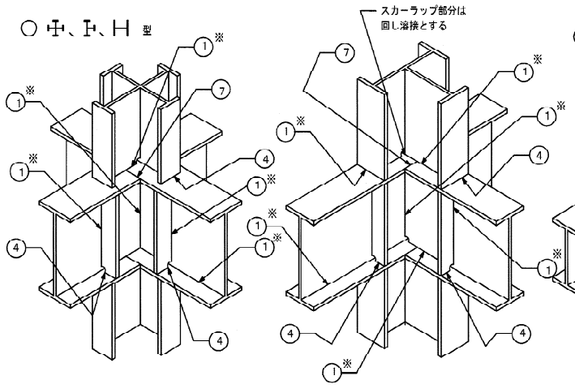


② ※ t ＞ 16mm　の場合の溶接は、③・③とする。

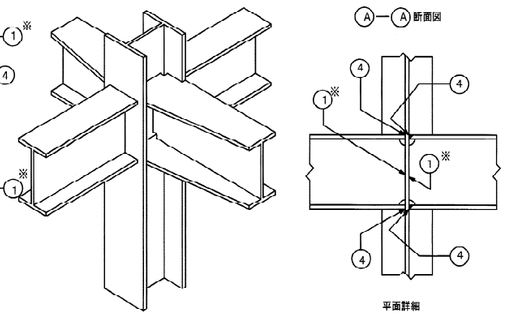
○ 鋼材種別による溶接条件

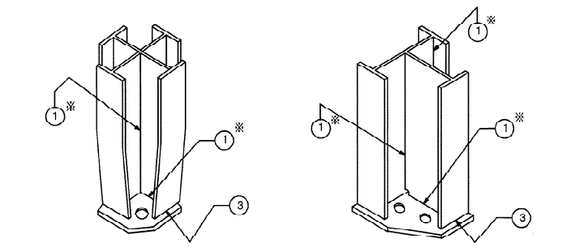
鋼材の種類	溶接材料	入熱（KJ／cm）	パス温度差≦℃
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW 11、15		
	YGW－18、19		
	YGA－50W, 50P		
490N級鋼	JIS Z 3212, 3214	40以下	350以下
	YGW－11、16	30以下	250以下
	YGW 18、19	40以下	350以下
	YGA－50W, 50P		

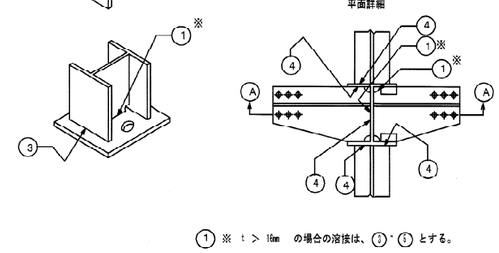
○ 中、H、H 型



○ B、H方式







① ※ t ＞ 16mm　の場合の溶接は、①・①とする。

① ※ t ＞ 16mm　の場合の溶接は、④・⑥とする。

特記事項	・
	・
	・
	・

監理	協和コンサルタンツ　級建築士事務所	課長	係長	担当	製作年月日
	一級建築士事務所東京都知事登録第13109号				令和4年　月　日
	一級建築士登録第122018号　鳴谷 廣	明石市都市局都市整備室緑化公園課			

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	S-05
図面名称	鉄骨構造標準図（1）	縮尺	A1：NONE A3：NONE
		全葉	83

鉄骨構造標準図　（2）

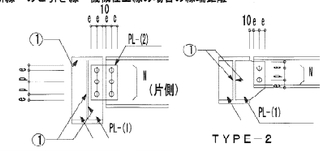
3.　継手規準図、その他

(1)　ボルトピッチ（P）、　ボルト穴径・最小縁端距離　（㎜）

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離 (e) (1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	ピッチ(P) 最小	標準
M16	18	40	26	22	40	40	60
M20	22	50	34	26	40	50	60
M22	24	55	38	28	40	55	60
M24	26	60	44	30	45	60	70

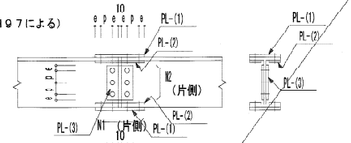
〔注〕(1)　引張材の接合部で応力方向にボルトが３本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
(2)　せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離
(3)　圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離

(2)　ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)	PL-(2)	ℓ径
部材リスト参照					

(3)　剛接合継手リスト
（ＳＣＳＳ－Ｈ９７による）



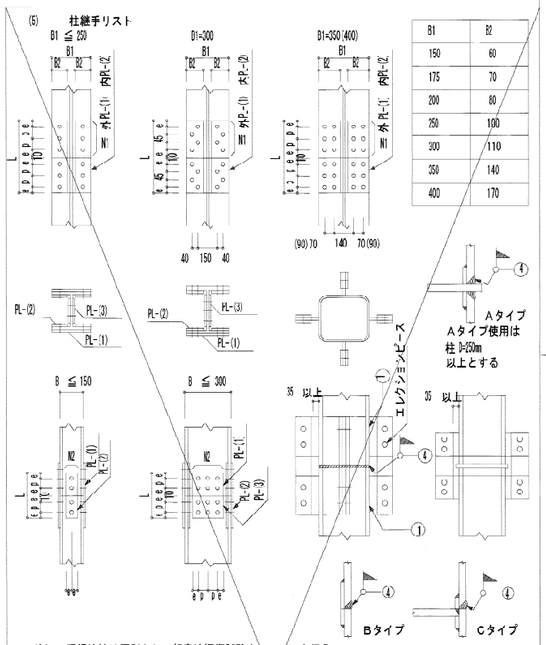
注)　端部をＢＨとする場合の部材は設計図による

符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	ウエブ N1-径	PL-(3)	N2-径
部材リスト参照						

(4)　ハンチ部の継手　　フランジ及びウエブ厚の差のある場合



(5)　柱継手リスト



B1	B2
150	60
175	70
200	80
250	100
300	110
350	140
400	170

注)　現場溶接は原則として超音波探傷試験を１００%を行う

符号	部材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	W1-径	ウエブ PL-(3)	W2-径

(6)　鉄筋ブレース　（ＪＩＳ規格品とする　-JIS6540"3542　　-1982　）

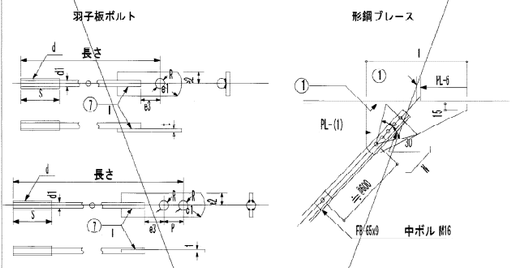
(a)　羽子板ボルト

ねじの呼び (d)			M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d1	最大		10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最小		10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ		S	100	115	125	140	150	165	175
取付ボルト穴径 許容差 +0, -0.5mm		k	13	17	17	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき	（最小）	(2) e1	35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき（最小）	(1) e2	22	28	28	34	40	38	38
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき（最小）	(1) e2	19	25	25	32.5	40	37.5	37.5
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴心のあき（最小）		e3	47	52	59	69	69	73	70
溶接長さ	（最小）	l	40	50	55	60	80	85	85
(2) 取付ボルト	種類		JIS B 1186 JIS B 1180	２種高力ボルト（F10T）又は 中 8g 10.9					
	ねじの呼び		M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本数		1	1	1	1	1	1	2

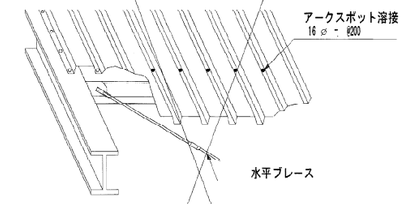
注 (1)　e1、e2が確保されていれば形状は自由でよい
(2)　羽子板とガセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（支圧）接合とする

(b)　形鋼ブレース

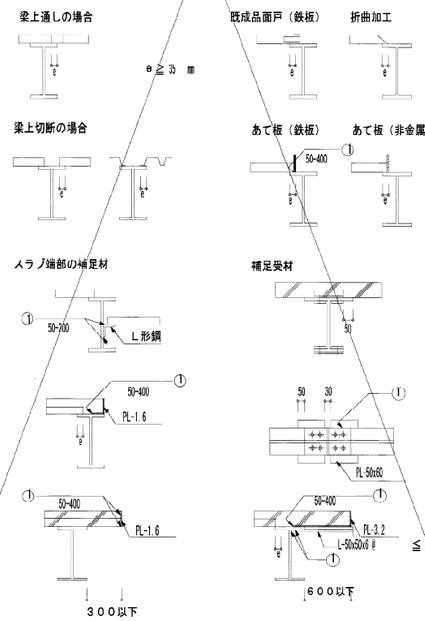
符号	部材	PL-(1)	ℓ径	l



(7)　デッキプレート　（床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照）
梁との溶接及びコネクター　　ＱＬデッキプレート　Ｓ-17参照

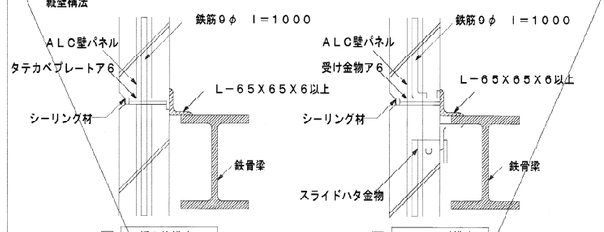


受梁へのかかり寸法及び端部処理

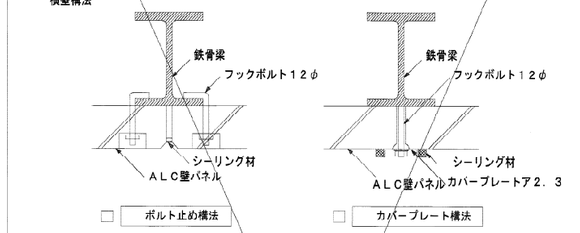


(8)　ＡＬＣ板取付要領

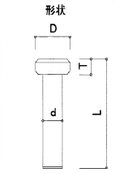
縦壁構法



横壁構法

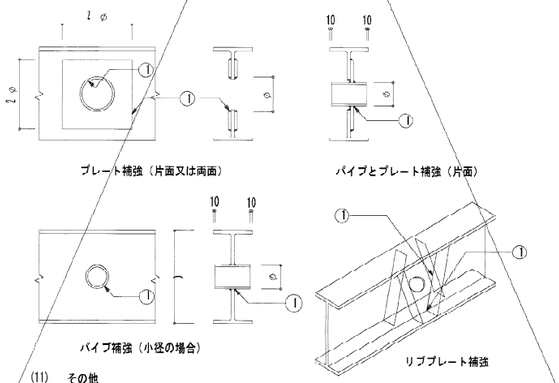


(9)　頭付きスタッド　（ＪＩＳ Ｂ１１９８）
スタッド材の標準形状・寸法



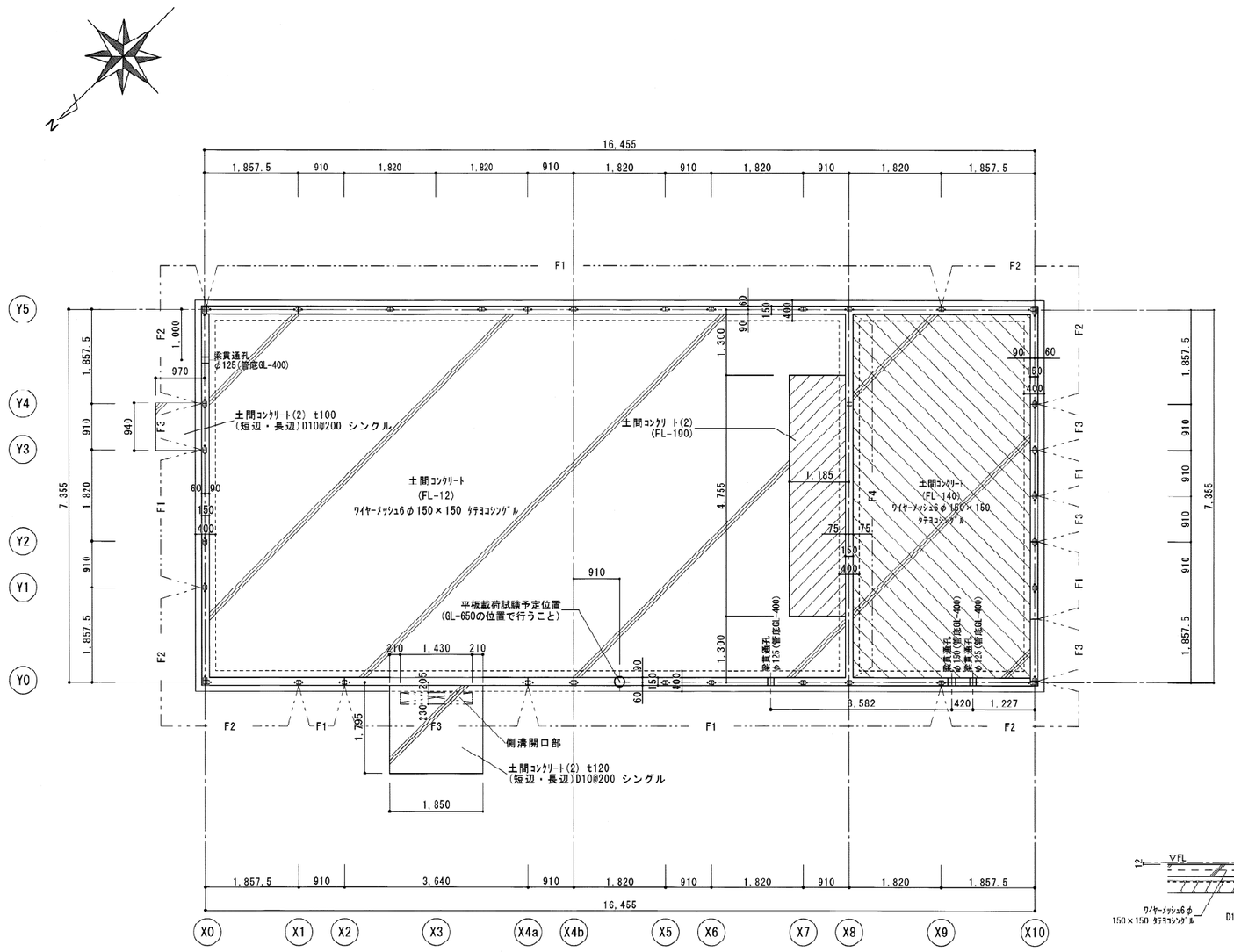
スタッド材 呼び名	軸径 d ㎜	頭径 D ㎜	頭高さ T ㎜	溶接後の長さ L ㎜
φ 13 ㎜	13.0	22.0	10.0	50, 60, 100, 130
	12.7	25.4	7.9	
φ 16 ㎜	16.0	28.0	10.0	80, 100, 130
	15.8	31.7	7.9	
φ 19 ㎜	19.0	32.0	10.0	80, 100, 130, 150
	19.0	31.7	9.5	
φ 22 ㎜	22.0	35.0	10.0	100, 130, 150
	22.2	34.9	9.5	

(10)　梁貫通補強
○　計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらなくて良い
○　梁端部（スパンのｌ／１０以内かつ２Ｄ以内）は避ける
○　φ ≦ 0.40



(11)　その他

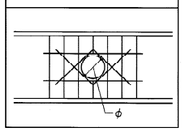
| 特記事項 | | | | | |



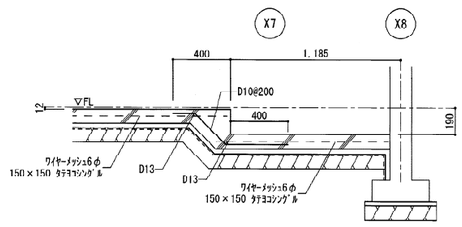
基礎伏図　1/50

基礎梁貫通補強

100<φ≦150	
折筋	1-(2-D13)
縦筋	ST1-D13-@100
横筋	1-(2-D13)



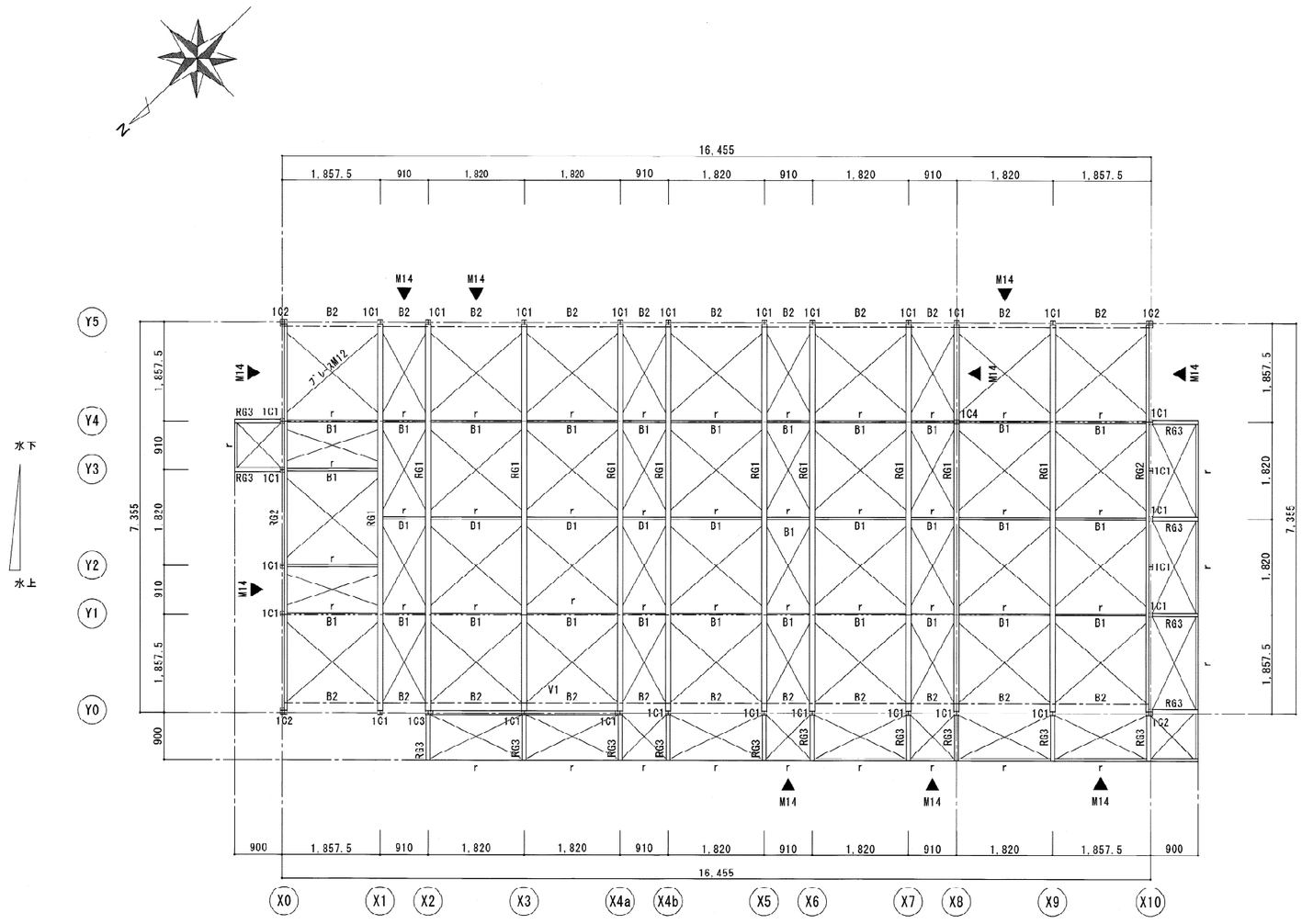
※設備用小開口について
設備用小開口部分については、ひび割れ防止用にワイヤーメッシュを2枚重ね（500角程度）とする。
開口位置は機械設備による（26箇所）



土間コンクリート（２）詳細図　1/20

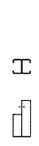
特記事項	監理 協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所登録番号13109号 一級建築士登録第122018号 鳴谷 廣	課長	担当者	係長	担当	製作年月日 令和4年 月 日	明石市都市局都市整備室緑化公園課

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	S-07
図面名称	管理棟 基礎伏図	縮尺	A1:1/50 A3:1/100
		全葉	83



小屋伏図　1/50

特記事項	・ ・ ・	監理	協和コンサルタンツ　級建築士事務所 一級建築士事務所愛知県知事登録第13109号 一級建築士登録第122018号　嶋谷 廣	課長	担当者	係長	担当	製作年月日 令和4年　月　日	工事名称 (仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	内 S-08
				明石市都市局都市整備室緑化公園課					図面名称 管理棟 小屋伏図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	全葉 83

記号	1C1	1C2	1C3	1C4						
有効細長比	1C1:138	1C2:92	1C3:138	1C4:120						
形状										
材料	2C-75x45x15x2.3 SSC400	2C-75x45x15x2.3 SSC400 +□-75x75x2.3 STKR400	3C-75x45x15x2.3 SSC400	LH-75x90x15x3.2x3.2 SWH400L						
備考	BPL-16 SS400 A.BOLT 2-M16 定着L=320	BPL-16 SS400 A.BOLT 2-M16 定着L=320	BPL-16 SS400 A.BOLT 2-M16 定着L=320	BPL-16 SS400 A.BOLT 2-M16 定着L=320						
記号	RG1	RG2	RG3							
形状										
材料	H-200x100x5.5x8 SWH400	L-100x50x3.2 SS400	□-75x75x2.3 STKR400							
備考	GPL-6 SS400 BOLT 2-M16	BOLT 1-M12	GPL-4.5 SS400 BOLT 4-M12							
記号	中母屋：B1	水下母屋・柱継：B2		梁継：r		母屋束		胴縁		
形状										
材料	C-75x45x15x2.3 SSC400	C-75x45x15x2.3 SSC400		C-75x45x15x2.3 SSC400		2C-75x45x15x2.3 SSC400		C-75x45x15x2.3 SSC400		
備考	BOLT 1-M12	BOLT 1-M12		PI-4.5 SS400 BOLT 2-M12						
記号	水平ﾌﾞﾚｰｽ		壁ﾌﾞﾚｰｽ		屋根				特記事項	
形状	•		•							
材料	M12 ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付 SNR400B		M14 ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付 SNR400B		日成ルーフ(ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板) t=0.6 H=79.5					
備考	GPL-6 SN400B BOLT 1-M16		GPL-6 SS400 BOLT 1-M16							

特記事項

・鋼材 SSC400 (柱・ﾌﾞﾅｷﾞ・母屋) JIS G 3350
STKR400 (ﾌﾞﾚｰｽ) JIS G 3466
SWH400L (柱) JIS G 3353
SWH400 (梁) JIS G 3353
SS400 (梁・ﾒﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ) JIS G 3101
SNR400B (ﾌﾞﾚｰｽ) JIS A 5540

・ﾎﾞﾙﾄ (ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾜｯｼｬｰにて戻止めとする)
強度区分4.8 (梁・ﾌﾞﾅｷﾞ・母屋接合部) JIS B 1180
強度区分10.9 (ﾌﾞﾚｰｽ接合部) JIS B 1180
ﾎﾞﾙﾄ孔径： ﾎﾞﾙﾄ径 +1mm

・鉄骨錆止め JIS K 5674 工場：1回塗、現場：1回塗、計2回塗)

特記事項 ・

登録 協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所登録第13109号
一級建築士登録第122018号 鳴谷 康

課長 | 担当課長 | 係長 | 担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日 令和4年 月 日

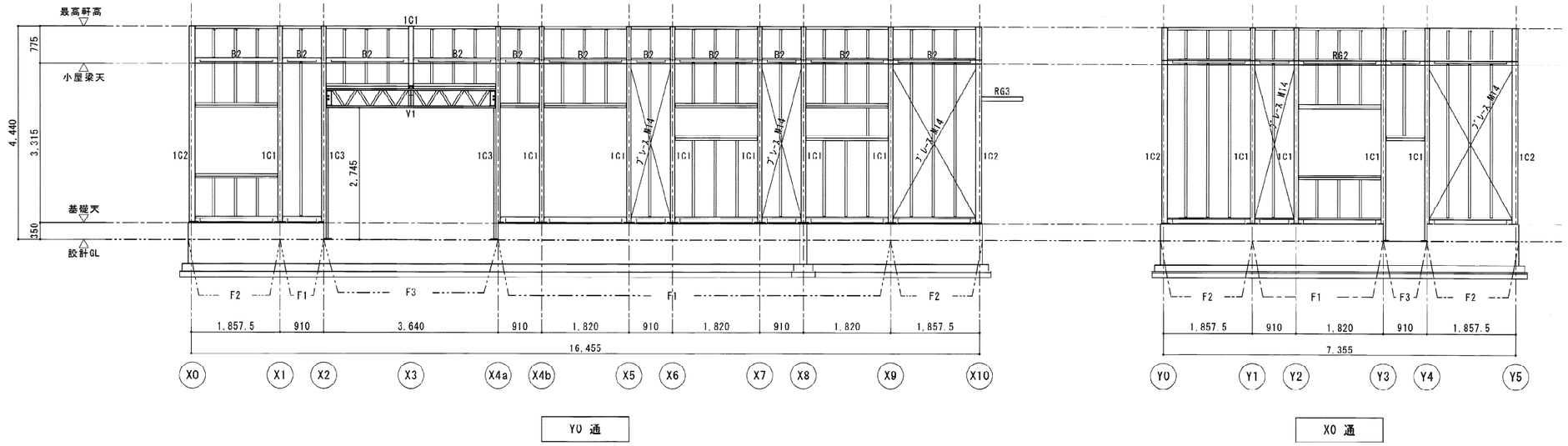
工事名称 (仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事

図面名称 管理棟 鋼材リスト

縮尺 A1:1/15 A3:1/30

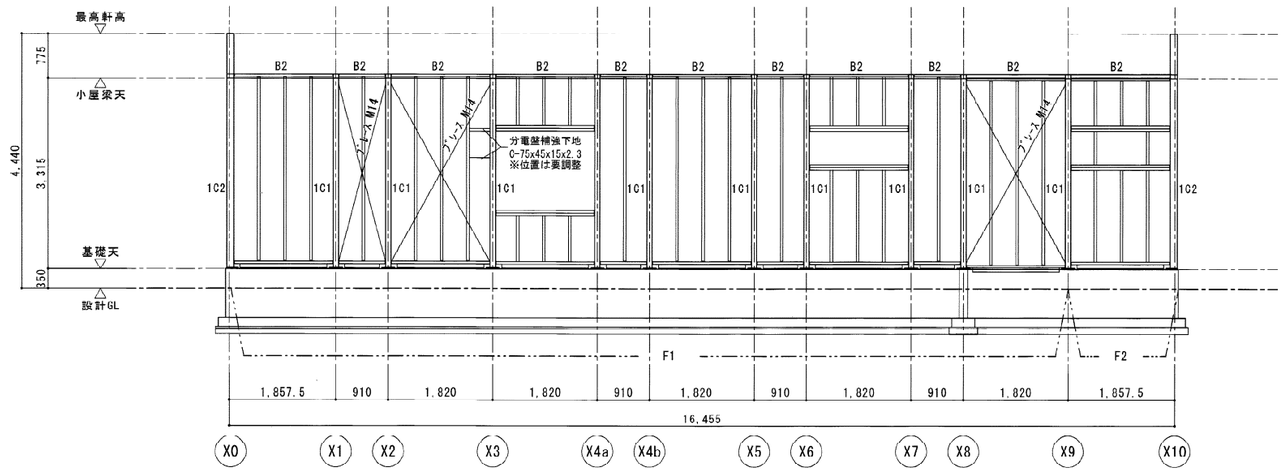
内 S-09

全葉 83



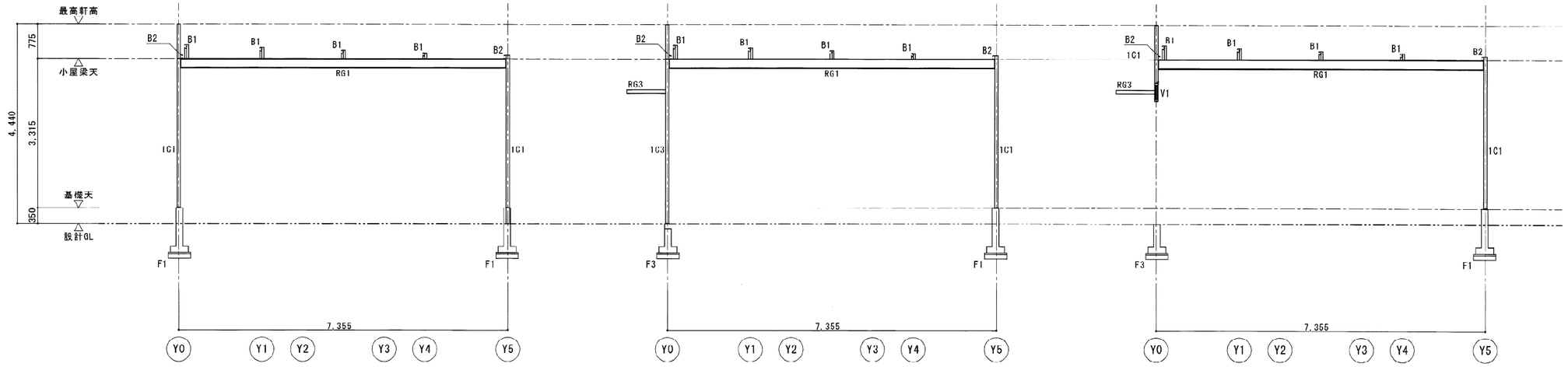
Y0 通

X0 通

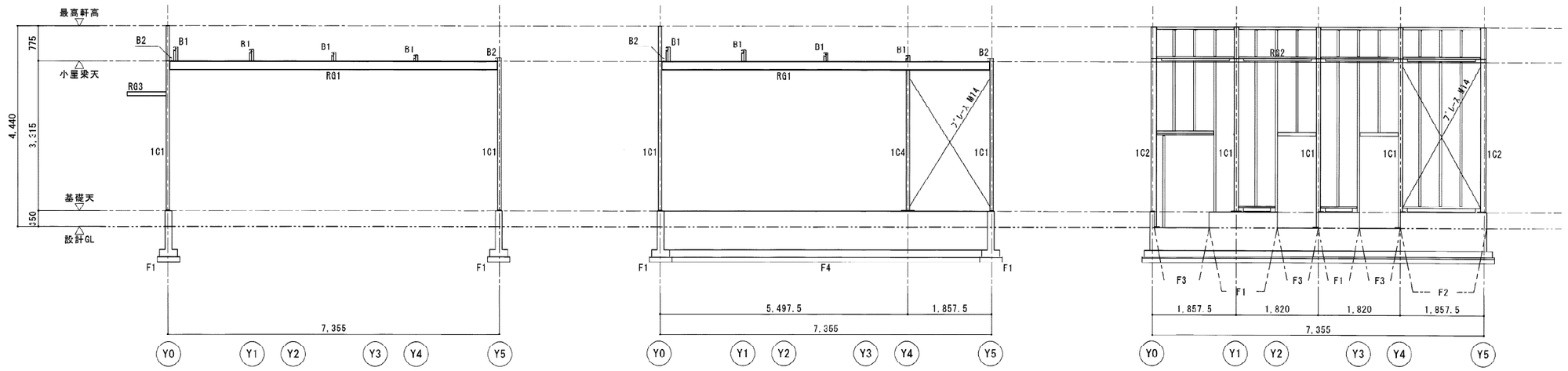


Y5 通

特記事項		協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第13109号 一級建築士登録第122018号 鳴吉廣	課長 / 担当者名 / 係長 / 担当	製作年月日 令和4年 月 日	工事名称 (仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事 / 内 S-10
			明石市都市局都市整備室緑化公園課		図面名称 管理棟 軸組図(1) / 縮尺 A1:1/50 A3:1/100 / 全葉 83



X1 通　　X2・X4 通　　X3 通



X4.5・X5～X7・X9 通　　X8 通　　X10 通

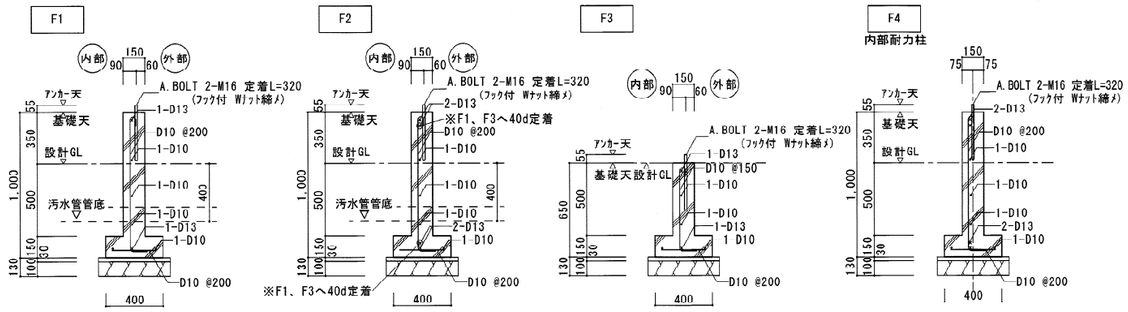
特記事項

株式会社	旭利コンサルタンツ一級建築士事務所	課長	担当課長	係名	組当
一級建築士事務所	東京都知事登録第131009号				
一級建築士	登録第122018号	嶋谷 廣			

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日　令和4年　月　日

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	円	S-11
図面名称	管理棟 軸組図(2)	縮尺	A1：1/50 A3：1/100
		全葉	83

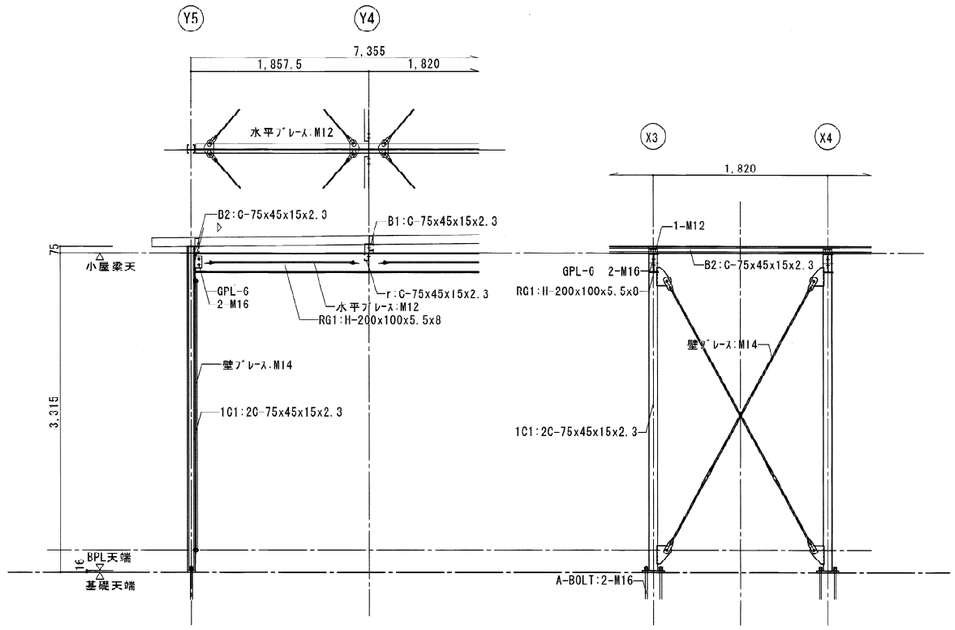


基礎詳細図 1/20

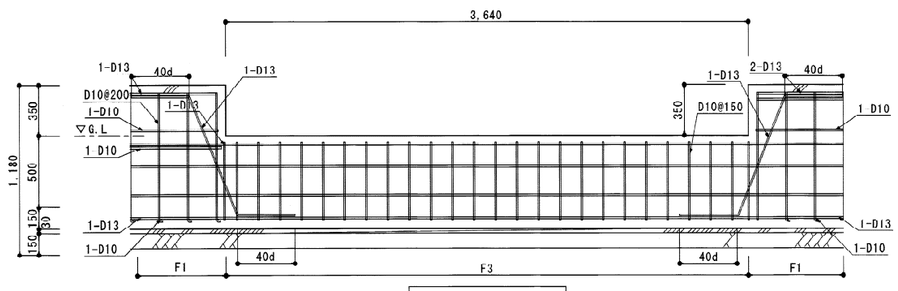
特記事項

ﾚﾃﾞｨﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ	(JIS A 5308)
ｺﾝｸﾘｰﾄ強度	21 N/mm2
異形鉄筋	SD 295A (D16ﾏﾃﾞ) (JIS G 3112)
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	SS400 JIS G 3101 材料強度 400 N/mm2
許容地耐力	50 kN/m2

※平板載荷試験(1箇所)にて許容地耐力を確認する

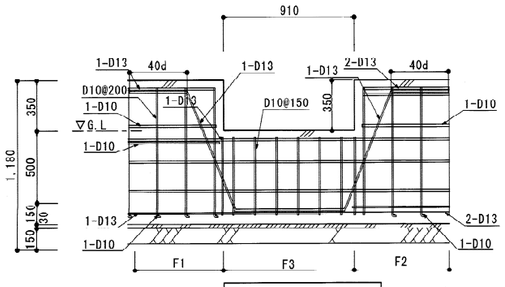


鉄骨詳細図 1/30　　X3 通　　Y5 通



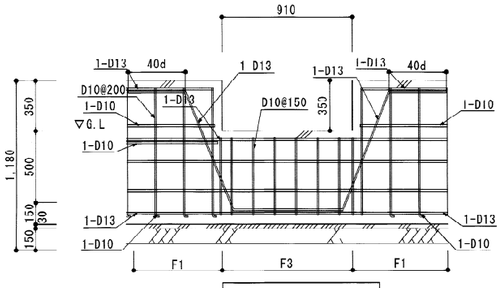
X2-X4開口部補強筋詳細図

Y0通



Y3-Y4開口部補強筋詳細図

X8通



F3切下げ補強筋詳細図

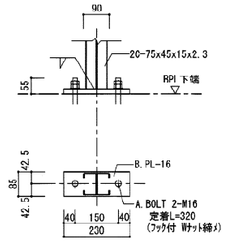
X0・X6通

特記事項

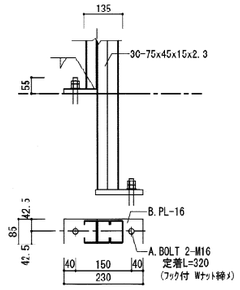
製作	柚和コンサルタンツ 一級建築士事務所 一級建築士登録第131099号 一級建築士登録第122018号 鳩谷 廣	課長		担当係長		係長		技師		製作年月日	令和4年 月 日
	明石市都市局都市整備室緑化公園課										

工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	内	S-12
図面名称	管理棟 基礎詳細図、鉄骨詳細図	縮尺	A1:1/20.30 A3:1/40.60
		全葉	83

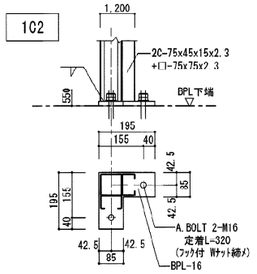
1C1



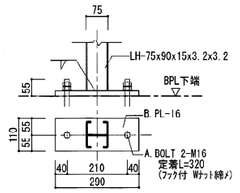
1C3



1C2

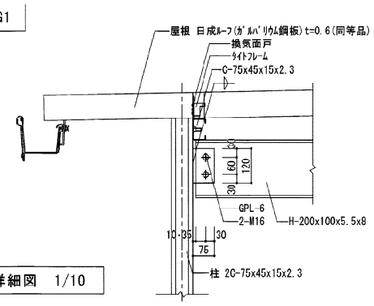


1C4



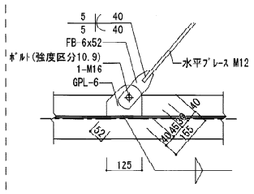
柱脚詳細図 1/10

RG1

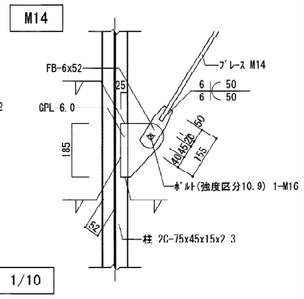


取合詳細図 1/10

M12

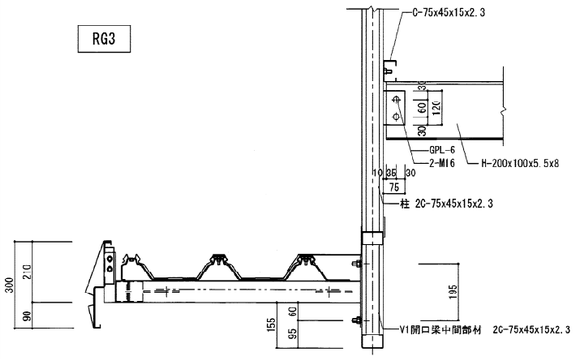


M14

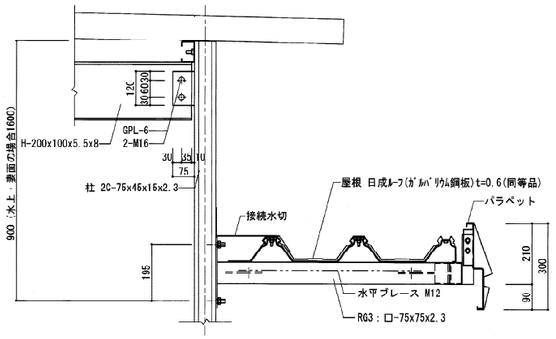


ﾌﾞﾚｰｽ端部詳細図 1/10

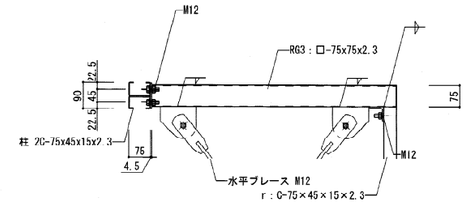
RG3



水上側 開口梁取合い

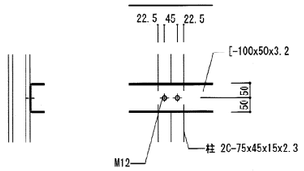


水下側 柱取合い



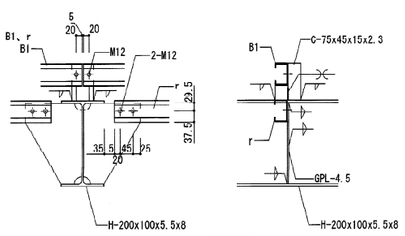
取合詳細図 1/10

RG2



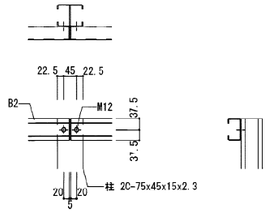
取合詳細図 1/10

B1・r



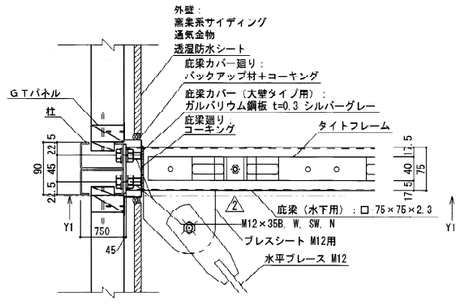
取合詳細図 1/10

B2

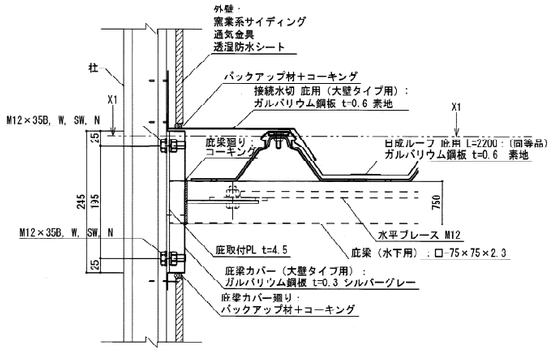


取合詳細図 1/10

X1-X1 断面詳細図 S=1/5

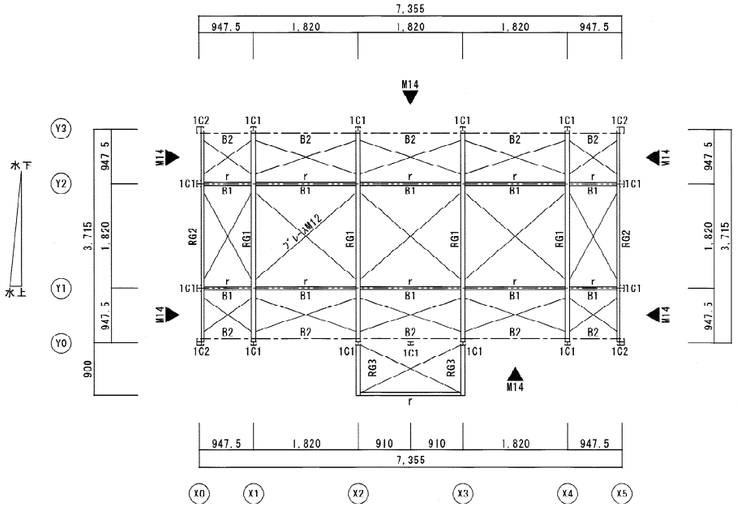


Y1-Y1 断面詳細図 S=1/5

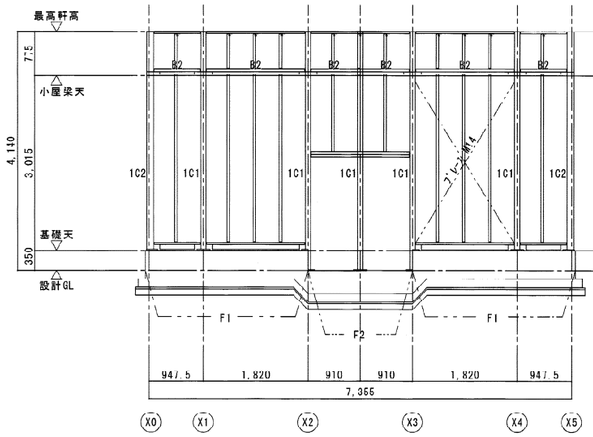


特記事項		協和コンサルタンツ 一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事登録第13109号 一級建築士登録第122018号 鳴谷 眞	課長	班長	係長	設計	製作年月日 令和4年 月 日
		明石市都市局都市整備室緑化公園課					

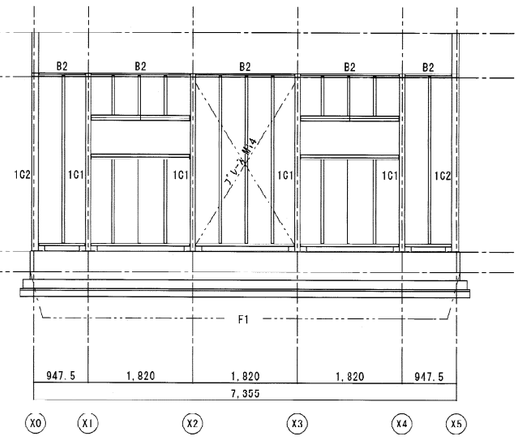
工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	内	S-13
図面名称	管理棟 部分詳細図	縮尺 A1:1/5,10 A3:1/10,20	全葉 83



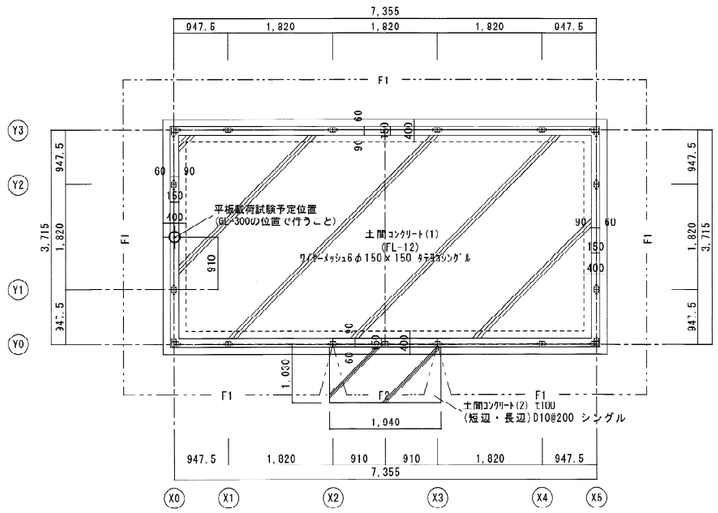
梁伏図　1/50



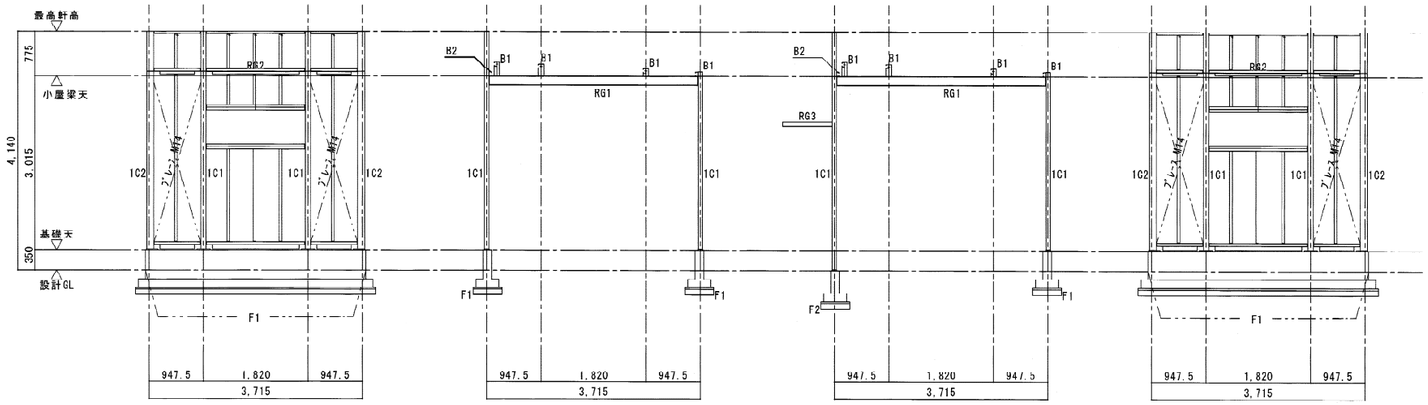
Y0通軸組図　1/50



Y3通軸組図　1/50



基礎伏図　1/50



X0通軸組図　1/50

X1・X4通軸組図　1/50

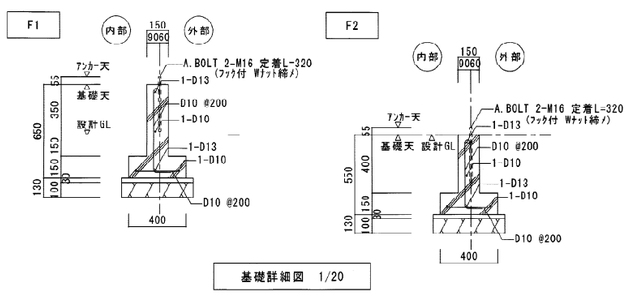
X2・X3通軸組図　1/50

X5通軸組図　1/50

特記事項

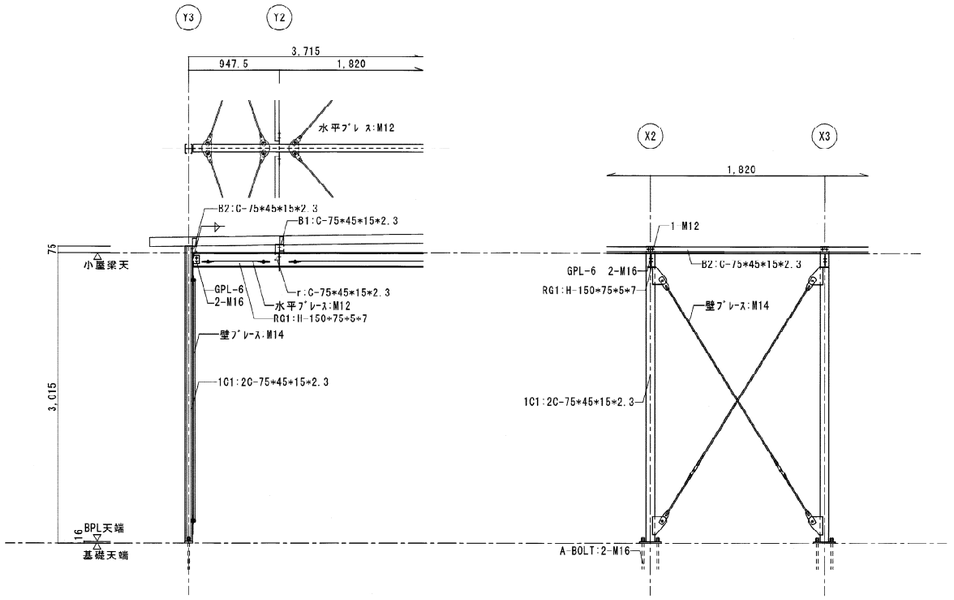
ﾚﾃﾞｨﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ (JIS A 5308)	
ｺﾝｸﾘｰﾄ強度	21 N/mm²
異形鉄筋	SD 295A (D16ﾏﾃﾞ) (JIS G 3112)
ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ	SS400 JIS G 3101 材料強度 400 N/mm²
許容地耐力	50 kN/m²

※平板載荷試験(1箇所)にて許容地耐力を確認する



基礎詳細図　1/20

特記事項	・	監理	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所登録第13109号 一級建築士登録第122010号　嶋谷	課長	係長	係	担当	製作年月日 令和4年　月　日	工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	内	S-14
	・								図面名称	更衣室棟 基礎伏図, 梁伏図, 軸組図, 基礎詳細図	縮尺	A1:1/20, 50 A3:1/40, 100	全葉	83
	・			明石市都市局都市整備室緑化公園課								
	・											



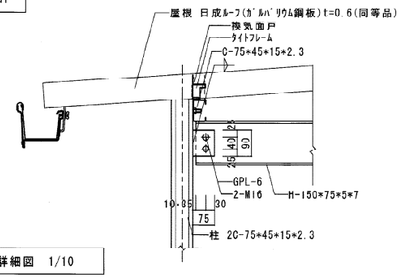
鉄骨詳細図 1/30

X2 通

Y3 通

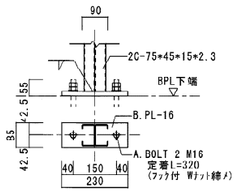
記号	1C1	1C2								
有効細長比	1C1:126	1C2:84								
形状										
材料	2C-75*45*15*2.3	2C-75*45*15*2.3 +□-75*75*2.3								
備考	BPL-16 A.BOLT 2-M16 定着L=320	BPL-16 A.BOLT 2-M16 定着L=320								
記号	RG1	RG2	RG3							
形状										
材料	H-150*75*5*7	[-100*50*3.2	□-75*75*2.3							
備考	GPL-6 BOLT 2-M16	BOLT 1-M12	GPL-4.5 BOLT 4-M12							
記号	中母屋・B1	水下母屋・柱継・B2		梁継・r		母屋束		胴縁		
形状										
材料	C-75*45*15*2.3	C-75*45*15*2.3		C-75*45*15*2.3		2C-75x45x15x2.3		C-75x45x15x2.3		
備考	BOLT 1-M12	BOLT 1-M12		PL-4.5 BOLT 2-M12						
記号	水平ﾌﾞﾚｰｽ		壁ﾌﾞﾚｰｽ		屋根			特記事項		
形状								・鋼材 SSC400 (柱・ｳﾅｷﾞ・母屋) JIS G 3350 STKR400 (柱) JIS G 3466 SS400 (梁・ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ) JIS G 3101 SNR400B (ﾌﾞﾚｰｽ) JIS A 5540 ・ﾎﾞﾙﾄ (ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾜｯｼｬｰにて戻止めとする) 強度区分4.8 (梁・ｳﾅｷﾞ・母屋接合部) JIS B 1180 強度区分10.9 (ﾌﾞﾚｰｽ接合部) JIS B 1180 ﾎﾞﾙﾄ孔径 : ﾎﾞﾙﾄ径 +1mm ・鉄骨錆止め JIS K 5674 工場：1回塗、現場：1回塗、計2回塗)		
材料	M12 ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付		M14 ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付		日成ﾙｰﾌ(ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板) t=0.6 H=79.5					
備考	GPL-6 BOLT 1-M16		GPL-6 BOLT 1-M16							

RG1

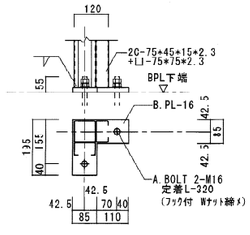


取合詳細図 1/10

1C1

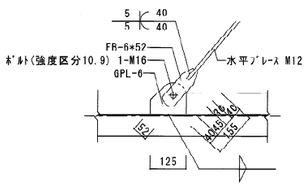


1C2

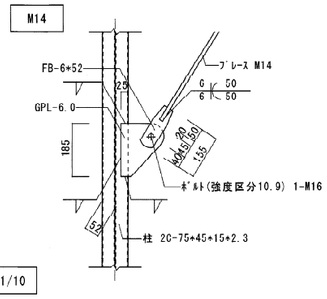


柱脚詳細図 1/10

M12



M14

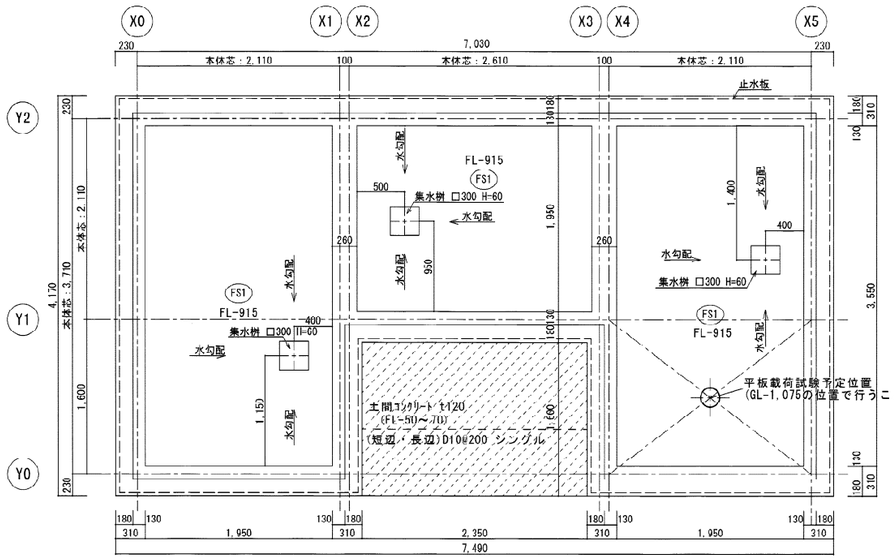


ﾌﾞﾚｰｽ端部詳細図 1/10

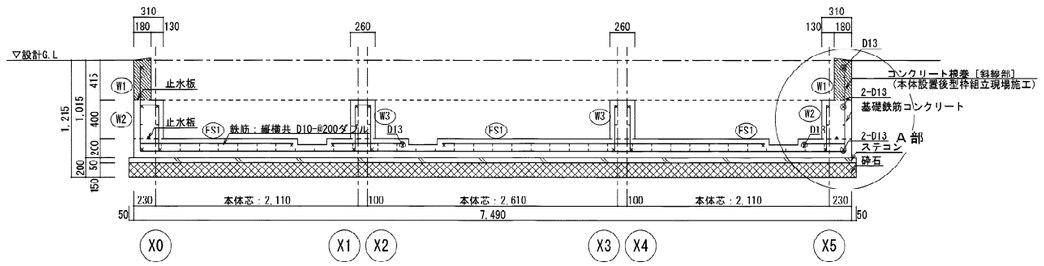
特記事項	・ ・ ・ ・

協和コンサルタンツ 一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第131099号 一級建築士登録第122018号 嶋谷 廣	課長	係長	担当	製作年月日 令和4年 月 日
明石市都市局都市整備室緑化公園課				

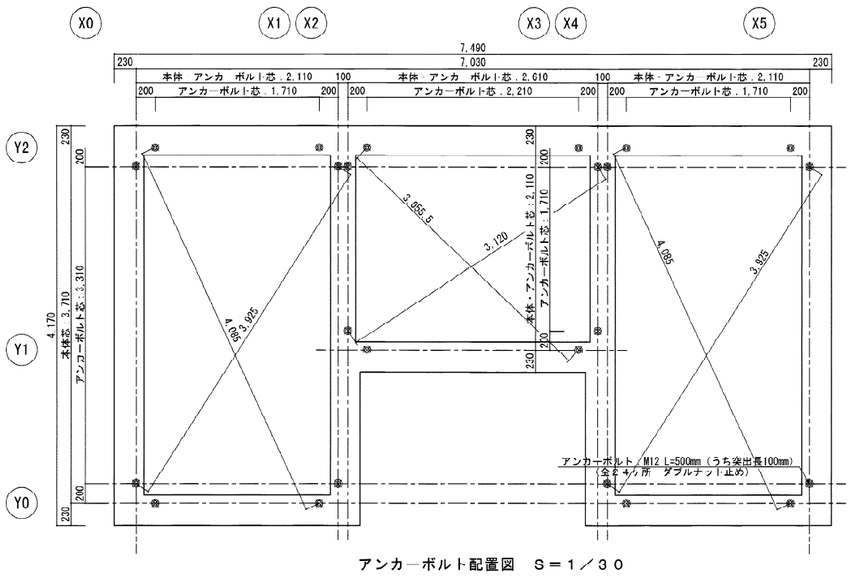
工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	内	S-15
図面名称	更衣室棟 縮尺 A1:1/30	全葉	
	鉄骨詳細図,各詳細図,鋼材リスト A3:1/60		83



基礎伏図　Ｓ＝１／３０



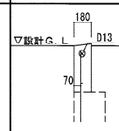
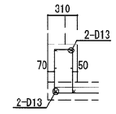
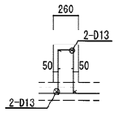
基礎断面図　Ｓ＝１／３０



アンカー―ボルト配置図　Ｓ＝１／３０

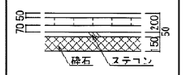
※アンカーボルトの建て方精度だけでなく垂直度にも注意する事（管理許容値は±3mm）

壁リスト表　Ｓ＝１／３０

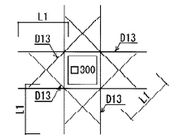
	W1	W2	W3
断面			
厚さ	180	310	260
縦筋	D10-@200シングル	D10-@200ダブル	D10-@200ダブル
横筋	D10-@200シングル	D10-@200ダブル	D10-@200ダブル

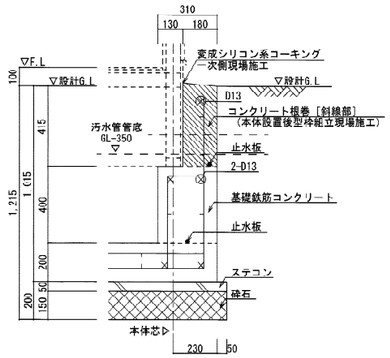
※W1配筋をよけた位置での配管スリーブの開口補強筋は本要である。

基礎リスト表　Ｓ＝１／３０

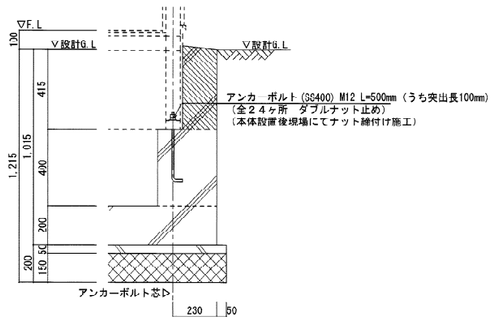
符号	FS1
断面	
厚さ	200
縦筋	D10-@200ダブル
横筋	D10-@200ダブル

集水桝補強　Ｓ＝１／３０





Ａ部詳細図　Ｓ＝１／１５



アンカーボルト部詳細図　Ｓ＝１／１５

構造仕様

コンクリート	躯体	Fc=21N/mm²
	ステコン	Fc=18N/mm²
鉄筋	D16以下	SD295A
砕石	RC-40	
止水板	12×28（クニシール同等品）	

※地業・コンクリートの各施工及び鉄筋工事は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」に準じる事

※基礎鉄筋コンクリート及びアンカーボルトは、一次側現場施工とする

許容地耐力 30 kN/m²

※平板載荷試験(1箇所)にて許容地耐力を確認する

特記事項

設計者 協和コンサルタンツ　級建築士事務所
一級建築士事務所東京都登録第13105号
一級建築士登録第122010号　鳴谷廣道

課長　班長　担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日　令和4年　月　日

工事名称　(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事

図面名称　トイレ棟
基礎伏図、基礎断面図、各詳細図

縮尺 A1:1/30,50
A3:1/60,100

内　S-16

全葉　83

(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事　　工事設計図

仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事内容　　本工事は、管理棟・更衣室棟・トイレ棟新設に伴う、幹線及び電灯コンセント・動力設備等の施工を行うものである。

2．建物概要

建物名称	構造	階数	延面積(㎡)	消防法施行令別表第一	備考
管理棟	軽量S造	地上１階	121.02	15項	
更衣室棟	軽量S造	地上１階	27.32	15項	
トイレ棟	軽量S造	地上１階	26.08	15項	

3．工事種目（●印のついたものを適用する）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別 管理棟	更衣室棟	トイレ棟			屋外
●電灯コンセント設備	一式	一式	一式			一式
・動力設備						
・電熱設備						
・雷保護設備						
・受変電設備						
・電力貯蔵設備						
・発電設備						
●構内情報通信網設備,LAN設備	一式					
●構内交換設備,電話設備	一式					
・情報表示設備,時計設備						
・拡声設備						
●トイレ呼出表示設備	一式					
・テレビ共聴設備						
・テレビ電波障害防除設備						
・監視カメラ設備						
・駐車場管制設備						
・防犯・入退室管理設備						
・インターホン設備						
・火災報知設備						
・中央監視制御設備						
・太陽光発電設備						
●構内配電線路						一式
・構内通信線路						

Ⅱ．工事仕様

1．共通仕様

（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて一般社団法人公共建築協会発行の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)」「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(平成31年版)」及び一般財団法人建築保全センター発行の「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)」による。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、機械設備工事の工事仕様書は（　／　）図、建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

（3）木工事に関係ある法律、政令、省令、告示、条例、各地方団体の内規、基準及び指針等は、よくこれらを遵守し必要ある届け出、手続き等は、請負者がこれを代行すること。ただし、これに要する費用はすべて請負者の負担とする。なお官公庁への提出書類は、写しを監督員に提出のこと。

2．特記仕様

（1）項目は番号に○印のついたものを適用する。

（2）特記事項において選択する事項は、●印のついたものを適用する。●印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。●印と※印のついた場合は、共に適用する。

A．一般共通事項及び仮設工事

・下記を適用する

（但し、建築一式工事の場合は建築工事特記仕様書による）

項目	特記事項
① 工事実績情報の登録	※受注金額500万円以上は適用する
② 現場表示板（工事名表示板）	明石市指定様式(900×600)を ※設計金額1,000万円以上かつ工期90日以上の場合に設ける
3 条件明示項目	
④ 再生資源利用(促進)関係	※計画書及び実施書を作成する。（エクセルデータ可） 【建設ﾘｻｲｸﾙ関係法令に基づき通知・届出等の必要がない工事はﾃﾞｰﾀのみ提出】
⑤ 使用材料等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書（「メーカーリスト」を含む）に規定するもの又はこれらと同等以上のものとする。ただしこれらと同等以上のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。
⑥ 特別な材料の工法	共仕に記載されていない特別な材料の工法は材料製造所の指定する工法とする。
⑦ 完成図等	※作成する　・作成しない 完成図の作成にあたっては以下の方法によること。 ＣＡＤデータの修正 完成図の種類及び記入内容は設計図同等とする。 完成図には各図面の右下に「完成図」と明記すること。 提出物（受注金額が500万円未満の場合は製本不要とする） ※ＪＷＷ形式ＣＡＤデータ ※ＰＤＦ形式データ（印刷物をスキャンしたものは不可） ※A2二つ折り製本（表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度 工事名称+完成図 受注者名」を記入）　２部
⑧ 建築・設備工事との取合い	建築・設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して監督員の承諾を受ける
⑨ 設計ＧＬ	※図示　・設計ＧＬ＝現状ＧＬ
10 監督員事務所（備品）	・設ける　※設けない 監督員事務所の規模 ・１号　・２号　・３号　・４号　・５号　・
⑪ 工事用水	構内既存の施設 ・利用できない　●利用できる（●有償　※無償）
⑫ 工事用電力	構内既存の施設 ●利用できない　・利用できる（・有償　※無償）
13 交通整理員	・延べ（　）日程度とする ・（　）人常駐とする

B．電気設備工事

※下記を適用する　・建築工事特記仕様書による

項目	特記事項
① 電源周波数	・５０Ｈｚ　●６０Ｈｚ
② 電気工作物の種類	・事業用電気工作物　●一般用電気工作物　・自家用電気工作物
③ 電気保安技術者	●適用する　・適用しない
④ 電気工事士	契約電力５０ｋＷ以上の電気工作物において、第一種電気工事士により施工を行うものとする。
⑤ 工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。 構内につくることが　●できる　・できない
⑥ 足場、さん橋類	・別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ●必要に応じて本工事で設置とする。 ・改修工事の場合は、改修共通仕様書第１編２．２．１によるほか下記による。 ・内部仮設足場等（・　種　・　種） ・外部仮設足場等（・　種　・　種）
⑦ 工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編 平成30年版」による。
⑧ 発生材の処理	撤去した機器類については撤去後速やかに調書を作成し監督員に提出すること 1)引渡しを要するもの ※撤去機器類のうち、特別に本巾監督員が指示するもの。 2)引渡しを要するもの以外 ※全て構外へ搬出するものとし、搬出及びその処理費は本工事とする。 3)特別管理産業廃棄物 ※コンデンサー等ＰＣＢ使用電気機器類は、調書を添付して引渡しのこと。 4)再利用又は再資源化を図るもの ・有（　）
⑨ 埋戻し土・盛土	●根切り土の中の良質土 （但しｺﾝｸﾘｰﾄ管以外の管の周囲は　●山砂の類）
⑩ 残土処理	・埋戻し後の建設残土は、構外へ搬出するものとし、搬出及びその処理費は本工事に含む。 ※埋戻し後の建設残土は、本工事で場内敷き均しとすること
⑪ 貫通工事	貫通工事を行う際は、事前に構造上重要な躯体でないか確認し、鉄筋位置探査の上で行うこと。また、採取したコアは工事完成時まで保管すると共に写真撮影し、鉄筋切断がないことを明示すること。
⑫ 耐需施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)により、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受けるものとする。なお設計用水平地震力、設計用鉛直地震力は下記による。 1)設計用水平地震力 設計用水平地震力は機器の重量に、次に示す設計用水平震度を乗じたものとする。 設計用水平震度

設置場所	耐震安全性の分類 特定の施設(甲類:乙類)		一般の施設(乙類)	
	重要機器・水槽	一般機器・水槽	重要機器・水槽	一般機器・水槽
上層階の天井以上	2．0 (2．0) <2．0>	1．5 (2．0) <1．5>	1．5 (2．0) <1．5>	1．0 (1．5) <1．0>
1階天井～上層階の床	1．5 (1．5) <1．5>	1．0 (1．5) <1．0>	1．0 (1．5) <1．0>	0．6 (1．0) <0．6>
1階の床以下	1．0 (1．0) <1．5>	0．6 (1．0) <1．0>	0．6 (1．0) <1．0>	0．4 (0．6) <0．6>

（注）（ ）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
＜ ＞内の数値は水槽類に適用する。

重要機器
・配電盤　・自家発電装置　・交流無停電電源装置　・直流電源装置
・交換機　・火災報知受信機　・中央監視装置　・

上層階の定義は次による。
６階建以下の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、
１０～１２階建の場合は上層３階、１３階建以上の場合は
上層４階とする。

2)設計用鉛直地震力
設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の１／２とし、
水平地震力と同時に働くものとする。

3)あと施工アンカーの施工及び引張試験
重要機器及び重要水槽並びに重量機器（500kg以上の機器）は、アンカー種別に関わらず引張試験を行うこと。引張試験の本数は、施工本数の25%以上または３本以上を目安とし、協議により決定すること。なお、当該アンカーボルトの施工は、一般財団法人日本建築あと施工アンカー協会（JCAA）またはあと施工アンカー工事協同組合（AAC）の有資格者のみ認める。

⑬ 電線本数管路など	分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配線経路は、電線太さ、電線本数及び管径等は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床配線は図面上ＰＦ管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。 原則、新設電線類の途中接続は行わないこと。 幹線ケーブルにおいて、天井ころがしとあるものは、原則として支持をとる。
⑭ 呼び線	長さ１ｍ以上の入線しない電線管には、電線太さ１．２ｍｍ以上の被覆鉄線を挿入する。
15 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。 ●屋外　●屋内（室名：　）
⑯ 支持金物	支持金物の材料は次による。 屋外及び屋内多湿箇所　●ステンレス鋼製(SUS 304) ・溶融亜鉛めっき(2種 35)を施した鋼材 壁支持の場合は三角ブラケット、床支持の場合は門型支持材とする。
⑰ LED照明器具	LED照明器具（誘導灯は除く。）の制御装置、電圧は図面に記載なき場合は次による。

LED制御装置の種類	記号	電圧
一般形	ＬＮ	１００Ｖ

⑱ 照明器具の照度測定箇所数	測定数　5箇所以上/1室あたり
⑲ プレートの材質	フラッシュプレート　●金属製　・樹脂製 フロアプレート　・鋳金製　●アルミ合金製
⑳ 地中線の埋設標等	構内線路における埋設標の材質は、図面に記載のない場合は次による。 ・鉄製　●コンクリート製 全ての地中埋設管路に標識シートを敷設すること。
㉑ 接地極	接地極の材料は下記による。なお接地棒EB（14φ）の長さは１５００mm以上とし、１０φ、１４φはW＝４０としてもよい。

	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
・	共同接地・・	EA ED	Ω以下	ＥＢ(１４φ)×３連－　組
	共同接地・・	EAE E・D	Ω以下	ＥＢ(１４φ)×３連－　組
・	Ａ種接地・・	EA	１０Ω以下	銅板(９００×９００×１．５t)
・	Ｂ種接地・・	EB	電力会社指定	ＥＢ(１４φ)×３連　２組
●	Ｄ種接地・・	ED	１００Ω以下	ＥＢ(１０φ)×１(Ｌ＝1000㎜)
・	Ｃ種接地・・	EC	Ω以下	ＥＢ(１４φ)×３連－　組
・	高圧避雷器・	ELH	１０Ω以下	ＥＢ(１４φ)×３連－２組
・	低圧避雷器・	ELL	１０Ω以下	ＥＢ(１４φ)×３連－２組
・	避雷設備・・	EL	１０Ω以下	銅板(９００×９００×１．５t)
・	交換機用・・	Et	Ω以下	ＥＢ(１４φ)×３連－　組
・	通信用・・・	EAt	１０Ω以下	ＥＢ(１４φ)×３連－２組
・	通信用・・・	ECt	１００Ω以下	ＥＢ(１０φ)×１(Ｌ＝1000㎜)
・	測定用・・・	EO		ＥＢ(１０φ)×１(Ｌ＝1000㎜)

㉒ 取付高さ	壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名称	測点	取付高［mm］
プラケット（一般）	床上～中心	2,100
〃　（踊場）	〃	2,500
〃　（鏡上）	鏡上端～中心	150
避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上
廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
スイッチ（一般）	床上～中心	1,300
〃　（身体障害者用）	〃	1,100
ｺﾝｾﾝﾄ,電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ,直列ﾕﾆｯﾄ(一般)	〃	300
〃　（和室）	〃	150
〃　（台上）	台上～中心	150
コンセント（車庫）	床上～中心	800
引込開閉器箱（低圧）	床上～上端	1,500
分電盤、制御盤、実験盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)
開閉器箱	〃	1,500
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,300
接地用端子箱	地上,床上～中心	500
避雷棟地用端子箱	床上～下端	800
接地極埋設標	地下～中心	600
給油ボックス	地上～給油口	1,000
室内端子盤（廊下・室内）	床上～下端	300
中間端子盤（ＨＰＳ・電気室）	床上～中心	1,500
親時計	〃	1,500(上端1,900以下)
子時計、スピーカ	〃	(天井高)×０．９
アッテネータ	〃	1,300
出退表示盤	〃	(天井高)×０．９
発信器（出退表示用）	〃	1,300
インターホン	〃	1,500
身体障害者用インターホン子機	〃	1,100
呼出ボタン（身体障害者用）	〃	1,050及び300
復帰ボタン（　〃　）	〃	1,800
廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000
テレビ機器収容箱	〃	1,800
火報受信機（複合盤）	床上～操作部	800～1,500
副受信機	床上～中心	1,500
自動通報機器収容箱	〃	800～1,500
発信機	〃	800～1,500
警報ベル	〃	(天井高)×0.9
表示灯	〃	(天井高)×0.8
連動制御器（自動閉鎖）	〃	1,500
ガス漏れ検知器（ＬＰガス）	〃	300
〃　（都市ガス）	天井面～中心	(天井面)－200

（備考）(天井高)×0．9及び(天井高)×0．8は天井高が2,500～3,000㎜の場合に適用する。

㉓ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
㉔ 他工事又は他工種との取合い	工事区分表（　）による。 ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。
㉕ 施工調査	・施工計画調査 調査項目（　） 調査範囲（　／　）図による 調査方法（　／　）図による ●事前調査／今回工事部分＋既設施設＋埋設配管 ●調査項目（・電話/情報/電力引込用線路ルート　） 調査範囲（　／　）図による 調査方法（　／　）図による
26 仮設備	仮設備項目/低圧電力引込・幹線配線配管/対象負荷機器試運転 仮設備期間/屋外ｷｭｰﾋﾞｸﾙ撤去前から更新完了まで
27 養生	養生範囲（　／　） 養生方法（E－　／　）図による
㉘ 構内交換設備	構内交換設備のうち交換機部の結線及び各試験調整については、設備維持管理を考慮した業者とすることを原則とし、監督員の承諾を得たあと決定とする
㉙ 盤類の鍵	盤類の鍵はネームホルダーに盤名称を記載し、１面につき２本納品すること
30 機器類の工場検査への監督員立会い	下記機器類の工場検査には市監督員が立会検査を行う （●機器名：　）
31 その他	

2021年4月改定

特記事項
・
・
・
・

監理者	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事登録第13109号 一級建築士登録第122010号　嶋 幸廣	課長	担当者	係長	担当
明石市都市局都市整備室緑化公園課					

製作年月日	工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	内 E-01
令和4年 月 日	図面名称	電気設備工事　特記仕様書　縮尺 A1：NONE A3：NONE	全葉 83

類　　別	会　　社　　名
照明器具・ＬＥＤ器具	パナソニック(株)　(株)因幡電機製作所　東芝ライテック(株)　三菱電機照明(株)　山田照明(株)　岩崎電気(株)
●照明器具・特殊製作照明器具 （例：舞台照明・ 特殊シャンデリヤ等）	岩崎電気(株)　大光電機(株)　三菱電機照明(株)　東芝ライテック(株)　パナソニック(株) コイズミ照明(株)　(株)因幡電機製作所　山田照明(株)　(株)ＹＡＭＡＧＩＷＡ　(株)松村電機製作所　丸茂電機(株) 日立グローバルライフソリューションズ(株)
●避雷設備	(株)大岩避雷針製作所　(株)四奥　大阪避雷針工業(株)
盤　類　・住宅用分電盤	河村電器産業(株)　内外電機(株)　テンパール工業(株)　パナソニック(株)　日東工業(株)　一光電機(株)
盤　類　・端子盤 分電盤 制御盤	パナソニック(株)　河村電器産業(株)　奥井電機(株)　(株)新愛知電機製作所　(株)大日製作所 (株)戸上電機製作所　寺崎電気産業(株)　(株)下平電機製作所　日東工業(株)　テンパール工業(株) (株)因幡電機製作所　ハピネスデンキ(株)　内外電機(株)　一光電機(株)
盤　類　・キュービクル式配電盤	(株)新愛知電機製作所　(株)戸上電機製作所　(株)因幡電機製作所　光電機(株)　(株)大日製作所　(株)ダイヘン 内外電機(株)　日新電機(株)　日東工業(株)　日本電機(株)　愛知電機(株)　ハピネスデンキ(株) (株)日立産機システム　富士電機(株)　(株)下平電機製作所　奥井電機(株)
●器具類　・配電用遮断器 漏電遮断器	テンパール工業(株)　河村電器産業(株)　富士電機機器制御(株)　寺崎電気産業(株)　三菱電機(株) (株)東芝　(株)日立産機システム　日東工業(株)　パナソニック(株)
●高圧機器・断路器	(株)日立産機システム　富士電機機器制御(株)　三菱電機(株)　日新電機(株)　(株)東芝
高圧機器・限流ヒューズ	(株)日立産機システム　富士電機機器制御(株)　三菱電機(株)　東芝インフラシステムズ(株)
高圧機器・高圧負荷開閉器 ●引外し型高圧交流負荷 開閉器	大垣電機(株)　(株)日立産機システム　富士電機機器制御(株)　三菱電機(株)　東芝インフラシステムズ(株) 日本高圧電気(株)　(株)新愛知電機製作所　エナジーサポート(株)　(株)戸上電機製作所
●高圧機器・高圧電磁接触器	(株)日立製作所　(株)東芝　三菱電機(株)　(株)新愛知電機製作所　日新電機(株)　富士電機(株)
高圧機器・交流遮断器	三菱電機(株)　東芝インフラシステムズ(株)　日新電機(株)　富士電機(株)　(株)日立産機システム　(株)明電舎 富士電機機器制御(株)
高圧機器・変圧器	(株)日立産機システム　(株)ダイヘン　三菱電機(株)　富士電機(株)　日新電機(株)　東芝インフラシステムズ(株) 愛知電機(株)　(株)明電舎　(株)東光高岳
高圧機器・モールド変圧器	(株)日立産機システム　(株)ダイヘン　三菱電機(株)　富士電機(株)　日新電機(株)　東芝インフラシステムズ(株) 愛知電機(株)　(株)明電舎　(株)東光高岳
高圧機器・進相コンデンサー	(株)指月電機製作所　東芝インフラシステムズ(株)　ニチコン(株)　日新電機(株)　三菱電機(株)
●高圧機器・直列リアクトル	(株)指月電機製作所　(株)東芝　ニチコン(株)　日新電機(株)　三菱電機(株)
高圧機器・避雷器	音羽電機工業(株)　日本高圧電気(株)
●ディーゼル発電機	ダイハツディーゼル(株)　ヤンマーエネルギーシステム(株)　三菱重工業(株)　富士電機(株) 三菱電機(株)　(株)日立製作所　西芝電機(株)
●ガスタービン発電機	ダイハツディーゼル(株)　ヤンマーエネルギーシステム(株)　川崎重工業(株)　富士電機(株) 三菱電機(株)　西芝電機(株)
静止型電源装置・交流無停電電源 装置（ＵＰＳ）	(株)日立製作所　富士電機(株)　古河電池(株)　日立化成(株)　三菱電機(株)　(株)明電舎 (株)ＧＳユアサ　東芝インフラシステムズ(株)

類　　別	会　　社　　名
●静止型電源装置・直流電源装置	(株)日立製作所　富士電機(株)　古河電池(株)　日立化成(株)　三菱電機(株)　(株)明電舎 (株)ＧＳユアサ　(株)東芝
中央監視装置・監視制御装置 （ＣＰＵ処理）	三菱電機(株)　富士電機(株)　日新電機(株)　(株)日立製作所　富士通(株)　アズビル(株) 東芝インフラシステムズ(株)　ハピネスデンキ(株)　(株)明電舎　日本電気(株)　ジョンソンコントロールズ(株) パナソニック(株)
●通信情報機器・電気時計装置	シチズン・テイ・アイ・シイ(株)　パナソニック(株)　セイコータイムシステム(株)
●通信情報機器・拡声装置 （舞台、非常放送は除く）	(株)ＪＶＣケンウッド・公共産業システム　ＴＯＡ(株)　日本無線(株)　ユニペックス(株)　パナソニック(株)
●通信情報機器・インターホン装置	アイホン(株)　ＴＯＡ(株)　岩崎通信機(株)　(株)ケアコム
●通信情報機器・構内交換装置	沖電気工業(株)　日本電気(株)　富士通(株)　(株)日立製作所　ＮＥＣプラットフォームズ(株) 岩崎通信機(株)　日本電信電話(株)　パナソニック(株)
通信情報機器・監視カメラ装置	パナソニック(株)　ＴＯＡ(株)　(株)日立国際電気　三菱電機(株)　(株)ＪＶＣケンウッド・公共産業システム
●通信情報機器・テレビ共同 受信装置	ＤＸアンテナ(株)　ホーチキ(株)　マスプロ電工(株)　(株)日立国際八木ソリューションズ　日本アンテナ(株)
●通信情報機器・火災報知器	ニッタン(株)　能美防災(株)　ホーチキ(株)　パナソニック(株)
●通信情報機器・自動閉鎖装置	ニッタン(株)　能美防災(株)　ホーチキ(株)　パナソニック(株)

●印は評価名簿に記載のない機材等を示す。

1．順不同。
2．電線及びケーブル類・がいし類・電線管類等は設計図書に指定するＪＩＳ等の規格並びに国土交通省大臣官房官庁営繕部の公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成３１年版)及び公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成３１年版)による。
3．明石市都市局都市整備室緑化公園課発注工事は、当課作成のメーカーリストの中より選択しメーカーを決定することを原則とし、メーカーリストに記載がない類別については、一般社団法人「公共建築協会」発行の、設備機材等評価名簿より選択する。双方の場合とも、監督員の承諾を得るものとする。

2020年1月改定

特記事項

協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所登録番号第13109号
一級建築士登録第122018号　嶋谷 実

課長　係長　担当課長　係長　担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日　令和4年　月　日

工事名称　(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事

図面名称　電気設備工事　メーカーリスト

縮尺　A1:NONE　A3:NONE

内　E-02

全葉　83

工事区分表

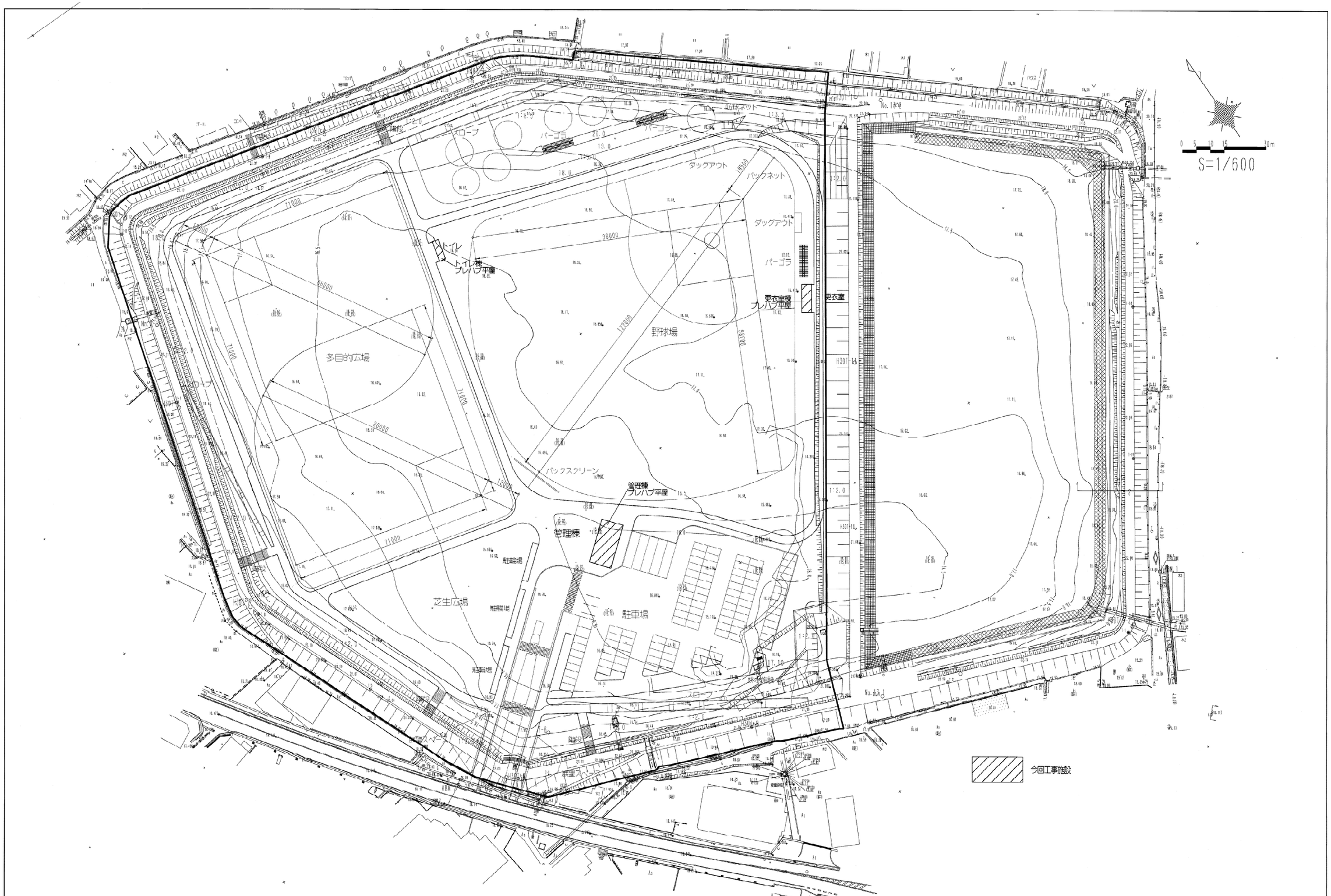
工事区分	工事内容	建築	電気	機械			備考
1 スリーブ、仮枠、補強	（1）基礎梁、梁、壁、床等の配管用貫通スリーブ		○	○			
	（2）同上貫通部分の鉄筋補強	○					
	（3）盤及びボックス類の仮枠		○	○			
	（4）同上開口部の鉄筋補強	○					
	（5）天井埋込照明器具類取付切込及び補強	○					
	（6）吹出口、吸込口等取込用切込及び補強	○					
	（7） （1）（3）のモルタル詰め補修		○	○			
	（8） （5）（6）のスミ出し		○	○			
	~~（9）デッキプレートの貫通・補強・切込~~						
2 ピット、シャント、トレンチ、点検口	~~（1）囲碁機械用ピット及び盤~~						
	~~（2）PS（WS）、EPS~~						
	（3）床下点検口	○					
	（4）床、壁、天井、シャフトピットの点検口	○					
	（5）排水用ピット及び蓋	○					
3 給水、電気、ガスの引込、下水本管接続	（1）給水引込工事			（別途工事）			
	（2）電気引込工事（負担金別途）		（別途工事）				
	（3）受電設備		（別途工事）				
	（4）下水本管接続工事			（別途工事）			
	（5）ガスの開栓			（別途工事）			
4 槽類	~~（1）受水槽（ステンレス製六角）~~						
	~~（2） （1）の電極棒取付用開口~~						
	~~（3）給水槽、仕上、防水~~						
	~~（4） （3）の槽内の通気立上げ、ベントキャップ~~						
5 コンクリート基礎	~~（1）受水槽、空調室外機、キュービクル、アンテナ、ポンプ等~~						
	（2）機器類のアンカー打込			○			
6 電極棒、電磁弁	~~（1）本体（電極棒）~~						
7 排水設備	（1）屋内屋外雨水排水工事（ルーフドレイン、竪樋、桝共）	○（側溝・雨水桝）					
	（2）屋内屋外排水設備工事（雑排水、汚水）			○			
	（3）床排水目皿、排水管			○			
	~~（4）ガソリントラップ桝~~						
8 自家発電設備	~~（1）自家発電機基礎~~						
	~~（2）屋外埋設オイルタンク据付~~						
	~~（3）オイルタンク架台~~						
	~~（4）オイルタンク本体、配管及び据付等~~						
9 衛生器具、流し台、コンロ台	（1）洗面器、大小便器、汚物流し			○			
	（2）水栓類、石鹸入れ、紙巻器他			○			
	（3）化粧鏡	○					
	（4）流し台、吊戸棚、水切、水切棚	○					
	（5）同上排水トラップ	○（本体）		○（接続）			
	（6）電気コンロ	○					
	~~（7）洗面化粧カウンター~~						
	（8）ベビーチェア	○					
	（9）便所内補助手摺	○					
	（10）湯沸器（各流し台 室外式）			○			
	~~（11）洗濯機パン（排水トラップ、用器セーリンダー、止め金具共）~~						

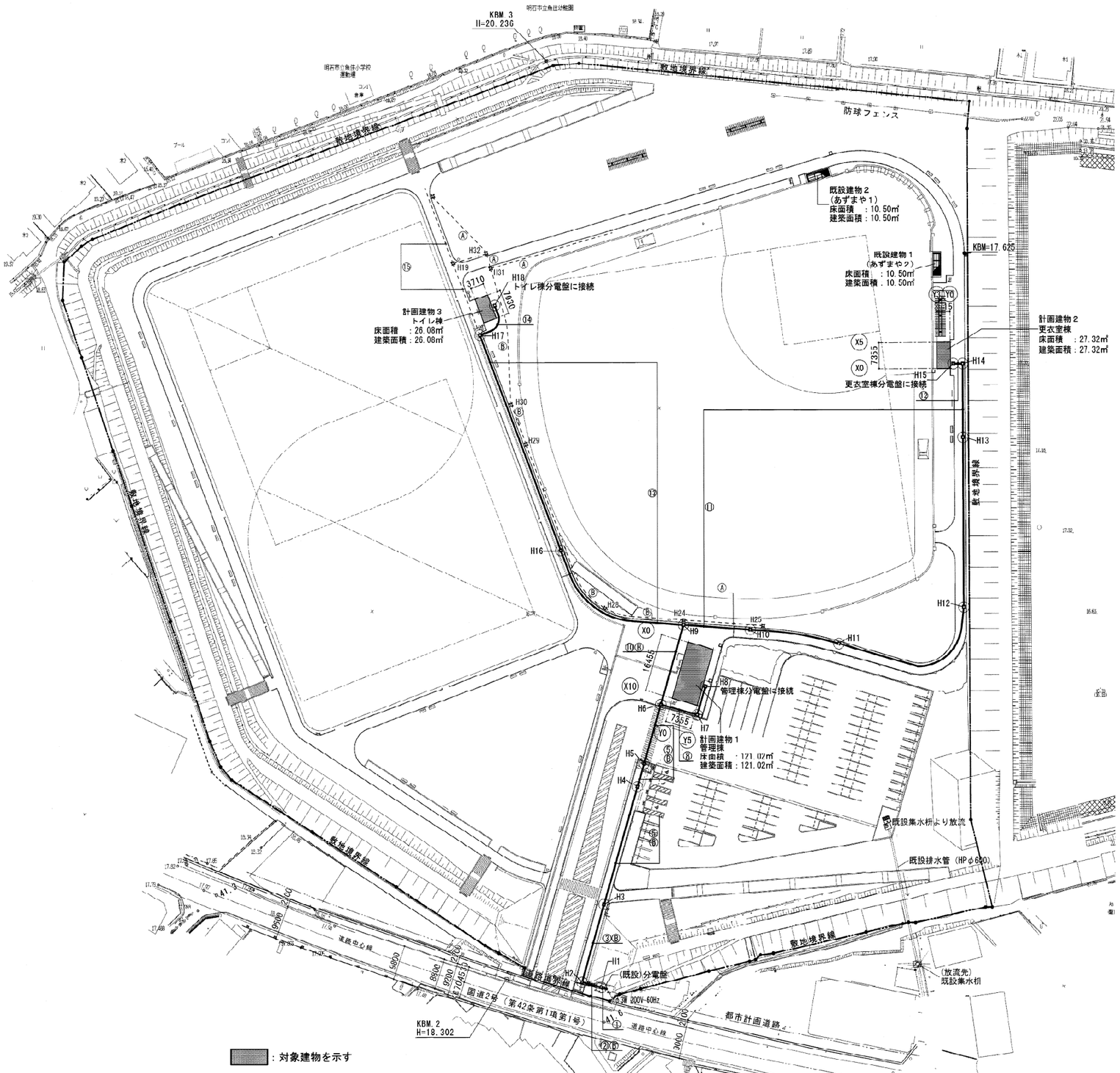
工事区分	工事内容	建築	電気	機械			備考
10 換気設備	（1）天井扇（ダクト、ベンドキャップ共）			○			
	（2）換気扇（ウェザーカバー共）			○			
	~~（3）センサー~~						
	（4）ダクト用ファン（ダクト、チャンバー共）			○			
	（5）全熱交換器付換気扇			○			
	（6）同上スイッチ			○			
11 ガラリ	（1）外壁ガラリ	○					
	（2）ドア取付又はこれに準ずるもの	○					
	（3）換気扇用外部ガラリ（ベンドキャップ）	○（開口）		○			
12 操作盤、2次側配管配線及び接続	~~（1）加圧給水ポンプ用操作盤~~						
13 ユニットバス	（1）ユニットバス本体	○					
	（2）ユニットバス内照明、給排水器具	○（本体）	○（接続）	○（接続）			
	（3）器具等取付用穴明け及び、補強板取付	○					
	（4）水程締付け金具			○			
14 その他	（1）消火器（建物にかかるもの）			○			
	~~（2）消火器（設備にかかるもの）~~						
	（3）消火器収納ボックス			○			
	~~（4）門扉柵下にコンロを設置する場合の不燃材の取付~~						
	~~（5）ガス漏れ警報器~~						
	（6）設備配管用天井盤及び床仕上げ材の穴明け		○	○			
	~~（7）電気錠~~						
	（8）工事用の水道料金及び電気料金	○	○	○			
	（9）本受電後引渡しまでの電気料金	○	○	○			
	（10）本設後引渡しまでの水道料金及びガス料金	○	○	○			
	~~（11）発電機~~						
	~~（12）発電機 一次側電源配管・配線~~						
	~~（13）発電機 二次側電源配管・配線~~						
	（14）空調機リモコンスイッチ			○			
	~~（15）排気ガス排出ダクト~~						
	~~（16）同上配管・配線~~						
	~~（17）同上制御盤~~						
	~~（18）防火戸~~						
	~~（19）同上感知器および配管・配線工事~~						
	~~（20）屋外埋柱消火栓~~						
	（21）分電盤から各様までの幹線ケーブルの布設		○				

○：本工事範囲を示す。

特記事項

監理会社	協和コンサルタンツ 一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第13109号 一級建築士登録第122018号 鳴谷 廣	課長 / 担当者 / 係長 / 担当者	明石市都市局都市整備室緑化公園課
製作年月日	令和4年 月 日		
工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	E-03
図面名称	工事区分表	縮尺	A1:NONE A3:NONE
全葉	83		


多目的広場
野球場
芝生広場
駐車場
駐輪場
管理棟
プレハブ平屋
更衣室棟
プレハブ平屋
更衣室
トイレ棟
プレハブ平屋
ダッグアウト
ダッグアウト
パーゴラ
パーゴラ
パーゴラ
スロープ
スロープ
スロープ
階段
バックネット
バックスクリーン
防球ネット
1:3.5
1:2.0
1:2.0
1:2.0


KBM.3
H=20.236
明石市立魚住幼稚園
明石市立魚住小学校
運動場
敷地境界線
防球フェンス
既設建物2
(あずまや1)
床面積 ：10.50㎡
建築面積：10.50㎡
既設建物1
(あずまや2)
床面積 ：10.50㎡
建築面積：10.50㎡
KBM=17.625
計画建物2
更衣室棟
床面積 ：27.32㎡
建築面積：27.32㎡
計画建物3
トイレ棟
床面積 ：26.08㎡
建築面積：26.08㎡
H18
トイレ棟分電盤に接続
H15
更衣室棟分電盤に接続
H8
管理棟分電盤に接続
計画建物1
管理棟
床面積 ：121.02㎡
建築面積：121.02㎡
(既設)分電盤
AC 3φ 200V-60Hz
既設排水管（HPφ600）
既設集水桝より放流
(放流先)
既設集水桝
都市計画道路
道路中心線
KBM.2
H=18.302
3719
7530
6455
7335
2000
2500
2000
2000
2000

1 凡例

• 工事種別は、○印のついたものを適用する。

記号	記号名称	備考
◎ 共通		
———	配管配線	天井隠蔽
— —	配管配線	床埋設
- - - - - -	配管配線	露出
—— - ——	天井内ケーブル配線	天井転がし
—— - - ——	配管配線	地中埋設、ピット内,OA床内
—⊖—	空配管	
⊂——	配管突出	
	立上り・素通し・引下げ	
	ケーブルラック	
	２種金属線ぴ	特記なきは30型
—FD—	ケーブルの防火区画貫通部	
⊠	プルボックス	傍記WPは防水型
	ジャンクションボックス	
	ハンドホール	
⏚	接地極	接地の種別および材料は、傍記による。
	受電点、引込口	
◎ 電灯・コンセント設備		
	ＬＥＤ灯 天井付	
	ＬＥＤ灯 多灯用　天井付	
	ＬＥＤ灯 １灯用　壁付	
	ＬＥＤ灯　天井付・壁付	
	避難口誘導灯	ＬＥＤ
● ●3 ●4	タンブラスイッチ 2P15Ax1（連用大角形）	片切・３路・４路
●H ●L	タンブラスイッチ 2P15Ax1（連用大角形）	確認表示灯付
●A	自動点滅器　（100V3A）	
●3	タンブラスイッチ 2P15Ax1（連用大角形）	３路 防滴型
●24H	換気扇用スイッチ	24H換気用
●F	熱交換機用スイッチ(受給別)	
⊡2 ⊡	壁付コンセント　2P15Ax2・2P15Ax1	傍記Kは、カバー（鍵）付きとする。
⊡20A	壁付コンセント　2P20Ax1	プラグ付
⊡	壁付接地コンセント　2P1E15Ax2	傍記Kはカバー付とする
⊡ET	壁付コンセント　2P15A×1+ET	
⊡WP	壁付コンセント　2P15Ax1+ET	防雨形
	人感センサー　点滅タイプ	100V 8A、広角形
F	人感センサー　点滅タイプ	100V 8A、広角形、換気扇連動端子付き
	複合アウトレット　電灯コンセントx1 電話用アウトレットx1＋情報用アウトレットx1	モジュラージャック付

記号	記号名称	備考
◎ 機器		
	換気扇（壁付け・天井付け）	別途機械設備工事
	空調換気扇	別途機械設備工事
	開閉器箱（壁掛形、鋼板製メラミン焼付仕上）	開閉器仕様・個数は、傍記による。傍記WPは、屋外防水形とする。
◎ 盤		
	動力制御盤	点線は、別途工事
	電灯分電盤	点線は、別途工事
	電灯動力分電盤	点線は、別途工事
	制御盤	点線は、別途工事
◎ 構内情報通信網・構内交換		
	通信端子盤（壁掛形、鋼板製メラミン焼付仕上）	
	壁付電話用アウトレット	ノズルプレート付
	壁付情報用アウトレット	ブランクプレート付
• 誘導支援		
L	壁付呼出押しボタン	自己保持機能付
n	壁付復帰押しボタン	
	壁付呼出表示灯	
	トイレ呼出表示盤	
	非常用押しボ釦	

記号	記号名称	備考
◎ テレビ共同受信装置		
	2端子形直列ユニット、F形接栓	傍記Hは端末処理器は、傍記DSまたは抵抗カット可
◎ 防犯・入室管理設備		
	警備用機器箱	機器、配線とも別途工事
	電気錠	機器は建築工事
	モーター錠	機器は建築工事
	電気錠制御盤　(BAN-DS1)	機器は建築工事
	タイマー(収納BOX)　(BAN-OP,WT+BAN-OPBOX)	機器は建築工事

2 注記

1. 管種凡例

CD	：合成樹脂可とう電線管	PF	：難燃性合成樹脂可とう電線管（１重）
C	：厚鋼電線管	E	：ねじ無し電線管
G LT(PE)	：ポリエチレンライニング鋼管	VE	：硬質ビニル管
FEP	：波付硬質ポリエチレン管	VP	：硬質塩化ビニル管

2. プルボックス凡例 傍記WPは、防水形・SUS製

⊠ 151	：150 x 150 x 100	⊠ 221	：200 x 200 x 100
⊠ 333	：300 x 300 x 300	⊠ 222	：200 x 200 x 200
⊠ 885	：800 x 800 x 500	⊠ 555	：500 x 500 x 500

3. ハンドホール凡例

$\square_A$	：1000 x 1000 x 900　中耐蓋　化粧蓋	$\square_B$	：900 x 900 x 900　中耐蓋　化粧蓋
$\square_C$	：750 x 750 x 900　中耐蓋　化粧蓋		

特記事項

・
・
・
・

株式会社 協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所兵庫県都登録第13109号 一級建築士登録第122018号　嶋谷康	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 令和4年 月 日

明石市都市局都市整備室緑化公園課

工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	内 F-06
図面名称	管理事務所棟・更衣室棟　凡例	縮尺 A1：NONE A3：NONE　全葉 83

分電盤結線図

特記事項

盤仕様

材質		形状		構造1		構造2		塗装	
記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様
A1	スチール	B1	露出	D1	標準	E1	折曲	G1	塩付(標準)
A2	ステンレス	B2	埋込	D2	防雨	E2	ビス止	G2	塩付(指定)
A3	合成樹脂	C1	自立	D3	防塵	F1	外扉付、中蓋付	G3	剤粉
		C2	壁掛	D4	耐火	F2	外扉付、中蓋無	G4	体
				D5	耐熱(一種)	F3	外扉無、中蓋付		
				D6	耐熱(二種)	F4	外扉無、中蓋無		

回路記号

ⓥ	AC 200V 一般電灯回路
①	AC 100V 一般電灯回路
2	AC 200V 一般コンセント回路
1	AC 100V 一般コンセント回路
A	AC 200V 防災負荷回路等
A	AC 100V 防災負荷回路等
ⓐ	AC 200V 空気調和機回路
①	AC 100V 空気調和機回路

記線用遮断器記号

M1	MCB 1P 50/ 20
M2	MCB 2P 50/ 20
M3	MCB 2P 50/ 30
M5	MCB 2P 50/ 50
E2	ELB 2P 50/ 20
E3	ELB 2P 50/ 30
E5	ELB 2P 50/ 50
R1	R-MCB 1P
R2	R-MCB 2P
Rxn	リモコン回路数
Wh	積算電力計

付属回路記号

回路方式	記号	回路図	備考
標準回路	A	(φ V A)	
センサー操作回路	B	センサ、MC	MC：電磁接触器
遠方操作回路	C	COS、遠方操作、MC	COS：手元／遠方切替
タイマー回路(接点利用型)	D	タイマー (時間型、分切替、停電補償：有 無)	
タイマー回路(MC利用型)	E	COS、MC (時間型、分切替、停電補償：有 無)	
自動点滅回路	F	COS、A、MC	COS：手元／自動切替 *A：自動点滅器
リモコンリレー回路	G	RR (P V A)	RR：リモコンリレー 1P20A RT：リモコントランス 2P20A
リモコントランス回路	H	RT (200V, VA)	
自動点滅タイマー併用	I	COS、ST、MC	ST：ソーラータイマー *A：自動点滅器
リモコンB回路	J	R-MCB、R	⊛：リモコンスイッチ
フル2線リモコン回路	K	リモコンリレー制御ユニット	⊛：リモコンスイッチ Rxn：リモコンリレー個数
ノル2線リモコン回路	L	タイマー(1年間プログラム)、リモコンリレー制御ユニット	⊛：リモコンスイッチ nL：リモコンリレー個数

注記

1. 特記なきELBの定格感度電流及び動作時間は、30mA 0.1、0.3秒切替型 とする。
2. 盤の仕様は公共建築工事標準仕様とする。

L-1

屋内壁露出型
AC 1φ3W 200V/110V
参考寸法 W:500 H:1000 D:200
計 11.924kVA
結線図：MCCB 3P 100AF/75AT

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	負荷容量(VA) 照明	コンセント	FAN	その他	備考
A	M2	A		100			機械警備
①	M2	A	510				電灯
②	M2	A	214				電灯
③	E2	I	50				電灯
1	M2	A		300			受付 コンセント
2	M2	A		400			会議室、ロビー コンセント
3	M2	A		600			会議室 コンセント
4	M2	A		400			受付 コンセント
5	E2	A		1600			ミニキッチン コンセント
6	E2	A		800			女子更衣室 コンセント
7	F2	A		800			男子更衣室 コンセント
8	E2	A		933			女子WC
9	E2	A		1015			ハンドドライヤー
10	E2	A		311			男子WC
11	E2	A		1015			ハンドドライヤー
12	E2	A		321			多目的WC
13	E2	A		300			AD・音声誘導装置
14	E2	A		630			給湯器
15	E2	A		100			コンセント
16	M2	A					予備
17	M2	A					予備
18	M2	A					予備
19	M2	A					予備
20	M2	A					予備
①	E2	A			560		AGP-04
②	E2	A			560		AGP-05
③	M2	A			505		全熱交換機
		計	774	9525	1625		

L-2

屋外壁露出型
AC 3φ3W 200V/100V
参考寸法 W:500 H:600 D:200
計 15.799kVA
結線図：MCCB 3P 100AF/100AT

回路記号	遮断器記号	付属回路記号	負荷容量(VA) 照明	コンセント	FAN	その他	備考
①	E2	A			1220		AGP-01
②	E2	A			885		AGP-02
③	E2	A			885		AGP-02
④	E2	A			885		AGP-03
⑤	M2	A					予備
⑥	M2	A					予備
		計			3875		
			774	9525	1625		L-1

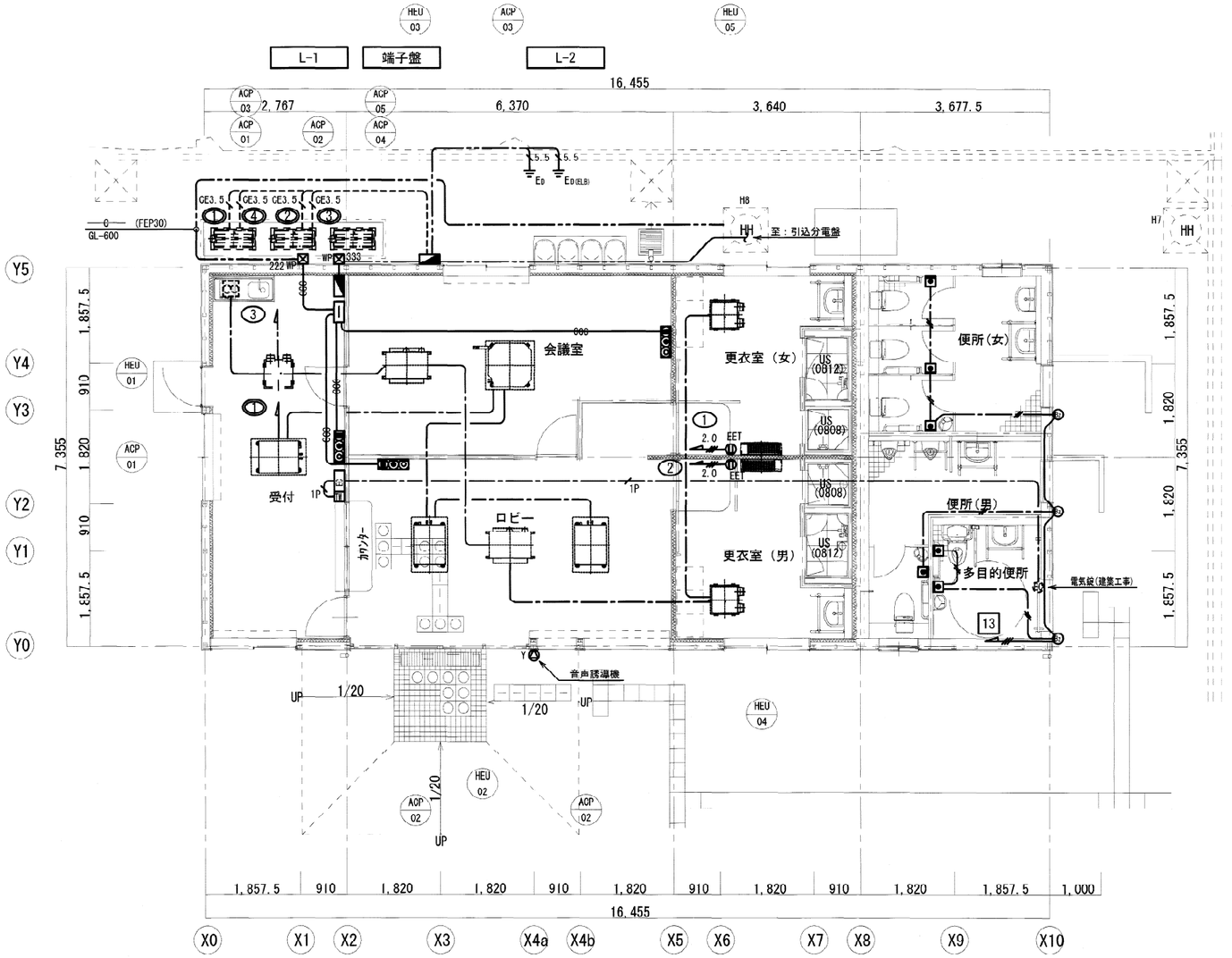
L-K

(更衣室)
屋内壁露出型
AC 1φ3W 200V/110V
参考寸法 W:500 H:500 D:120
計 2.606 KVA
結線図：MCCB 3P 50AF/30AT

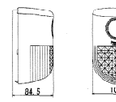
回路記号	遮断器記号	付属回路記号	負荷容量(VA) 照明	コンセント	FAN	その他	備考
A	M2	A	10				誘導灯
①	M2	A	84		72		電灯
②	M2	A	20				外灯
1	E2	A		100			コンセント
2	M2	A		200			コンセント
①	E2	A			1060		エアコン(AGP-11)
②	E2	A			1060		エアコン(AGP-12)
③	M2	A					予備
④	M2	A					予備
⑤	M2	A					予備
		計	114	300	2192		

特記事項		設計 協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事登録第13109号 一級建築士登録第122018号 嶋谷廣	課長	係長	担当	製作年月日 令和4年 月 日
			明石市都市局都市整備室緑化公園課			

工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	内	E-07
図面名称	管理事務所棟・更衣室棟 電灯分電盤結線図 縮尺 A1:NONE A3:NONE	全葉	83



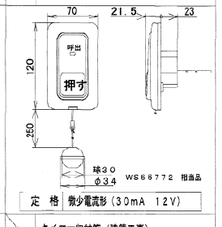
警報ランプ付ブザー（屋外用）(AC100V)



定格	電圧 AC100V 50/60Hz
消費電力	動作時：5W 待機時：1W
接点電圧	DC5V
使用周囲温度	-10℃～+50℃
質量	約530g
備考	警報音：約90dB(距離1mにて報知音・約85dB(距離3mにて)

パナソニック EA5501 相当品

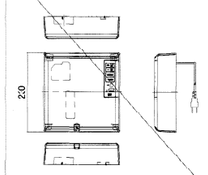
引きひも非常用押釦



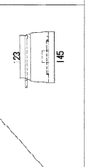
WS66772 相当品

定格 微少電流形（30mA 12V）

電気錠制御盤（建築工事）

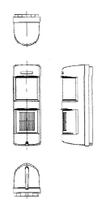


タイマー収納箱（建築工事）



3個用スイッチボックスに取付

音声誘導機



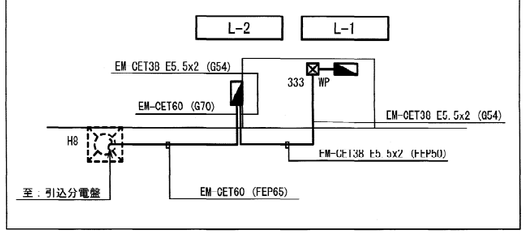
品名 音声誘導機
品番 UD-1(G)
電源入力 AC100V(50/60Hz)・3W
音声ファイル ファイル形式 MPEG1-AudioLayer3(MP3)
ビットレート:8～320kbps
メモリーカード容量:128MB
(メモリースロットに内蔵)
鳴動間隔 1秒、2秒、5秒、10秒(ディップスイッチにて)
*音声1、音声2共通切替・
音量調整範囲 音声1音量:0dB(無音)～76dB±1Ω(最大)/前方1m
音声2音量 0dB(無音)～75dB±1Ω(最大)/前方1m
*それぞれ個別のボリュームにて調整可
鳴動時間 任意入力時の音声2鳴動時間
(リアルタイム・オプディレイ)
*押ボタンスイッチにてオプディレイ時間5(種)より1種選択
[OFF(リアルタイムのみ)、15秒、30秒、60秒]
*音声2のメッセージが途中の場合は終了まで繰り切ってから
音声1に切り替わる。
電源出力 DC12V/50mA
接点入力 無電圧接点用 a接点一開時音声1鳴動、閉時音声2鳴動
設定時間 改聞若干広中、音声2鳴動(リアルタイム)
*使用時刻の開錠禁止をボリュームにて調整可
・時間間隔 01s(常時「鳴間」～最長1分30秒)
・時間間隔[秒]01s～秒2001s]
・時正間隔 ooff(常時「夜間」～音声2鳴動)
使用可能周囲温度 -15℃～55℃(結露・氷結なきこと)
取付機能 端子式
設置場所 屋内・屋外(防雨構造 IP43相当)
質量 約480g
外観 筐面:グレー

UD-1(M) 相当品

注記

記号	名称		備考
—·—	EM-EEF1.6-3C	保護管(PF22)	
—//—	EM-EEF1.6-2C	保護管(PF22)	
—2.0—	EM-EEF2.0-3C	保護管(PF22)	
—5.5—	EM-IE5.5	(HIVE16)	
—GGG—	空配管	(PF22)×3	
--CE3.5--	EM-CE3.5-3C	(G22)	
—//—	EM-CPEE-SQ.9-1P	保護管(PF22)	
▭	端子盤 W600×H600×D120 木板のみ		鋼板製

幹線リスト



特記事項		設計 協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事登録第13109号 一級建築士登録第122018号 嶋谷 廣	課長	担当責任者	係長	担当	製作年月日	工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	内 E-08
			明石市都市局都市整備室緑化公園課				令和4年 月 日	図面名称	管理事務所棟 幹線動力・トイレ呼出設備平面図	縮尺 A1:1/50 A3:1/100	全葉 83

受付		
E43	x	5

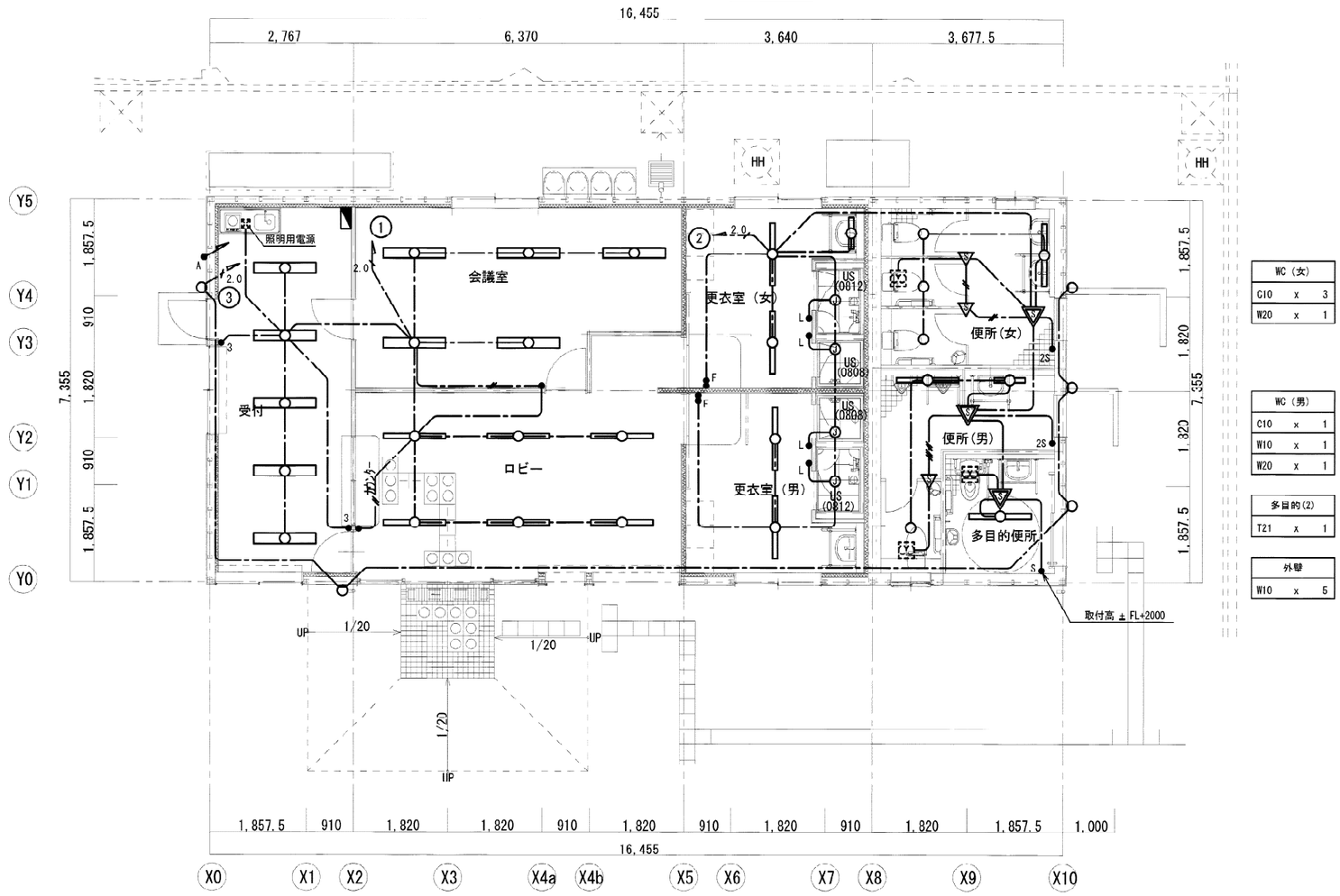
会議室		
D40	x	5

ロビー		
T21	x	6

更衣室（女）		
W10	x	1
T21	x	2

更衣室（男）		
W10	x	1
T21	x	2

L-1



WC（女）		
C10	x	3
W20	x	1

WC（男）		
C10	x	1
W10	x	1
W20	x	1

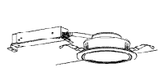
多目的(2)		
T21	x	1

外壁		
W10	x	5

注記

記号	名称	備考
—— - ——	EM-EEF1.6-3C　ころがし 保護管(PF22)	
—— // ——	EM-EEF1.6-2C　ころがし 保護管(PF22)	
—— /// ——	FM-FFF1.6-2Cx2 ころがし 保護管(PF22)	
—— /// ——	EM-EEF1.6-2C+3C ころがし 保護管(PF22)	
2.0	EM-EEF2.0-3C　ころがし 保護管(PF22)	
●F	熱交換器用スイッチ(支給品)	

C10　LEDダウンライト　100形　FDL27形相当



LED内蔵イワンコア（ひと粒）タイプ、
電源ユニット内蔵、一般光色タイプ
5000K、Ra85、協数タイプ
光源連光角15度、光源寿命40000時間（光束維持率85%）
器具光束：1045lm、消費電力：7W、電圧：100～242V
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150

公共施設型番：LRS1-08

D40　LED直付型40形



一般タイプ、5200lmタイプ
定格出力型、電圧100～242V
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命：40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83

公共施設型番：LSS1-4-48

E43　LED直付型40形



一般タイプ、6000lmタイプ
消費電力43．1W、定格出力型、電圧100～242V
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵

公共施設型番：LSS1-4-65

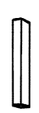
T21　LED直付型40形



一般タイプ、3200lmタイプ
消費電力20．6W、定格出力型、電圧100～242V
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83

公共施設型番：LSS1-4-30

W10　LEDウォールライト　20形



LED内蔵、電源ユニット内蔵
防湿型・防雨型
5000K、Ra83、光源寿命40000時間（光束維持率85%）
器具光束990lm、消費電力10W、電圧100～242V
本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白）
天井直付型・壁直付型、保護等級：IP23

公共施設型番：LBF3MP/RP-2-06

W20　LEDウォールライト　40形



防湿型・防雨型
器具光束2201lm、消費電力13．1W、電圧100～242V
5000K、Ra83、光源寿命40000時間（光束維持率85%）
本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白）
天井直付型・壁直付型

公共施設型番：LBF3MP/RP-4-20

特記事項
・
・
・
・

監理　協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所東京都知事登録第131589号
一級建築士登録第122018号　嶋 谷 康 雄

課長 | 担当課長 | 係長 | 担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日　令和4年 月 日

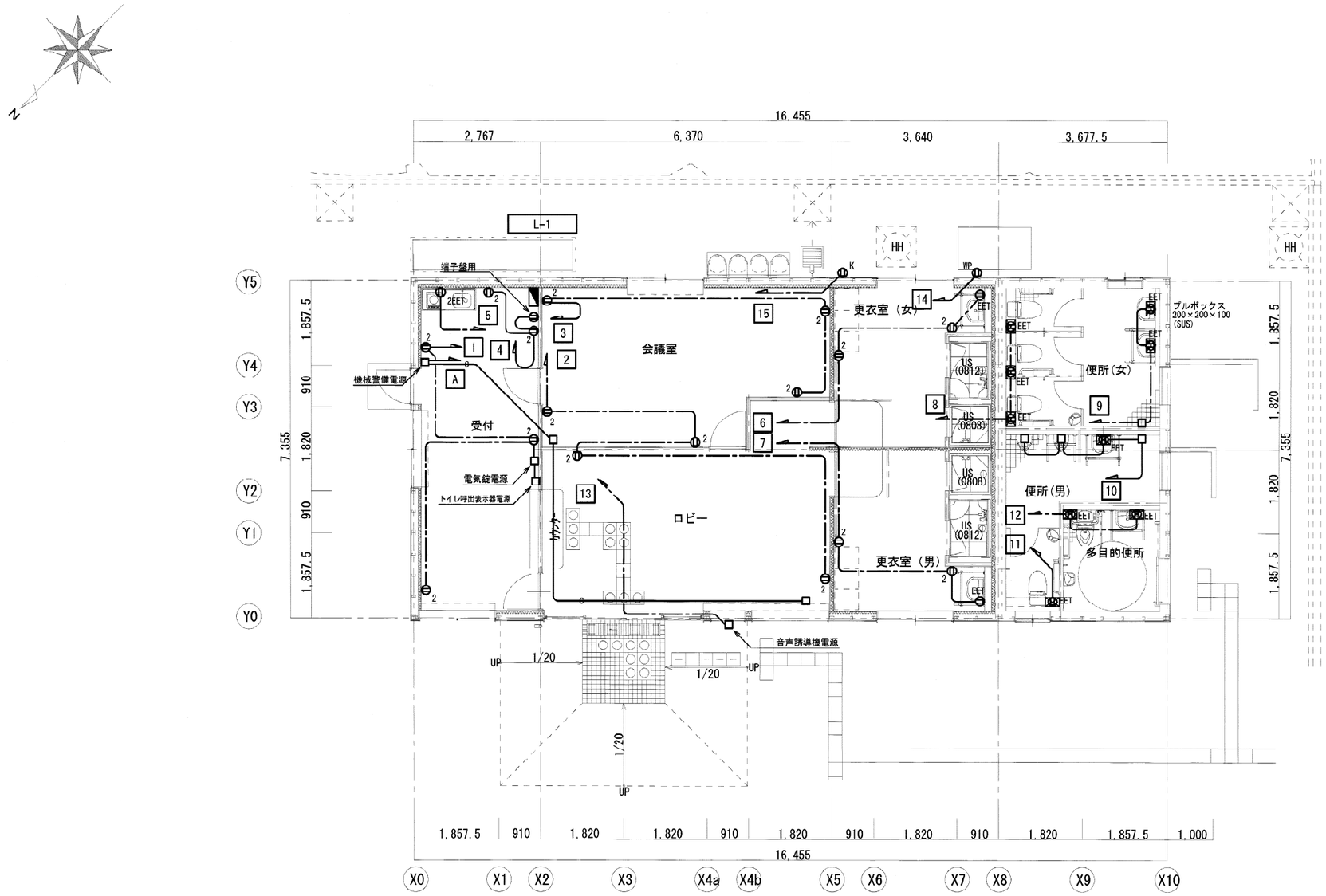
工事名称　(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事

図面名称　管理棟 電灯設備平面図

縮尺 A1:1/50 A3:1/100

内　E-09

全葉　83

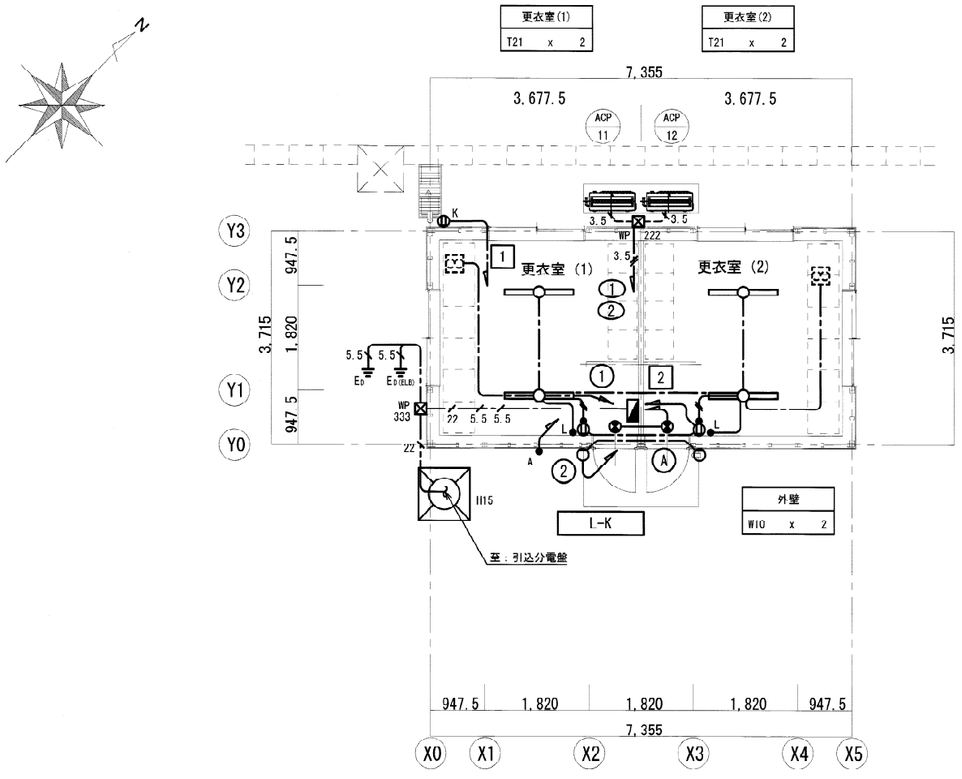


注記

記号	名称	備考
——-——-	EM-EEF2.0-3C　保護管(PF22)	
——0——	空配管　(PF22)	

注記1. トイレ内のコンセントはプルボックス内に納めること。

特記事項	設計者 協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事登録第13109号 一級建築士登録第122018号　嶋谷 康	課長	担当者	係長	担当
	明石市都市局都市整備室緑化公園課				
	製作年月日 令和4年 月 日	工事名称	(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事	内	E-10
		図面名称	管理棟　コンセント設備平面図　縮尺 A1:1/50 A3:1/100	全葉	83



平面図　1/50

注記

記号	名称		備考
——-——	EM-EEF2.0-3C	ころがし 保護管(PF22)	
——//——	EM-EEF2.0-7C	ころがし 保護管(PF22)	
——-/22	EM-CE122	保護管(FEP50)	
——/22	EM-CET22	ころがし(保護管G42)	
----/3.5	EM-CE3.5-3C	保護管(G22)	
—/3.5	EM-CE3.5-3C	保護管(PF22)	
—/5.5	EM-1E5.5	保護管(VE16)	

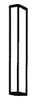
T21	LED直付型40形



一般タイプ、3200lmタイプ
消費電力20.6W、安熱出力型、電圧100~242V
本体：鋼板（白色焼体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83

公共施設型番：LSS1-4-30

W10	LEDウォールライト 20形



LED内蔵、電源ユニット内蔵
防湿型：防雨型
5100K、Ra83、光束寿命40000時間（光束維持率85%）
器具光束9901m、消費電力10W、電圧100~242V
本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白）
大井重付型・壁埋付型、保護等級：IP23

公共施設型番：LBF3MP/RP-2-06

	LED C級 避難口誘導灯片面型



LED誘導灯コンパクトスクエア
片面 天井直付型
一般形（20分間）
ニッケル水素蓄電池
リモコン自己点検機能付

公共施設型番：SH1-FBF20-C

特記事項	

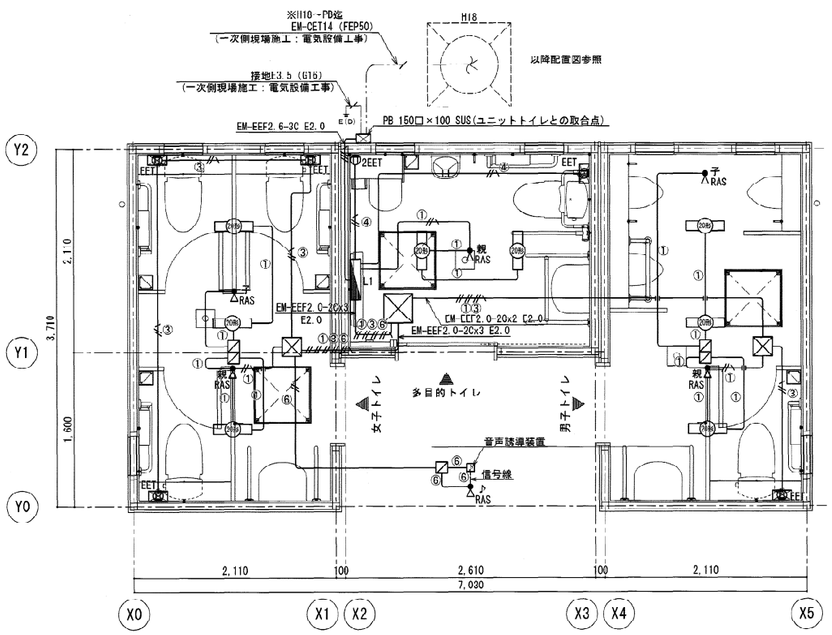
設計会社	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第12100号 一級建築士登録第122018号　嶋谷 康宣

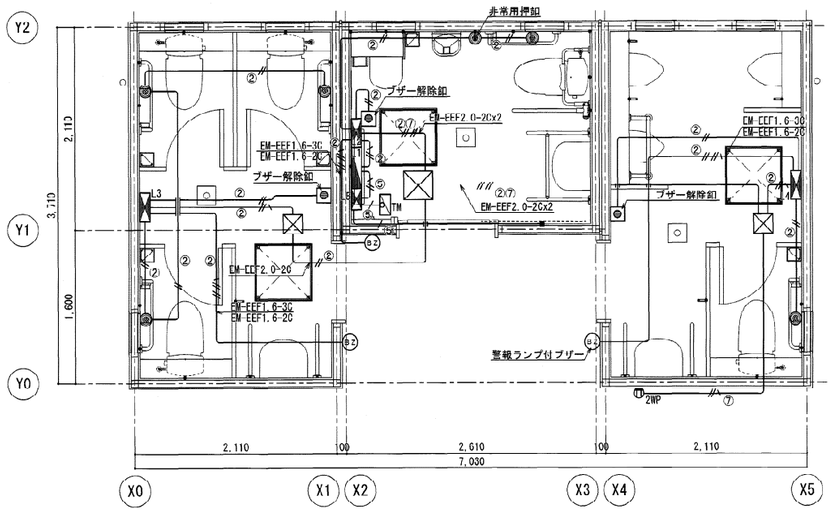
課長	担当	係長	担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日　令和4年 月 日

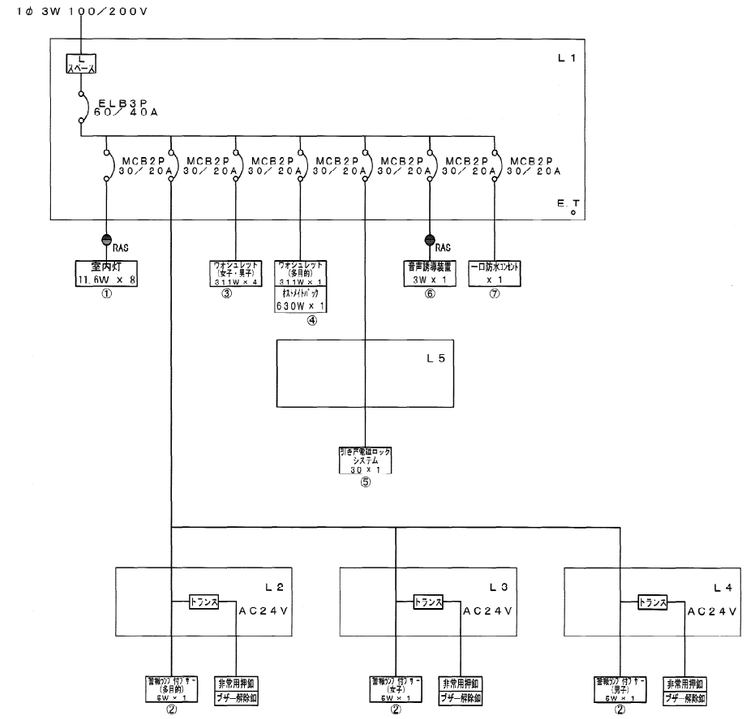
工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	E-11
図面名称	更衣室棟 電灯コンセント設備平面図　縮尺 A1:1/50 A3:1/100	全葉	83





[凡 例] ※ 電気配線実線部は既製品の本体に含む。

- EM−EEF1.6−3C
- EM−EEF1.6−2C
- EM−EEF2.0−3C
- CPEVケーブル
- 内部P.B 200×200×200 WPVE製
- 内部P.B 300×300×200 WPVE製



盤結線図

※トイレ棟合計消費電力：２３２５．８ｗ

姿図

室内灯（２０形）	N	音声誘導装置	N	警報ランプ付ブザー	N
天井取付・ＬＥＤ	8	防雨型	1	（5W）赤	3
記号 (70B)		記号 四		記号 (B2)	



記号	名称	備考	N
L 1	分電盤	スチール製キャビネット・鍵付	1
L 2	警報用キャビネット	多目的用	1
L 3	警報用キャビネット	女子用	1
L 4	警報用キャビネット	男子用	1
L 5	電気錠操作盤	引き戸電磁ロック用	1
親RAS	熱線センサ付自動スイッチ（親機）	室内灯用（天井取付）	3
子RAS	熱線センサ付自動スイッチ（子機）		2
音RAS	熱線センサ付自動スイッチ	音声誘導用（天井取付）	1
	非常用押釦	３０Ｖ０．１Ａ	6
	ブザー解除釦		3
■	直結電源	引き戸電磁ロック用	1
EET	ｱｰｽﾀｰﾐﾅﾙ付接地一口コンセント	ウォシュレット用・ステンレス製PS付	5
WP	鍵付カバー付防水コンセント	外部用	1
ACCT	ｱｰｽﾀｰﾐﾅﾙ付接地二口コンセント	オストメイトパック用	1
	結線用ボックス		6
TM	ﾀｲﾏｰ内蔵ﾎﾟｼｼｮﾝﾎﾞｯｸｽ	引き戸電磁ロック用	1
	外部ＰＢ	ステンレス製	1

特記事項

・
・
・
・

監理 協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所登録第10108号
一級建築士登録第122018号 嶋谷 康

課長 | 係長 | 主任技師 | 技師

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日 令和4年 月 日

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事
図面名称	トイレ棟 電気設備図
縮尺	A1:1/30 A3:1/60
内	ヒ-12
全葉	83

1．工事概要

工事名称　（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事

工事内容　本工事は、管理棟・更衣室棟・トイレ棟新設に伴う、衛生・給排水・給湯・空気調和・換気設備の施工を行うものである。

建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第一	備考
管理棟	軽量S造	地上1階	121.02	15項	
更衣室棟	軽量S造	地上1階	27.32	15項	
トイレ棟	軽量S造	地上1階	26.08	15項	

2．工事種目

◎印を摘要とする

◎ 給水設備	◎ 空調機器設備	・ 都市ガス設備	・ 昇降機設備
◎ 給湯設備	◎ 空調配管設備	◎ LP（液化石油）ガス設備	・ 場内舗装整備
◎ 排水通気設備	・ 空調ダクト設備	・ 厨房設備	
◎ 衛生器具設備	◎ 換気機器設備	・ 排煙設備	
・ 消火設備	◎ 換気ダクト設備	・ 自動制御設備	

〈 屋内外工事区分 〉

給水設備工事　：　各屋外第１バルブ上流側（バルブ含む）を屋外とし、室内側を屋内とする。

排水設備工事　：　各屋外第１会所迄を屋内とし、会所以降（会所含む）を屋外とする。

ガス設備工事　：　建物外壁を界して屋内外工事区分とする。

消火設備工事　：　同上

3．一般共通事項

＊ 特記仕様書及び設計図面等に記載されていない事項は、一般社団法人公共建築協会発行「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）、公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）」及び、一般財団法人建築保全センター発行「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）」各平成３１年版による。

＊ 工事写真の撮影要領は、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領（平成28年版）による工事写真撮影ガイドブック　機械設備工事編　平成30年版」による。

＊ 本工事に関係ある法律、政令、省令、告示、条例、各地方団体等の内規、基準及び指針等はよくこれらを遵守し必要ある届け出、手続等は、請負者がこれを代行すること。ただし、これに要する費用は総て請負者の負担とする。なお、官公庁への提出書類は、写しを監督員に提出のこと。

＊ 完成図作成にあたっては、ＣＡＤデータ修正の方法とする。また、完成図の種類及び記入内容は設計図同等とし、各図面の右下に「完成図」と明記することとする。なお、受注金額が500万円未満の場合は製本不要とする。

・ＪＷＷ形式ＣＡＤデータ　　・ＰＤＦ形式データ（印刷物をスキャンしたものは不可）

・A2二つ折り製本（表紙及び背表紙に黒文字印刷で「工事完成年度 工事名称+完成図 受注者名」を記入）　２部

＊ 貫通工事を行う際は、事前に構造上重要な躯体でないか確認し、鉄筋位置探査の上で行うこと。また、採取したコアは工事完成時まで保管すると共に写真撮影し、鉄筋切断がないことを明示すること。

＊ 本工事にて発生した廃棄物の処理については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」ほか関係法令に基づき処理すること。

＊ 埋戻し後の建設発生残土は、構外搬出とし適法処理すること。

＊ 本工事で発生した回収フロンガスは、適正に処分し破壊証明書の写しを提出すること。

＊ 本工事における残存物（家庭用エアコン等）は、「家電リサイクル法」に基づき処理を行い、廃棄証明書を完成図書に添付すること。

＊ 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針　2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による耐震強度計算書を提出し、監督員承諾を受けること。

＊ 重要機器及び重要水槽（「（平成25年制定）官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説（令和３年版）」（一般社団法人公共建築協会）の定義による）並びに重量機器（500kg以上の機器）は、アンカー種別に関わらず引張試験を行うこと。引張試験の本数は、施工本数の25%以上または３本以上を目安とし、協議により決定すること。なお、当該アンカーボルトの施工は、一般財団法人日本建築あと施工アンカー協会（JCAA）またはあと施工アンカー工事協同組合（AAC）の有資格者のみ認める。

重要機器及び重要水槽として扱う機器の例：ボイラー、冷温水発生機、温水発生機、冷却塔、１ｍ³以上のタンク　等

〈 以下の項目において、◎印を摘要とする。◎印が付かない場合は＊を適用 〉

・本特記による（ただし、建築一式工事における以下の項目は、建築工事特記仕様書による）

＊ 本工事に必要な工事用(構内の既存設備を使用)　電気：・できる［・有償 ・無償］　◎できない

水　：＊できる［◎有償 ・無償］　・できない

＊ 本工事は、監督員事務所を　・設ける　＊設けない

＊ 本工事は、構内に工事用仮設物つくることが　・できる　＊できない

＊ 本工事の足場・さん橋類は　・別契約の関係請負者が定置したものを無償で使用できる　＊本工事で設置とする

＊ 現場標示板（工事名標示板）明石市指定様式(900×600)を　◎設計金額1,000万円以上かつ工期90日以上の場合に設ける

＊ 工事実績情報の登録を　◎受注金額500万円以上の場合は行う

＊ 再生資源利用促進関係　◎計画書及び実施書を作成する。（エクセルデータ可）

【建設リサイクル関係法令に基づき通知・届出等の必要がない工事はデータのみ提出】

＊ 交通整理員は、　・延べ（　）日程度とする。　・（　）人常駐とする。

〈 以下の項目において、◎印を摘要とする。◎印が付かない場合は＊を適用 〉

＊ 地中埋設配管の建物導入部の変位吸収を、　・行うし　・スリークッション　・ポリエチレン管　・フレキシブルジョイント　］　＊行わない

＊ 地中埋設標示シートは　・シングル　＊ダブル

＊ 埋め戻し土・盛土は　＊根切り土の中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は　◎山砂の類）

＊ 支持金物の材料　屋外及び屋内多湿箇所は　◎ステンレス鋼製(SUS 304)　・溶融亜鉛めっき(2種 35)を施した鋼材

壁支持の場合は三角ブラケット、床支持の場合は門型支持材

＊ 塗装工事　・あり［・JIS品(一般用)　・耐塩害塗料］　＊なし

＊ 今回工事の便所は　◎湿式　・乾式

＊ 水質検査(残塩0.1mg/L及びpH)　◎あり　・なし

4．工事区分　・　別紙参照

5．工事種目

◎印を摘要とする

・ 給水設備工事

給水方式　◎直結方式　・直結増圧方式

・受水槽方式［・加圧給水　・高架水槽］

受水槽　・既設品使用　・ＳＵＳ製　・鋼板製

・ＦＲＰ製［・単板　・複合板］

高架水槽　・既設品使用　・ＳＵＳ製　・鋼板製

・ＦＲＰ製［・単板　・複合板］

・ 給湯設備工事

給湯方式　◎個別方式　・中央方式

熱　源　・電気　◎ガス

・ 排水通気設備工事

排水方式　汚水雑排水：・屋内分流◎屋内合流・屋外合流方式

放流先　◎公共下水道接続　・既設会所

会所築造　◎既製品会所　・現場打会所　・既設会所接続部改修

通気方式　・伸頂通気　◎ループ通気

＊雨水排水・本工事　◎建築工事

・ 消火設備工事

・屋内消火栓　・屋外消火栓　・スプリンクラー

・連結送水管　・不活性ガス消火　・粉末消火器

消火水槽（　m3）・木工事　・建築工事

配　管　・衣水方式　・乾式方式

・ 空気調和設備工事

方　式　◎個別方式　・中央ﾀﾞｸﾄ　・中央配管

熱　源　◎空冷ﾊﾟｯｹｰｼﾞ［・ﾏﾙﾁ ◎個別 ・水蓄熱］

・冷温水発生機　・電気チラー

放熱器　・ファンコイル　◎エアコン

既設利用　・機器類　・配管類　・ダクト類

・ 換気設備工事

方　式　◎個別方式　・中央方式　第［・1種 ・2種 ・3種］換気

対　象　◎機器類 ◎ダクト設備 ・既設使用［・機器 ・ﾀﾞｸﾄ］

・ ガス設備工事

・都市ガス　◎ LPガス

6．使用材料

名称 ＼ 配管名 ／ 番号等	給水管	給湯管	汚水管	雑排水管	通気管	消火管	ガス管	冷媒管	ドレン	冷却水	冷温水	蒸気管	ダクト
硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管													
〃	JIS K 6741 一般用VP			○	○				○				
〃	JIS K 6741 ｶﾗｰVP(耐候性)				G-H				G-H				
耐衝撃性硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	JIS K 6742 HIVP	A											
硬質塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	JWWA K 116 SGP-VA	○											
内外面 〃	JWWA K 116 SGP-VD	B-F											
一般配管用ｽﾃﾝﾚｽ鋼鋼管	JIS G 3448												
水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	JIS K 6762												
架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管（さや管工法）	JIS K 6769												
配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3452 SGP(白)												
圧力配管用炭素鋼鋼管	JIS G 3454 SGP Sch40												
消火用外面被覆鋼管	WSP 041　SGP-VS												
消火用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	消防認定品												
外面被覆鋼管	JIS H 3330 建築用(M型)		D-G-H										
耐熱性ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	JWWA K 140 SGP-HVA												
冷媒用断熱材被覆銅管	JCDA 0009　空調用							○					
排水用塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管	WSP 042　DVLP												
耐火二層管	排水管通気管は100A以上												
亜鉛鉄板(ダクト用)	JIS G 3302　Z18以上												
スパイラルダクト	亜鉛鉄板・国交省仕様												○
大阪ガス指定管							○						

〈 凡例 〉［○］該当する配管工事に一般的に使用する配管材料を示す。他欄に記号がある場合は、その配管材料を優先する。

［A］屋外地中埋設用　［B］屋内地中埋設用　［C］床下ピット配管用　［D］天井・ＰＳ内配管　［E］防火区画貫通部(1m)

［F］ｺﾝｸﾘｰﾄ打込み　［G］屋外露出配管　［H］屋内露出配管　［I］給水引込み　［J］

7．保温種別

＃ 保温種別の記号は「標準仕様書」による。

管種	施工場所	保温種別
給水管	・ 屋内露出(一般居室・廊下)	a 1・(ﾊ)・Ⅶ
	・ 機械室・書庫・倉庫	b ・(ﾊ)・Ⅶ
	・ 天井・ＰＳ内	c 2・(ﾊ)・Ⅶ
	◎ 床下・暗渠(ﾋﾟｯﾄ内)	d ・(ﾊ)・Ⅶ
	Ⓔ 屋外露出・多湿箇所	e 2・(ﾊ)・Ⅶ
排水管	・ 屋内露出(一般居室・廊下)	a 1・(ﾛ)・Ⅶ
	・ 機械室・書庫・倉庫	b ・(ﾛ)・Ⅶ
	・ 天井・ＰＳ内	c 2・(ﾛ)・Ⅶ
	・ 多湿箇所	e 2・(ﾊ)・Ⅶ
給湯管	・ 屋内露出(一般居室・廊下)	a 1・(ﾛ)・Ⅰ
	・ 機械室・書庫・倉庫	b ・(ﾛ)・Ⅰ
	◎ 天井・ＰＳ内	c 2・(ﾛ)・Ⅰ
	・ 床下・暗渠(ﾋﾟｯﾄ内)	d ・(ﾛ)・Ⅰ
	◎ 屋外露出・多湿箇所	e 2・(ﾛ)・Ⅰ

管種		種別	保温厚	備考
冷媒用断熱材被覆銅管	ガス管		20mm	保温材質は、A種ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ
	液管	管径9.52φ以下	8mm	
		それ以外	10mm	保温筒とする

管種	施工場所	配管保護種別
冷媒管	◎ 屋外露出・多湿箇所	◎ SUSﾗｯｷﾝｸﾞ・樹脂製保温化粧ケース

＊保温仕様に変更がある場合は、下記に示す。

管種	施工場所	保温種別
冷媒管	Ⓔ 屋外露出・多湿箇所	E 2・(ﾛ)・Ⅵ
冷媒管	・ 天井・PS内	・ ・
		・ ・
		・ ・

8．機器類の工場検査への監督員立会い

・右記機器類の工場検査には市監督員が立会検査を行う（●機器名：　　）

特記事項

・

・

・

・

登録 協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所東京都登録第13139号
一級建築士登録第122018号　嶋谷 廣

課長	担当責任者	係長	担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日　令和4年　月　日

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	M-01
図面名称	機械設備工事　特記仕様書	縮尺	A1:NONE A3:NONE
		全葉	83

ＪＩＳ規格等認定、認証品目

	種別	規格
配管材料	・冷温水及び冷却水管	標準仕様書　表2.2.1による
	・同上用継手	標準仕様書　表2.2.2による
	・蒸気，高温水，油管及び継手	標準仕様書　表2.2.3による
	・ブライン管及び継手	標準仕様書　表2.2.4による
	・冷媒管及び継手	標準仕様書　表2.2.5による
	・給水・給湯及び消火管	標準仕様書　表2.2.6による
	・同上用継手	標準仕様書　表2.2.7による
	・排水及び通気管	標準仕様書　表2.2.8による
	・同上用継手	標準仕様書　表2.2.9による
配管付属品	・一般用弁及び栓	標準仕様書　表2.2.10による
衛生器具	・衛生陶器	ＪＩＳ Ａ ５２０７
	・大便器洗浄弁	ＪＩＳ Ｂ ２０６１
	・給水栓	ＪＩＳ Ｂ ２０６１
備考	・規格は、公共建築協会発行「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」による	
	・但し、衛生陶器及び付属品の組合せは、営繕課便所設計標準図による	

製造業者指定

分類	機材名	製造業者名	
管類	上記以外の管及び継手	※ＪＩＳ・ＳＨＡＳＥ－Ｓ・ＪＷＷＡ規格品	
弁類	上記以外の弁及び栓	※ＪＩＳ・ＳＨＡＳＥ－Ｓ・ＪＷＷＡ規格品	
継手	ベローズ式伸縮継手	大阪ラセン管工業㈱	㈱ベン
		日本ベローズ工業㈱	㈱本山製作所
		三吉バルブ㈱	㈱ヨシタケ
		トーフレ㈱	
空調機器	チリングユニット	荏原冷熱システム㈱	㈱ダイキン工業
		東芝キヤリア㈱	日本熱源システム㈱
		日立ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾗｲﾌｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ㈱	
		三菱重工冷熱㈱	三菱電機㈱
	吸収冷温水機	荏原冷熱システム㈱	川重冷熱工業㈱
	冷却塔一体型吸収冷温水機（パック型）	パナソニック㈱	
		日立ｼﾞｮﾝｿﾝｺﾝﾄﾛｰﾙｽﾞ空調㈱	
		矢崎エナジーシステム㈱	
	冷却塔	㈱荏原冷熱システム	空研工業㈱
		東芝キヤリア㈱	
		日立ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾗｲﾌｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ㈱	
		三菱重工冷熱㈱	
		三菱ケミカルインフラテック㈱	
		矢崎エナジーシステム㈱	

製造業者指定

分類	機材名	製造業者名	
空調機器	空調機（ユニット形）	木村工機㈱	㈱クボタ
		昭和鉄工㈱	新晃工業㈱
		㈱ダイキン工業	暖冷工業㈱
		東芝キヤリア㈱	三菱重工冷熱㈱
	ファンコイル	木村工機㈱	昭和鉄工㈱
		新晃工業㈱	ダイキン工業㈱
		暖冷工業㈱	東芝キヤリア㈱
		三菱重工冷熱㈱	
		三菱電機冷熱応用システム㈱	
	ヒートポンプエアコン（汎用）	ダイキン工業㈱	東芝キヤリア㈱
		パナソニック㈱	
	パッケージ形空調機	日立ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾗｲﾌｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ㈱	
	マルチパッケージ形空調機	三菱重工冷熱㈱	三菱電機㈱
	ガスエンジンヒートポンプエアコン	アイシン精機㈱	ダイキン工業㈱
		パナソニック㈱	三菱重工冷熱㈱
		ヤンマーエネルギーシステム㈱	
	吹出口・吸込口	㈱有馬工業所	協同工業㈱
		協立エアテック㈱	空研工業㈱
		ニッケイ㈱	槍工業㈱
		㈱フカガワ	丸光産業㈱
	防振材	昭和電線ホールディングス㈱	
		三井化学産資㈱	特許機器㈱
	自動制御機器	アーチバック㈱	アズビル㈱
		ジョンソンコントロールズ㈱	
		パナソニックＬＳエンジニアリング㈱	
		三菱電機㈱	
	ダンパー類（防火ダンパー含む）	協立エアテック㈱	空研工業㈱
		クリフ㈱	西邦工業㈱
		㈱メルコエアテック	三菱電機㈱
		パナソニックエコシステムズ㈱	
		㈱ユニックス	
送風機	送風機	㈱荏原製作所	㈱タニヤマ
		テラル㈱	
		パナソニックエコシステムズ㈱	
		三菱電機㈱	㈱ミツヤ送風機製作所
排煙口	排煙口	協立エアテック㈱	空研工業㈱
換気扇	標準換気扇	テラル㈱	ダイキン工業㈱
	天井換気扇	東芝キヤリア㈱	三菱電機㈱
	空調換気扇	パナソニックエコシステムズ㈱	
		日立ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾗｲﾌｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ㈱	

製造業者指定

分類	機材名	製造業者名	
ポンプ	渦巻・多段ポンプ	㈱荏原製作所	㈱川本製作所
		㈱相互ポンプ製作所	テラル㈱
		㈱日立産機システム	㈱鶴見製作所
	水中汚水ポンプ	㈱荏原製作所	エレポン㈱
		㈱川本製作所	新明和工業㈱
		㈱相互ポンプ製作所	㈱鶴見製作所
		テラル㈱	㈱日立産機システム
水槽	水槽類（ステンレス製　溶接組立形）	㈱小笠原工業所	㈱ベルテクノ
		森松工業㈱	
	膨張タンク（密閉形隔膜式）	日立金属㈱	ホーコス㈱
	ＦＲＰ製水槽	積水ﾒｸﾞﾏｼｽﾃﾑ㈱	ＨＩＴＡＮＫ㈱
		三菱ケミカルインフラテック㈱	
消火器具	屋内消火栓	ホーチキ㈱	㈱北浦製作所
	屋外消火栓	ニッタン㈱	㈱初田製作所
	ホース・ノズル等	日本ドライケミカル㈱	㈱立売堀製作所
	連結送水管（送水口・放水口）	ヤマトプロテック㈱	㈱横井製作所
衛生器具	衛生陶器及び付属器具等	ＴＯＴＯ㈱	㈱ＬＩＸＩＬ
排水金具	排水金具	カネソウ㈱	㈱小島製作所
		ダイドレ㈱	㈱長谷川鋳工所
		福西鋳物㈱	
鋳鉄製ふた	マンホールふた	カネソウ㈱	㈱小島製作所
	弁桝ふた	ダイドレ㈱	㈱長谷川鋳工所
		福西鋳物㈱	

製造業者指定

分類	機材名	製造業者名	
阻集器	グリーストラップ	カネソウ㈱	ダイドレ㈱
		福西鋳物㈱	ホーコス㈱
		積水ｱｸｱｼｽﾃﾑ㈱	
湯沸器等	ガス湯沸器	大阪ガス㈱	㈱ノーリツ
		㈱パロマ	リンナイ㈱
		㈱長府製作所	パーパス㈱
	貯湯式電気温水器 ヒートポンプ給湯器	東芝キヤリア㈱	㈱長府製作所
		ダイキン工業㈱	㈱前川製作所
		パナソニック㈱	三菱電機㈱
		三菱重工業㈱	昭和鉄工㈱
		㈱日本サーモエナー	
		日立ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾗｲﾌｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ㈱	
		タカラスタンダード㈱	
昇降機	エレベーター 小荷物専用昇降機	東芝エレベータ㈱	フジテック㈱
		㈱日立ビルシステム	三菱電機㈱
		日本エレベーター製造㈱	クマリフト㈱
濾過装置	プール用濾過機 浴室用濾過機	オルガノ㈱	栗田工業㈱
		㈱アクアプロダクト	ローレル㈱
		ミウラ化学装置㈱	理水化学㈱
		東西化学産業㈱	㈱ノーリツ
		ゼオライト㈱	
その他			

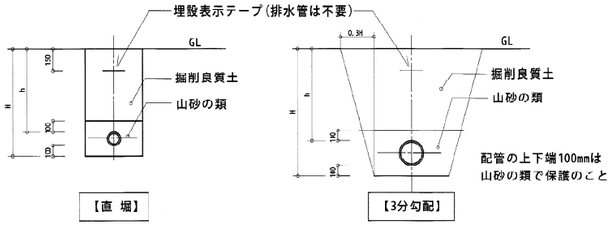
●印は設備機材等評価名簿に記載のない機材等を示す。

※明石市都市局住宅・建築室緑化公園課発注工事は、当課作成のメーカーリストの中より選択しメーカーを決定することを原則とする。メーカーリストに記載がない品名については、一般社団法人「公共建築協会」発行の、設備機材等評価名簿より選択する。
双方の場合とも、監督員の承諾を得るものとする。

2020年1月改定

特記事項		協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所登録第13106号 一級建築士登録第122016号　嶋谷 廣	課長	担当者名	係長	担当	製作年月日 令和4年　月　日	工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内 M-02
			明石市都市局都市整備室緑化公園課					図面名称	機械設備工事　メーカーリスト	縮尺 A1:NONE A3:NONE　全葉 83

地中埋設管敷設要領図



（掘削断面）　H：根切り深さ

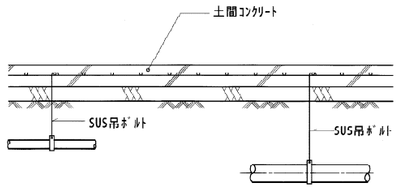
H ＜1.5m　：直堀

1.5m ≦ H ＜ 2.0m：3分勾配

ただし、地盤崩壊のおそれ等がある場合はこの限りでない

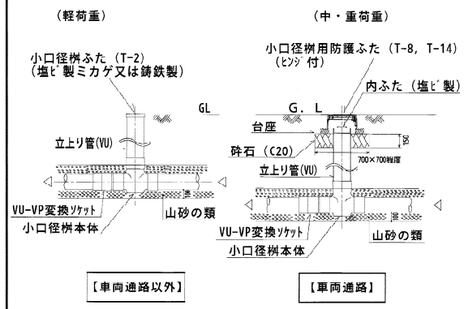
※埋設深さhは、車両通路にあっては管の上端より600mm以上、その他の場所では300mm以上とすること。

土間下埋設管施工要領図

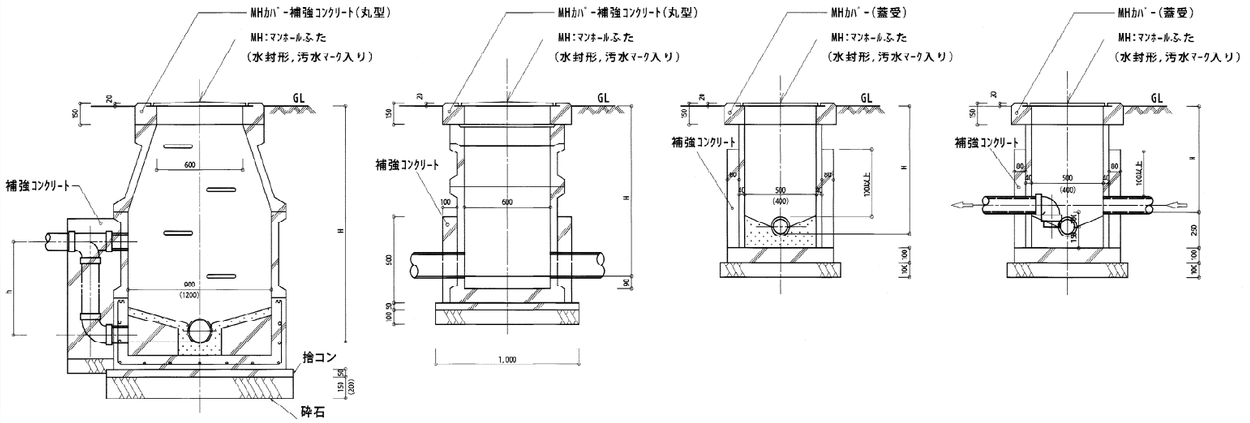


地中埋設管敷設要領図による掘削、埋め戻しを行うこと

小口径桝設置要領図



排水桝施工要領図



H:1200以上

h:600以上は副管付きとする。

（管径、会所径等を考慮の上、内副管も可）

※（ ）内の数値は桝底部がφ1200の場合である

H:1010 ～ 1200

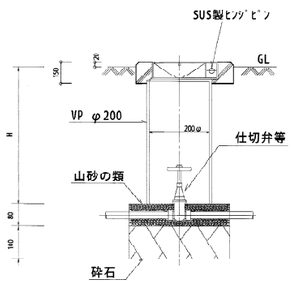
500Ø　H:510 ～ 1000

400Ø　H:500以下

500Ø　H:510 ～ 1000

400Ø　H:500以下

ﾊﾞﾙﾌﾞﾎﾞｯｸｽ（B1）施工要領図



2021年4月改定

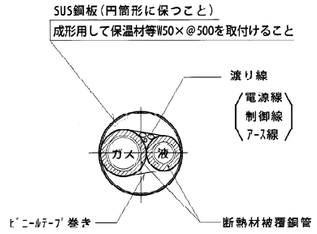
特記事項

協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第13109号 一級建築士登録第122018号　嶋 谷 康 宏	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 令和4年　月　日

明石市都市局都市整備室緑化公園課

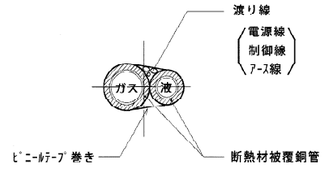
工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	M-03
図面名称	機械設備工事　給排水設備施工要領図	縮尺	A1:NONE A3:NONE
		全葉	83

屋外露出部　保温付被覆銅管（冷媒管）の保温施工要領図



注）冷媒配管の支持には、保護ﾌﾟﾚｰﾄを使用すること

天井内・PS内　保温付被覆銅管（冷媒管）の保温施工要領図



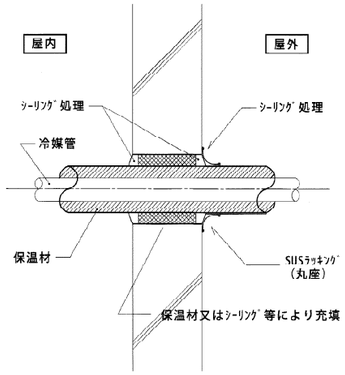
注）冷媒配管の支持には、保護ﾌﾟﾚｰﾄを使用すること

天井内・PS内　ドレン管保温施工要領図

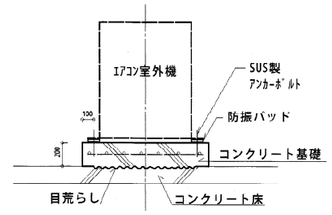


注）その他、冷温水ドレン管の保温は、排水管に準じること

冷媒管壁貫通部参考図

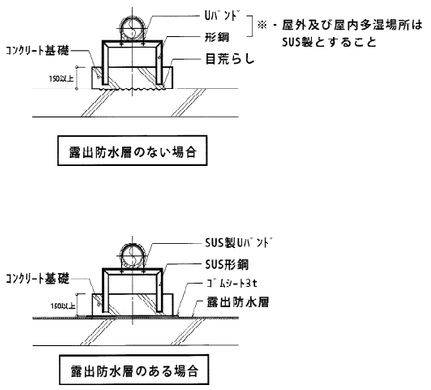


室外機ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎の施工要領図

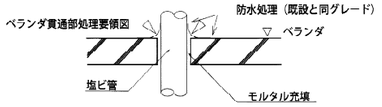


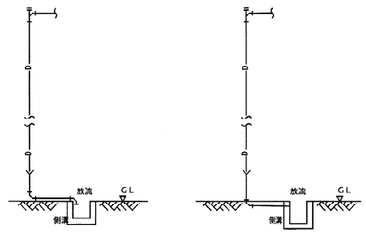
注）基礎配筋はD10-@200とすること
注）必要に応じてﾌｪﾝｽや風向板を設置のこと
注）室外機のﾄﾞﾚﾝは、原則最寄りの側溝等へ配管すること

屋上、土間上配管支持要領図



ドレン配管・冷媒配管　要領図





(注記)
1．特記無きﾄﾞﾚﾝ管の放流先は最寄のﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ、側溝もしくは雨水桝への放流とすること。

その他

・県条例に基づく騒音の届出は、必ず届出すること。

・空調機の冷媒配管は、ﾒｰｶｰ毎に配管長に関する条件が異なるため、機器選定及び施工図作成にあたり、配管経路を十分に確認すること。

・渡り廊下に露出配管する場合は、原則、梁下でなく側面に行うこと。

・ﾊﾟｯｹｰｼﾞｴｱｺﾝの室外機ﾄﾞﾚﾝ管は、原則設置しない。ただし、高所の壁付け等で下部歩行者への配慮が必要な場合は設置する。

・ｴｱｺﾝのﾄﾞﾚﾝ防虫網は、原則取付けない。

2021年4月改定

特記事項

設計者 協和コンサルタンツ　級建築士事務所 一級建築士事務所知事登録第13109号 一級建築士登録第122018号　嶋谷 誠	課長	係長	担当	製作年月日 令和4年　月　日	工事名称 (仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事
明石市都市局都市整備室緑化公園課					図面名称 機械設備工事　空調関係施工要領図

内	M-04
縮尺	A1:NONE A3:NONE
全葉	83

工事区分表

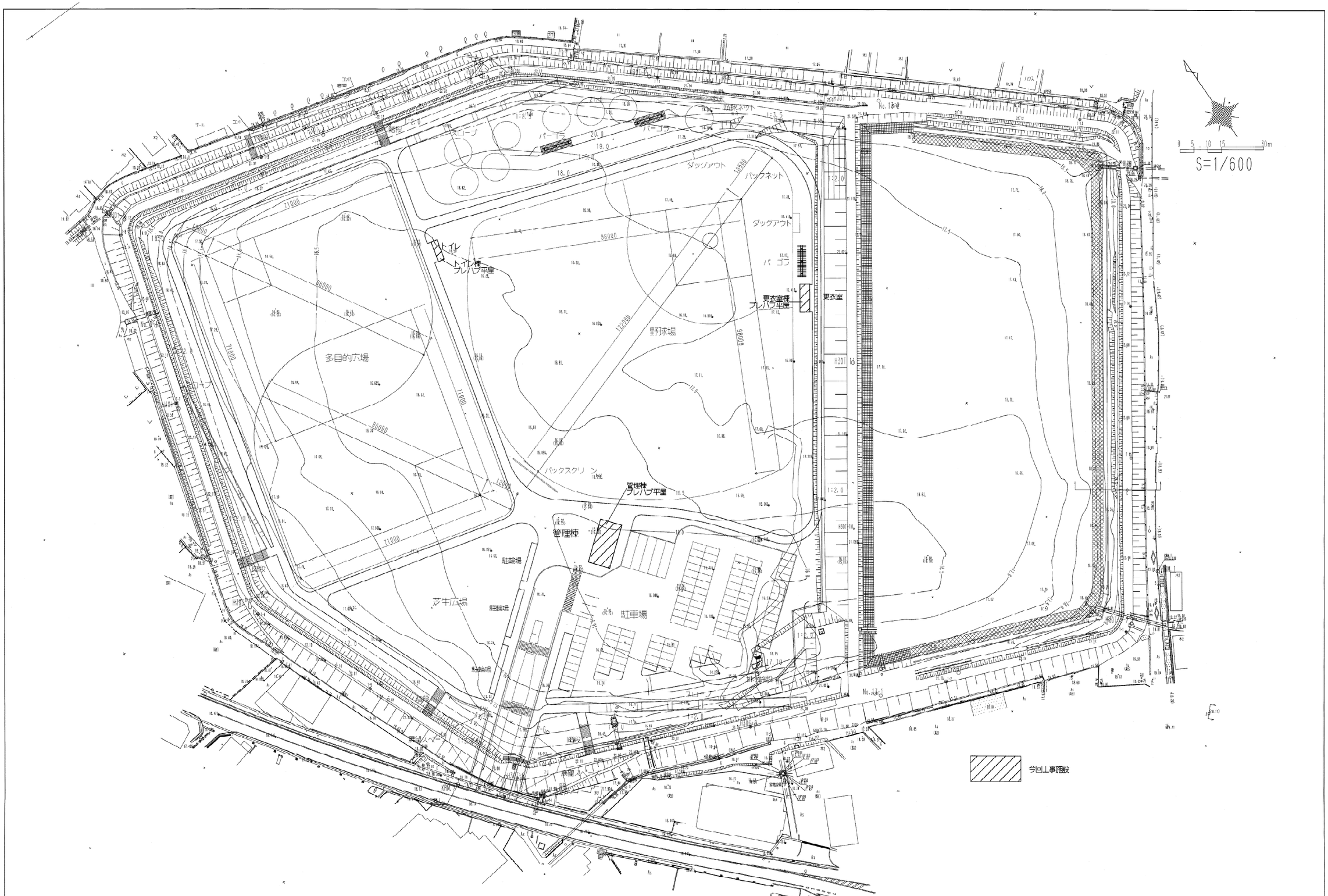
工事区分	工事内容	建築	電気	機械			備考
1 スリーブ、仮枠、補強	（1）基礎梁、梁、壁、床等の配管用貫通スリーブ		○	○			
	（2）同上貫通部分の鉄筋補強	○					
	（3）盤及びボックス類の仮枠		○	○			
	（4）同上開口部の鉄筋補強	○					
	（5）天井埋込照明器具類取付切込及び補強	○					
	（6）吹出口、吸込口等取込用切込及び補強	○					
	（7） （1）（3）のモルタル詰の補修		○	○			
	（8） （5）（6）のスミ出し		○	○			
	~~（9）デッキプレート貫通・補強・切込~~						
2 ピット、シャフト、トレンチ、点検口	~~（1）設備機械用ピット及び蓋~~						
	~~（2）PS（ISS）、EPS~~						
	（3）床下点検口	○					
	（4）床、壁、天井、シャフトピットの点検口	○					
	（5）排水用ピット及び蓋	○					
3 給水、電気、ガスの引込、下水本管接続	（1）給水引込工事			（別途工事）			
	（2）電気引込工事（負担金別途）		（別途工事）				
	（3）受電設備		（別途工事）				
	（4）下水本管接続工事			（別途工事）			
	（5）ガスの開栓			（別途工事）			
4 槽類	~~（1）受水槽（チャントルーム共）~~						
	~~（2） （1）の電極棒取付用開口~~						
	~~（3）躯体水槽、仕上、防水~~						
	~~（4） （3）の槽内の通気立上げ、バンドキャップ~~						
5 コンクリート基礎	~~（1）受水槽、空調室外機、キュービクル、マンテナ、ポンプ等~~						
	（2）機器類のアンカー打込			○			
6 電極棒、電磁弁	~~（1）水槽（電極棒）~~						
7 排水設備	（1）屋内屋外雨水排水工事（ルーフドレイン、竪樋、桝共）	○（側溝・雨水桝）					
	（2）屋内屋外排水設備工事（雑排水、汚水）			○			
	（3）床排水目皿、排水管			○			
	~~（4）ガソリン阻集器~~						
8 自家発電設備	~~（1）自家発電機基礎~~						
	~~（2）屋外埋設オイルタンク据付~~						
	~~（3）オイルタンク水張り~~						
	~~（4）オイルタンク本体、配管及び据付等~~						
9 衛生器具、流し台、コンロ台	（1）洗面器、大小便器、汚物流し			○			
	（2）水栓類、石鹸入れ、紙巻器他			○			
	（3）化粧鏡	○					
	（4）流し台、吊戸棚、水切、水切棚	○					
	（5）同上排水トラップ	○（本体）		○（接続）			
	（6）電気コンロ	○					
	~~（7）洗濯パン（排水トラップ、用固ホース、ニップル、止水金具共）~~						
	（8）ベビーチェア	○					
	（9）便所内補助手摺	○					
	（10）湯沸器（各流し台 室外式）			○			
	~~（11）洗濯パン（排水トラップ、用固ホース、ニップル、止水金具共）~~						

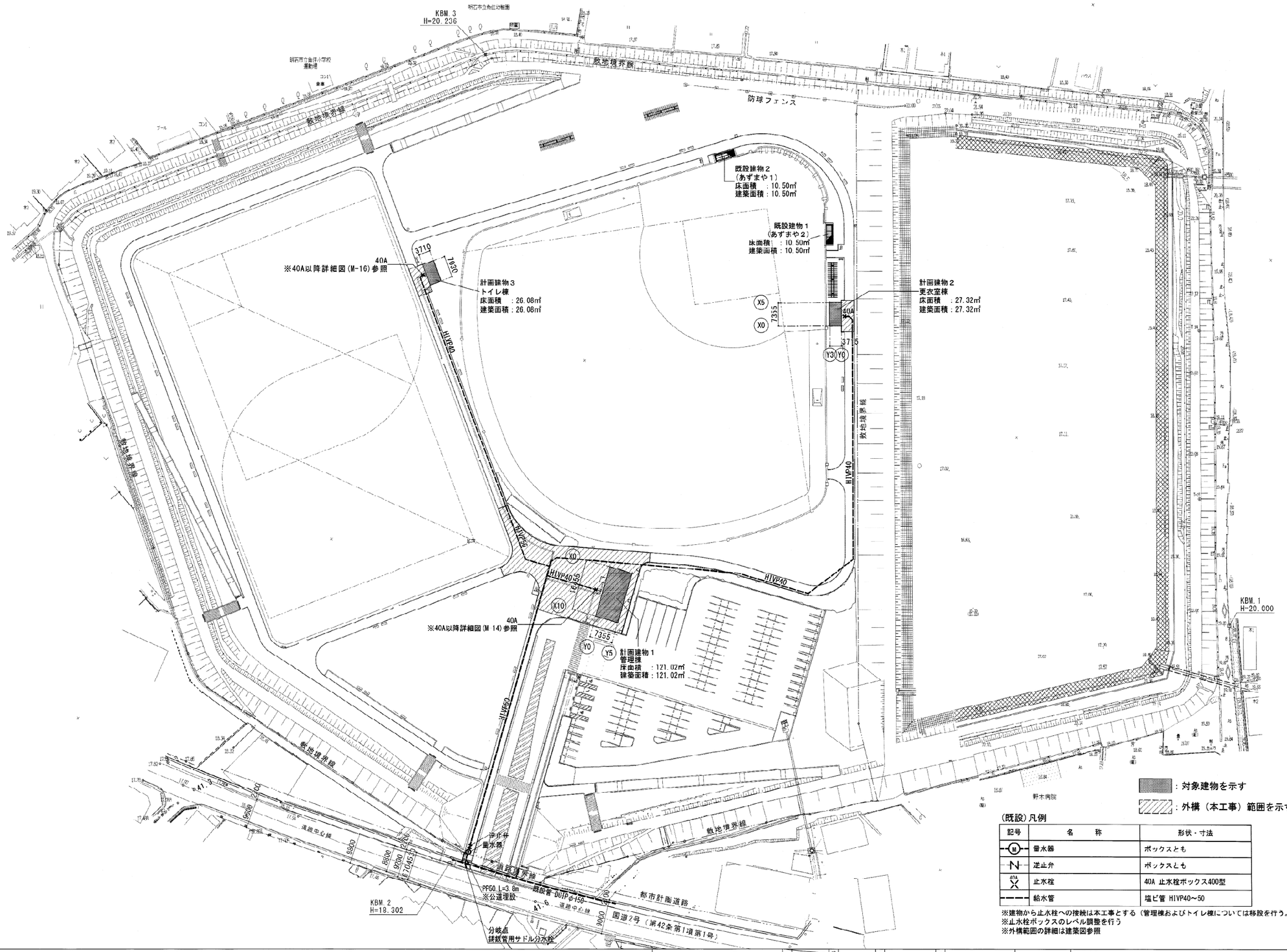
工事区分	工事内容	建築	電気	機械			備考
10 換気設備	（1）天井扇（ダクト、ベンドキャップ共）			○			
	（2）換気扇（ウェザーカバー共）			○			
	~~（3）パイプスペース~~						
	（4）ダクト用ファン（ダクト、チャンバー共）			○			
	（5）全熱交換器付換気扇			○			
	（6）同上スイッチ			○			
11 ガラリ	（1）外壁ガラリ	○					
	（2）ドア取付又はこれに準ずるもの	○					
	（3）換気扇用外部ガラリ（ベンドキャップ）	○（開口）		○			
12 操作盤、2次側配管配線及び接続	~~（1）加圧給水ポンプ用操作盤~~						
13 ユニットバス	（1）ユニットバス本体	○					
	（2）ユニットバス内照明、給排水器具	○（本体）	○（接続）	○（接続）			
	（3）器具等取付用穴明け及び、補強板取付	○					
	（4）水栓柵付け金具			○			
14 その他	（1）消火器（建物にかかるもの）			○			
	~~（2）消火器（設備にかかるもの）~~						
	（3）消火器収納ボックス			○			
	~~（4）界戸梯子にコンロを設置する場合の不燃材の取付~~						
	~~（5）ガス漏れ警報器~~						
	（6）設備配管用天井盤及び床仕上げ材の穴明け		○	○			
	~~（7）電気錠~~						
	（8）工事用の水道料金及び電気料金	○	○	○			
	（9）本受電後引渡しまでの電気料金	○	○	○			
	（10）本設後引渡しまでの水道料金及びガス料金	○	○	○			
	~~（11）発電機~~						
	~~（12）発電機 一次側電源配管・配線~~						
	~~（13）発電機 二次側電源配管・配線~~						
	（14）空調機リモコンスイッチ			○			
	~~（15）排気ガス排出システム~~						
	~~（16）同上配管・配線~~						
	~~（17）同上制御盤~~						
	~~（18）防火戸~~						
	~~（19）同上感知器及び配管・配線工事~~						
	~~（20）屋外埋設消火栓~~						
	（21）分電盤から各棟までの幹線ケーブルの布設		○				
	○：本工事範囲を示す。						

特記事項

監理	協和コンサルタンツ 一級建築士事務所 一級建築士事務所知事登録第13109号 一級建築士登録第122018号 鳴谷 廣	課長	担当	係長	担当	製作年月日 令和4年 月 日
明石市都市局都市整備室緑化公園課						

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	M05
図面名称	工事区分表	縮尺	A1:NONE A3:NONE
		全葉	83


0 5 10 15 30m
S=1/600
多目的広場
野球場
芝生広場
駐車場
駐輪場
トイレ棟
プレハブ平屋
更衣室棟
プレハブ平屋
更衣室
管理棟
プレハブ平屋
管理棟
ダッグアウト
ダッグアウト
パゴラ
パーゴラ
スロープ
スロープ
バックネット
バックスクリーン
階段
階段
ベンチ
ベンチ
ベンチ

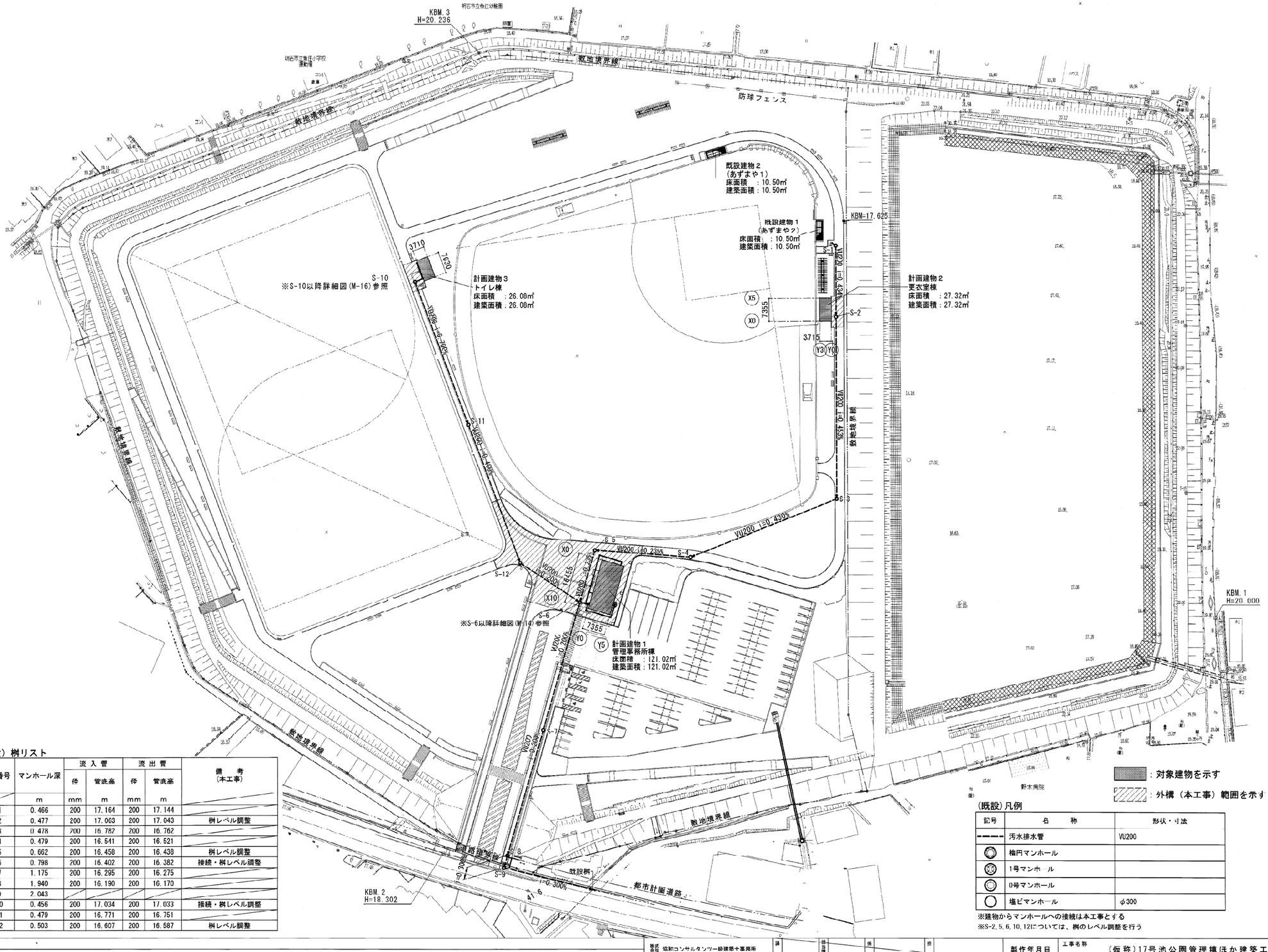


（既設）凡例

記号	名　称	形状・寸法
M	量水器	ボックスとも
N	逆止弁	ボックスとも
40A	止水栓	40A 止水栓ボックス400型
	給水管	塩ビ管 HIVP40～50

※建物から止水栓への接続は本工事とする（管理棟およびトイレ棟については移設を行う。更衣室棟への接続は無し）
※止水栓ボックスのレベル調整を行う
※外構範囲の詳細は建築図参照

特記事項	・ ・ ・ ・	検査	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事登録第131095号 一級建築士登録第122018号　嶋谷 晴美	課長	係長	担当	製作年月日	工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	M-07
							令和4年　月　日	図面名称	配置図（給水平面図）	縮尺	A1:1/600 A3:1/1200
			明石市都市局都市整備室緑化公園課							全葉	83



（既設）樹リスト

人孔番号	マンホール深	流入管		流出管		備考（本工事）
		径	管底高	径	管底高	
	m	mm	m	mm	m	
S-1	0.466	200	17.164	200	17.144	
S-2	0.477	200	17.063	200	17.043	桝レベル調整
S-3	0.478	200	16.782	200	16.762	
S-4	0.479	200	16.541	200	16.521	
S-5	0.662	200	16.458	200	16.438	桝レベル調整
S-6	0.798	200	16.402	200	16.382	接続・桝レベル調整
S-7	1.175	200	16.295	200	16.275	
S-8	1.940	200	16.190	200	16.170	
S-9	2.043					
S-10	0.456	200	17.034	200	17.033	接続・桝レベル調整
S-11	0.479	200	16.771	200	16.751	
S-12	0.503	200	16.607	200	16.587	桝レベル調整

（既設）凡例

記号	名称	形状・寸法
	汚水排水管	VU200
	楕円マンホール	
	1号マンホール	
	0号マンホール	
	塩ビマンホール	φ300

※建物からマンホールへの接続は本工事とする
※S-2, 5, 6, 10, 12については、桝のレベル調整を行う

特記事項

株式会社 昭和コンサルタンツー級建築士事務所 一級建築士事務所東京都知事登録第13109号 一級建築士登録第122018号 嶋谷 廣	課長	担当課長	係長	担当	製作年月日 令和4年　月　日	工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事
明石市都市局都市整備室緑化公園課						図面名称	配置図（汚水排水平面図）
						縮尺	A1：1/600 A3：1/1200
						図番	M-08
						全葉	83

空調設備機器表

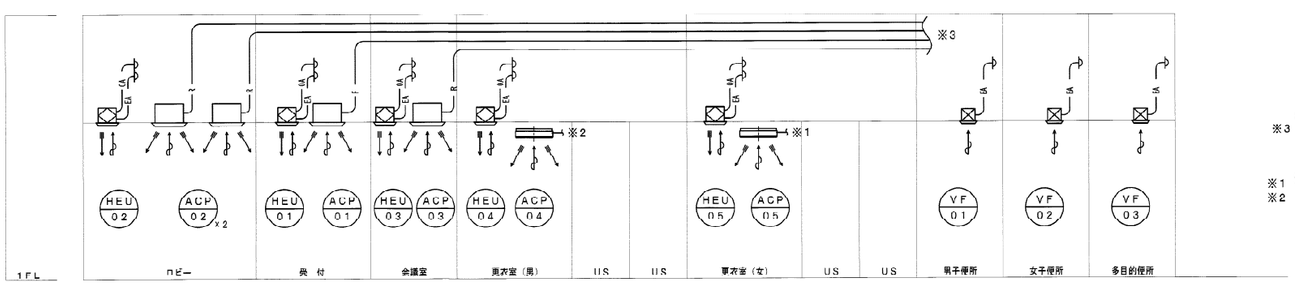
記号	機器名称	機器仕様		電気容量 相 Ø	電気容量 電圧 V	電気容量 電力 kW	台数	設置場所 階	設置場所 室名	備考（機器形式）
ACP－01	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	天井カセット型（2方向）	送風機（室内機）	1	200	0．046	1	1	受付	ACP－5．0
	受付系統	冷房能力 4．5kW（JIS）	送風機（室外機）	1	200	0．07				SSRG50BJV（参考型番）
		暖房能力 5．0kW（JIS）	圧縮機（室外機）	1	200	0．85				コントロールスイッチ
										2段積み架台（溶融亜鉛メッキ）
ACP－02	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	天井カセット型（2方向）	送風機（室内機）	1	200	0．046	2	1	ロビー	ACP－4．5
	ロビー系統	冷房能力 4．0kW（JIS）	送風機（室外機）	1	200	0．07				SSRG45BJV（参考型番）
		暖房能力 4．5kW（JIS）	圧縮機（室外機）	1	200	0．71				コントロールスイッチ
										2段積み架台（溶融亜鉛メッキ）
ACP－03	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	天井カセット型（4方向）	送風機（室内機）	1	200	0．053	1	1	会議室	ACP－5．0
	会議室系統	冷房能力 4．5kW（JIS）	送風機（室外機）	1	200	0．07				SSRG50BJV（参考型番）
		暖房能力 5．0kW（JIS）	圧縮機（室外機）	1	200	0．85				コントロールスイッチ
ACP－04	ルームエアコン	壁掛露出型	消費電力	1	100	0．465	1	1	更衣室（男）	ACP－22型
	更衣室（男）系統	冷房能力 2．2kW（JIS）				（1．04）	低温暖房時			S22ZTCXS－W（参考型番）
		暖房能力 2．2kW（JIS）								ドレンアップ
										ワイヤレスリモコン
										2段積み架台（溶融亜鉛メッキ）
ACP－05	ルームエアコン	壁掛露出型	消費電力	1	100	0．465	1	1	更衣室（女）	ACP－22型
	更衣室（女）系統	冷房能力 2．2kW（JIS）				（1．04）	低温暖房時			S22ZTCXS－W（参考型番）
		暖房能力 2．2kW（JIS）								ドレンアップ
										ワイヤレスリモコン

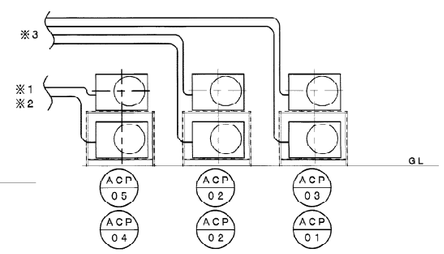
※ 冷媒はオゾン破壊係数0のものとする。
※ 室外機には転倒防止金具、防振ゴムパッドを取付

換気設備機器表

記号	機器名称	機器仕様	電気容量 相 Ø	電気容量 電圧 V	電気容量 電力 kW	台数	設置場所 階	設置場所 室名	備考（機器形式）
VF－01	換気扇	天井埋込型換気扇	1	100	0．049	1	1	男子便所	VD－20ZC12（参考型番）
	男子便所系統	270m3／h× 50Pa							接続ダクト150φ
VF－02	換気扇	天井埋込型換気扇	1	100	0．049	1	1	女子便所	VD－20ZC12（参考型番）
	女子便所系統	330m3／h× 50Pa							接続ダクト150φ
VF－03	換気扇	天井埋込型換気扇	1	100	0．0155	1	1	多目的便所	VD－15ZC12（参考型番）
	多目的便所系統	170m3／h× 50Pa							接続ダクト100φ
HEU－01	全熱交換ユニット	天井カセット型全熱交換ユニット	1	100	0．056	1	1	受付	24H運転
	受付系統	100m3／h× 50Pa							コントロールスイッチ
		（20）							VL－160ZS4（参考型番）
									接続ダクト100φ
HEU－02	全熱交換ユニット	天井カセット型全熱交換ユニット	1	100	0．120	1	1	ロビー	24H運転
	ロビー系統	230m3／h× 50Pa							専用リモコン
		（30）							LGII N25CX2（参考型番）
									接続ダクト150φ
HEU－03	全熱交換ユニット	天井カセット型全熱交換ユニット	1	100	0．185	1	1	会議室	24H運転
	会議室系統	330m3／h× 50Pa							専用リモコン
		（20）							LGH－N35CX2（参考型番）
									接続ダクト150φ
HEU－04	全熱交換ユニット	天井カセット型全熱交換ユニット	1	100	0．056	1	1	更衣室（男）	24H運転
	更衣室（男）系統	100m3／h× 50Pa							コントロールスイッチ
		（10）							VL－160ZS4（参考型番）
									接続ダクト100φ
HEU－05	全熱交換ユニット	天井カセット型全熱交換ユニット	1	100	0．056	1	1	更衣室（女）	24H運転
	更衣室（女）系統	100m3／h× 50Pa							コントロールスイッチ
		（10）							VL－100ZS4（参考型番）
									接続ダクト100φ

※（ ）内 風量は、24H換気運転時





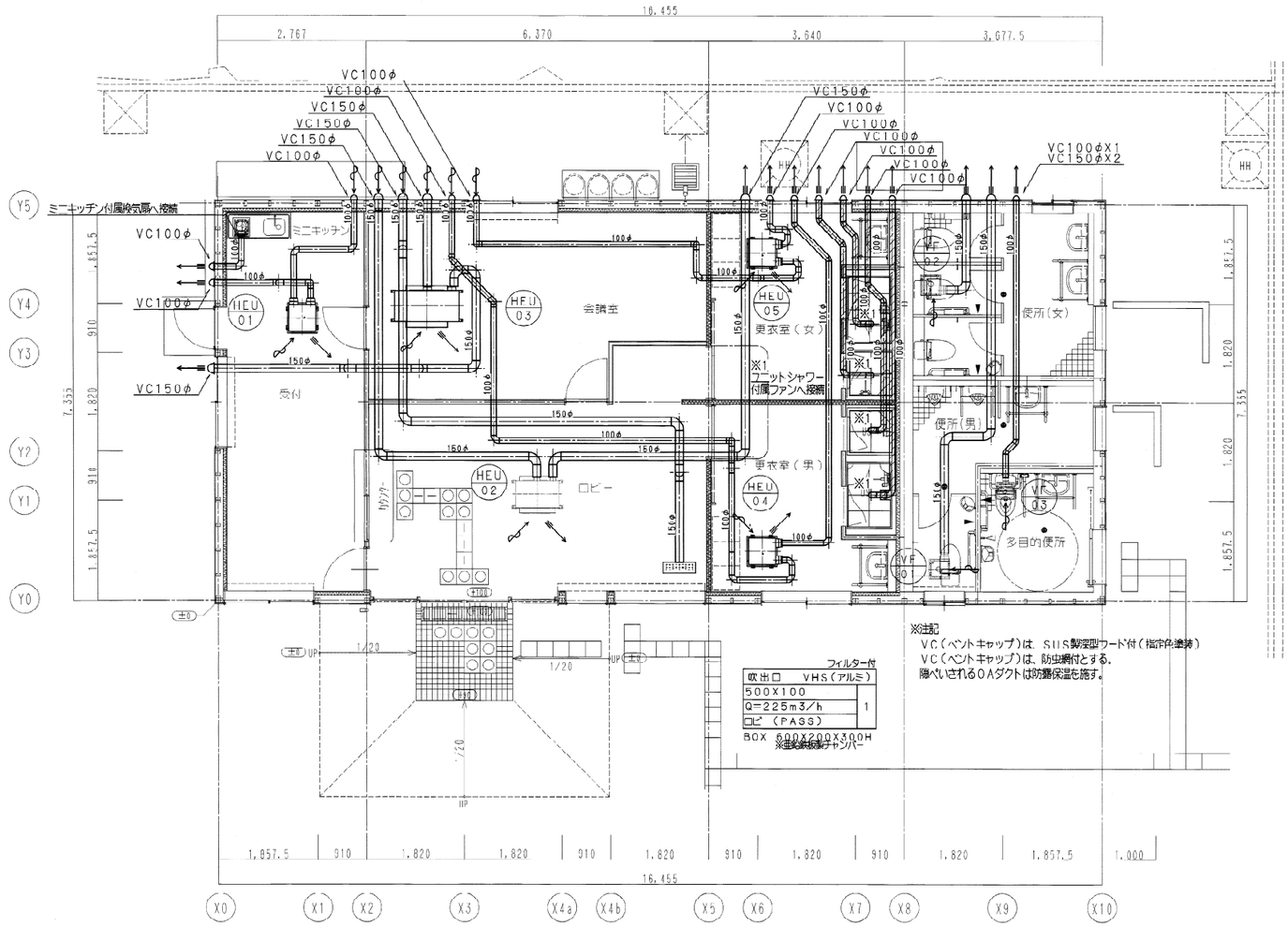
空調換気設備 系統図

特記事項

設計者	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所京都登録第13109号 一級建築士番録第122018号	課長	係長	係	係長	担当	製作年月日 令和4年 月 日

明石市都市局都市整備室緑化公園課

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	M-09
図面名称	管理棟 空調換気設備機器表、系統図	縮尺	A1:NONE A3:NONE
		全葉	83

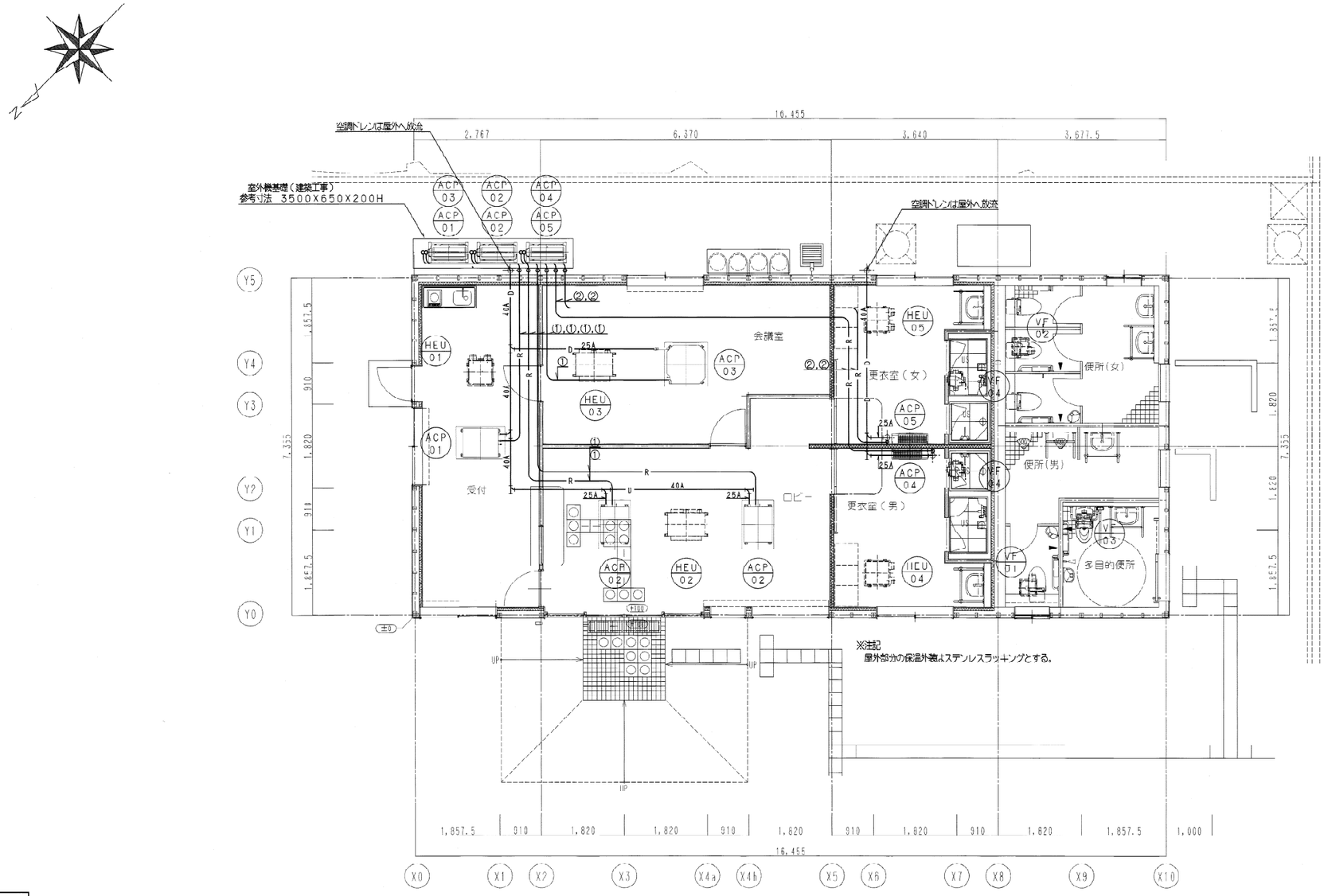


平面図 1/50

凡例

帯鋼板製スパイラルダクト	
ビニル製ダクト（VD）	

特記事項					
	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所東京都登録第13105号 一級建築士登録第122018号 嶋谷 廣	課長 / 担当課長名 / 係長 / 担当	製作年月日 令和4年 月 日	工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事
		明石市都市局都市整備室緑化公園課		図面名称	管理棟 空調換気ダクト設備平面図
				縮尺	A1:1/50 A3:1/100
				内	M-10
				全葉	83



平面図 1/50

凡例

種別	記号	管種
冷媒配管	——— R ———	断熱材被覆銅管（液管+ガス管）
ドレン配管	——— D ———	硬質塩化ビニル管（VP）

記号	液管	ガス管	配管
①	6.4	12.7	EEF2.0-3C（共巻）
②	6.4	9.5	EEF2.0-3C（共巻）

特記事項

協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所東京都登録第131079号
一級建築士登録第122018号 嶋谷 薫

課長 | 担当者 | 係長 | 担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日 令和4年 月 日

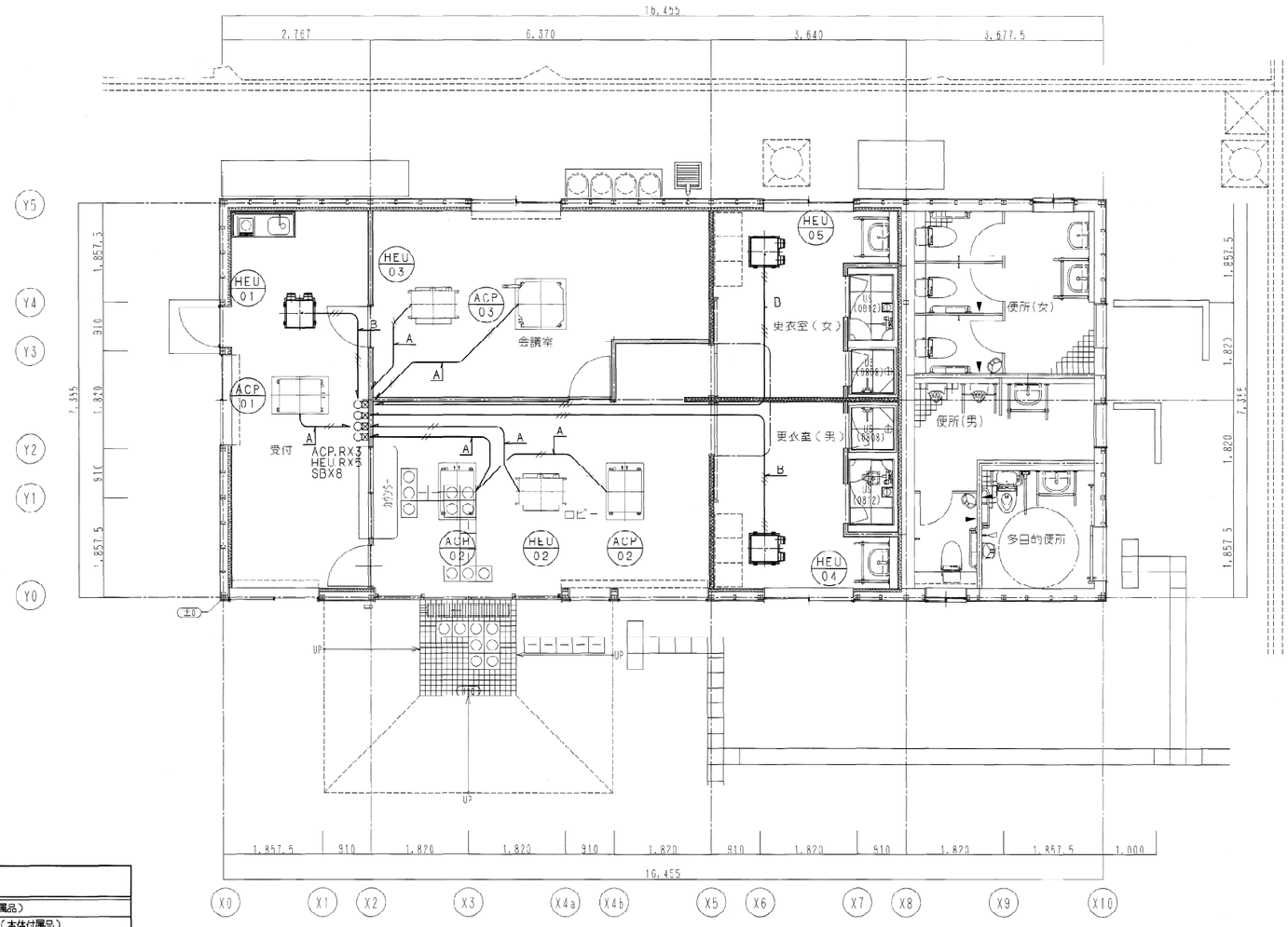
工事名称 （仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事

図面名称 管理棟 空調配管設備平面図

縮尺 A1:1/50 A3:1/100

内 M11

全葉 83



凡例

記　号	種　別
○ACP.R	エアコン用リモコン（本体付属品）
○HEU.R	全熱交換ユニット用リモコン（本体付属品）
⊠SB	スイッチボックス（埋込型）

記　号	配 管 名 称	配管配線サイズ（参考）
A	リモコン配線	CEE1.25−2C コロガシ （壁内はPF（16））
B	リモコン配線	CEF1.25−3C コロガシ （壁内はPF（22））

平面図　1/50

特記事項

協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所京都登録第13100号
一級建築士登録第122018号　嶋谷 優

課長 | 班長 | 係長 | 担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日　令和4年　月　日

工事名称　（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事

図面名称　管理棟　空調配管配線設備平面図

縮尺　A1:1/50　A3:1/100

内　M−12

全葉　83

給排水設備機器表

記号	機器名称	機器仕様	電気容量 相	電気容量 電圧	電気容量 電力	台数	設置場所 階	設置場所 室名	備考（機器形式）
			Ø	V	kW				
GWH－01	瞬間湯沸器	連立式ガス瞬間湯沸器（屋外設置型） 電源	1	100	0.21×3	1	1	屋外	屋外自立架台
	シャワー室系統	能　力　32号相当（高効率）×3台							リモコンスイッチ
		使用燃料　LPG							付属品一式共

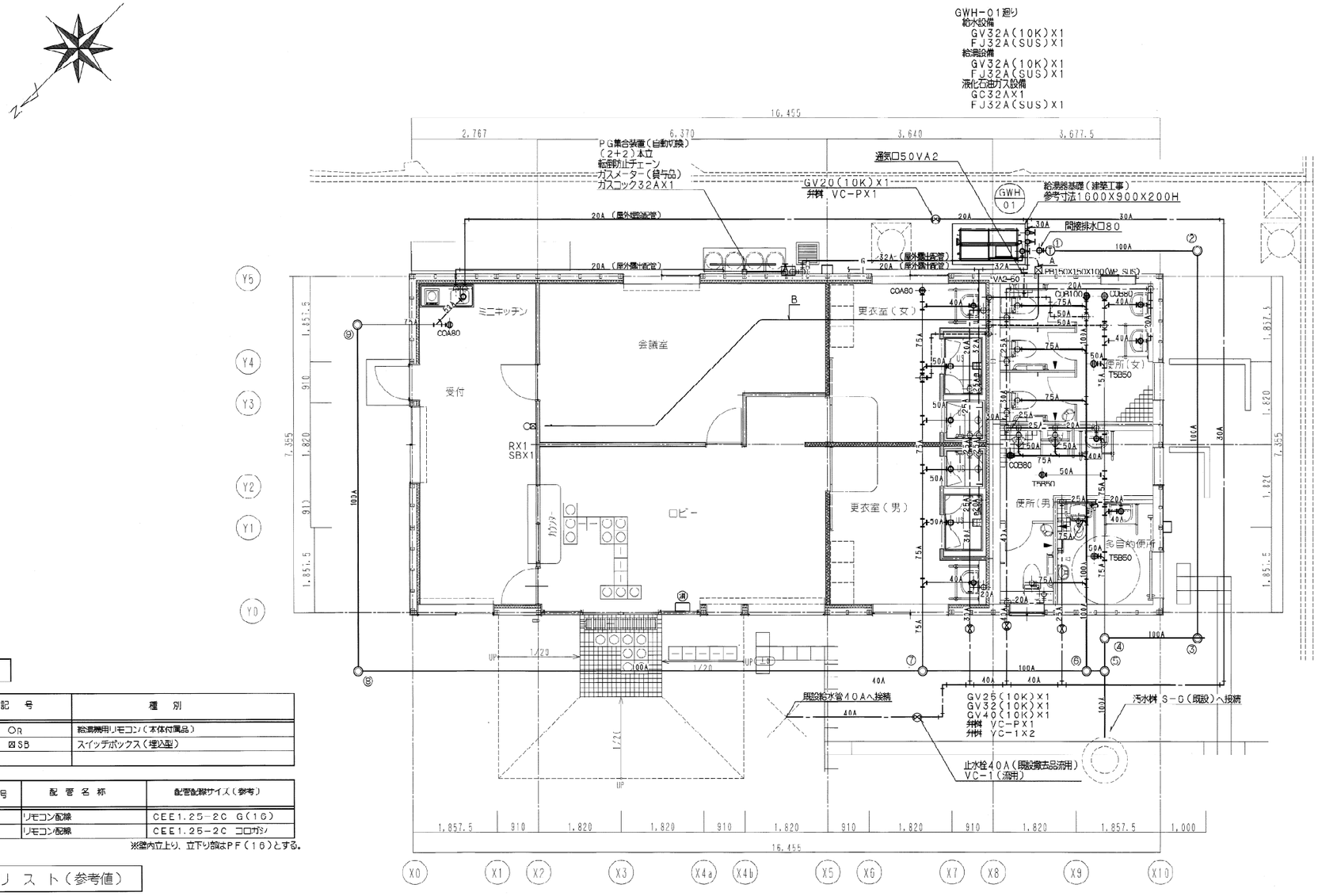
給排水衛生器具表

器具名称	参考品番	備考	合計	1F 男子便所	1F 女子便所	1F 多目的便所	1F 更衣室（男）	1F 更衣室（女）
洋風便器	CS20AB、SH30BA	高座面対応床置床排水大便器、洗浄便座（TCF5524A，AC100V）、リモコン便器洗浄ユニット（TCA348）、付属品一式	4	1	3			
洋風便器	CFS498BC	掃除口付床置床排水大便器、洗浄便座リモコン便器洗浄ユニット付（TCF5524AUP，AC100V）、しびん洗浄水栓オストメイト（EWCS802AR）、付属品一式	1			1		
小便器	UFH508CR	床置床排水小便器（AC100V）、小便器フラッシュバルブ（13mm）TG600PN	2	2				
二連紙巻器	YH702	棚付二連紙巻器	5	1	3	1		
洗面器	L250CM	壁掛洗面器、台付自動水栓（TENA41AW）、電気温水器（REWF03D1SM，AC100V、0．6kW）、水石けん人（TS126AR）、下部配管カバー、付属品一式	2				1	1
洗面器	L250CM	壁掛洗面器、台付自動水栓（TENA41AW）水石けん人（TS126AR）、付属品一式	4	1	2	1		

特記事項
・
・
・
・

設計事務所	協和コンサルタンツ一級建築士事務所 一級建築士事務所京都登録第13109号 一級建築士登録第122018号　塩谷 廣	課長	係長	担当	製作年月日 令和4年　月　日
発注者	明石市都市局都市整備室緑化公園課				

工事名称	（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事	内	M－13
図面名称	管理棟　給排水衛生設備機器表、器具表	縮尺	A1：NONE A3：NONE
		全葉	83



凡例

記　号	種　別
○R	給湯機用リモコン(本体付属品)
⊠SB	スイッチボックス(埋込型)

記　号	配 管 名 称	配管配線サイズ(参考)
A	リモコン配線	CEE1.25－2C　G(16)
B	リモコン配線	CEE1.25－2C　コロガシ

※壁内立上り、立下り部はPF(16)とする。

桝 リ ス ト(参考値)

番号	種　別	記　号 (国土交通省仕様)	内寸 D (mm)	桝天端 (TP)	管底 (TP)	桝深さ H (mm)	ふ　た	備　考
①	プラスチック桝	UTK 100-200	200φ	TP+17,090	TP+16,690	400	防護蓋	
②	プラスチック桝	90L-100-200	200φ	TP+17,090	TP+16,648	442	防護蓋	
③	プラスチック桝	90L-100-200	200φ	TP+17,170	TP+16,454	710	防護蓋	
④	プラスチック桝	90Y-100-200	200φ	TP+17,165	TP+16,424	741	防護蓋	
⑤	プラスチック桝	90Y-100-200	200φ	TP+17,170	TP+16,391	779	防護蓋	
⑥	プラスチック桝	90Y-100-200	200φ	TP+17,170	TP+16,415	755	防護蓋	
⑦	プラスチック桝	90Y-100-200	200φ	TP+17,170	TP+16,461	709	防護蓋	
⑧	プラスチック桝	90L-100-200	200φ	TP+17,090	TP+16,595	495	防護蓋	
⑨	プラスチック桝	90L-100-200	200φ	TP+17,080	TP+16,680	400	防護蓋	
S－6	放流先十木桝			TP+17,180	TP+16,382	798		既設

平面図　1/50

凡例

種　別	記　号	備　考
給水管(屋内)	——— - ———	硬質塩ビライニング鋼管　VA
給水管(屋外)	——— - ———	耐衝撃性硬質塩化ビニル管　HIVP
排水管	———	硬質塩化ビニル管　VP
雑排水管	- - - - - - -	硬質塩化ビニル管　VP
給湯管	———I———	外面被覆鋼管
ガス管	———G———	配管用炭素鋼鋼管　SGP(白)

(凡例) ※消火器は歩行距離で20m以下に配置する
㊱: ABC消火器(80X共)内部(床置型) 蒲製　10型1本用

特記事項

課長	地域整備係長	係長	担当	

製作年月日　令和4年　月　日

協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所東京都登録第13109号
一級建築士登録第122018号　嶋 井 章

明石市都市局都市整備室緑化公園課

工事名称　(仮称)17号池公園管理棟ほか建築工事

図面名称　管理棟　給排水衛生設備平面図

縮尺　A1:1/50　A3:1/100

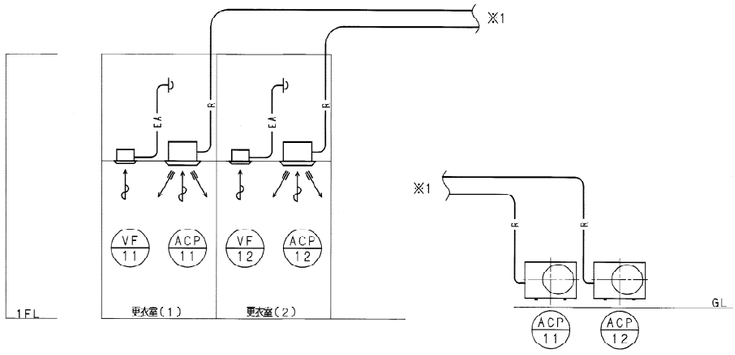
内　M－14

全葉　83

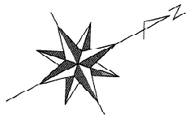
空調換気設備機器表

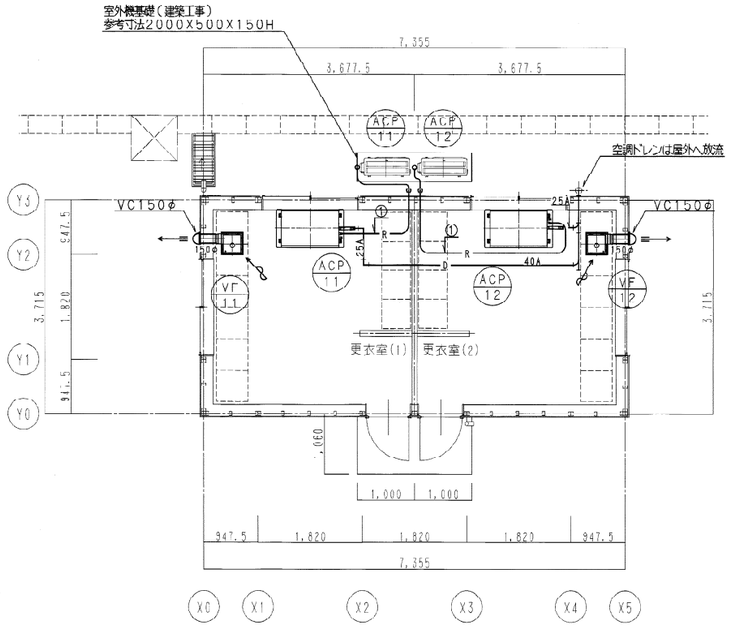
記号	機器名称	機器仕様		電気容量 相 Ø	電気容量 電圧 V	電気容量 電力 kW	台数	設置場所 階	設置場所 室名	備考（機器形式）
ACP-11	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	天井カセット型（1方向）	送風機（室内機）	1	200	0.078	1	1	更衣室（1）	ACP-4.0
	更衣室（1）系統	冷房能力 3.6 kW（JIS）	送風機（室外機）	1	200	0.070				SSRK40BJV（参考型番）
		暖房能力 4.0 kW（JIS）	圧縮機（室外機）	1	200	0.590				コントロールスイッチ
ACP-12	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	天井カセット型（1方向）	送風機（室内機）	1	200	0.078	1	1	更衣室（2）	ACP-4.0
	更衣室（2）系統	冷房能力 3.6 kW（JIS）	送風機（室外機）	1	200	0.070				SSRK40BJV（参考型番）
		暖房能力 4.0 kW（JIS）	圧縮機（室外機）	1	200	0.590				コントロールスイッチ
VF-11	換気扇	低騒音型天井埋込型換気扇		1	100	0.036	1	1	更衣室（1）	VD-18ZEP12 FP（参考型番）
	更衣室（1）系統	170m3/h X 50Pa								接続ダクト150φ
VF-12	換気扇	低騒音型天井埋込型換気扇		1	100	0.036	1	1	更衣室（2）	VD-18ZEP12-FP（参考型番）
	更衣室（2）系統	180m3/h X 50Pa								接続ダクト150φ

※ 冷媒はオゾン破壊係数0のものとする。
※ 室外機には転倒防止金具、防振ゴムパッドを取付

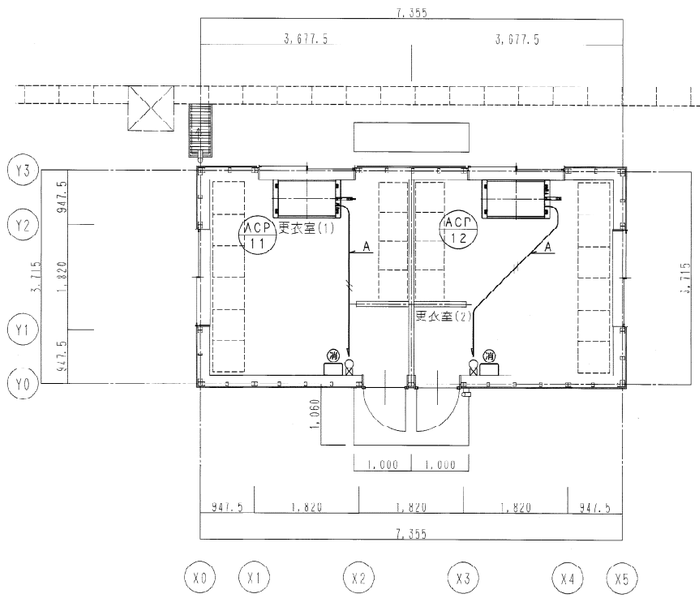


空調換気設備　系統図





平面図　1/50



平面図　1/50

〈凡例〉※消火器は歩行距離で20m以下に配置する
消：ABC消火器（BOX共）内部（床置型）鋼製　10型1本用

凡例

種別	記号	管種
冷媒配管	——— g ———	断熱材被覆銅管（液管+ガス管）
ドレン配管	——— D ———	硬質塩化ビニル管（VP）

※配管口径は参考値とする。

記号	液管	ガス管	配管
①	6.4	12.7	FFF2.0-3C（共巻）

亜鉛鉄板製ダクト	

凡例

記号	種別
○ACP.R	エアコン用リモコン（本体付属品）
○HF11.R	エアコン用リモコン（本体付属品）
⊠SB	スイッチボックス（埋込型）

記号	配管名称	配管配線サイズ（参考）
A	リモコン配線	CEE1.25-2C コロガシ

※隠ぺい立上り、立下り部はPF（22）とする。

特記事項

監理 協和コンサルタンツ　級建築士事務所
一級建築士事務所東京都知事登録第13109号
一級建築士登録第122018号　嶋谷 廣

課長 / 担当 / 係長 / 担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日 令和4年 月 日

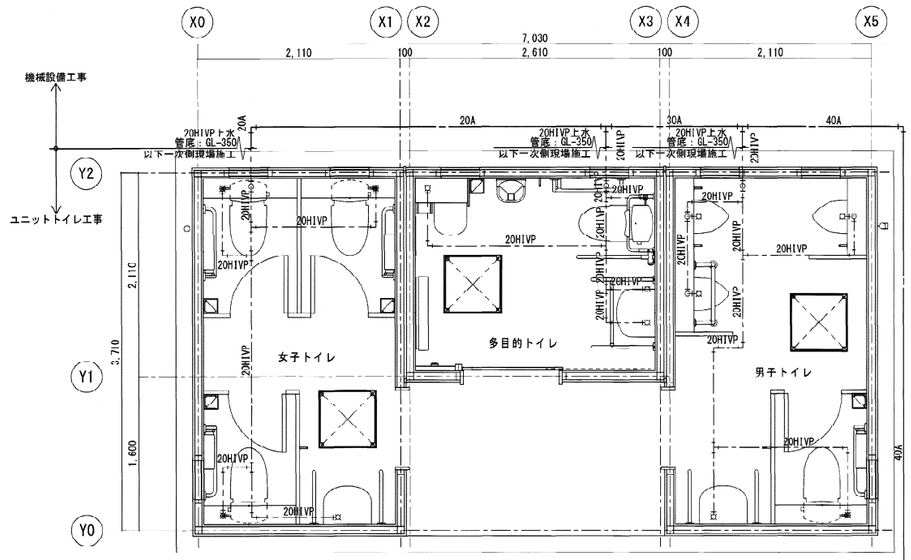
工事名称 （仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事

図面名称 更衣室棟　消火空調換気設備機器表、系統図、平面図

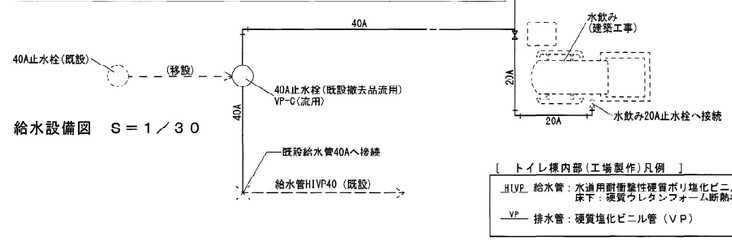
縮尺 A1:1/50 A3:1/100

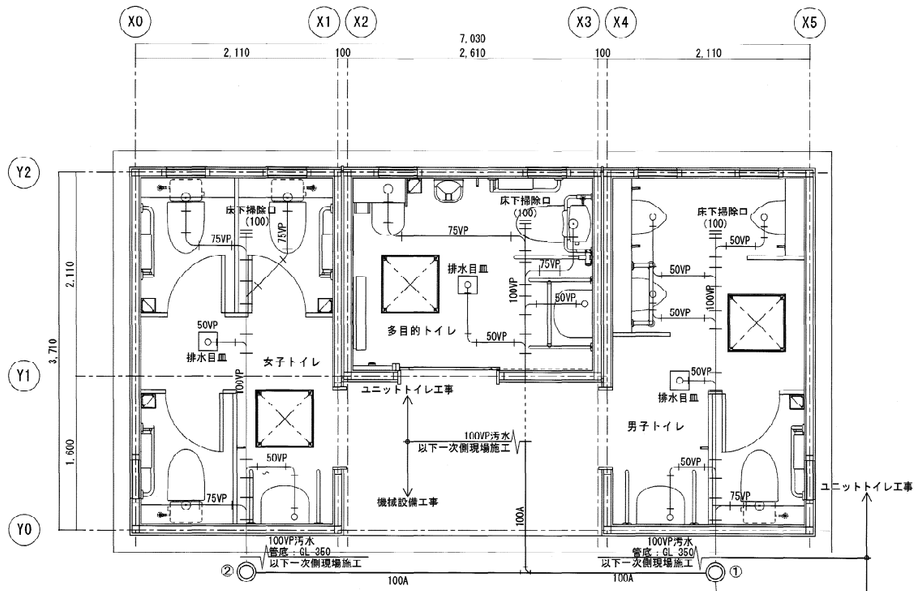
内 M-15

全葉 83

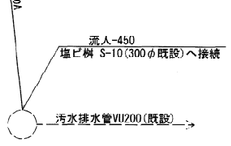


給水設備図　S＝1／30





排水設備図　S＝1／30



［　トイレ棟内部（工場製作）凡例　］

HIVP　給水管：水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）
床下：硬質ウレタンフォーム断熱材巻

VP　排水管：硬質塩化ビニル管（ＶＰ）

衛生器具表（工場制作）

女子トイレ

品名	品番	色番・仕様	N
洋式大便器	CS20AB, SH30BA, TCF5524A（ウォシュレット）, TCA348, TOTO	パステルアイボリー #SC1	3
洗面器	L210CM, TS126AR(水石鹸入れ), TENA41AW(自動水栓) TOTO	パステルアイボリー #SC1	1
手すり	T112CL10（L型） TOTO	ステンレス樹脂被覆タイプφ34 パステルアイボリー #SC1	3
手すり	T112CP28 VWTOKU（手洗器用） TOTO	ステンレス樹脂被覆タイプφ34 パステルアイボリー #SC1	2
紙巻器	YH702 TOTO	ステンレス・棚付2連	3
ステンレスフック	YKH20R TOTO	ステンレス・ストッパー付	1
化粧鏡	450×1000 特注	耐熱性様・フレーム付ミラーマット貼	1
排水目皿	HSUT−20L200N ロンシール	トラップ・盗難防止用チェーン付	1

男子トイレ

品名	品番	色番・仕様	N
小便器	UFH508CR, T600PN TOTO	パステルアイボリー #SC1	3
洋式大便器	CS20AB, SH30BA, TCF5524A（ウォシュレット）, TCA348, TOTO	パステルアイボリー #SC1	1
洗面器	L210CM, TS126AR(水石鹸入れ), TENA41AW(自動水栓) TOTO	パステルアイボリー #SC1	1
小便器用手すり	SK−203S−RJ 神栄	ステンレス樹脂被覆タイプφ34 アイボリー	1
手すり	T112CL10（L型） TOTO	ステンレス樹脂被覆タイプφ34 パステルアイボリー #SC1	1
手すり	T112CP28 VWTOKU（手洗器用） TOTO	ステンレス樹脂被覆タイプφ34 パステルアイボリー #SC1	2
紙巻器	YH702 TOTO	ステンレス・棚付2連	1
ステンレスフック	YKH20R TOTO	ステンレス・ストッパー付	4
化粧鏡	450×1000 特注	耐熱性様・フレーム付ミラーマット貼	1
排水目皿	HSUT−20L200N ロンシール	トラップ・盗難防止用チェーン付	1

多目的トイレ

品名	品番	色番・仕様	N
洋式大便器	CS20AB, SH30BA, TCF5524AP（ウォシュレット）, TCA348 TOTO	パステルアイボリー #SC1	1
背もたれ	EWC385CS TOTO	スマイルベージュ #SV	1
幼児用補助便座	TC51（チェーン付） TOTO	ホワイト	1
オストメイトパック［電気温水器付］	UAS81RDB2NW TOTO	パステルアイボリー #SC1	1
洗面器	L210CM, TS126AR(水石鹸入れ), TENA41AW(自動水栓) TOTO	パステルアイボリー #SC1	1
掃除用水栓	T200CSNR13 TOTO	キー式水栓	1
手すり	T112H3R（はね上げ式）, T112CL10（L型）, T112CP2W1 VWTOKU（手洗器用） TOTO	ステンレス樹脂被覆タイプφ34 パステルアイボリー #SC1	各1
紙巻器	YH702 TOTO	ステンレス・棚付2連	1
ベビーチェア	YKA15S TOTO	ホワイト	1
ベビーシート	YKA25S TOTO	ホワイト	1
ステンレスフック	YKH20R TOTO	ステンレス・ストッパー付	1
床置棚	YKH501 TOTO	ステンレス・床置式	1
化粧鏡	450×1000 特注	耐熱性様・フレーム付ミラーマット貼	1
姿見鏡	400×1600 特注	耐熱性様・フレーム付ミラーマット貼	1
排水目皿	HSUT−20L200N ロンシール	トラップ・盗難防止用チェーン付	1

桝リスト（参考値）※現場施工

番号	種別	記号（国土交通省仕様）	内寸 B (mm)	桝大頭（TP）	管底（TP）	桝深さ H (mm)	ふた	備考
①	プラスチック桝	90V-100-200	200φ	TP+17.500	TP+17.080	420	ビニル蓋	
②	プラスチック桝	90L-100-200	200φ	TP+17.500	TP+17.150	350	ビニル蓋	
S-10	放流先土木桝			TP+17.475	TP+17.033	442		既設

※1　桝深さH（参考とする）は周辺GLよりの管底深さを示す。

凡例 ※現場施工

種別	記号	備考
給水管(屋外)	——— – ———	耐衝撃性硬質塩化ビニル管　ＨＩＶＰ
排水管(屋外)	———————	硬質塩化ビニル管　ＶＰ

特記事項
・
・
・
・

株式会社 協和コンサルタンツ一級建築士事務所
一級建築士事務所兵庫県知事登録第13109号
一級建築士登録第122018号　越谷 厚

課長 | 係長 | 担当

明石市都市局都市整備室緑化公園課

製作年月日　令和4年　月　日

工事名称　（仮称）17号池公園管理棟ほか建築工事

図面名称　トイレ棟 給排水衛生設備図

縮尺　A1:1/30　A3:1/60

内　M-16

全葉　83